2018
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学　教育文化学部　2年次

HOKUSHO UNIVERSITY
School of education and culture

平成30年度　北翔大学・北翔大学短期大学　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
												4／1		
4／2		4／3	在学生オリエンテーション	4／4	入学式	4／5	オリエンテーション	4／6	オリエンテーション	4／7		4／8		
4／9	①	4／10	①	4／11	①	4／12	①	4／13	①	4／14		4／15		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/９～４/27
4／16	②	4／17	②	4／18	②	4／19	②	4／20	②	4／21		4／22		
4／23	③	4／24	③	4／25	③	4／26	③	4／27	③	4／28		4／29	昭和の日	
4／30	振替休日	5／1	7/16の振替休日	5／2	9/24の振替休日	5／3	憲法記念日	5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6		
5／7	④	5／8	④	5／9	④	5／10	④	5／11	④	5／12		5／13		
5／14	⑤	5／15	⑤	5／16	⑤	5／17	⑤	5／18	⑤	5／19		5／20		こども学科２年次 教育実習：５/14～６/１
5／21	⑥	5／22	⑥	5／23	⑥	5／24	⑥	5／25	⑥	5／26		5／27		
5／28	⑦	5／29	⑦	5／30	⑦	5／31	⑦	6／1	⑦	6／2		6／3		健康福祉学科(介護) ４年次 訪問介護実習：６/18～６/29
6／4	⑧	6／5	⑧	6／6	⑧	6／7	⑧	6／8	⑧	6／9		6／10		健康福祉学科(介護) ２年次 介護基礎実習：６/27～６/29
6／11	⑨	6／12	⑨	6／13	⑨	6／14	⑨	6／15	⑨	6／16		6／17		
6／18	⑩	6／19	⑩	6／20	⑩	6／21	⑩	6／22	⑩	6／23		6／24		
6／25	⑪	6／26	⑪	6／27	⑪	6／28	⑪	6／29	⑪	6／30		7／1		
7／2	⑫	7／3	⑫	7／4	⑫	7／5	⑫	7／6	⑫	7／7		7／8		
7／9	⑬	7／10	⑬	7／11	⑬	7／12	⑬	7／13	⑬	7／14		7／15		
7／16	海の日⑭	7／17	⑭	7／18	⑭	7／19	⑭	7／20	⑭	7／21		7／22		
7／23	⑮	7／24	⑮	7／25	⑮	7／26	⑮	7／27	⑮	7／28		7／29		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ：８月
7／30	補講・試験日(月)	7／31	補講・試験日(火)	8／1	補講・試験日(水)	8／2	補講・試験日(木)	8／3	補講・試験日(金)	8／4		8／5		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：８月中
8／6		8／7		8／8		8／9		8／10		8／11	山の日	8／12		健康福祉学科(介護) ３年次 介護実習Ⅱ：８/20～９/28
8／13		8／14		8／15		8／16		8／17		8／18		8／19		健康福祉学科３年次 相談援助実習：８月～９月
8／20		8／21		8／22		8／23		8／24		8／25		8／26		教育学科３年次 教育実習Ⅰ(幼･小)： 幼稚園　８/20～９/７ 小学校　８/20～９/14
8／27		8／28		8／29		8／30		8／31		9／1		9／2		
9／3		9／4		9／5	学園創立記念日	9／6		9／7		9／8		9／9		心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
9／10		9／11		9／12		9／13		9／14		9／15		9／16		こども学科２年次 保育実習（保育所）：８月～９月
9／17	敬老の日	9／18		9／19		9／20	オリエンテーション	9／21	①	9／22		9／23	秋分の日	こども学科２年次 保育実習（施設）：９月～12月
9／24	振替休日①	9／25	①	9／26	①	9／27	①	9／28		9／29	大学祭	9／30		
10／1	②	10／2	②	10／3	②	10／4	②	10／5	②	10／6		10／7		
10／8	体育の日	10／9	③	10／10	③	10／11	③	10／12	③	10／13		10／14		
10／15	③	10／16	④	10／17	④	10／18	④	10／19	④	10／20		10／21		
10／22	④	10／23	⑤	10／24	⑤	10／25	⑤	10／26	⑤	10／27		10／28		
10／29	⑤	10／30	⑥	10／31	⑥	11／1	⑥	11／2	⑥	11／3	文化の日	11／4		
11／5	⑥	11／6	⑦	11／7	⑦	11／8	⑦	11／9	⑦	11／10		11／11		
11／12	⑦	11／13	⑧	11／14	⑧	11／15	⑧	11／16	⑧	11／17		11／18		
11／19	⑧	11／20	⑨	11／21	⑨	11／22	⑨	11／23	勤労感謝の日⑨	11／24		11／25		
11／26	⑨	11／27	⑩	11／28	⑩	11／29	⑩	11／30	⑩	12／1		12／2		
12／3	⑩	12／4	⑪	12／5	⑪	12／6	⑪	12／7	⑪	12／8		12／9		
12／10	⑪	12／11	⑫	12／12	⑫	12／13	⑫	12／14	⑫	12／15		12／16		
12／17	⑫	12／18	⑬	12／19	⑬	12／20	⑬	12／21	⑬	12／22		12／23	天皇誕生日	
12／24	振替休日	12／25		12／26		12／27		12／28		12／29		12／30		
12／31		1／1	元旦	1／2		1／3		1／4		1／5		1／6		
1／7	⑬	1／8	⑭	1／9	⑭	1／10	⑭	1／11	⑭	1／12		1／13		
1／14	成人の日	1／15	11/23の振替休日	1／16	⑮	1／17	⑮	1／18	⑮	1／19		1／20		
1／21	⑭	1／22	⑮	1／23	補講・試験日(水)	1／24	補講・試験日(木)	1／25	補講・試験日(金)	1／26		1／27		
1／28	⑮	1／29	補講・試験日(火)	1／30		1／31		2／1		2／2		2／3		
2／4	補講・試験日(月)	2／5		2／6		2／7		2／8		2／9		2／10		健康福祉学科(介護) ２年次 介護実習Ⅰ：２/12～３/11
2／11	建国記念の日	2／12		2／13		2／14		2／15		2／16		2／17		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
2／18		2／19		2／20		2／21		2／22		2／23		2／24		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(保育所)：２月
2／25		2／26		2／27		2／28		3／1		3／2		3／3		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(施設)：３月
3／4		3／5		3／6		3／7		3／8		3／9		3／10		
3／11		3／12		3／13		3／14		3／15		3／16		3／17		
3／18		3／19	学位記授与式	3／20		3／21	春分の日	3／22		3／23		3／24		
3／25		3／26		3／27		3／28		3／29		3／30		3／31		

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2018（平成30）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。○○発表会、○○報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

教育文化学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
基礎科目							
健康体育(実技を含む)	講義·実技	2		浅尾秀樹	教育学科(初·幼)	[教]幼·小1種_必修、保育士_必修	1
				畠山孝子	教育学科(養·音)·芸術学科·心理カウンセリング学科同時展開	[教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修	2
				近藤雄一郎			
外国語科目							
英語(中級)	講義	2		竹内典彦			3
英語(上級)	講義		2	竹内典彦			4
韓国語	講義	2		田光子			5
				千永柱			
中国語	講義	2		田恩蘋			6
ドイツ語	講義	2		菊地達夫			7
フランス語	講義		2	江口修			8
スペイン語	講義		2	田中恵子			9
教養科目							
現代生活と政治·経済	講義	2		相内眞子	一部集中講義		10
				今野聖士			
現代生活と法律	講義	2		平澤卓人			11
現代生活と福祉	講義	2		川端里香		[心]福祉心理士_選必	12
現代生活と芸術	講義	2		鈴木しおり			13
				山崎正明			
現代生活と教育	講義	2		杉浦勉			14
現代生活と心と体	講義		2	杉岡品子			15
現代生活と物理	講義		2	松澤衛			16
				小田研			
現代生活と宇宙	講義	2		横山光			17
現代生活と環境科学	講義		2	佐々木浩子			18
北海道の文化	講義		2	小田嶋政子		[健]介護福祉士_選必	19
日本国憲法	講義		2	河森計二	教育学科·心理カウンセリング学科同時展開	[教]幼·小1種_必修、養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修、保育士_選必	20
				佐藤静也	芸術学科·健康福祉学科同時展開	[芸]中·高1種(美術)_必修 [健]介護福祉士_選必	21
情報社会及び情報倫理	講義	2		小杉直美			22
障害者スポーツ·パラリンピック概論	講義·演習	2		伊藤政勝	臨時開講科目		23
				荒井秀樹			

《免許·資格欄標記》 [教]:教育学科、[芸]:芸術学科、[心]:心理カウンセリング学科、[ス]:スポーツ教育学科、[健]:健康福祉学科

教育文化学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	年次·単位数 2年次 後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
就業力養成科目							
キャリアデザインⅢ	演習	②		阿部　豊 石塚誠之 澤　聡一 杉岡品子 冨田玲子 永野光一 橋本菊次郎 水野信太郎 山崎正明 小川美夏 永井秀岳			24
就業力特別講義Ⅰ	講義		①	松澤　衛 佐藤克之 杉浦　勉 竹内雅明 水野信太郎 菊池隆夫 佐々木雅史 西村光弘			25
インターンシップ	実習	← 2 →		キャリア支援センター長	集中講義		26

教育文化学部　教育学科　発展科目

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	年次·単位数 2年次 後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
心身・健康に関する科目群							
心理統計法	講義	2		佐藤至英	心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必 [ス]認定トレーニング指導者_必修	27
育児支援の心理学	講義	2		風間雅江	心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	28
犯罪心理学	講義		2	飯田昭人	心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	29
社会と生活に関する科目群							
生活の中の介護福祉	講義	2		福島義典	健康福祉学科専門科目	[心]福祉心理士_選必	30
文化と芸術に関する科目群							
空間デザイン史	講義		2	水野信太郎	芸術学科専門科目	[芸]1·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	31
美術史	講義		2	柴　勤	芸術学科専門科目	[芸]中·高1種(美術)_必修	32

教育文化学部　芸術学科　発展科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
心身・健康に関する科目群							
心理統計法	講義	2		佐藤至英	心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必 [ス]認定トレーニング指導者_必修	27
育児支援の心理学	講義	2		風間雅江	心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	28
犯罪心理学	講義		2	飯田昭人	心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	29
社会と生活に関する科目群							
生活の中の介護福祉	講義	2		福島義典	健康福祉学科専門科目	[心]福祉心理士_選必	30
文化と芸術に関する科目群							
音楽鑑賞法	講義	2		千葉圭説	教育学科(音)専門科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	33
音楽史	講義		2	鈴木しおり 千葉圭説	教育学科(音)専門科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	34

教育文化学部　心理カウンセリング学科　発展科目

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
社会と生活に関する科目群							
生活の中の介護福祉	講義	2		福島義典	健康福祉学科専門科目	[心]福祉心理士_選必	30
文化と芸術に関する科目群							
空間デザイン史	講義		2	水野信太郎	芸術学科専門科目	[芸]1·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	31
美術史	講義		2	柴勤	芸術学科専門科目	[芸]中·高1種(美術)_必修	32
音楽鑑賞法	講義	2		千葉圭説	教育学科(音)専門科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	33
音楽史	講義		2	鈴木しおり 千葉圭説	教育学科(音)専門科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	34

教育文化学部　学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
生涯学習論	講義	2		佐々木邦子		[教]社会教育主事_必修、保育士_選必 [芸]社会教育主事_必修、学芸員_必修 [心]社会教育主事_必修	35
生涯学習展開論	講義		2	阿部豊		[教][芸][心]社会教育主事_必修	36
カウンセリング心理学	講義		2	小坂守孝		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	37

教育学科　学科専門科目　コース共通科目

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
介護等体験	実習	←1→		木下教子 杉浦勉	初等教育·幼児教育コース 集中講義		39
学校ボランティア活動Ⅰ	実習	←1→		二宮孝行	初等教育·幼児教育·音楽コース 芸術学科同時展開 集中講義		40
				今野洋子 佐藤朱美	養護教諭コース 集中講義		41
知的障害者の心理·生理·病理	講義	2		佐藤至英 石塚誠之	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	42
肢体不自由者の心理·生理·病理	講義	2		阿部達彦 笹木美幸	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	43
病弱者の心理·生理·病理	講義		2	任龍在	スポーツ教育学科同時展開 集中講義	[教][ス]特支1種_必修	44
発達障害者等の心理·生理·病理	講義		①	石塚誠之	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	45
発達障害者等の教育課程及び指導法	講義		①	瀧澤聡	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	46

教育学科　学科専門科目　初等教育コース・幼児教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
生活科概論	講義	②		亀山比佐		[教]幼·小1種_必修	47
教育実習事前指導(幼·小)	講義		1	中川洋一 二宮孝行 山崎正明 伏見千悦子		[教]幼·小1種_必修	48

教育学科　学科専門科目　初等教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
国語科指導法Ⅰ	講義	②		二宮孝行		[教]小1種_必修	49
国語科指導法Ⅱ	講義		2	二宮孝行		[教]小1種_選択	50
社会科指導法Ⅰ	講義		2	中川洋一	選択必修科目	[教]小1種_必修	51
算数科指導法Ⅱ	講義		2	三浦公裕		[教]小1種_選択	52
理科指導法Ⅰ	講義	2		横山光	選択必修科目	[教]小1種_必修	53
生活科指導法Ⅰ	講義	②		西出勉		[教]小1種_必修	54
生活科指導法Ⅱ	講義		2	西出勉		[教]小1種_選択	55
音楽科指導法Ⅰ	講義	②		澤田悦子		[教]小1種_必修	56
音楽科指導法Ⅱ	講義		2	澤田悦子		[教]小1種_選択	57
図画工作科指導法Ⅰ	講義		②	山崎正明		[教]小1種_必修	58
家庭科指導法Ⅰ	講義		2	木下教子	選択必修科目	[教]小1種_必修	59
体育科指導法Ⅰ	講義		②	浅尾秀樹		[教]小1種_必修	60
道徳教育論(小)	講義		②	二宮孝行		[教]小1種_必修	61
特別活動論(小)	講義	②		諏江康夫		[教]小1種_必修	62
生徒指導論(進路指導を含む)(小)	講義		②	佐々木邦子		[教]小1種_必修	63
小学校英語	講義		②	菅井留美子		[教]小1種_選択	64

教育学科　学科専門科目　幼児教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
保育内容指導論	演習	②		工藤ゆかり		[教]幼1種_必修、保育士_必修	65
保育内容(健康)	演習	②		長津詩織		[教]幼1種_必修、保育士_必修	66
保育内容(人間関係)	演習	②		工藤ゆかり		[教]幼1種_必修、保育士_必修	67
保育内容(環境)	演習	②		山崎正明	一部集中講義	[教]幼1種_必修、保育士_必修	68
保育内容(言葉)	演習	②		伏見千悦子 熊田広樹	一部集中講義	[教]幼1種_必修、保育士_必修	69
保育内容(表現)	演習	②		伏見千悦子 山崎正明		[教]幼1種_必修、保育士_必修	70
こどもの表現あそび	演習		2	伏見千悦子		[教]保育士_必修	71
こどもの体育あそび	演習		2	長津詩織		[教]保育士_必修	72
こどもの言葉あそび	演習		2	伏見千悦子		[教]保育士_必修	73
児童家庭福祉	講義		2	武田克江		[教]保育士_必修	74
相談援助	演習		2	三浦公裕		[教]保育士_必修	75
社会的養護	講義	2		鈴木幸雄		[教]保育士_必修	76
こどもの保健Ⅰa	講義	2		佐藤恵美子		[教]保育士_必修	77
こどもの保健Ⅰb	講義		2	佐藤恵美子		[教]保育士_必修	78

教育学科　学科専門科目　養護教諭・音楽コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	年次·単位数 2年次 後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
教育経営学	講義	②		佐々木 邦子	芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修	79
道徳教育論	講義	②		杉浦 勉	芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修、中1種(音楽)_必修、高1種(音楽)_選択 [芸]中1種(美術)_必修、高1種(美術)_選択	80
特別活動論	講義	②		諏江 康夫	芸術学科·スポーツ教育学科同時展開	[教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修 [ス]中·高1種(保健体育)_必修	81

教育学科　学科専門科目　養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	年次·単位数 2年次 後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
衛生学	講義	②		佐々木 浩子		[教]養教1種_必修	82
衛生学実験	実験	2		佐々木 浩子	一部集中講義		83
公衆衛生学	講義		②	佐々木 浩子		[教]養教1種_必修	84
学校保健	講義	②		佐藤 朱美		[教]養教1種_必修	85
学校保健管理論	講義		2	佐藤 朱美	選択必修科目		86
学校保健執務演習	演習		1	今野 洋子 佐藤 朱美			87
養護実践学演習	演習		3	今野 洋子 佐藤 朱美	選択必修科目 集中講義	[教]養教1種_選択	88
健康相談活動演習	演習	2		今野 洋子 佐藤 朱美	選択必修科目	[教]養教1種_必修	89
薬理概論	講義	②		中山 章		[教]養教1種_必修	90
看護技術演習(救急処置を含む)Ⅱ	演習	2		丸岡 里香 畑江 郁子	選択必修科目	[教]養教1種_選択	91
救急処置活動論	講義	2		丸岡 里香			92
看護学臨床実習	実習	4		丸岡 里香 畑江 郁子	選択必修科目	[教]養教1種_必修	93
養護教諭教育演習Ⅰ	演習	2		今野 洋子 佐藤 朱美 畑江 郁子 丸岡 里香 大村 道子	選択必修科目 集中講義		94
養護教諭教育演習Ⅱ	演習		2	今野 洋子 佐藤 朱美 畑江 郁子 丸岡 里香 大村 道子	集中講義		95
保健指導演習	演習		2	今野 洋子 佐藤 朱美	選択必修科目 集中講義		96
健康診断演習	演習		2	今野 洋子 佐藤 朱美	集中講義		97
生徒指導論	講義		②	佐々木 邦子		[教]養教1種_必修	98
養護実習事前指導	講義		1	今野 洋子 佐藤 朱美		[教]養教1種_必修	99

教育学科　学科専門科目　音楽コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	年次·単位数 2年次 後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
音楽鑑賞法	講義	2		千葉圭説	選択必修科目 発展科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	100
音楽史	講義		②	鈴木しおり 千葉圭説	発展科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	101
和声学	講義	2		菅原克弘			102
作曲法	講義		2	菅原克弘	選択必修科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	103
合唱Ⅰ	演習	①		石田久大		[教]中·高1種(音楽)_必修	104
合唱Ⅱ	演習		1	石田久大	選択必修科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	105
合奏Ⅰ	演習	①		今井敏勝 千葉圭説		[教]中·高1種(音楽)_必修	106
合奏Ⅱ	演習		1	今井敏勝 千葉圭説	選択必修科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	107
声楽表現演習Ⅰ	演習	2		石田久大	選択必修科目 一部集中講義	[教]中·高1種(音楽)_選択	108
声楽表現演習Ⅱ	演習		2	石田久大	選択必修科目 一部集中講義	[教]中·高1種(音楽)_選択	109
器楽表現演習Ⅰ	演習	2		今井敏勝 千葉圭説	選択必修科目 一部集中講義	[教]中·高1種(音楽)_選択	110
器楽表現演習Ⅱ	演習		2	今井敏勝 千葉圭説	選択必修科目 一部集中講義	[教]中·高1種(音楽)_選択	111
ピアノ表現演習Ⅰ	演習	2		鈴木しおり	選択必修科目 一部集中講義	[教]中·高1種(音楽)_選択	112
ピアノ表現演習Ⅱ	演習		2	鈴木しおり	選択必修科目 一部集中講義	[教]中·高1種(音楽)_選択	113
音楽教育フィールド演習Ⅰ	演習	②		今井敏勝 鈴木しおり 千葉圭説 河口しほり	集中講義		114
音楽教育フィールド演習Ⅱ	演習		2	今井敏勝 鈴木しおり 千葉圭説 河口しほり	選択必修科目 集中講義		115
音楽科教育法Ⅰ	講義	②		今井敏勝		[教]中·高1種(音楽)_必修	116
音楽科教育法Ⅱ	講義		2	今井敏勝		[教]中·高1種(音楽)_必修	117
生徒指導論(進路指導を含む)	講義		②	佐々木邦子	芸術学科同時展開	[教]中·高1種(音楽)_必修 [芸]中·高1種(美術)_必修	118

芸術学科　学科専門科目　基本科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
芸術理解							
美術史	講義		2	柴勤	選択必修科目 発展科目	[芸]中·高1種(美術)_必修	119
色彩計画	演習	2		小屋亮子		[芸]中·高1種(美術)_選択、インテリアプランナー_選必	120
空間デザイン史	講義		2	水野信太郎	発展科目	[芸]1·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	121
表現技術							
テクニカルスケッチ	演習	2		小室晴陽 林亨 勝田信吾	選択必修科目	[芸]1·2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必	122
建築計画	講義		2	小室晴陽 東村有三		[芸]1·2級建築士_選必	123
情報技術							
ウェブデザインI	演習	2		浅井貴也	選択必修科目		124
CAD設計	演習	2		小室晴陽		[芸]1·2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必	125

芸術学科　学科専門科目　専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
アート教育・文化							
博物館経営論	講義	2		柴勤		[芸]学芸員_必修	126
博物館資料論	講義		2	柴勤		[芸]学芸員_必修	127
デザイン概論	講義	2		勝田信吾	選択必修科目		128
美術表現演習	演習		2	永野光一 林亨 森井綾	選択必修科目		129
映像論	講義	2		松澤衛	選択必修科目		130
ファッションコーディネート	演習	2		冨田玲子			131
戯曲研究	講義	2		イナダヒロシ			132
生活材料学	講義		2	新貝孝之		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	133
平面表現							
絵画Ⅲ	演習	2		井桁雅臣		[芸]中·高1種(美術)_必修	134
グラフィックデザインⅢ	演習	2		田恩蘋			135
デジタルイメージⅢ	演習	2		浅井貴也			136
デジタルデザインⅢ	演習		2	川部大輔			137
デジタルビデオ編集	演習	2		森井綾 伊藤隆介			138
ウェブデザインⅡ	演習		2	浅井貴也			139
インテリア設計Ⅰ	演習	2		千里政文	選択必修科目	[芸]1·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	140
立体表現							
彫刻Ⅲ	演習	2		藤本和彦		[芸]中·高1種(美術)_必修	141
陶芸Ⅰ	演習		2	對馬賢二	選択必修科目		142
服飾造形実習	実習		2	冨田玲子	選択必修科目		143
建築空間のしくみ	講義		2	千里政文		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	144
空間模型演習	演習		2	小室晴陽	選択必修科目	[芸]1·2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必	145
3Dモーショングラフィックス	演習		2	松澤衛			146
3Dグラフィックス Ⅰ	演習		2	松澤衛			147
空間・身体表現							
住宅設計演習	演習		2	小室晴陽		[芸]1·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	148
発想・企画・プレゼンテーション							
プレゼンテーションデザイン	演習	2		浅井貴也			149
舞台制作論	講義		2	イナダヒロシ	選択必修科目		150

教育文化学部　芸術学科　教職に関する科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	2年次 後	教員名	展開他	免許・資格	ページ
教育経営学	講義	②		佐々木　邦子	教育学科(養・音)同時展開	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修	151
美術科教育法Ⅰ	講義	②		花輪　大輔		[芸]中・高1種(美術)_必修	152
美術科教育法Ⅱ	講義		②	花輪　大輔		[芸]中・高1種(美術)_必修	153
道徳教育論	講義	②		杉浦　勉	教育学科(養・音)同時展開	[芸]中1種(美術)_必修、高1種(美術)_選択 [教]養教1種_必修、中1種(音楽)_必修、高1種(音楽)_選択	154
特別活動論	講義	②		諏江　康夫	教育学科(養・音)・スポーツ教育学科同時展開	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修 [ス]中・高1種(保健体育)_必修	155
生徒指導論(進路指導を含む)	講義		②	佐々木　邦子	教育学科(音)同時展開	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]中・高1種(音楽)_必修	156

教育文化学部　芸術学科　教科又は教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	2年次 後	教員名	展開他	免許・資格	ページ
学校ボランティア活動Ⅰ	実習	←1→		二宮　孝行	教育学科(初・幼・音)同時展開 集中講義		157
介護等体験	実習	←1→		木下　教子 杉浦　勉	教育学科(養・音)同時展開 集中講義		158

心理カウンセリング学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	年次·単位数 2年次 後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
労働法令	講義	2		迫田宏治			159
育児支援の心理学	講義	2		風間雅江	発展科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	160
高齢者心理学	講義	2		田辺毅彦	健康福祉学科同時展開	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必 [健]介護福祉士_必修	161
児童心理学	講義	2		新川貴紀		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	162
青年心理学	講義	2		澤聡一		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	163
臨床心理学	講義	②		飯田昭人		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	164
障害者心理学	講義		2	風間雅江		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	165
心身医学	講義		2	大宮司信		[心]認定心理士_選必	166
心理統計法	講義	②		佐藤至英	発展科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必 [ス]認定トレーニング指導者_必修	167
心理アセスメント法	講義	2		小坂守孝		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	168
心理学基礎演習Ⅰ	演習	①		飯田昭人 入江智也 風間雅江 澤聡一			169
心理学基礎演習Ⅱ	演習		①	飯田昭人 入江智也 風間雅江 澤聡一			170
心理学基礎実験	実験		4	風間雅江 新川貴紀 伊藤博晃		[心]認定心理士_必修、福祉心理士_選必	171
心理学研究法	講義		②	澤聡一		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	172
認知心理学	講義		2	伊藤博晃 阿部純一		[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	173
脳と心の科学	講義		2	宇野英樹		[心]認定心理士_選必	174
犯罪心理学	講義		2	飯田昭人	発展科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	175
公的扶助論	講義		2	林恭裕	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	176
障害者福祉論	講義	2		梶晴美	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必 [健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修	177
精神医学Ⅰ	講義	2		武藤福保		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	178
精神医学Ⅱ	講義		2	武藤福保		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	179

心理カウンセリング学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	展開他	免許·資格	ページ
ソーシャルワーク概説Ⅰ	講義	2		岩　本　　希	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	180
ソーシャルワーク概説Ⅱ	講義		2	岩　本　　希	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	181
精神保健福祉援助技術総論	講義	2		寺　田　　香		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	182
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	講義		2	寺　田　　香		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	183
精神保健福祉学Ⅰ	講義	2		今　井　博　康		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	184
精神保健福祉学Ⅱ	講義		2	橋　本　菊次郎		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	185

全学共通科目

科目名	健康体育(実技を含む)	授業形態	講義・実技	単位数	2
教員名	浅尾　秀樹				
授業の目的	ねらい	この授業は生涯健康、生涯スポーツを実践するための基本的事項を学びます。そのために、基礎的な理論学習と実際の運動実技学習として学びます。			
	到達目標	(1)生涯健康の基礎的内容の理解 (2)生涯スポーツの基礎的内容の理解 (3)協力して、安全に運動するための基礎理解と実践			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】体育理論学習のめあて 【計画内容】生涯健康と生涯スポーツについて学ぶ。 【準備学習の内容】事前にシラバスの内容についてよく読んでおく。	A	第13回	【テーマ】スポーツ実技　5 【計画内容】シットバレーボールの基本技術とゲーム　2 【準備学習の内容】トレーニング自習課題12	E
	第2回	【テーマ】何のためにトレーニングするのか 【計画内容】健康な生活とトレーニングの目的について学ぶ。 【準備学習の内容】トレーニング自習課題1	A	第14回	【テーマ】スポーツ実技　6 【計画内容】バドミントンの基本技術 【準備学習の内容】トレーニング自習課題13	E
	第3回	【テーマ】どのようなトレーニングの方法があるのか1 【計画内容】トレーニングの効果について学ぶ1。 【準備学習の内容】トレーニング自習課題2	A	第15回	【テーマ】スポーツ実技　7 【計画内容】バドミントンの基本技術とゲーム　1 【準備学習の内容】トレーニング自習課題14	E
	第4回	【テーマ】どのようなトレーニングの方法があるのか2 【計画内容】トレーニングの効果について学ぶ2。 【準備学習の内容】トレーニング自習課題3	A	第16回	【テーマ】スポーツ実技　8 【計画内容】バトミントンの基本技術とゲーム　2 【準備学習の内容】トレーニング自習課題15	E
	第5回	【テーマ】トレーニングすれば必ず効果が出るとは限らない1 【計画内容】トレーニングの方法について学ぶ1。 【準備学習の内容】トレーニング自習課題4	A	第17回	【テーマ】スポーツ実技　9 【計画内容】スポレックの基本技術とゲーム　1 【準備学習の内容】トレーニング自習課題16	E
	第6回	【テーマ】トレーニングすれば必ず効果が出るとは限らない2 【計画内容】トレーニングの方法について学ぶ2。 【準備学習の内容】トレーニング自習課題5	A	第18回	【テーマ】スポーツ実技　10 【計画内容】スポレックの基本技術とゲーム　2 【準備学習の内容】トレーニング自習課題17	E
	第7回	【テーマ】スポーツで体をこわすこともある 【計画内容】スポーツ障害と予防について学ぶ。 【準備学習の内容】トレーニング自習課題6	A	第19回	【テーマ】スポーツ実技　11 【計画内容】G ボールダンスの作品作りと発表 【準備学習の内容】トレーニング自習課題18	E、H
	第8回	【テーマ】理論学習のまとめと実技学習への導入 【計画内容】理論学習のまとめと生涯スポーツの楽しみ方 【準備学習の内容】トレーニング自習課題7	A、L	第20回	【テーマ】スポーツ実技　12 【計画内容】ダンス作品作り 【準備学習の内容】トレーニング自習課題19	E、H
	第9回	【テーマ】スポーツ実技　1 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲーム　1 【準備学習の内容】トレーニング自習課題8	E	第21回	【テーマ】スポーツ実技　13 【計画内容】ダンス作品作りと発表審査会 【準備学習の内容】トレーニング自習課題20	E、H
	第10回	【テーマ】スポーツ実技　2 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲーム　2 【準備学習の内容】トレーニング自習課題9	E	第22回	【テーマ】スポーツ実技　14 【計画内容】スポーツテストと結果の評価 【準備学習の内容】トレーニング自習課題21	E
	第11回	【テーマ】スポーツ実技　3 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲーム　3 【準備学習の内容】トレーニング自習課題10	E	第23回	【テーマ】授業のまとめ 【計画内容】授業の総まとめ 【準備学習の内容】トレーニング自習課題22	A、E、H
	第12回	【テーマ】スポーツ実技　4 【計画内容】シットバレーボールの基本技術とゲーム　1 【準備学習の内容】トレーニング自習課題11	E			

テキスト	適宜プリントを使用します
参考書	適宜プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼･小1種 _ 必修、保育士 _ 必修
その他	

科目名	健康体育(実技を含む)	授業形態	講義・実技	単位数	2
教員名	畠山　孝子、近藤　雄一郎				

授業の目的

ねらい	本授業は、運動、スポーツ、健康に関する基本的な理論や実技を学習する。運動・スポーツが健康・体力の維持増進に果たす役割や意義を理解し、生涯にわたりスポーツ活動を生活の一部として取り入れることが目的である。
到達目標	(1)健康運動を実践する上での基礎理論を修得する。 (2)トレーニングやスポーツの基礎的技能を習得する。 (3)健康生活のための安全で有効な運動を考え、実施することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業概要および受講上の留意事項の説明。(畠山孝子) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおく。	A、E	第13回	【テーマ】スポーツ⑩ 【計画内容】ソフトテニスの試合運営を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておく。	E、K
第2回	【テーマ】体力テスト 【計画内容】文部科学省の体力テスト項目を中心に実施する。(畠山孝子) 【準備学習の内容】配付資料を読んでおく。実技の準備をする。	E、K	第14回	【テーマ】スポーツ⑪ 【計画内容】これまで学んだスポーツを1つ選び、ゲーム形式で実施する。(畠山孝子) 【準備学習の内容】これまで学んだスポーツのルールを確認しておく。	E、K
第3回	【テーマ】トレーニング 【計画内容】安全に運動を行うための準備やトレーニングについて学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の学習内容を復習し、自己の体力と今後の取り組みをまとめておく。	E、K	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】1時間の安全で有効な運動を処方する。(畠山孝子) 【準備学習の内容】これまで体験したスポーツの中から主運動を決めておく。	E、K
第4回	【テーマ】スポーツ① 【計画内容】ソフトバレーボールの基本技術とゲームの進め方を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、K	第16回	【テーマ】理論のガイダンス、体力の定義について 【計画内容】講義の概要を説明する。体力の定義について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。	A
第5回	【テーマ】スポーツ② 【計画内容】バレーボールの基本技術とゲームの進め方を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の学習内容を復習しておく。	E、K	第17回	【テーマ】運動不足がからだに与える影響(生活習慣病について) 【計画内容】運動の必要性、運動不足に関わる病気について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】予告したテーマに関する文献を読んでおく。	A
第6回	【テーマ】スポーツ③ 【計画内容】バドミントンの基礎技術とゲームの進め方を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】バドミントンのルール調べておく。	E、K	第18回	【テーマ】一般のトレーニングに関する原理および原則について 【計画内容】トレーニングの4つの原理、5つの原則について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】予告したテーマに関する文献を読んでおく。	A
第7回	【テーマ】スポーツ④ 【計画内容】バドミントンの試合運営を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の学習内容を復習しておく。	E、K	第19回	【テーマ】エネルギー供給機構について 【計画内容】有酸素性代謝、無酸素性代謝について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A
第8回	【テーマ】スポーツ⑤ 【計画内容】卓球の基本技術の習得とゲームの進め方を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】ルールを調べておく。	E、K	第20回	【テーマ】体力つくりの科学的基礎 【計画内容】呼吸循環器系、筋肉系、神経系について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A
第9回	【テーマ】スポーツ⑥ 【計画内容】卓球の試合運営を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の学習内容を復習しておく。	E、K	第21回	【テーマ】運動処方の内容 【計画内容】運動処方の実際(種目・強度・量・頻度)、トレーニングの基礎的な方法について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A
第10回	【テーマ】スポーツ⑦ 【計画内容】ミニテニスの基礎技術とゲームの進め方を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】テニスについて調べておく。	E、K	第22回	【テーマ】発育発達期に応じたトレーニング方法 【計画内容】成長期のからだの変化、それに対応するトレーニング方法、注意すべき点を学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A
第11回	【テーマ】スポーツ⑧ 【計画内容】ソフトテニスの基礎技術を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習しておく。	E、K	第23回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの理論のまとめ、振り返りと考え方の共有ならびに確認を行う。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】理論の授業を復習し理解を深めておく。	A
第12回	【テーマ】スポーツ⑨ 【計画内容】ソフトテニスのゲームの進め方を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の学習内容を復習しておく。	E、K			

テキスト	適宜プリントを配付します
参考書	適宜紹介します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	35%		35%		30%	
補足						

質問への対応	授業時に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修、中・高1種(音楽)_ 必修 [芸]中・高1種(美術)_ 必修
その他	

科目名	英語(中級)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	竹内　典彦				
授業の目的	ねらい	社会に出て仕事や研究のツールとして使うに足る、英語力を養うために、英語を多角的に学び、教養のある「英語」に向上させていく。「読む」「聴く」の受信面と「書く」「話す」の発信面の4つの技能を大学レベルまで高める。アカデミックライティング(エッセイの構成の基礎の理解)とオーラル・プレゼンテーションを中心に学習する。適切な文を書き、ライティングの過程を踏まえて、論理的に構成されたパラグラフを書くことを学ぶ。習熟度別クラス展開を行う。				
	到達目標	(1)英語の4技能を教養的レベルで操れる。 (2)英語でプレゼンテーションができる。 (3)論理的に構成されたパラグラフを英語で書ける。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・CHAPTER1・サマリー・ディベート 【計画内容】授業のガイダンスでは授業の進め方と規則と評価について説明する。特に授業中のディベートに積極的に参加すること。毎回授業レポート(各 CHAPTER のサマリーと重要語のノート)を提出すること。その後 CHAPTER1の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER1を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第2回	【テーマ】CHAPTER2・サマリー・ディベート・課題プレゼンについて 【計画内容】CHAPTER2の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。課題プレゼンについては、15点で評価する。内容5点、英語5点、発表5点。7回目以降に発表してもらう。プレゼンの資料作成のために、英語の記事または文献を3つ以上読むこと。パワーポイントで作成し、英語の文献は参考文献として最後に提示すること。 【準備学習の内容】CHAPTER2を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第3回	【テーマ】CHAPTER3・サマリー・ディベート 【計画内容】CHAPTER3の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER3を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第4回	【テーマ】CHAPTER4・サマリー・ディベート 【計画内容】CHAPTER4の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER4を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第5回	【テーマ】CHAPTER5・サマリー・ディベート 【計画内容】CHAPTER5の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER5を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第6回	【テーマ】CHAPTER6・サマリー・ディベート 【計画内容】CHAPTER6の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER6を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第7回	【テーマ】課題プレゼン発表(テーマは自由)・課題レポートについて 【計画内容】課題プレゼン発表(テーマは自由。内容5点、英語5点、発表5点)の1回目。課題レポートについてガイダンス。15点満点で、内容5点、英語5点、体裁5点。3つ以上の英文の記事や文献を読んだうえで作成すること。参考文献としてその記事や文献を最後に提示すること。 【準備学習の内容】課題プレゼンのための準備をしてくること。	F、H、I
	第8回	【テーマ】CHAPTER7・サマリー・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】CHAPTER7の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER7を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第9回	【テーマ】CHAPTER8・サマリー・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】CHAPTER8の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER8を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第10回	【テーマ】CHAPTER9・サマリー・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】CHAPTER9の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER9を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第11回	【テーマ】CHAPTER10・サマリー・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】CHAPTER10の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER10を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第12回	【テーマ】CHAPTER11・サマリー・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】CHAPTER11の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER11を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第13回	【テーマ】CHAPTER12・サマリー・ディベート 【計画内容】CHAPTER12の音読とサマリー作成をする。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】CHAPTER12を事前に読んでおくこと。Vocabulary のページを予習してくること。	A、B、H、I、K
	第14回	【テーマ】学術論文を読む1回目 【計画内容】具体的な英文の学術論文をよみ、その構成と内容について解説する。(1回目) 【準備学習の内容】事前に渡した論文を読んでくること。	A、B、I、J
	第15回	【テーマ】レポート課題提出・学術論文を読む2回目 【計画内容】以前に指示しておいた、自由テーマに関する課題レポート(内容5点、英語5点、体裁5点)を提出する。学術論文を読み、その構成と内容について解説する(2回目)。 【準備学習の内容】課題レポート提出の準備をすること。	A、B、G、I、J

テキスト	山科美和子他、2015年、『Reading Base-Sills for Academic Success』、センゲージラーニング株式会社、9781305584341
参考書	初回講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			プレゼン・レポート		予習と発言や発表などの授業への貢献	

質問への対応	非常勤講師のため、メールで問い合わせをお願いします。E-Mail:nt55@do-johodai.ac.jp
資格	
その他	英単語を調べたりするする辞書または辞書機能のある端末を持参してください。

科目名	英語(上級)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	竹内　典彦				
授業の目的	ねらい	各自の専門分野に関連させたかたちで、より高度な英語運用能力が身につくように勉強する。論文作成を行うことを目的にして、英語文献を読みこなし、国際会議等で発表や議論をするための基礎能力開発を行う。学術論文の構成を理解した上での読み方、効果的なプレゼンテーションの仕方、ディベートの訓練等を行う。習熟度別クラス展開を行う。			
	到達目標	(1)自分の関心のある分野の英語の文献が読める。 (2)会議のような場で、英語で発表や議論ができる。 (3)英語の文章を読み、英語でレポートが書ける。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス・Unit1・自分の意見・ディベート 【計画内容】授業のガイダンスでは授業の進め方と規則と評価について説明する。特に授業中のディベートに積極的に参加すること。毎回授業レポート(各 Unit の内容についての自分の意見と重要語のノート)を提出すること。その後、Unit1の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit1を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第2回	【テーマ】Unit2・自分の意見・ディベート・課題プレゼンについて 【計画内容】Unit2の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。課題プレゼンについては、15点で評価する。内容5点、英語5点、発表5点。7回目以降に発表してもらう。プレゼンの資料作成のために、英語の記事または文献を3つ以上読むこと。パワーポイントで作成し、英語の文献は参考文献として最後に提示すること。 【準備学習の内容】Unit2を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第3回	【テーマ】Unit3・自分の意見・ディベート 【計画内容】Unit3の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit3を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第4回	【テーマ】Unit4・自分の意見・ディベート 【計画内容】Unit4の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit4を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第5回	【テーマ】Unit6・自分の意見・ディベート 【計画内容】Unit6の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit6を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第6回	【テーマ】Unit7・自分の意見・ディベート 【計画内容】Unit7の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit7を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第7回	【テーマ】課題プレゼン発表(テーマは自由)・課題レポートについて 【計画内容】課題プレゼン発表(テーマは自由。内容5点、英語5点、発表5点)の1回目。課題レポートについてガイダンス。内容5点、英語5点、体裁5点の15点満点。3つ以上の英文の記事や文献を読んだうえで作成すること。参考文献としてその記事や文献を最後に提示すること。 【準備学習の内容】課題プレゼンの準備をしてくること。	F、H、I
	第8回	【テーマ】Unit8・自分の意見・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】Unit8の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit8を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第9回	【テーマ】Unit9・自分の意見・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】Unit9の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit9を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第10回	【テーマ】Unit10・自分の意見・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】Unit10の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit10を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第11回	【テーマ】Unit11・自分の意見・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】Unit11の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit11を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第12回	【テーマ】Unit12・自分の意見・ディベート・課題プレゼン発表(テーマは自由) 【計画内容】Unit12の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit12を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第13回	【テーマ】Unit14・自分の意見・ディベート 【計画内容】Unit14の音読と自分の意見を作成する。最後にペアやグループで、テーマについてディベートをする。 【準備学習の内容】Unit14を事前に読んでおくこと。問題 C の Vocabulary and Expression Meanings を予習すること。	A、B、H、I、K
	第14回	【テーマ】学術論文を読む1回目 【計画内容】具体的な英文の学術論文を読み、その構成と内容について解説する(1回目)。 【準備学習の内容】事前に渡した論文を読んでくること。	A、B、I、J
	第15回	【テーマ】レポート課題提出・学術論文を読む2回目 【計画内容】以前に指示しておいた、自由テーマに関する課題レポートを提出する。学術論文を読み、その構成と内容について解説する(2回目)。 【準備学習の内容】課題レポート提出の準備をすること。	A、B、G、I、J

テキスト	Jefferey Miller 他、2013年、『Iconic America』、成美堂、9784791912858
参考書	初回講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			プレゼン・レポート		予習と発言や発表などの授業への貢献	

質問への対応	非常勤講師のため、メールで問い合わせをお願いします。E-Mail:nt55@do-johodai.ac.jp
資格	
その他	英単語を調べたりする辞書または辞書機能のある端末を持参してください。

科目名	韓国語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田　光子、千　永住				
授業の目的	ねらい	韓国語は、日本語とほぼ同じ語順で、日本人にとって最も習得しやすい言語と言えます。初めは文字と発音を習熟し、それと同時に、簡単なあいさつや会話文など実用性に重点をおきます。また視聴覚教材を通して、韓国の文化や風習に触れながら、韓国語に慣れ親しみ学んでいきます。			
	到達目標	(1)韓国語の文字と発音を習得する。 (2)韓国語であいさつや自己紹介ができる。 (3)韓国語で名前や自己紹介文が書ける。 (4)韓国語で簡単な会話ができる。 (5)韓国の文化･風習などについて理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーションと自己紹介 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義展開、成績評価方法、参考文献などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】文字(ハングル)の成立 【計画内容】韓国および文字の成り立ちについて学ぶ。 【準備学習の内容】教科書を準備して読んでおく。			A
	第3回	【テーマ】基本母音 【計画内容】母音の発音と文字について学ぶ。 【準備学習の内容】基本母音について教科書を読んでおく。			A
	第4回	【テーマ】基本子音と教室内用語 【計画内容】子音の発音と文字について学び、教室内用語を覚える。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、基本子音について教科書を読んでおく。			A
	第5回	【テーマ】発音･単語の確認と挨拶 【計画内容】発音を完全マスターして、単語や挨拶を覚える。 【準備学習の内容】基本母音と子音の発音と文字を完全に覚えるようにする。			A
	第6回	【テーマ】激音と体の部位について 【計画内容】激音の発音と文字について学び、体の部位について知る。 【準備学習の内容】単語やあいさつを復習する。			A
	第7回	【テーマ】濃音 【計画内容】濃音の発音と文字について学ぶ。 【準備学習の内容】激音の発音と文字を完全習得する。			A
	第8回	【テーマ】複合母音とハングル表記　「韓国語で名前を書こう」 【計画内容】複合母音の発音と文字について学び、韓国語で名前を書いてみる。 【準備学習の内容】濃音の発音と文字を完全習得する。自己紹介文を書いてみる。			A
	第9回	【テーマ】買い物会話と短文作り　「～をください」 【計画内容】買い物会話の短文を作る。ハングル表記の文を読んでみる。 【準備学習の内容】自己紹介文の提出とハングル表記を読むことで文字に慣れるようにする。複合母音を復習しておく。			A、B、N
	第10回	【テーマ】終声と漢数詞　「これいくらですか」 【計画内容】終声の発音と文字について学び、漢数詞を覚えて買い物のロールプレイを行う。 【準備学習の内容】既習文字と発音を必ず復習し、習得する。			A、B、N
	第11回	【テーマ】連音と K-POP　「韓国の歌を歌ってみよう」 【計画内容】連音について学ぶ。K-POP(韓国の歌)で聞き取りと読み方を練習する。 【準備学習の内容】終声と漢数詞を復習しておく。			A、B
	第12回	【テーマ】平音の濃音化･鼻音化･流音化　「韓国語は読めるかな？」 【計画内容】平音の濃音化、鼻音化、流音化について学ぶ。 【準備学習の内容】終声･漢数詞･連音の韓国語を読めるようにする。			A
	第13回	【テーマ】韓国文化の理解(韓国映画など) 【計画内容】韓国映画で文化や風習について理解する。単語の聞き取り練習。感想文を書く。 【準備学習の内容】日韓の文化の違いなど、感想文を提出する。			A、B
	第14回	【テーマ】「あります / います、ありません / いません、します」の活用法 【計画内容】存在詞と動詞「する」の活用を学ぶ。 【準備学習の内容】既習した全ての文字や発音を復習し、スムーズに読み書きができるようにしてくる。			A
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】文字の成立、発音、単語、文法事項、挨拶などについて振り返り、確認する。 【準備学習の内容】既習の単語や挨拶、自己紹介を復習し、読み、書き、話せるようにする。			A、L
テキスト	木内明、2013年、『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』、国書刊行会、4336057501				
参考書	2002年、『朝鮮語辞典』、小学館、4095457011				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		10%		10%	20%
	補足			レポートなど			

質問への対応	講義内において随時受け付けます。E-mail:chun@hokusho-u.ac.jp（田光子 :641研究室） 講義前後に対応します。（非常勤講師 : 千永柱）
資格	
その他	遅刻･欠席はしないこと。私語は慎み授業態度を重視する。恥ずかしがらずに発音し、積極的に参加してくれることを望みます。

科目名	中国語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田　恩蘋				
授業の目的	ねらい	この科目では、中国語の基礎となる発音から始め、挨拶や日常会話などの基礎を学びます。また、語学学習を通して中国の文化や流行を紹介し、中華圏の文化理解を深めます。			
	到達目標	(1)中国語の発音、ピンインや漢字の表記、基礎文法が理解できる。 (2)中国語の基本的な挨拶、自己紹介等のよく使われる会話表現を実践できる。 (3)中華圏の文化について理解できる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の授業展開や成績評価方法、教科書や注意事項について説明します。中国語の声調と発音について紹介します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。授業で使用する教科書を履修希望者は購入すること。	A
	第2回	【テーマ】発音基礎(1)基本的な挨拶 【計画内容】母音(単母音、二重母音、三重母音)、声調変化とピンイン表記について解説し、中国語の「おはよう」「こんにちは」などの日常生活で頻繁に使用する挨拶語を学びます。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、発音、単語を復習すること。	A、H、K、N
	第3回	【テーマ】発音基礎(2)基本的な挨拶 【計画内容】子音(「唇音」「舌尖音」「舌根音」「舌面音」「そり舌音」「舌歯音」)、声調変化とピンイン表記について解説し、日常生活で頻繁に使用する挨拶語を学びます。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、発音、単語を復習すること。	A、H、K、N
	第4回	【テーマ】基礎会話(自己紹介) 【計画内容】中国語を使った自己紹介を学びます。中国語の「自分の名前、国籍の言い方」を学びます、疑問文を使った簡単な日常会話文を作成し練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を使ってお互いに自己紹介ができるようにしておくこと。	A、H、K、N
	第5回	【テーマ】基礎会話(コンビニ) 【計画内容】疑問文を使った簡単な日常会話をコンビニでの買い物を例に練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。	A、H、K、N
	第6回	【テーマ】基礎会話(食事) 【計画内容】中国語の食事に関する会話を学生食堂やレストランを例に練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。	A、H、K、N
	第7回	【テーマ】基礎会話(時間の表現) 【計画内容】中国語の年月、曜日の言い方を学びます。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。	A、H、K、N
	第8回	【テーマ】これまでのおさらい 【計画内容】これまで学んだ発音、文法、挨拶用語などを確認するための発表を行います。 【準備学習の内容】ここまでに学んだ発音、文法、単語や会話を復習しておくこと。	F、K、L、M
	第9回	【テーマ】基礎文法(肯定形、否定形、疑問形) 【計画内容】中国語の肯定と否定、何、なぜ、どこ、どうしてなどの疑問形を使った文法を学び練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第10回	【テーマ】基礎会話応用(1) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、休日の過ごし方をテーマに会話練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第11回	【テーマ】基礎会話応用(2) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、電話での会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第12回	【テーマ】基礎会話応用(3) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、アルバイト先での接客時の会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第13回	【テーマ】基礎会話応用(4) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、買い物時の会話を練習します。 【準備学習の内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第14回	【テーマ】これまでのおさらい 【計画内容】基礎会話応用で学んだ言い回し、単語、文法などを確認するための復習をします。 【準備学習の内容】ここまでに学んだ発音、文法、単語や会話を復習しておくこと。	F、K、L、N
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学んだ文法、会話用語などを確認のために最終発表会を行い講評します。 【準備学習の内容】本科目で学んだことをまとめ、今後、興味があればさらに語学学習を継続してみてください。	A、K、L

テキスト	工藤真理子、2017年、『ここから 中国語』、白帝社、9784863982598
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	60%			20%	
	補足	毎回	口述発表(中間、期末)			平時	

質問への対応	この科目に関する質問は、授業時間前後または、 芸術学科 浅井先生までメール、直接お問い合わせください。E-Mail(浅井):takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	語学の学習は日々の積み重ねが重要になるため、遅刻や欠席は評価に大きく影響します。いちじるしく遅刻や欠席が目立つ学生は、単位認定しません。詳細については、第1回のオリエンテーション時に説明します。

科目名	ドイツ語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地　達夫				
授業の目的	ねらい	「ドイツ語」では、初歩的な文法の一部を取り上げて学習します。また、文法学習を通じて、簡単な挨拶などを取り入れ、ドイツ語圏の生活・文化について理解を深めます。			
	到達目標	(1)初歩的な文法事項の一部(動詞と名詞)について理解できる。 (2)簡単な挨拶などについて理解できる。 (3)ドイツ語圏の生活・文化について理解できる。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、指定教科書、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】シラバス内容をよく読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】アルファベットの学習 【計画内容】文字を確認しながら、アルファベットの発音について学習します。 【準備学習の内容】アルファベット・発音を確認しておくこと。	L
第3回	【テーマ】挨拶と数詞・曜日 【計画内容】基本となる簡単な挨拶と数詞・曜日を学習します。 【準備学習の内容】挨拶と数詞・曜日について確認しておくこと。	A、K、L
第4回	【テーマ】動詞の学習(現在人称変化及び人称代名詞) 【計画内容】現在人称変化及び人称代名詞を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第5回	【テーマ】動詞の学習2(現在人称変化(不規則)と語順) 【計画内容】現在人称変化(不規則)と語順を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第6回	【テーマ】動詞の学習3(現在人称変化(不規則)) 【計画内容】現在人称変化(不規則)を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第7回	【テーマ】動詞の学習4(命令形) 【計画内容】命令形を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第8回	【テーマ】名詞の学習(数・性・格支配) 【計画内容】数・性・格支配を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第9回	【テーマ】名詞の学習2(定冠詞と不定冠詞) 【計画内容】定冠詞と不定冠詞を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第10回	【テーマ】名詞の学習3(複数形) 【計画内容】複数形を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第11回	【テーマ】名詞の学習4(冠詞類) 【計画内容】冠詞類を学習します。 【準備学習の内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第12回	【テーマ】動詞学習のまとめ 【計画内容】動詞学習について確認学習します。 【準備学習の内容】理解のできていない文法事項についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第13回	【テーマ】名詞学習のまとめ 【計画内容】名詞学習について確認学習します。 【準備学習の内容】理解のできていない文法事項についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの文法事項を確認します。 【準備学習の内容】理解のできていない文法事項についてよく確認しておくこと。	K
第15回	【テーマ】まとめと応用 【計画内容】今後のドイツ語学習(独学)の方法について説明します。 【準備学習の内容】理解のできていない文法事項についてよく確認しておくこと。	A

テキスト	講義時に説明する
参考書	山本明・古賀允洋、2004年、『教室と自修のためのドイツ語入門』、同学社、4810200272 秋田静男ほか、2012年、『ドイツ語インフォメーション neu2』、朝日出版社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足			復習問題			

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	履修者の登録状況によって、講義計画・展開方法が変わる場合があります。 課題の結果等は、返却時に講評・解説を行います。

科目名	フランス語	授業形態	講義	単位数	2

教員名	江口　修	
授業の目的	ねらい	オリンピックの競技や開･閉会式を聞いていると英語と開催国の言葉以外に聞こえるアナウンス言語がありますね。そうですフランス語です。IOC 本部はスイスにあります。それもスイス･ロマンドと呼ばれるフランス語圏のローザンヌです。EU 本部もブリュッセルにありますが、ベルギーの公用語の一つはフランス語です。そしてヨーロッパの女性のかなりの人が英語よりもフランス語を上手に話します。英語以外にもうひとつは、英語よりも愛せる言葉があるかもしれない？と思っている人は教室に来てください。
	到達目標	(1)看板やメニューのフランス語を発音できるようになろう！ (2)パリのスーパーではなく広場の市場で買い物ができるようになろう！ (3)カフェやレストランで注文できるようになろう！ (4)パリの名所を正しく発音しよう、そしてその歴史を理解しよう！ (5)目指せ仏検4級チャレンジ！

授業の計画		
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業の構成を説明します。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】アルファベットではなく「アルファベ」、字母の確認と呼び方そして綴りと発音の関係 【計画内容】英語との字母の呼び方が違うことを意識的に理解する。スマホでキーボードに慣れてる人が多いことを前提にパソコンキーボードのフル活用を目指して仏語入力へのチャレンジ開始！ 【準備学習の内容】テキスト p.6-p.7をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第3回	【テーマ】あいさつができるようになろう！ 【計画内容】外国語の第一歩、人とつながるためにはなによりも「挨拶」！笑顔で「ボンジュール！」と言えるようになろう。 【準備学習の内容】テキスト第1課をダウンロードした音源を聞きながらできれば実際に口にしてみよう。	A、B
	第4回	【テーマ】フランス語の面倒さも、食べる喜びで克服？！ 【計画内容】英語が捨てたものをフランス語はまだ持っている。それが名詞の「性」だ。発音も結構面倒くさいことを要求してくるが、なぜだ？ 【準備学習の内容】テキスト第2課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A
	第5回	【テーマ】「それ(これ、あれ)なーに？」は三つとも一つの言い方になる！ 【計画内容】子供の頃を思いだして、質問魔になってみよう。答えはとりあえずは日本語でいいけど、すぐにフランス語ではどう言うのか調べよう。即辞書を引け！ただの辞書がいっぱいころがっている。 【準備学習の内容】テキスト第3課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第6回	【テーマ】君たち文の主語が絶対に要る、って理解できる？ 【計画内容】日本語の文(とくに会話)の構文とフランス語、もちろん英語との違いを意識しよう！ 【準備学習の内容】テキスト第4課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A
	第7回	【テーマ】形容詞は名詞に「かかる」のだが、その時名詞の性と数がね、大問題や！ 【計画内容】だいたいここで「放り出す」人続出！逃さへんで！英語との違いもかなり鮮明になるかな？ それから「否定」できるようになることも大事だ、フランス語を拒否する前にフランス語から拒否されないように！ 【準備学習の内容】テキスト第5課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A
	第8回	【テーマ】ちょっと休憩、フランスの子供の歌を聞いてみよう。そして歌ってみよう！ 【計画内容】すぐに覚えられる簡単な歌をいろいろ聞いてみて。歌えるものをみつけよう。そして歌ってみよう！ 【準備学習の内容】ユーチューブなどでフランスの子供の歌を聞いておいてください。	B
	第9回	【テーマ】この世は「所有」の世界だ、みんなの「もの」ってそう多くはない。「誰の？」って大事だ！ 【計画内容】所有を表すにはどんな手段があるか？代名詞になったとたんにパニックになる人がいる。日本語では平気で言いまくっているのにも関わらず。 【準備学習の内容】テキスト第6課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A
	第10回	【テーマ】真面目に「動詞」を「どうぞ」 【計画内容】フランス語の動詞も「つまずき」の大きな原因だ。集中、集中！といっても単調な暗記作業は眠りを誘うね。どうしたら目を開け続けることができるのか、永遠の課題だ。 【準備学習の内容】テキスト第7課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第11回	【テーマ】もう一つ絶対に使えるようにならなければならない動詞がある 【計画内容】ここをクリアできれば、といつも思っているもう一つの障害ともなる動詞 avoir さあ自分で自分の脳にムチ入れてひと頑張りだ！ 【準備学習の内容】テキスト第8課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第12回	【テーマ】いよいよ様々な「動詞」に挑戦だ！ 【計画内容】英語でも「主要動詞50でほとんどが表現できる」なんて言うよね。フランス語でも同じだが、みんなの大嫌いな「活用」が英語よりも面倒くさい。我慢、ガマン！ 【準備学習の内容】テキスト第9課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第13回	【テーマ】疑問もだいぶ高度になってくるぞ、さあ大変だ！ 【計画内容】引き続き動詞の習得がある(寝るなよ！)そしてこれも母国語そう日本語だとまったく問題なく使っているのになぜだかチンプンカンプンという人が出てくる。もう教師も大変だ！ 【準備学習の内容】テキスト第10課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第14回	【テーマ】いよいよというか入口最大の難関かも知れない「動詞」の登場だ！ 【計画内容】いちおうここで、「これから」と「いましがた」と時間がすこし前後に延ばすことができるようになりたいですね。独学で進む下地ができればいいな、と期待を抱くのが教師なのだが、、、 【準備学習の内容】テキスト第10課をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第15回	【テーマ】振り返りとまとめ 【計画内容】やってきたことを振り返ってみよう。そして簡単な会話による記憶の確認。歌も歌えるだろうか？！ 【準備学習の内容】テキストを読み返しておいてください。	B

テキスト	内藤陽哉 / 玉田健二、2013年、『フランス語へのパスポート(三訂版)』、白水社、9784560061114
参考書	森本 英夫 / 三野 博司、2013年、『増補改訂版 新･リュミエール―フランス文法参考書』、駿河台出版社、4411005328

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	20%	20%		30%	
	補足						

質問への対応	授業の前後に個別対応します。メールでの質問にも対応します。質問の内容によっては授業で取りあげることもあります。
資格	
その他	語学は身体･五感を総動員して、まさに体得することが肝要。あらゆるメディアとデバイスを通じてフランス語に接近するようにしましょう。

科目名	スペイン語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田中　恵子				
授業の目的	ねらい	約4億人の公用語であるスペイン語の基本的な文法･発音を学びます。 文法の進度に合わせた簡単な日常会話を学び､会話の練習をします。 スペイン語の学習や DVD を通しスペイン語圏諸国の文化や社会事情を学びます。			
	到達目標	(1)スペイン語の基礎文法を理解すること。 (2)スペイン語で挨拶及び簡単な日常会話ができること。 (3)スペイン語圏の国々の社会事情や文化について理解を深めること。 (4)スペイン語圏の国々に対する関心を深めること。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】世界に於けるスペイン語の状況 /Lección 1挨拶の方法 【計画内容】･講義の紹介をし､15回の講義展開を説明します。 ･スペイン語を公用語としている国々について学びます。 ･スペイン語での簡単な挨拶･自己紹介を学び､会話の練習をします。(テキスト P.5) ･スペインの DVD を見てスペイン語の雰囲気に触れます。 ･アルファベットを学びます。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。テキスト･辞書を準備し持参すること。	A､N
	第2回	【テーマ】Lección1:発音･アクセント 【計画内容】･単語の発音･アクセントの位置を学び音読練習します。 ･そのほかの挨拶を学び実践練習をします。 【準備学習の内容】前回の簡単な挨拶･自己紹介の復習をすること。Lección 1の単語を辞書で調べること	A､N
	第3回	【テーマ】Lección2:名詞･冠詞･数詞･形容詞 【計画内容】･名詞･冠詞･形容詞には男性形･女性形､単数･複数形があり､冠詞･形容詞の性･数は､名詞の性･数に合わせて変化することを学びます。 ･1～15の数詞を学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。Lección2の単語を調べること。	A
	第4回	【テーマ】Lección3:主語､規則動詞の活用･文の種類 【計画内容】･Lección2の復習･宿題の解答確認。 ･主語が6つの人称に分類されることを学びます。 ･動詞は6つの人称に対応するため6パターンに変化(活用)する事を学びます。 ･肯定文･否定文･疑問文の構造を学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。Lección3の単語を調べること。	A､N
	第5回	【テーマ】Lección3:復習 /Lección4:不規則動詞 hacer, ver, salir 【計画内容】･Lección3の宿題解答･ペア会話練習をします。 ･1人称の形のみ不規則な動詞、hacer, ver, salir について活用の仕方と用法を学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。Lección4の単語を調べること。	A､N
	第6回	【テーマ】Lección4の復習 /Lección 5:動詞 ser 【計画内容】･Lección4の宿題解答･会話練習をします。 ･基本的前置詞(a, de, con)について意味と用法を学びます。 ･Lección4のペア会話練習をします。 ･Lección5 動詞 ser の活用と用法を学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。Lección5の単語を調べること。	A､N
	第7回	【テーマ】振り返り① /Lección5:動詞 ser 【計画内容】･これまでの講義で学んだ内容について振り返りを行います。 ･動詞 ser の活用と用法を学びます。 【準備学習の内容】これまでの講義の復習をし､問題点を整理すること。	A､L
	第8回	【テーマ】Lección5:ペア会話練習 /Lección6:動詞 ser ②･指示形容詞･指示代名詞 【計画内容】･Lección5のペア会話練習･宿題解答をします。 ･動詞 ser の3人称を用いて､時刻､曜日､日付､値段を表現することを学びます。 ･指示形容詞･指示代名詞について学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。Lección6の単語を調べること。	A､N
	第9回	【テーマ】Lección6:ペア会話練習 /Lección7:動詞 estar 【計画内容】･Lección6のペア会話練習･宿題解答をします。 ･動詞 estar の活用を学びます。 ･動詞 estar が､人･物の所在や状態を表すことを学びます。 ･動詞 hay は人･物の存在を表すことを学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。Lección7の単語を調べること	A､N
	第10回	【テーマ】Lección7:ペア会話練習 /Lección8:動詞 querer 【計画内容】･Lección7のペア会話練習･宿題解答をします。 ･動詞 querer の活用を学びます。 ･動詞 querer が願望や依頼を表すことを学びます。 【準備学習の内容】学んだスペイン語を繰り返し声に出すこと。宿題をすること。Lección8の単語を調べること。	A､N
	第11回	【テーマ】振り返り② /Lección8:ペア会話練習 /Lección9:動詞 poder 【計画内容】･これまでの講義で学んだ内容について振り返りを行います。 ･Lección8のペア会話練習をします。 ･動詞 poder の活用を学びます。 ･動詞 poder が可能､許可､依頼を表すことを学びます。 【準備学習の内容】これまでの講義の復習をし､疑問点を整理すること。Lección9の単語を調べること。	A､L､N
	第12回	【テーマ】Lección9:ペア会話練習 /Lección10:動詞 tener 【計画内容】･Lección9のペア会話練習･宿題解答をします。 ･動詞 tener の活用を学びます。 ･動詞 tener を使い所有･年齢などの表し方を学びます。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題を。Lección10の単語を調べること。	A､N
	第13回	【テーマ】Lección10:ペア会話練習 【計画内容】･Lección10のペア会話練習をします。 ･講義全体の復習をします。 【準備学習の内容】前回の復習をすること。宿題をすること。	A､N
	第14回	【テーマ】振り返り 【計画内容】･これまでの振り返りと確認をします。 【準備学習の内容】これまで学んだ内容について理解を深めておくこと。	L
	第15回	【テーマ】これまでの振り返り 【計画内容】･これまでの振り返りをします。 ･スペイン語の歌を学びます。 【準備学習の内容】配付した歌詞の単語を調べること。	A､L､N

テキスト	辻本千栄子･磯野吉美･二村奈美･溝田のぞみ､2014年､『やあ､元気 ?!Hola!?Que tal?』､朝日出版社､9784255550299
参考書	高垣敏博､2003年､『ポケットプログレシブ西和和西辞典』､小学館､4095061316

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		10%		30%	20%
	補足			課題提出			振り返り2回

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	授業中使用する辞書は､他の辞書でもかまいません。電子辞書も可。 毎回授業には必ずテキストと辞書を持参すること。

科目名	現代生活と政治・経済	授業形態	講義	単位数	2
教員名	相内　眞子、今野　聖士				

授業の目的		
	ねらい	本科目は、政治と経済を中心に社会の動く仕組みを理解します。政治と経済は不可分の関係にあり、その相互作用を理解することが、社会の動きを読み解くリテラシーを高めます。社会的格差の拡大が懸念される現代ですが、政治学と経済学の学びを通して、競争や公平の概念を理解し、議論できる学びの深化を目指します。アメリカの新政権をはじめ、世界の政治と経済の潮流は、従来の枠組みや秩序を揺るがしつつありますが、適確な情報の収集と分析を通して、現代社会を冷静に考察できる広い視野を養いましょう。
	到達目標	(1)政治学・経済学それぞれの分野で多用される専門用語や概念の意味を理解できる。 (2)身近な政治・経済が、グローバル化とつながる仕組みを理解できる。 (3)政治的決定過程の仕組みを理解できる。 (4)流通や食料に注目しながら、身近な経済を論理的に理解できる。 (5)世界の政治と経済の新たな潮流を理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス:講義の流れ・展開方法に関する説明 【計画内容】講義の「ねらい」と講義の全体像、15回の展開方法について説明します。(相内眞子・今野聖士) 【準備学習の内容】シラバスを読み、講義の全体像を把握しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】政治学の基礎理論①:政治とは何か 【計画内容】政治学の基礎理論の紹介を通して、支配と服従のメカニズムを学びます。(相内眞子) 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてミニレポートを作成すること。	A
	第3回	【テーマ】政治学の基礎理論②:公共経済学 【計画内容】政府の失敗や市場の失敗について学び、市民生活をサポートする社会の仕組みについて学習します。(相内眞子) 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてミニレポートを作成すること。	A
	第4回	【テーマ】政治学の基礎理論③:民意と政治 【計画内容】民意を政治に反映させるための民主主義的な手続き、「選挙」について学びます。(相内眞子) 【準備学習の内容】関心のある政策的課題をいくつか挙げられるよう準備すること。	A
	第5回	【テーマ】政治学の基礎理論④:公平について 【計画内容】自由で平等な社会とはどのような社会なのか、社会的公平はどのように担保されるのか、保護主義や排外主義に対抗する理論を学びます。(相内眞子) 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてミニレポートを作成すること。	A
	第6回	【テーマ】政治学の応用編①:国際社会の動きを知る:アメリカ合衆国 【計画内容】アメリカの政治史を概観し、トランプ政権誕生の背景とアメリカ政治の現状を探ります。(相内眞子) 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてミニレポートを作成すること。	A
	第7回	【テーマ】政治学の応用編②:国際社会の動きを知る:欧州諸国 【計画内容】EU 諸国におけるポピュリズムの台頭を含む、流動するヨーロッパ情勢を考察します。(相内眞子) 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてミニレポートを作成すること。	A
	第8回	【テーマ】これまでの講義内容を振り返り理解度を確認します 【計画内容】理解度確認のためのまとめを行います。(相内眞子) 【準備学習の内容】これまでのノート、プリント、資料等の整理を行い、まとめて、持参すること。	L
	第9回	【テーマ】身近な経済学①:「流通」をとらえる経済学である流通経済学について学びます 【計画内容】流通経済学の基礎:流通の機能と役割について学びます。(今野聖士) 【準備学習の内容】身近なお店の商品がどうやって自分の手元までたどり着くのか、その経路をどこまで知っているか考えておきましょう。	A
	第10回	【テーマ】身近な経済学②:日本の流通を担当している小売業・卸売業の変遷について学びます 【計画内容】小売業・卸売業がどのような変化を遂げてきたのか、販売方式や業態、系列化といった特徴をとらえながら学びます。(今野聖士) 【準備学習の内容】身近なお店がどのような業態なのか、チェーン店と地元店はどのくらいの比率で存在しているかイメージしておきましょう。	A
	第11回	【テーマ】北海道を取り巻く経済学:北海道の中心都市である札幌がどのように発展してきたのかそしてどのように位置づけられてきたのか学びます 【計画内容】札幌の産業と経済がどのように発展してきたのか、そしてどのように位置づけられてきたのか、歴史的経緯に注目しながら学びます。(今野聖士) 【準備学習の内容】自分の住んでいる・出身地域の歴史について調べておきましょう。	A
	第12回	【テーマ】食品流通をととりまく経済学:食品・農産物流通の特徴と食料自給の現状 【計画内容】農産物・食料品の商品特性、食と農の距離の増大による安全・安心問題、輸入の拡大と国内生産の脆弱さについて学びます。(今野聖士) 【準備学習の内容】普段食べている食品のうち、海外産の物がどのくらいあるか、産地が分からないものがどのくらいあるか考えておきましょう。	A
	第13回	【テーマ】政治と経済のつながりについて①:「市場メカニズムと格差・貧困」の問題から考える 【計画内容】この世の中ではなぜ格差や貧困が生じるのだろうか。現代の経済学をもってしても解決できない問題について、市場メカニズムの視点から学びます。(今野聖士) 【準備学習の内容】貧困や格差に対して政治はどのような対応を取っているか、新聞などで調べておきましょう。	A
	第14回	【テーマ】政治と経済のつながりについて②:「国鉄民営化と JR 北海道」の問題から考える 【計画内容】JR 北海道の経営が危機的状況となり、地方の鉄路が存続の危機をむかえています。これは JR 北海道単独の問題なのでしょうか。国鉄民営化という政治的決断とその影響の視点から学びます。(今野聖士) 【準備学習の内容】JR 北海道の路線維持問題について調べておきましょう。	A
	第15回	【テーマ】全体の振り返り:身近な生活と政治・経済との関わりを振り返り課題のまとめを行います 【計画内容】振り返りと考えの共有を行い、理解度を確認します。グループワークとディスカッションを通して、現代社会が抱える課題への理解と考察の深化をはかります。(相内眞子・今野聖士) 【準備学習の内容】これまでのノート、プリント、資料等の整理をしてまとめて、持参すること。	A、F、H、L

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		40%	40%
	補足			最終回のプレゼンテーション			

質問への対応	講義時に配付するコメントシートに質問を記入してください。次回の講義時に回答することで対応します。
資格	
その他	第15回に、最終評価のためのグループワークとプレゼンテーションを行います。必ず出席してください。受講生諸君は、国内外に目を向け、政治と経済の大きな変化が、新たな世界秩序・社会秩序を形成しつつあることに注目してください。政治・経済関連の時事ニュースに常に関心を持つことが重要です。なお、本講義は一部集中講義になる場合があります。

科目名	現代生活と法律	授業形態	講義	単位数	2
教員名	平澤　卓人				
授業の目的	ねらい	民法の基本的な考え方を学ぶことで、家族関係や契約における法律的な発想を習得し、近い将来直面し得る様々なトラブルに対処するための方法を学習する			
	到達目標	(1)家族関係や財産、契約についての基本的な法律知識を習得する。 (2)将来にトラブルに直面した際、法律的な考え方がある程度できるようにする。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】家族の法律関係①　婚姻関係・離婚 【計画内容】婚姻関係及び離婚についての民法の決めるルールを講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(家族法)の教科書により学習する。	A
	第2回	【テーマ】家族の法律関係②　親子関係、成年後見等 【計画内容】親子の法律問題や成年後見についての民法の定めるルールを講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(家族法)の教科書により学習する。	A
	第3回	【テーマ】家族の法律関係③　相続の基本原理 【計画内容】相続の基本的な関係(法定相続分、特別受益、寄与分、相続の承認と放棄など)についての民法の定めるルールを講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(家族法)の教科書により学習する。	A
	第4回	【テーマ】家族の法律関係④　遺言による相続と遺留分 【計画内容】遺言による相続、遺留分についての民法の定めるルールを講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(家族法)の教科書により学習する。	A
	第5回	【テーマ】財産の法律関係①　物権(所有権) 【計画内容】物に対する所有権や抵当権その他の物権の内容、不動産登記制度、取得時効等について講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第6回	【テーマ】財産の法律関係②　債権 【計画内容】債権についてその発生原因、譲渡、弁済、時効消滅等について講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第7回	【テーマ】契約の法律関係①　総論 【計画内容】契約に関する基本的な法律関係(どうすれば成立するか、どのような場合に無効になるか)について講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第8回	【テーマ】契約の法律関係②　消費者契約 【計画内容】消費者契約においてどのような場合にクーリングオフや取消ができるのかについて講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第9回	【テーマ】契約の法律関係③　売買契約・贈与契約 【計画内容】売買契約や贈与契約の成立要件やその規律、瑕疵担保責任などができるのかについて講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第10回	【テーマ】契約の法律関係④　賃貸借契約 【計画内容】賃貸借契約の成立要件、終了原因(解除、期間満了、自動更新)、敷金及び原状回復義務などについて講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第11回	【テーマ】契約の法律関係⑤　消費貸借契約・担保 【計画内容】消費貸借契約のうち特に金銭の貸借についてその成立要件、利息とその制限、担保(保証人、抵当権などの物的担保)、その回収方法などについて講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第12回	【テーマ】契約の法律関係⑥　請負・雇用契約 【計画内容】請負契約及び雇用契約について講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第13回	【テーマ】不法行為の法律関係①　不法行為総論 【計画内容】不法行為の成立要件(権利侵害、違法性、因果関係、損害)や過失相殺などについて講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第14回	【テーマ】不法行為の法律関係②　不法行為・保険 【計画内容】不法行為のその他の論点(共同不法行為、使用者責任、消滅時効)、自賠法、保険契約などについて講義と学生に対する質問の形式で理解する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	A
	第15回	【テーマ】振り返り 【計画内容】これまでの授業の内容を振り返り、これまでの理解を確認する。 【準備学習の内容】民法(財産法)の教科書により学習する。	L

テキスト	プリントを使用する
参考書	道垣内弘人、2017年、『リーガルベイシス民法入門(第2版)』、日本経済新聞出版社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
	補足						

質問への対応	授業中及び授業後に質問を受け付けます。
資格	
その他	なし

科目名	現代生活と福祉	授業形態	講義	単位数	2
教員名	川端　里香				
授業の目的	ねらい	私たちは、人生の途上で様々な困難に遭遇します。その時の支えとして社会保障や社会福祉があります。私たちの暮らしと社会保障、社会福祉がどのように密接に関わっているかを学ぶことは、暮らしを営む上でとても大切なことです。そこで、本講義では、社会福祉の歩み、仕組み、暮らしとの関係、課題等について学びます。			
	到達目標	(1)社会福祉が果たしている役割を理解する。 (2)基本的人権に基づいた社会福祉の理念を理解する。 (3)社会福祉制度の概要と課題について理解する。 (4)社会福祉が暮らしにとって必要不可欠なものであることを理解する。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】なぜ「社会」福祉なのか 【計画内容】社会福祉の歴史から、資本主義経済における社会福祉の必然性について学びます。貧困などの暮らしの困難は、社会のあり方と密接に関連しています。 【準備学習の内容】事前に社会福祉の歴史について学習しておいてください。	A
	第2回	【テーマ】地域でくらすこと、それが社会福祉の理念。 【計画内容】社会福祉の理念は、ノーマライゼーションという理念に基づいています。その基本は、施設に入所することではなく地域生活支援です。社会福祉の理念について学びます。 【準備学習の内容】ノーマライゼーションについて事前に学習しておいてください。	A
	第3回	【テーマ】現代社会の特徴を知る 【計画内容】なぜ貧困格差が拡大しているのか、なぜ非正規雇用が増加しているのか、どうして少子高齢社会なのか、といった現代社会の特徴について学び、現在の社会福祉との関連を考えます。 【準備学習の内容】貧困問題について事前に調べておいてください。	A、L
	第4回	【テーマ】暮らしを支える社会保障(1) 【計画内容】私たちの暮らしを支える社会保障の理念について学びます。なぜ消費税が8%になったのか、など社会保障は私たちの暮らしに直結しています。 【準備学習の内容】社会保障と税の一体改革について事前に調べておいてください。	A
	第5回	【テーマ】暮らしを支える社会保障(2) 【計画内容】私たちの暮らしを具体的に支える社会保険について学びます。病気になったとき、失業したときなどに社会保険制度をどのように活用すればよいのでしょうか、ということを考えます。 【準備学習の内容】健康保険制度について事前に調べておいてください。	A、L
	第6回	【テーマ】社会福祉行政の仕組みと暮らし 【計画内容】福祉事務所など社会福祉に関する行政の仕組みについて学びます。社会福祉行政がどのような体系によって私たちの暮らしとつながっているかを理解します。 【準備学習の内容】自分の居住している市町村の福祉の窓口について事前に調べておいてください。	A
	第7回	【テーマ】貧困と福祉 【計画内容】貧困状態に陥った時にどのような支援があるのでしょうか。ここでは、生活保護制度を中心に生活困窮者への支援について学びます。 【準備学習の内容】生活保護について事前に調べておいてください。	A、L
	第8回	【テーマ】「障害」がある人への支援と福祉(1) 【計画内容】「障害」がある人への偏見と差別について、障害者権利条約などをもとに考え、わが国の「障害」がある人への支援の理念の変遷について学びます。 【準備学習の内容】障害者権利条約について事前に調べておいてください。	A
	第9回	【テーマ】「障害」がある人への支援と福祉(2) 【計画内容】「障害」がある人への支援の中心である障害者総合支援法とそのサービスの内容について学びます。地域生活を前提とした支援のあり方と課題について考えます。 【準備学習の内容】障害者総合支援法について事前に学習しておいてください。	A、L
	第10回	【テーマ】子どもと家庭への支援と福祉 【計画内容】子どもの貧困化が進行しており、子どもをとりまく環境は悪化しています。子どもが健全に育つための支援について学びます。 【準備学習の内容】児童虐待について事前に学習しておいてください。	A
	第11回	【テーマ】高齢社会と福祉 【計画内容】わが国の超高齢社会の現状と高齢者の生活実態について学び、今後のより一層の超高齢社会化への対応について考えます。 【準備学習の内容】わが国の高齢化のプロセスについて事前に学習しておいてください。	A
	第12回	【テーマ】高齢者の介護と福祉 【計画内容】ここでは、介護保険制度について学び、高齢化率の高まりと比例して要介護者の増加に今後どのように対応していくべきかを考えます。 【準備学習の内容】介護保険について事前に学習しておいてください。	A、L
	第13回	【テーマ】地域でささえあう 【計画内容】わが国の社会福祉は、地域福祉を理念としています。地域で支えあうためにはどのようなことが求められているかを学びます。 【準備学習の内容】社会福祉法の第1条から6条について事前に調べておいてください。	A
	第14回	【テーマ】地域で暮らすための権利擁護 【計画内容】様々なハンディキャップを持った人々が地域で暮らすためには、基本的人権が守られる仕組みが必要です。ここでは、福祉における権利擁護の仕組みと民法における成年後見制度について学びます。 【準備学習の内容】成年後見制度について事前に学習しておいてください。	A、L
	第15回	【テーマ】社会福祉を担う人 【計画内容】社会福祉を担う社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士等専門職養成とその役割について学びます。 【準備学習の内容】社会福祉の仕事に従事する職種について事前に調べておいてください。	A

テキスト	プリントを使用します
参考書	鈴木幸雄編、2012年、『現代の社会福祉』、中央法規、9784805836187

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足			レポート			

質問への対応	メールで対応します。
資格	[心]福祉心理士 _ 選必
その他	私語は避けること。講義中の飲食及び携帯電話は禁止します。

科目名	現代生活と芸術	授業形態	講義	単位数	2
教員名	鈴木　しおり、山崎　正明				
授業の目的	ねらい	現代社会における芸術をどのように位置づけ、考え、学び、実践していくのかを、音楽、美術の両面から考察し検証する。芸術が社会とどのように関連し、何が創造され、生活や社会活動を豊かにするのかを学んでいく。音楽では、主にクラシック音楽と現代生活との関わりを考察し、また美術では表現の歴史と社会背景について知り、それらが現代にまで与える影響や生かされている点について、現代の美術作家の視点をもとに検証を進め学びにつなげていくと同時に社会活動としてのアートという観点から様々な実践例をもとに学んでいく。				
	到達目標	(1)美術文化の歴史を学びながら、教育や社会での必要性・実効性を考える。 (2)音楽文化芸術における教育・経済の側面からの必要性・実効性を考える。 (3)音楽・美術を中心とした芸術文化振興について考える。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「ねらい」と「到達目標」について説明し、この講義の概要を学習する。(鈴木しおり・山崎正明) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】音楽芸術：教育・経済の側面から必要性と実効性を考える(1) 【計画内容】生涯学習・学校教育の側面から音楽の必要性と実効性を、資料を基に考察する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】音楽芸術：教育・経済の側面から必要性と実効性を考える(2) 【計画内容】生涯学習・学校教育の側面から音楽の必要性と実効性を、具体的に考察する。主に、バレエ・コンテンポラリーダンスなどの舞台芸術について考える。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】音楽芸術：教育・経済の側面から必要性と実効性を考える(3) 【計画内容】生涯学習・学校教育の側面から音楽の必要性と実効性を、具体的に考察する。主に、オペラ・歌舞伎などの舞台芸術について考える。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】音楽芸術：教育・経済の側面から必要性と実効性を考える(4) 【計画内容】生涯学習・学校教育の側面から音楽の必要性と実効性を、具体的に考察する。主に、クラシック音楽の「聴き取り方」について考える。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】鑑賞学習1 【計画内容】生涯学習・学校教育の側面から音楽の必要性と実効性を、具体的に考察する。主に、クラシックのピアノと弦楽器の作品について考え、生演奏を聴く。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】会場・日程の確認と、配付された資料を読んでおくこと。	A、B、G
	第7回	【テーマ】音楽芸術：教育・経済の側面から必要性と実効性を考える(5) 【計画内容】生涯学習の側面から音楽の必要性と実効性を考察する。主に、日本の音楽について考察する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】プリントを読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】鑑賞学習2 【計画内容】日本の民謡の生演奏を聴き、多様な音楽表現を学ぶ。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】プリントを読んでおくこと。	A、G
	第9回	【テーマ】1. 原始時代の痕跡と現代生活 【計画内容】ラスコーやアルタミラ、ショーヴェの洞窟壁画から原始時代の表現を知り、現代の生活や価値観を現代美術作家の視点を通して比較し検証する。(山崎正明) 【準備学習の内容】原始美術の作品などについて調べておくこと。	A
	第10回	【テーマ】2. ルネッサンスと現代生活 【計画内容】15世紀の西洋社会における美術表現を通して人間の表現活動の軌跡を知り、現代の生活や価値観を現代美術作家の視点を通して比較し検証する。(山崎正明) 【準備学習の内容】ルネサンス美術について調べておくこと。	A
	第11回	【テーマ】3. 印象派と現代生活 【計画内容】18世紀の西洋社会における美術表現を通して人間の表現活動の軌跡を知り、現代の生活や価値観を現代美術作家の視点を通して比較し検証する。(山崎正明) 【準備学習の内容】印象派について調べておくこと。	A
	第12回	【テーマ】4. 葛飾北斎と現代生活 【計画内容】18世紀の日本における美術表現を通して人間の表現活動の軌跡を知り、現代の生活や価値観を現代美術作家の視点を通して比較し検証する。(山崎正明) 【準備学習の内容】葛飾北斎について調べておくこと。	A
	第13回	【テーマ】5. コンテンポラリーアートと現代生活 【計画内容】コンテンポラリーアートが現代の生活や価値観と関連し社会に働きかけることをアート作品や美術的表現活動を通して検証し学ぶ。(山崎正明) 【準備学習の内容】コンテンポラリーアートについて調べておくこと。	A
	第14回	【テーマ】6. アウトサイダーアートと現代生活 【計画内容】アウトサイダーアートが現代の生活や価値観と関連し社会に働きかけることをアート作品や美術的表現活動を通して検証し学ぶ。(山崎正明) 【準備学習の内容】アウトサイダーアートについて調べておくこと。	A
	第15回	【テーマ】7. アートプロジェクトと現代生活 【計画内容】様々なアートプロジェクトの実践例を通して、社会とアートの繋がりが QOL(クオリティオブライフ)の向上に寄与することを検証し学ぶ。(山崎正明) 【準備学習の内容】15回目はふりかえりをするため、これまでの講義内容を復習しておくこと。	A

テキスト	講義時に説明します
参考書	岡田暁生、2009年、『音楽の聴き方』、中公新書

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	オリエンテーションを除いた14回の「講義の計画」は、順序が変更になる場合があります。

科目名	現代生活と教育	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉浦　勉				
授業の目的	ねらい	我が国の教育体制の骨格をなす教育基本法や学校教育法などの法規の正しい理解を図るとともに、今日的な教育問題について、その背景や具体的な対応策について検討しながら学びます。			
	到達目標	(1)教育基本法や学校教育法などの法規について関心をもち理解を深めることができる。 (2)我が国の学校教育について関心をもち理解を深めることができる。 (3)今日的な教育問題について関心をもち理解を深め、その対策を考えることができる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介、講義の目的、講義の展開、評価方法等について説明します。 また、我が国の教育について 自らの考えをまとめます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、B、L
	第2回	【テーマ】教育基本法と学校教育法・その他法規 【計画内容】教育基本法や学校教育法など、我が国の教育に関連する法律について学びます。 また、自らの学校生活をふり返り、学校制度について理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題に取り組むこと。	A、B、L
	第3回	【テーマ】学校教育と教育問題(1) 【計画内容】今日的な教育問題について様々なデータをもとに学びます。教育問題に関するワークシートの作成を行います。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第4回	【テーマ】学校教育と教育問題(2) 【計画内容】今日的な教育問題として「学力」の問題をテーマに学びます。課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第5回	【テーマ】学校教育と教育問題(3) 【計画内容】今日的な教育問題として「不登校」の問題をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第6回	【テーマ】学校教育と教育問題(4) 【計画内容】今日的な教育問題として「いじめ」の問題をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第7回	【テーマ】学校教育と教育問題(5) 【計画内容】今日的な教育問題として「体罰」の問題をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第8回	【テーマ】学校教育と教育問題(6) 【計画内容】今日的な教育問題として「子ども理解」の問題をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第9回	【テーマ】学校教育と教育問題(7) 【計画内容】今日的な教育問題として「教育格差」の問題をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第10回	【テーマ】学校教育と教育問題(8) 【計画内容】今日的な教育問題として「教師」をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第11回	【テーマ】学校教育と教育問題(9) 【計画内容】今日的な教育問題として「虐待」の問題をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第12回	【テーマ】学校教育と教育問題(10) 【計画内容】今日的な教育問題として「チーム学校」をテーマに学びます。 課題に対するその背景と対応策についてのワークシートを作成します。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第13回	【テーマ】これからの教育に求められること(1) 【計画内容】講義で学んだことを参考に、学校教育求められることについて討議し、自らの考えをまとめます。 課題レポートの作成を行います。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第14回	【テーマ】これからの教育に求められること(2) 【計画内容】学校教育を推進する教育行政などの役割や学習指導要領について学びます。課題レポートの作成を行います。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K、L
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの講義内容から「教育とは何か」について考えます。課題レポートの作成を行います。 【準備学習の内容】講義の中で関連図書や新聞記事などを紹介しますので事前に熟読しておくこと。	A、K

テキスト	講義時に説明します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート、ワークシート、ふり返り提出		関心・意欲	

質問への対応	研究室において 随時対応します。
資格	
その他	毎講義時にワークシートを使用します。出席はワークシート、ふり返りを作成し提出することが条件です。教育学科初等教育コースの「小学校教育研究Ⅱ」と内容が重なる部分が多いので選択の際は考慮すること。

科目名	現代生活と心と体	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉岡　品子				

授業の目的	ねらい	現代生活は、経済の発展、技術革新、人・物・情報などが自由に移動する等により、豊かで便利な生活となり、人間の健康水準は向上している。しかし、その一方で、感染症、生活習慣病、心の病といった新たな健康問題も出現している。本講義では、人間を取り巻く現代生活の特徴、心や体の基本的知識、代表的な心や体に関わる問題について理解を深める。また、自らの心と体に目を向け、現代生活で心や体を守るために必要なことについて考える力を養うことを目的としている。
	到達目標	(1)現代生活の特徴について理解する。 (2)現代の心や体に関わる問題について理解する。 (3)自らの心と体を守るために必要なことを考えることができる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の目的、目標、展開内容、評価方法などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】心と体のつながりについて 【計画内容】人間の心と体、そのつながりについて学ぶ。 【準備学習の内容】心と体について考えてみること。	A、G
	第3回	【テーマ】自分の心と体について(1) 【計画内容】身体の機能と構造について理解する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第4回	【テーマ】自分の心と体について(2) 【計画内容】健康診断について理解する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第5回	【テーマ】自分の心と体について(3) 【計画内容】心の健康について理解する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第6回	【テーマ】自分の心と体について(4) 【計画内容】心理検査について理解する。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、B、G
	第7回	【テーマ】現代生活、その課題と対応(1) 【計画内容】現代生活の特徴、それに関連する心と体の影響等について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第8回	【テーマ】現代生活、その課題と対応(2) 【計画内容】現代生活の特徴、それに関連する心と体の影響等について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第9回	【テーマ】現代生活、その課題と対応(3) 【計画内容】現代生活の特徴、それに関連する心と体の影響等について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第10回	【テーマ】現代生活、その課題と対応(4) 【計画内容】現代生活の特徴、それに関連する心と体の影響等について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第11回	【テーマ】現代生活、その課題と対応(5) 【計画内容】現代生活の特徴、それに関連する心と体の影響等について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第12回	【テーマ】現代生活、その課題と対応(6) 【計画内容】現代生活の特徴、それに関連する心と体の影響等について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G
	第13回	【テーマ】ストレスについて(1) 【計画内容】ストレスと心身相関について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、B、G
	第14回	【テーマ】ストレスについて(2) 【計画内容】ストレスマネジメントについて学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、B、G
	第15回	【テーマ】まとめと確認(最終) 【計画内容】これまでの講義を振り返り、まとめと確認(最終)を行う。 【準備学習の内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。	A、G

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
	補足			レポート			小レポート

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	大学生としてのマナー、受講態度で受講すること。 意欲的、積極的に学ぶ姿勢を重視するので、講義に集中できない学生はよく熟考して履修を決めること。

科目名	現代生活と物理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松澤　衛、小田　研				

授業の目的		
	ねらい	物理は自然科学の基礎と言われています。普段私たちは物理ということを意識して過ごすことはあまりありません。実は、自然現象や日常生活においておこる様々な現象は、物理に密接に関係しています。物理は身近なものなのです。物理の基本的概念の助けを借りて理解できることがたくさんあります。この講義では、物理の基礎知識を学び、日常生活においておきる現象を客観的に見る力を養い、専門分野の学びを深めることにつなげます。
	到達目標	(1)物理の基礎知識を理解できる。 (2)生活と物理との関わりが理解できる。 (3)先端科学の知識を知ることができる。 (4)物事の仕組みを理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】「現代生活と物理」という授業について 【計画内容】授業について、グループワークを通して深く考察する。(松澤衛・小田研) 【準備学習の内容】シラバス、特にねらいについてよく読んでおくこと。	A、H
	第2回	【テーマ】音の波 その1 【計画内容】音を理解するために、振動と波について学び、電子楽器等や動画を通して概観する。(松澤衛) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第3回	【テーマ】音の波 その2 【計画内容】音の仕組みを理解し、楽器の音色や音程について議論・考察する。(松澤衛) 【準備学習の内容】2回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H
	第4回	【テーマ】物体の運動 その1 【計画内容】物体の運動を理解するために、速度、加速度、力などについて学び、それらの間に成り立つ関係(運動の法則)について概観する。(小田研) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第5回	【テーマ】物体の運動 その2 【計画内容】ボールやコマの運動・衝突、摩擦や空気抵抗、振動・波動などの力学現象をデモ実験や動画を通して観察し、それらの現象の幾つかについて議論・考察する。(小田研) 【準備学習の内容】4回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H
	第6回	【テーマ】熱と動力 その1 【計画内容】熱と動力 : 温度や熱について学び、熱に関係する法則について概観する。(小田研) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第7回	【テーマ】熱と動力 その2 【計画内容】蒸気機関やガソリンエンジンなど種々のエンジンについてデモ実験や動画を通して概観するとともに、熱の利用法について議論・考察する。(小田研) 【準備学習の内容】6回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H
	第8回	【テーマ】光 その1 【計画内容】色と光の関係について、デモ実験や動画を通して概観する。(松澤衛) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第9回	【テーマ】光 その2 【計画内容】夕焼けはなぜ赤い？虹は何で見えるのかといったことを観察し、実際に自分たちで虹をつくるために議論・考察する。(松澤衛) 【準備学習の内容】8回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H
	第10回	【テーマ】超伝導と先端科学技術 その1 【計画内容】超伝導リニアモーターカーで知られる"超伝導"の仕組みと応用について、デモ実験や動画を通して概観する。(小田研) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第11回	【テーマ】超伝導と先端科学技術 その2 【計画内容】超伝導磁気浮上車両模型を用いたデモ実験を観察し、「車両が磁石の線路の上に浮いたままカーブでも脱線せずに運動し続ける」理由について議論・考察する。(小田研) 【準備学習の内容】10回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H
	第12回	【テーマ】電気と磁気 その1 【計画内容】電気(電場)と磁気(磁場)の基礎について、デモ実験や動画を通して理解を深める。(小田研) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第13回	【テーマ】電気と磁気 その2 【計画内容】種々の発電の仕組み、電力が発電所から家庭に届くまでの一連のプロセスについて概観するとともに、電子レンジや IH ヒーターなど家庭で使われる電気製品の仕組みについて考える。(小田研) 【準備学習の内容】12回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H
	第14回	【テーマ】物理とコンピュータ その1 【計画内容】コンピュータ内で物理現象が使われていることを体験や動画を通して概観する。(松澤衛) 【準備学習の内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第15回	【テーマ】物理とコンピュータ その2 【計画内容】実際に物理を使ってコンピュータ処理はどのような事が可能になったかについて議論・考察する。(松澤衛) 【準備学習の内容】14回目の授業の復習、自分なりに考えをまとめておくこと。	A、H

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		30%	20%
	補足						

質問への対応	松澤まで連絡をください。E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	何事にも好奇心をもって生活してください。

科目名	現代生活と宇宙	授業形態	講義	単位数	2
教員名	横山　光				
授業の目的	ねらい	身近なところにある現代生活と宇宙のつながりについて、3つの視点で講義を展開します。まず、宇宙誕生から現代までの時間を様々な時間スケールに置き換えて考えます。137億年の歴史を1年に縮め、宇宙の歴史における人類について考えましょう。次に、宇宙に飛び出した人類の視点から、宇宙開発や宇宙から見た地球、宇宙飛行士などをテーマに宇宙から見た地球を考えましょう。最後に、人類が宇宙へ進出する中で生まれた様々な技術が、私たちの生活中にも役立てられています。この技術移転(スピンオフ)について紹介します。				
	到達目標	(1)宇宙の歴史における、地球の歴史について時間的な感覚を身に付けることができる。 (2)宇宙開発の歴史について関心をもつことができる。 (3)宇宙的視点から地球上の環境を観測する技術について考えることができる。 (4)宇宙開発の技術が人間生活にどのように活用されているのか理解できる。				

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】宇宙について学ぶことの意義を解説し、講義の内容についてオリエンテーションします。また、講義の内容を向上させる目的で、宇宙についてのクリッカーを用いた簡単なアンケートを実施します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	L
	第2回	【テーマ】宇宙誕生　ビッグバンから生命の誕生まで 【計画内容】ビッグバン説の発見の経緯や証拠、宇宙誕生、太陽系誕生、地球誕生について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第3回	【テーマ】生物の進化 【計画内容】生命の誕生から人類誕生までの生物の進化について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第4回	【テーマ】気候変動と人類の誕生 【計画内容】人類の誕生について、それまでの気候変動と生物の進化と関連付けて学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第5回	【テーマ】人類の進化とグローバル社会 【計画内容】人類の生物学的な進化と、技術の獲得、グローバル化について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第6回	【テーマ】宇宙開発の歴史 【計画内容】人類史における宇宙開発の歴史について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第7回	【テーマ】宇宙から見た地球　地球環境を調べる①　大気･海洋 【計画内容】人工衛星や探査機の調査によりわかってきた、大気･海洋の環境について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第8回	【テーマ】宇宙から見た地球　地球環境を調べる②　陸域 【計画内容】人工衛星や探査機の調査によりわかってきた、陸域の環境について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第9回	【テーマ】宇宙から見た宇宙 【計画内容】人工衛星や探査機の調査によりわかってきた、地球外の天体について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第10回	【テーマ】宇宙飛行士の時代 【計画内容】宇宙飛行士の宇宙における住環境の歴史について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第11回	【テーマ】宇宙技術のスピンオフ①　暮らし･教育 【計画内容】宇宙開発によって獲得した技術が、どのように暮らし･教育に活用されているのか学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第12回	【テーマ】宇宙技術のスピンオフ②　医療･福祉 【計画内容】宇宙開発によって獲得した技術が、どのように医療･福祉に活用されているのか学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第13回	【テーマ】宇宙技術のスピンオフ③　環境問題 【計画内容】宇宙開発によって獲得した技術が、どのように環境問題の解決のために活用されているのか学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第14回	【テーマ】宇宙技術のスピンオフ④　産業 【計画内容】宇宙開発によって獲得した技術が、どのように各種産業に活用されているのか学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。	G
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまでの講義内容について、各自が調べてきたことを3つの視点ごとにまとめます。 【準備学習の内容】講義で配付した資料及び、各自調べた内容を整理しておくこと。	G、L

テキスト	講義時にプリントを配付します
参考書	講義時に紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		40%		30%	
	補足			毎回の評価シート			

質問への対応	講義中いつでも積極的な質問を受け付けます。講義後またはオフィスアワーでも対応します。
資格	
その他	自然科学系の総合科目となっています。その時点での社会的な話題や履修者の状況によって内容を変更する場合があります。毎回の評価シートは評価対象となっています。未提出のものがある場合は、合格点に達しないことがありますので、注意してください。講義中の「質疑」には積極的に参加してください。試験は第16回に実施します。

科目名	現代生活と環境科学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　浩子				

授業の目的	ねらい	現代の私たちの生活は、科学の発展とともに物質的に豊かで便利なものになってきた。しかし、その反面、自然環境の汚染による生活環境の悪化をはじめとした様々な問題が生じている。本講義では、人間をとりまく自然的および社会的環境とその中で生じている今日的問題について理解し、環境と人間の関わりについて考え、問題解決の方向を探ることを目的とする。
	到達目標	(1)人間をとりまく環境の今日的課題について理解する。 (2)環境と人間の関わりについて考察できる。

授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション:環境とは 【計画内容】講義の概要と目的を説明します。また、環境とは何かを考えます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。
	第2回	【テーマ】人間の体と環境との関係 【計画内容】人間のからだと環境との関連について、からだの適応から考えます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第3回	【テーマ】現代生活とからだのリズム 【計画内容】人間のからだと環境との関連について、からだのリズムから考えます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第4回	【テーマ】環境ホルモンと化学物質 【計画内容】生活環境の中にあふれている化学物質のからだへの影響について考えます。 【準備学習の内容】テキスト13-6を読んでおく。
	第5回	【テーマ】現代生活と水環境1 【計画内容】水の資源と飲料水についてアクティブ･ラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第6回	【テーマ】現代生活と水環境2 【計画内容】下水と水質汚濁についてアクティブ･ラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第7回	【テーマ】現代生活と廃棄物 【計画内容】廃棄物の現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第8回	【テーマ】講義のまとめと振り返り1 【計画内容】前半の内容についてまとめと振り返りを行います。各自で学んだことや調べた内容をまとめるとともに、現代生活について考察してもらいます。 【準備学習の内容】これまでの資料を読み返しておく。
	第9回	【テーマ】地球環境と生態系 【計画内容】地球における生態系の意味について学びます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第10回	【テーマ】環境と人間、環境問題の変遷 【計画内容】環境と人間の関係について、環境問題に関する歴史を振り返りつつ考えます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第11回	【テーマ】地球環境問題1 【計画内容】地球環境問題は相互関連性の強い現象であることを学ぶとともに、地球サミットから始まった各種条約について考察を深めます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第12回	【テーマ】地球環境問題2 【計画内容】地球環境問題としての、温暖化防止条約に関連する事項についてアクティブ･ラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第13回	【テーマ】地球温暖化へのとりくみ 【計画内容】地球温暖化のために行われている対策についてアクティブ･ラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第14回	【テーマ】地球温暖化と私たちの生活 【計画内容】地球温暖化と現代の我々の生活について、現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】初回講義時に説明します。
	第15回	【テーマ】講義のまとめと振り返り2 【計画内容】後半の内容についてまとめと振り返りを行います。各自で学んだことや調べた内容をまとめるとともに、現代生活について考察してもらいます。 【準備学習の内容】これまでの資料を読み返しておく。

授業の計画	第1回	A						
	第2回	A						
	第3回	A						
	第4回	A						
	第5回	A、B、H						
	第6回	A、F、H						
	第7回	A、B						
	第8回	B、G、L						
	第9回	A						
	第10回	A、B						
	第11回	A、B						
	第12回	A、B、F、H、K						
	第13回	A、B、F、H、K						
	第14回	B、F、H						
	第15回	B、G、L						

テキスト	講義時にプリントを配付します
参考書	川添禎浩編、2014年、『健康と環境の科学』、講談社、9784061552340 佐々木胤則ほか、2007年、『変化する環境と健康』、三共出版、9784782705469 保田仁資、2003年、『やさしい環境科学新版』、化学同人、9784759809237

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		15%	15%
	補足			毎回の小レポート･まとめレポート		参加意欲･発言の積極性	考察、グループ討論

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。講義後またはオフィスアワーでも対応します。
資格	
その他	自然科学系の教養科目となっています。その時点での社会的な話題や履修者の状況によって内容を変更する場合があります。また、課題の提出は毎回の小レポートも含めて全て評価対象となっています。未提出の課題がある場合には、合格点に達しない場合がありますので、注意してください。特に、まとめの回を欠席の場合には必ず担当教員に連絡をしてください。 自ら考えることを重視しています。グループ討論では積極的に発言してください。

科目名	北海道の文化	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田嶋　政子				
授業の目的	ねらい	北海道はアイヌ民族が先住民族として居住する地域に、明治以降に日本各地から200万人以上の人びとが移り住んで形成された地域です。人びとが新しい地域で築いた生活文化と、現代に生きる人びとの生活文化を比較しながら、自分に伝承されている文化について、映像やグループワーク等を通して学びます。また、人の移動と文化形成の視点から、道民性についても概観します。			
	到達目標	(1)文化とは何かについて説明できる。 (2)北海道の歴史や文化、道民性について説明できる。 (3)自分が生まれ育った地域について理解できる。 (4)グループワークを通して、他の文化を理解し、自らの文化伝承について認識できる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の概容および講義やグループワークの展開方法、さらには到達目標・評価方法について説明し、「文化」と「文化的」という表現の示すところについて講義をします。 【準備学習の内容】シラバス(講義要綱)を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】生活文化の定義 【計画内容】本講義で扱う生活文化の範囲とその定義について説明し、庶民の生活文化要素について学びます。自らの息づく地域について認識を深めるために、地名の由来について調べ、レポート作成を課します。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、G
	第3回	【テーマ】アイヌ民族の生活文化について 【計画内容】北海道の先住民族であるアイヌ民族の生活文化の特徴を学び、民族の概念や文化伝承について考察します。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】知里幸恵の生涯について 【計画内容】アイヌ語を初めて日本語に訳した知里幸恵の生涯から、当時のアイヌ民族の文化について学びます。＜ＶＴＲレポートを提出します＞ 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、G
	第5回	【テーマ】北海道の歴史と文化 【計画内容】北海道の歴史を概観するために、視聴覚教材「映像の20世紀」前半を視聴し、北海道の開拓の歴史について学びます。＜ VTR レポートを提出します＞ 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、G
	第6回	【テーマ】道南地域の歴史と生活文化の形成 【計画内容】早くから拓け、ニシン漁、昆布漁で繁栄した渡島・檜山地域の歴史と北前船が運んだ生活文化について概観し、地域として形成された生活文化について考えます。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】開拓移住村落の文化① 【計画内容】北海道の大部分を占める開拓移住村落への人の移住と移住形態について概観します。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】開拓移住村落の文化② 【計画内容】移住地で個々に受け継がれた生活文化の特徴について概観し、自文化についての認識を深めます。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、G
	第9回	【テーマ】お雇い外国人がもたらした生活文化について 【計画内容】北海道開拓使時代に開拓のリーダーとしてお雇い外国人がもたらした文化について学び、異文化の受容について考察します。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A
	第10回	【テーマ】北海道の年中行事① 【計画内容】年中行事のなかでも実施率の高い「正月行事」の VTR を視聴し、行事の由来や伝承について考察します。＜ VTR レポートを提出します＞ 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、G
	第11回	【テーマ】北海道の年中行事② 【計画内容】北海道の家々(自文化)に伝承されている年中行事を概観し、文化伝承について学び、自らに伝承されている文化について考察します。＜自分の年中行事を小レポートにまとめて提出します＞ 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、K
	第12回	【テーマ】北海道の年中行事③子どもの行事(遊び) 【計画内容】北海道全域に見られる子どもの行事「ローソク出せ」から、子どもの行事の意義について考察し、自らの子ども時代の行事や遊びについて、グループ討論をします。＜グループ学習のレポートを提出します＞ 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、H
	第13回	【テーマ】北海道の方言や道民性について 【計画内容】人の移動によって形成された開拓移住村落の特徴と、新しい文化を受け入れやすいという「道民性」や北海道方言について概観します。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】北国に育まれた文化 【計画内容】北海道に移住後100年を経てルーツを北海道とする世代が増えた今、雪国・北国に育まれた生活文化について、3～4人のグループ学習を通して学びます。 【準備学習の内容】配付資料の関係項目を読んでおくこと。	A、H
	第15回	【テーマ】講義のまとめと課題整理 【計画内容】講義のねらい(北海道の生活文化について)や目標が達成できたかを確認し、課題についてまとめます。 【準備学習の内容】レポート課題について完成させておくこと。	A、L

テキスト	プリントを使用します
参考書	小田嶋政子、『北海道の年中行事』、北海道新聞社 宮良高弘ほか、『北海道を探る1～32号』、北海道みんぞく文化研究会

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足	意欲・ 読みやすい文字		考察力・ 読みやすい文字		小レポートへの 取り組み	

質問への対応	講義時に質問を受け付けます。
資格	[健]介護福祉士 _ 選必
その他	理由のない欠席はしないこと。レポート課題が4つ、グループ学習が2つあります。そのことを理解しれ受講してください。最終試験は課題を自筆で書いて提出していただきます。 毎回の授業を真面目に受講し、北海道の文化について考えを深めるようにしてください。

科目名	日本国憲法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	河森　計二				
授業の目的	ねらい	日本国憲法は、わが国の最高法規であり国づくりの基本となるものです。したがって、憲法は、私たちの住む国家・社会をどのように発展させていくかの指標ともいえます。この授業で学習する日本国憲法については、中学校や高校で、大まかな内容を学んだ方もいると思いますが、本講義では、具体的な判例や時事問題などを素材としつつ、より深く憲法を学習します。憲法とは何か？基本的人権とは何か？国会・内閣・裁判所とはどのような機関なのか？このような疑問について、本講義では、講義形式とグループワークを行いながら憲法の理解を深めていただきます。				
	到達目標	(1)日本国憲法の定めから、わが国の基本的なあり方を理解できる。 (2)基本的人権に関する問題を正確に説明できる。 (3)統治機構の役割について正確に説明できる。 (4)現実に起きている問題を法的に理解できる。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開等を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおいてください。	A
第2回	【テーマ】法学の基礎・憲法とは何か 【計画内容】憲法と法律の意味、日本国憲法誕生の経緯を通して憲法の本質を理解する。 【準備学習の内容】ポータルサイトに掲載する資料を読んでおいてください。	A
第3回	【テーマ】大日本帝国憲法(明治憲法)成立について　人権とは何か 【計画内容】大日本帝国憲法成立過程を辿ることにより、現行の日本国憲法の意義について考える。 【準備学習の内容】第2回の授業のときに配付する資料を読んでおいてください。	A
第4回	【テーマ】基本的人権 【計画内容】自己決定権に関する事例を素材として、人権とは何かについて考える。 【準備学習の内容】指定したテキストの Theme4を読んでおいてください。	A、H
第5回	【テーマ】法の下の平等 【計画内容】夫婦別姓に関する最高裁判決を素材にしながら法の下の平等について考える。 【準備学習の内容】指定したテキストの Theme5を読んでおいてください。	A、H
第6回	【テーマ】思想・良心の自由・信教の自由 【計画内容】君が代ピアノ伴奏事件を素材として、思想良心の自由と信教の自由について考える。 【準備学習の内容】指定したテキストの Theme7を読んでおいてください。	A
第7回	【テーマ】表現の自由 【計画内容】青少年条例に関する最高裁判決を素材として、表現の自由を保障することの意義について考えるとともにこれまでの授業のふりかえりを行う。 【準備学習の内容】指定したテキストの Theme8を読んでおいてください。	A、L
第8回	【テーマ】生存権 【計画内容】現代のいわゆる格差社会をめぐる問題を手掛かりに公的扶助制度と憲法25条の意味について考える。 【準備学習の内容】指定したテキストの Theme11を読んでおいてください。	A
第9回	【テーマ】経済的自由 【計画内容】経済的自由権の種類のなかで職業選択の自由について考える。 【準備学習の内容】第8回授業で配付する資料を読んでおいてください。	A
第10回	【テーマ】拷問及び残虐刑の禁止 【計画内容】死刑制度の憲法上の問題を素材として、法定手続きの保障と拷問及び残虐刑の禁止について考える。 【準備学習の内容】指定したテキスト Theme13を読んでおいてください。	A、H
第11回	【テーマ】天皇制と国民主権 【計画内容】明治憲法と現在の天皇制を概観することで、国民主権について考える。 【準備学習の内容】指定したテキスト Theme14を読んでおいてください。	A、H
第12回	【テーマ】統治機構・権力分立 【計画内容】統治機構における権力分立について立法権と行政権の関係を整理したうえで、日本国憲法が採用している議院内閣制の現代的性格について考える。 【準備学習の内容】指定したテキスト Theme18を読んでおいてください。	A
第13回	【テーマ】司法制度と裁判員裁判 【計画内容】日本の裁判所の組織、裁判員制度について考える。 【準備学習の内容】指定したテキスト Theme19を読んでおいてください。	A
第14回	【テーマ】平和主義 【計画内容】日本国憲法の前文と憲法9条の解釈から近時の自衛権行使と平和のあり方について模索する。 【準備学習の内容】指定したテキスト Theme15を読んでおいてください。	A
第15回	【テーマ】憲法改正について 【計画内容】憲法改正手続について学ぶとともに、これまでの授業のまとめと確認を行う。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習するようにしてください。	A、L

テキスト	初宿正典ほか、2017年、『いちばんやさしい憲法入門〔第5版〕(有斐閣アルマ)』、有斐閣、9784641220911
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				20%	30%
	補足					グループワークシートの提出	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼・小1種 _ 必修、養教1種 _ 必修、中・高1種(音楽)_ 必修、保育士 _ 選必
その他	

科目名	日本国憲法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　静也				
授業の目的	ねらい	憲法は国家社会をどのようにつくっていくかを示した統計図です。その統計図を指標に国家社会をどのように発展させ、どのように豊かに築いていくかを示す最高法規でもあるのです。私たちは最も重要なこの憲法がどのような理念を示しているか、どのような内容で構成されているかを真摯(しんし)に理解することが必要です。さらに、日々の生活とどのような関わりを持っているかを理解し、主権者である私たち一人ひとりが国民としての役割を担っていくことが必要です。制定後70年の実証を踏まえ、日本の今後を創造していく資質を高めていくことをこの講義のねらいとしています。				
	到達目標	(1)国の最高法規として、日本国憲法がもつ基本原理や国家の仕組みについて理解できる。 (2)国家機関の役割や機能を理解し、主権者としての資質を高めることができる。 (3)身近な課題にも関心をもち、考察しながら対応していく力を身につけていくことができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】講義の進め方についてのオリエンテーション　憲法はなぜ必要か 【計画内容】講義の進め方、心構え、学習の仕方を確認します。憲法がなぜ必要なのかについて考えます。 【準備学習の内容】シラバス内容を熟読してオリエンテーションにのぞむこと。なぜ憲法が必要なのかを考えてくること。				A
	第2回	【テーマ】国家と憲法の概念 【計画内容】近代政治思想を学習し抽象的な憲法の概念を理解します。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、高等学校「公民」で学習した内容も確認して講義にのぞむこと。				A
	第3回	【テーマ】明治憲法と日本国憲法(1)明治憲法の特徴 【計画内容】明治憲法が外見的立法主義の憲法と呼ばれる理由について理解します。 【準備学習の内容】配付プリントに示した明治憲法の憲法勅語、上諭、条文(指定した条文)を熟読してくること。				C
	第4回	【テーマ】明治憲法と日本国憲法(2)日本国憲法の制定経緯 【計画内容】日本国憲法がどのような経緯、背景があって制定されたかについて理解します。 【準備学習の内容】配付プリントで敗戦、ポツダム宣言、松本案、マッカーサー案、制定の一連の流れを理解してくること。				A
	第5回	【テーマ】日本国憲法の基本原理(1)国民主権と国民代表 【計画内容】国民主権とは国民に最高、最終的な政治権力があり、憲法では間接代表民主制を採用していることを理解します。 【準備学習の内容】配付プリントから国家の政治を決定する政治権力が選挙を通して国民自身が行使していることを読みとってくること。				K
	第6回	【テーマ】日本国憲法の基本原理(2)人権尊重主義 【計画内容】「人間が生まれながらにもっている権利、いわゆる生来の権利」とはなにかを理解します。 【準備学習の内容】配付プリントで人権獲得の歴史、人権の内容、公共の福祉との関係、新しい人権等を読みとってくること。				G
	第7回	【テーマ】日本国憲法の基本原理(3)平和主義 【計画内容】平和主義が憲法でどのように規定され、その理念をもとに平和国家日本づくりをしてきたことについて理解します。 【準備学習の内容】平和主義の内容やその取り組み、今日的課題(集団的自衛権、海外派兵等)について調べてくること。				K
	第8回	【テーマ】基本的人権の保障 【計画内容】「侵すことの出来ない永久の権利」「幸福追求権」を裁判例を通して理解します。 【準備学習の内容】配付プリントで提示した裁判事例を熟読し、基本的人権について考えてくること。				J
	第9回	【テーマ】精神的自由･経済的自由 【計画内容】自由権としての精神的な自由、経済的な自由、他者の人権を考察する制約について理解します。 【準備学習の内容】配付プリントの裁判事例を読み、時代とともに変化してきた自由権について読みとってくること。				J
	第10回	【テーマ】社会権 【計画内容】国家に対して積極的な役割を求める権利としての社会権について理解します。 【準備学習の内容】社会権の問題が深刻化してきている。今日的課題となっている事象を調べてくること。				J
	第11回	【テーマ】立法権と国会 【計画内容】国会は国家社会を運営する基本となる法をつくる重要な機関であることを理解します。 【準備学習の内容】国会は国民の意思を効果的に実現するために直接選挙で議員を選んでいることについて調べてくること。				A
	第12回	【テーマ】行政権と内閣 【計画内容】日本は分権の形態として、国会と内閣を連携させる議院内閣制をとっていることを理解します。 【準備学習の内容】配付資料で大統領制と議院内閣制の違いや、内閣の果たす役割、組織、機能について把握してくること。				A
	第13回	【テーマ】司法権の独立 【計画内容】国家権力の一つである司法権を行使し、争いごとを法の適応によって解決していくことを理解します。 【準備学習の内容】配付プリントを熟読し裁判所の仕組み、独立性の保障、違憲立法審査権、裁判員制度などを理解してくること。				A
	第14回	【テーマ】地方自治 【計画内容】地方のことはその住民自らがかかわって処理すべきという地方自治の原則を採用していることを理解します。 【準備学習の内容】国には見られない直接民主主義的制度をとっているが、今日どのような課題を抱えているかを調べてくること。				G
	第15回	【テーマ】憲法改正　振り返りと確認 【計画内容】憲法改正の要件について理解します。また、講義内容の振り返りと確認を行います。 【準備学習の内容】配付プリントで憲法改正の手順を理解してくること。また、全講義を振り返り、確認に備えてくること。				K
テキスト	プリントを使用します					
参考書	講義時に説明します					

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		20%	40%
補足			小レポート		意欲度	理解度確認

質問への対応	初回の講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中･高1種(美術)_ 必修 [健]介護福祉士 _ 選必
その他	講義展開に必要なプリントは憲法条文を含め、進度にあわせて順次配付します。 講義内容を深く理解するために積極的にニュースを聞いたり、新聞や本を読んだりするようにしてください。

科目名	情報社会及び情報倫理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小杉　直美				

授業の目的		
	ねらい	情報化社会といわれている現代社会において、情報や情報技術に関わる様々な事柄が、当然のこととして扱われています。それらを正しく利用することにより、生活により良い効果が生まれますが、方法を誤ると、個人においても社会に対しても悪影響を防ぐことはできません。情報や情報技術が飛躍的に発達する中で、その利用方法や役割や影響等について考察するとともに、正しく理解し、情報倫理の必要性や、情報を扱う責任について考え、望ましい情報社会の構築に積極的に参加する態度を身につけることを目的としています。加えて、学校教育における情報の扱いについて学びます。
	到達目標	(1)情報や情報技術について正しく考察できる。 (2)情報倫理の必要性について考察できる。 (3)情報を扱う責任について考察できる。 (4)情報教育に関する必要な知識を身につけることができる。 (5)情報社会に必要なセキュリティや法律について理解する。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】現代の情報技術 【計画内容】現代の情報技術について考察します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。情報教育について自分の考えを整理しておくこと。
	第2回	【テーマ】情報社会と学校教育について 【計画内容】情報社会の現状を理解するとともに、学校教育における情報教育の現状について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第3回	【テーマ】ネットワーク利用による学び 【計画内容】ネットワーク利用による学びや利便性などを考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第4回	【テーマ】個人の権利 【計画内容】ネットワーク社会における個人の権利について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第5回	【テーマ】知的所有権 【計画内容】ネットワーク社会における知的所有権について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第6回	【テーマ】著作権とプライバシー 【計画内容】著作権とプライバシーについて、とりわけ学校教育に焦点をあてて考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第7回	【テーマ】倫理とモラル教育について 【計画内容】一般的な倫理とモラルについて考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第8回	【テーマ】情報モラル(1) 【計画内容】情報モラルの定義について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第9回	【テーマ】情報モラル(2) 【計画内容】情報モラルの概念を考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第10回	【テーマ】情報モラル教育 【計画内容】学校や社会における情報モラルの指導方法について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第11回	【テーマ】情報モラルの育成 【計画内容】学校や社会における情報モラルの育成について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第12回	【テーマ】情報を扱うルール 【計画内容】情報を扱うルール、規範について考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第13回	【テーマ】情報を扱うマナー 【計画内容】情報を扱うマナーについて、学校教育に焦点をあてて考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第14回	【テーマ】情報社会の倫理 【計画内容】情報社会における倫理と情報倫理を比較考察します。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。
	第15回	【テーマ】まとめとプレゼンテーション 【計画内容】まとめと最終確認を目的にプレゼンテーションの時間を設けます。 【準備学習の内容】前時の講義の終わりに出された課題について取り組んでおくこと。

授業の計画	
	A、H、K
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、H、K、L
	A、L、F

テキスト	プリントを使用します e-learning 教材を使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		30%	20%
	補足			演習課題、レポート等		協同学習への積極性	プレゼンテーション、ディスカッション

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	情報教育に関心を抱いていること。現代の情報教育事情について、新聞などメディアを通して情報収集を行います。毎回出席することを条件とします。やむを得ず、欠席した場合は、欠席部分の課題等を講義連絡で確認し、提出してください。

科目名	障害者スポーツ・パラリンピック概論	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	伊藤　政勝、荒井　秀樹				
授業の目的	ねらい	2020東京オリンピック･パラリンピックの成功を支援するとともに、2026冬季オリンピック･パラリンピックの招致を目指す取組を推進するために、障害に対応した様々なスポーツの取組やパラリンピックの種目について知ることを目的とする。			
	到達目標	(1)スポーツの取組が障害のある人の人生において大変重要な役割を果たしていることを理解する。 (2)障害のある人がスポーツに取り組んでいる状況や環境などについて理解する。 (3)各障害に応じた配慮などを理解し、障害者スポーツの種目やルールを理解する。 (4)パラリンピックの種目について理解する。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス　～障害者スポーツの理解～ 【計画内容】15回の講義展開を説明し、「障害」についてどのような状態なのかを理解し、スポーツとの関係を考える。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】障害者スポーツの現状、長野から平昌へ 【計画内容】障害者が様々な障害者スポーツに取り組んでいる状況について理解するとともに、パラリンピック概要について、長野大会での取組と平昌大会での取組を比較し検討する。(荒井秀樹) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A
	第3回	【テーマ】パラリンピックとどう向き合うか 【計画内容】障害者のスポーツの祭典であるパラリンピックの現状を理解し、障害者だけでなく、国民としてどのように向き合うことが望ましいか考える。(荒井秀樹) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H
	第4回	【テーマ】競技としてのパラスポーツとその環境 【計画内容】パラリンピックのスポーツ種目について、選手強化などの置かれている環境などその実態について理解する。(荒井秀樹) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H
	第5回	【テーマ】パラリンピックの歴史と競技種目 【計画内容】障害者スポーツの国際大会、国内大会の歴史について知るとともに、日本におけるパラリンピックへの取組みについて理解する。障害者スポーツの種目を知り、パラリンピック種目の障害分類や競技ルールなどについて理解する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A
	第6回	【テーマ】肢体不自由者のスポーツ　～ボッチャのルールと魅力及び普及～ 【計画内容】パラリンピックの種目である「ボッチャ」について、ルールや国内での普及啓発の実態について理解する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、B、E
	第7回	【テーマ】パラスポ体験　～ボッチャの実際～ 【計画内容】車椅子に乗った状態で実際に「ボッチャ」を体験する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	D、E
	第8回	【テーマ】視覚障害者のスポーツ　～ゴールボールのルールと普及活動 【計画内容】パラリンピックの種目である「ゴールボール」について、ルールや国内での普及啓発の実態について理解する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、D
	第9回	【テーマ】パラスポ体験　～ゴールボールの実際～ 【計画内容】全盲(目隠し)の状態で実際に「ゴールボール」を体験する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	D、E
	第10回	【テーマ】パラリンピックを支援する企業の取り組み 【計画内容】パラリンピックの選手やスポーツ種目に対する企業の取り組みの実態について理解する。(荒井秀樹) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H
	第11回	【テーマ】視覚障害者のスポーツ　～ブラインドサッカーのルールと普及活動 【計画内容】ワールドカップとして開催される種目である「ブラインドサッカー」について、ルールや国内での普及啓発の実態について理解する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、D
	第12回	【テーマ】パラスポ体験　～ブラインドサッカーの実際～ 【計画内容】全盲(目隠し)の状態で実際に「ブラインドサッカー」を体験する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	D、E
	第13回	【テーマ】2020東京大会、2026札幌大会に向けて 【計画内容】2020東京オリンピック･パラリンピックの成功を支援するとともに、2026冬季オリンピック･パラリンピックの招致を目指す取組を推進するための意気込みや推進に向けた課題などについてて意見交換を行う。(荒井秀樹) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H
	第14回	【テーマ】パラスポ体験　～視覚障害者のマラソン伴走者の実際～ 【計画内容】視覚障害者の走り方や伴奏者がいることを理解するとともに、全盲(目隠し)の状態で実際に「伴走者付きのランニング」を体験する。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、D、E
	第15回	【テーマ】パラリンピックに向けた障害者スポーツの振り返りとまとめ 【計画内容】パリンピックの歴史や置かれている現状を理解するとともに、各種目などの実技を体験したことの振り返りやまとめを行う。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておく。	A、H、L

テキスト	講義時にプリントを使用する
参考書	講義時にプリントを使用する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	50%		20%	
	補足		実際の体験	レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明する。
資格	
その他	

科目名	キャリアデザインⅢ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	阿部　豊、石塚　誠之、澤　聡一、杉岡　品子、冨田　玲子、永野　光一、橋本　菊次郎、水野　信太郎、山崎　正明、小川　美夏、永井　秀岳				
授業の目的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年を通して体系的にキャリア教育科目を開講しています。本講義では、自らのキャリアを構築するための対人基礎力、対自己基礎力、コミュニケーション基礎力の醸成を目指します。そのために、様々なコミュニケーションワークを行います。また、文書で相手に伝えていく力も養います。後半には企画書を作成し、発表します。受講者一人ひとりが、当事者意識を持って取り組むことで、話すことに対する苦手意識を克服し、課題解決力を身につけることをねらいとしています。			
	到達目標	(1)自分の意見を伝え、他者の意見に耳を傾けることができる「発信力」「傾聴力」の習得。 (2)自分の考えを文書化でき、グループの中で主張できる「表現力」「企画力」の習得。 (3)グループのメンバーと協力して物事を作り上げる「課題解決力」の習得。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション　なぜコミュニケーションワークは必要か？ 【計画内容】なぜ、コミュニケーションワークが必要か。講義の到達目標と意義を説明し、簡単なワークを行う。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			A、K、L
	第2回	【テーマ】コミュニケーションワーク　楽しいコミュニケーション　アイスブレイク「私はスター、私は司会者」 【計画内容】初対面の人とでも仲良くなれる楽しいワークを行う。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第3回	【テーマ】コミュニケーションワーク　グループ・ディスカッション 【計画内容】グループディスカッションの楽しいワークを行う。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第4回	【テーマ】コミュニケーションワーク　楽しいコミュニケーション　ホスピタリティ「インバスケット」 【計画内容】初対面の人とでも仲良くなれる楽しいワークを行う。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第5回	【テーマ】自己分析（書くワーク） 【計画内容】自己分析ワークシートに記入し、グループでシェアする。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第6回	【テーマ】私のオススメ（書くワーク） 【計画内容】映画、小説、音楽など、自分の「オススメ」をそのことを知らない第三者にも伝わるように書く。 【準備学習の内容】あらかじめ何について書くのか、自分の中で整理しておくこと。			H、K、L
	第7回	【テーマ】小説リレー（書くワーク） 【計画内容】グループで一人ひとりストーリーを考え、ひとつの小説を書き上げる。 【準備学習の内容】テーマ、登場人物、展開、エンディングの設定について、考えておくこと。			H、K、L
	第8回	【テーマ】私はコラムニスト（書くワーク） 【計画内容】テレビ番組を収録したDVDを視聴。第三者がその番組を見たくなるような新聞記事風の文章を書く。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第9回	【テーマ】北翔大学の魅力を〇〇に伝える 【計画内容】誰をターゲットにするのかを決め、グループで大学のいいところを100個以上あげ、大学の魅力を共有する。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第10回	【テーマ】北翔大学の魅力を探してくる 【計画内容】フィールドワークとして、実際に校舎を歩き回り、新たな魅力を発見する。50個以上を目標とする。 【準備学習の内容】日々ニュースを見る、新聞を読むこと。			H、K、L
	第11回	【テーマ】北翔大学の魅力をターゲット別に整理する 【計画内容】ターゲットに響く魅力を整理するため、多くの魅力をグループ区分する。グループ区分にラベルをつける。次に、ターゲットに響く魅力を選ぶ。なぜそのグループがターゲットに響くのかの根拠を明確にする。 【準備学習の内容】ターゲット別に選別すること、新たに一人5個以上の魅力を見つけること。			H、K、L
	第12回	【テーマ】北翔大学の魅力を〇〇に伝えるシナリオの作り方を学ぶ 【計画内容】選択した内容をターゲットに伝えるため、シナリオフォーマットにまとめる。 【準備学習の内容】選んだものを論理的に伝えるためのフォーマットにまとめる。			H、K、L
	第13回	【テーマ】北翔大学の魅力を〇〇に伝えるプレゼンの方法を学ぶ 【計画内容】プレゼンする準備。服装を整えることから、伝え方の工夫について、プレゼンテーションの仕方を学び、リハーサルする。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの仕方について、何が大切かを考えておくこと。			H、K、L
	第14回	【テーマ】北翔大学の魅力を〇〇に伝えるプレゼンテーション大会 【計画内容】実際にプレゼンテーションする。1チーム当たり3分間。1人1票、最後に投票して1位を決める。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの質を高めるために、最低何回かは集まって練習しておくこと。			F、K、L
	第15回	【テーマ】今までの振り返り 【計画内容】今までの授業を通じて、他者と良い関係を構築していくために、大切だと思ったことは何かを振り返る。第9回～第14回で、北翔大学が将来的にどのようになっていくとより魅力的になるかを考える。 【準備学習の内容】これまでの授業を振り返る。			G、L
テキスト	プリント等を使用します				
参考書	適宜、講義時に紹介します。				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			平時・最終		平時	

質問への対応	講義終了後、コミュニケーションワークについての質問は随時受け付けます。
資格	
その他	日々、ニュースを見る、新聞を読むことは、講義中、講義終了後も継続すること。

科目名	就業力特別講義Ⅰ	授業形態	講義	単位数	1
教員名	松澤　衛、佐藤　克之、杉浦　勉、竹内　雅明、水野　信太郎、菊池　隆夫、佐々木　雅史、西村　光弘				

授業の目的		
	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本講義では、民間企業の就職試験において90% 以上実施されている筆記試験の中でも代表的なＳＰＩの非言語分野に絞って、ポイントを学んでいきます。民間企業への就職希望者は勿論のこと、他分野への就職希望者も含めて、論理的思考が身につくことをねらいとします。
	到達目標	(1)解法を正しく理解し、実践することができるようになる。 (2)一定時間内に問題を処理することができるようになる。 (3)論理的に物事を考えられるようになる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】推論･ブラックボックス 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(松澤衛) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A、H
	第2回	【テーマ】グラフの領域 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(西村光弘) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A
	第3回	【テーマ】速度算(速度･距離･時間) 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(菊池隆夫) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A
	第4回	【テーマ】割合、比率、濃度算 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(水野信太郎) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A、H
	第5回	【テーマ】仕事算、水槽算 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(三浦公裕) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A
	第6回	【テーマ】損益算 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(竹内雅明) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A
	第7回	【テーマ】集合、順列･組み合わせ 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(佐々木雅史) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A、H
	第8回	【テーマ】表の読み取り 【計画内容】出題した問題の解法とポイントをわかりやすく説明します。(佐藤克之) 【準備学習の内容】事前に渡した問題を自分なりに解いたうえで講義に出席すること。	A、J

テキスト	プリント等を使用します
参考書	必要があれば講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

質問への対応	講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。 E-Mail:suugaku@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	補講などについては、オリエンテーションで詳細を説明します。 毎回、確認テスト等により評価を行います。 8回の授業です。3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので初回講義には必ず出席すること。

科目名	インターンシップ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	キャリア支援センター長				

授業の目的		
	ねらい	インターンシップは、企業等での研修を通じて、就業力を育成することを目的としている。インターンシップは、①日々学んでいる専門性を実践の場で発揮する機会として、②自ら選択した職種の適性を判断する機会として、③進路とは異なる業種、職種を経験する機会として等、各自の目的に応じて活用することが可能であり、将来の進路選択の際に必要となるさまざまな知識の吸収や社会に通用する価値観の獲得、および社会人としての基礎力を培うことを目指す。
	到達目標	(1)ビジネスマナーを身につける。 (2)自己の適性について理解を深める。 (3)適切な職業観を養う。 (4)行動力やコミュニケーション能力を身につける。 (5)各業界の取組を通じて、企業(団体含む)理解を深める。

授業の計画	
【インターンシップ事前指導】 (1)4月の就職ガイダンスに出席し、自己の進路について考え、就職に向けて意識を高める。インターンシップの概要を理解する。 (2)インターンシップ説明会(必須)に出席し、インターンシップの意義、概要、流れを理解する。 (3)希望実習先の企業研究を行い、実習先の希望業種と希望職種について検討する。 (4)希望実習先の選定と志望理由書を作成し、期日までにキャリア支援センターにてインターンシップの申込みを行う。 (5)キャリア支援センターにて必要に応じて個人面談を受けながら、インターンシップ中の自己のテーマや目標を考え、実習先の学内選考を受ける。 (6)ビジネスマナー講座を受講(必須)し、社会人としての最低限のマナーを身につける。	A、D、L、N
【インターンシップ実習】 就労体験を通じて、自らの適性と仕事についての理解を深め、就業力を養う。 (1)仕事とはどういうものかを感じ取り、理解する。 (2)企業・組織を知り、社会のしくみを理解する。 (3)企業・組織の一員として、できることを明確にする。 (4)社会人としての価値観や基礎を身につける。	F、L
【インターンシップ事後指導】 (1)インターンシップ実習を振り返り、自己評価および報告書を作成し、期日までにキャリア支援センターに提出する。 (2)インターンシップ報告会のプレゼンテーションの準備をする。 (3)インターンシップ報告会で自分の実習体験を発表(必須)し、プレゼンテーションを学ぶ。 (4)指定テーマに基づきグループワークを行い、結果を発表する。その際、グループ内の役割課題に取り組む。	F、G、H
【準備学習の内容】 希望実習先の企業研究を行う。	

テキスト	必要に応じて随時資料を配付します
参考書	必要に応じて随時資料を配付します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	50%	20%	
補足			報告書	実習先の評価	平時	

質問への対応	キャリア支援センター窓口(7号棟1F)にて、随時質問対応します。 企業とのマッチング等の業務はキャリア支援センターが担当します。 インターンシップ説明会にて詳細は説明しますが、不安なこと、心配なことはキャリア支援センター職員に遠慮なくお尋ねください。
資格	
その他	インターンシップ希望者は、前学期のうちに実施される「インターンシップ説明会」に必ず出席のこと。日程は別途キャリア支援センターより明示します。希望者には申込書と志望理由書作成を課します(必要に応じて面談を実施する場合もあります)。学内選考を経て、インターンシップに参加となります。インターンシップ参加前のマナー講座は必修です。大学を通しての派遣になりますので、相応しい服装、髪型、礼儀を守ることを約束できることが前提です。なお、インターンシップにかかる交通費、食費等は自己負担となりますのでご了承ください。 ＜履修上の注意＞ 夏期休暇を利用して2週間程度で行うインターンシップ、もしくは数ヶ月にわたり組織の中で一つのプロジェクトを遂行するプロジェクト型インターンシップなど、インターンシップにも様々なスタイルがあります。受け入れ先企業との連絡・調整などを経て、インターンシップ体験となりますので、その都度キャリア支援センターの指示に従ってください。

発　展　科　目

科目名	心理統計法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　至英				
授業の目的	ねらい	基礎統計学の知識をもとにして、心理学領域で必要なデータ処理の基本的な考え方と方法を学ぶ。事例をもとに、データ処理をフローチャート化し、どのようなデータに対してどのような処理を行うのかについて解説する。データの表示、平均の差の分析、実験計画と分散分析、相関・予測の分析、度数の分析、因子分析、回帰分析を扱う。			
	到達目標	(1)データの種類によって、適切な統計処理の方法を選択できる。 (2)基本的な統計処理を行うことができる。 (3)多変量解析の結果を理解できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】データとデータ解析 【計画内容】心理学で扱うデータにはどのようなものがあるのか、データによってどのような統計処理が可能なのかについて理解する。 【準備学習の内容】電卓を用意する。シラバスを読んでおくこと。			A、L
	第2回	【テーマ】度数の分析(1) 【計画内容】直接確率計算法について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第3回	【テーマ】度数の分析(2) 【計画内容】直接確率計算法について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第4回	【テーマ】度数の分析(3) 【計画内容】χ2検定と残差分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第5回	【テーマ】度数の分析(4) 【計画内容】χ2検定と残差分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第6回	【テーマ】1要因の分散分析(1) 【計画内容】1要因の分散分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第7回	【テーマ】1要因の分散分析(2) 【計画内容】1要因の分散分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第8回	【テーマ】2要因の分散分析(1) 【計画内容】2要因の分散分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第9回	【テーマ】2要因の分散分析(2) 【計画内容】2要因の分散分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第10回	【テーマ】相関・予測の分析(1) 【計画内容】相関・予測の分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第11回	【テーマ】相関・予測の分析(2) 【計画内容】相関・予測の分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第12回	【テーマ】相関・予測の分析(3) 【計画内容】相関・予測の分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第13回	【テーマ】回帰分析(1) 【計画内容】回帰分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第14回	【テーマ】回帰分析(2) 【計画内容】回帰分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第15回	【テーマ】総合演習 【計画内容】心理データの統計処理について、基本的理解を確認する。 【準備学習の内容】不明な点、疑問点について、考えておく。			A、L
テキスト	プリントを配付します				
参考書	田中敏・山際勇一郎、2012年、『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』、教育出版、9784316329017				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足			平時・最終		平時	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必 [ス]JATI 認定トレーニング指導者 _ 必修
その他	この科目の履修には基礎統計学の知識が必要となる。毎回、配付資料の事前課題を予習すること。すべての演習課題の提出が成績評価の前提条件となる。

科目名	育児支援の心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	風間　雅江				

授業の目的	ねらい	少子高齢化が進む現代日本において、子育てを担う人々の悩みは深刻化している。かつて、子育て支援は保育支援中心の施策に偏っていたが、現在は、地域や企業なども含めて、広く、社会全体で取り組む方向に移行している。こうした背景からすると、子育て支援は誰もにとって身近な課題であるといえる。本講義では、子育て支援に関連する心理学の知識や理論を紹介し、それらが子育て支援の実践にどのように活かされるのかについて考察する。
	到達目標	(1)子育て支援に関連する、発達心理学、家族心理学、臨床心理学などの心理学領域の知識を習得する。 (2)養育者のメンタルヘルスの維持・向上、および支援にかかわる理論や具体的方法についての理解を深める。 (3)家庭、園、そして地域における多様な子育て支援の実践について多面的に考察する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】本講義のねらい、到達目標、15回の流れ、成績評価の方法等について説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】現代社会の特徴と子育て支援の必要性 【計画内容】少子化と核家族化が進行した現代の日本社会において、どのような子育て支援が求められるのか、現状をふまえながら考察する。 【準備学習の内容】テキストの序章を読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】家庭での子育てとその支援 【計画内容】愛着(アタッチメント)の理論、および、親の精神衛生にかかわる要因について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第1章を読んでおくこと。	A、K
	第4回	【テーマ】育児不安 【計画内容】母親をはじめとした育児者が抱く不安や子育ての負担感、および育児疲労について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第14章を読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】父母子関係とソーシャルサポート 【計画内容】家族全体を支えるソーシャルサポート(社会的支援)について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第2章を読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】虐待の防止に向けて 【計画内容】虐待の定義、虐待を引き起こすリスク要因、早期発見、および援助の方法について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んでおくこと。	A、H、K
	第7回	【テーマ】親としての成長 【計画内容】子育てをしながら成長していく親としての発達について、生涯発達心理学の観点から検討する。 【準備学習の内容】テキストの第5章を読んでおくこと。	A、H、K
	第8回	【テーマ】集団での経験と子どもの育ち 【計画内容】幼稚園や保育園などの集団保育施設において、子どもの発達を支える保育者の担う役割について考える。 【準備学習の内容】テキストの第6章を読んでおくこと。	A、H、K
	第9回	【テーマ】園における子育て支援と保育カウンセリング 【計画内容】園における子育て相談や預かり保育、および保育カウンセリングについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第6章と第12章を読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】障害のある子どもの親および保育者への支援 【計画内容】発達障害等障害のある子どもの親、および園の保育者に対する支援について具体例を通して考える。 【準備学習の内容】テキストの第12章と第13章を読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】地域での子育て相談 【計画内容】保健所・保健センター等での子育て支援の取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第13章を読んでおくこと。	A、H、K
	第12回	【テーマ】地域における子育て支援活動 【計画内容】児童会館等での子育て支援について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第15章を読んでおくこと。	A、M
	第13回	【テーマ】学齢期の子育て支援 【計画内容】小学生、中学生の親への子育て支援について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第15章を読んでおくこと。	A、H、K
	第14回	【テーマ】逆境を乗り越える子育て 【計画内容】さまざまな危機的状況のなかで生きる親と子の精神的回復力(リジリエンス)を最大限ひきだすための支援について考える。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んでおくこと。	A、H、K
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの講義を振り返り、全体を通して学んだことや考えたことを確認する。 【準備学習の内容】本講義全体を通して学んだことについて、各自の理解と独自の考察をまとめておくこと。	A、G、L

テキスト	無藤隆・安藤智子編、2008年、『子育て支援の心理学ー家庭・園・地域で育てる』、有斐閣アルマ、9784641173507
参考書	橋本和明、2014年、『子育て支援ガイドブックー逆境を乗り越える子育て技術ー』、金剛出版、9784772413848 岩堂美智子(監)・松島恭子(編)、2008年、『臨床心理士の子育て支援ーその理論と実践事例ー』、創元社、9784422114149 藤崎眞知代・本郷一夫・金田利子・無藤隆(編著)、2002年、『育児・保育現場での発達とその支援』、ミネルヴァ書房、4623036871

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
	補足						

質問への対応	講義中、講義後に直接、あるいは、メールでの質問を受けます。E-Mail:mkazama@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	

科目名	犯罪心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	飯田　昭人				
授業の目的	ねらい	犯罪や非行を通して、人間理解、人間のあり方を考えてもらうことを目的とする。 また、過去や現在の犯罪や非行の情勢、その特徴、対策や対応などについて、心理学的視点をもとに考えていくこととする。			
	到達目標	(1)犯罪や非行の特徴や特性について理解できる。 (2)犯罪や非行に関する諸理論を理解することができる。 (3)犯罪や非行という行為から、人間理解について考えることができる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要や到達目標などを説明し、その後、犯罪とは何かということについて考えていく。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A、K、L		
	第2回	【テーマ】犯罪の原因論①～生物学的および社会学的原因論に着目して 【計画内容】犯罪や非行の原因や発生に至る背景に関して、生物学的及び社会学的要因から考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第3回	【テーマ】犯罪の原因論②～心理学的原因論に着目して 【計画内容】犯罪や非行の原因や発生に至る背景に関して、心理学的要因から考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第4回	【テーマ】犯罪の性質①～暴力犯罪について 【計画内容】主に暴力(粗暴)を用いられた犯罪を中心とした粗暴犯についての種類や概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第5回	【テーマ】犯罪の性質②～性犯罪について 【計画内容】主に強姦罪や強制わいせつ罪を中心とした性犯についての種類や概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第6回	【テーマ】犯罪の性質③～ DV･ストーキング･虐待 【計画内容】主にドメスティックバイオレンス(DV)、ストーカー行為、虐待についての概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第7回	【テーマ】犯罪の性質④～窃盗･強盗･放火 【計画内容】主に窃盗、強盗、放火についての概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第8回	【テーマ】犯罪捜査の心理学①～プロファイリングを中心に 【計画内容】捜査の現場で用いられている犯罪心理学的知見のうち、プロファイリングに焦点を当て、事件の理解や解明にプロファイリングがどう役立つのかを考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第9回	【テーマ】犯罪捜査の心理学②～ポリグラフ検査や筆跡鑑定を中心に 【計画内容】捜査の現場で用いられている犯罪心理学的知見のうち、ポリグラフ検査(嘘発見器)や筆跡鑑定に焦点を当て、事件の理解や解明にポリグラフや筆跡鑑定がどう役立つのかを考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第10回	【テーマ】防犯心理学の視点 【計画内容】犯罪を未然に防ぐための方策を心理学的視点から考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L		
	第11回	【テーマ】非行について考える①～日本の非行の現状 【計画内容】非行少年の捉えられ方についてのさまざまな変遷について理解していき、現代の非行少年の特徴や対応について考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L		
	第12回	【テーマ】非行について考える②～非行と家族関係 【計画内容】非行少年をとりまく家族に焦点を当て、非行と家族関係の関連について考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L		
	第13回	【テーマ】犯罪心理学トピックス①～発達障害について 【計画内容】発達障害が犯罪や非行に関連が強いということでは決してないが、発達障害という特性が犯罪や非行にどう影響しているのか、そして影響していないのかを考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L		
	第14回	【テーマ】犯罪心理学トピックス②～犯罪被害について 【計画内容】犯罪被害についての現状、犯罪被害に遭われた方への支援方策などについて考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L		
	第15回	【テーマ】犯罪･非行心理学の課題と展望 【計画内容】これまでの総括を行い、犯罪や非行という行為から、人間のあり方について考えていく。 【準備学習の内容】これまでの講義を振り返り、犯罪や非行からの人間理解について事前に考えておく。	A、K、L		
テキスト	越智啓太、2012年、『犯罪心理学』、サイエンス社、9784781912998				
参考書	配付資料を用います。				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足						小レポート

質問への対応	747研究室に直接来訪するか、メールにて確認すること。 E-Mail:iida@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	皆で考えるような講義にしたいと思います。 犯罪や非行という行為から人間のありようについて考えていただければと思います。 例年、受講者が多いですが、本当に受講したい、意欲の高い学生の受講を希望します。

科目名	生活の中の介護福祉	授業形態	講義	単位数	2
教員名	福島　義典				

授業の目的		
	ねらい	少子高齢社会といわれる現代では、介護を必要とする人の増加を背景に「介護」に関連する様々な課題が問われています。それらの課題と関連させながら「介護」とは何かを考えていきます。その上で介護援助の要素について学びます。 介護および介護福祉の概念・理念から講義をスタートし、それらを踏まえて介護福祉サービスを提供するための基本的な考え方と技法を学びます。
	到達目標	(1)介護・介護福祉についての基本的な知識を身につける。 (2)介護を取り巻く状況について、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (3)介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション、介護・介護福祉の概念・理念等について 【計画内容】講義展開の説明から講義の全体像を把握し、学び方を考えます。介護等の理念等について学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおいてください。	A
	第2回	【テーマ】介護における倫理について 【計画内容】人権と尊厳を支える介護とはどのようなことか。自立支援など介護における倫理についても学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、H
	第3回	【テーマ】介護におけるコミュニケーションについて 【計画内容】日常で行っているバーバル、ノンバーバルコミュニケーションを含めて、介護を通じてその意味と方法について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、B
	第4回	【テーマ】移動、排せつの介護について 【計画内容】移動、排せつに関する介護等を介護用品も確認しながら、QOL も含めてケア内容等について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、H
	第5回	【テーマ】食事、入浴の介護について 【計画内容】食事、入浴に関する介護等を QOL も含めてケア内容等について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、H
	第6回	【テーマ】認知症ケアについて 【計画内容】アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症等の疾病、そのケア対応内容などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、B
	第7回	【テーマ】福祉用具の意義と活用について 【計画内容】よりよい生活を送るために福祉用具にはどのようなものがあるのか。福祉用具を利用した自立と介護について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、H
	第8回	【テーマ】リスクマネジメントについて 【計画内容】日常生活で起こり得るリスクについて、ソフト(人)やハード(物)を活用した予防方法等について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、B
	第9回	【テーマ】心身の健康管理について 【計画内容】介護を行う上で大切となる心と体の健康管理を感染症予防、腰痛予防、メンタルヘルス等を通じて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、B
	第10回	【テーマ】介護にかかわる制度政策について 【計画内容】介護、介護福祉にかかわる介護保険制度、老人福祉法、障がい者総合支援法などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、B
	第11回	【テーマ】口腔ケアについて 【計画内容】介護を行う上で大切となる口腔ケア、その内容などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、H
	第12回	【テーマ】ターミナルケアについて 【計画内容】ホームに入居している介護が必要な高齢者が、エンディングまで人生を生き抜くために行う支援と介護について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。	A、H
	第13回	【テーマ】介護予防について 【計画内容】ケアレクやケアアクテビティ等、現在の介護予防の取り組みについて学びます。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておいてください。	A、E
	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし、学びの確認をします。 【準備学習の内容】これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。	A、L
	第15回	【テーマ】今後のケアワークについて 【計画内容】ケアワークの現状と課題と魅力、そして今後について学びます。 【準備学習の内容】これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。	A、H

テキスト	講義時にプリントを配付します。
参考書	講義時にプリントを配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				50%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]福祉心理士 _ 選必
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 自ら考え学ぶ姿勢と積極的な受講態度を期待します。

科目名	空間デザイン史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	水野　信太郎				

授業の目的		
	ねらい	本講義は、日本建築史と西洋建築史さらに近代建築史について、各時代の主要な様式や技術を学ぶ。日本建築史では、海外からの様式や技術を取り入れながら独自の発展を遂げてきたことを述べる。また西洋建築史においては、各時代の宗教などさまざまな文化との関連性に触れつつ構法と造形の発展過程や表現などについて講義する。そして近代建築史では、著名な建築家と作品、くわえて作家活動の流れに関しても講ずる。まとめとして、世界の現代建築と近未来を展望する。
	到達目標	(1)建築物と建築行為の基本を理解すること。 (2)わが国の歴史的建築物が、世界の中で占める位置づけを感じ取る。 (3)西洋建築を中心として、世界のさまざまな建築物を大きくとらえる。 (4)現代建築へ続く近代建築と代表的な建築家たちのこころざしを知る。 (5)最後に将来、建築関係者として社会活動をする心構えを養うこと。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ヴォイドな空間とスペース・建築の誕生 【計画内容】建築行為と建築物の違い、建築空間の原初的な姿、住居と住宅の相違点など基本的事項を知る。 【準備学習の内容】建築物と呼ばれるために必要な3条件(定義)と建築行為の4種類を調べてくる。	A
	第2回	【テーマ】日本建築の黎明 【計画内容】宗教建築の誕生と神社建築、その代表的な事例などを学習する。 【準備学習の内容】わが国の著名な神社建築に関して2～3例を調べてくる。	A
	第3回	【テーマ】仏教伝来と仏教寺院の成立 【計画内容】仏教建築の和様・天竺様・唐様の違いを明確に理解できるよう講義する。 【準備学習の内容】わが国の著名な仏教寺院について2～3例を調べてくること。	A
	第4回	【テーマ】わが国古代から中世の住宅建築 【計画内容】寝殿造と書院造の違いを理解するため、御所・離宮における敷地配置・座敷・壁そして天井などを論ずる。 【準備学習の内容】寝殿造と書院造の背景と相違点を調べておくこと。	A
	第5回	【テーマ】安土・桃山から江戸時代の建築的変遷 【計画内容】天守閣・茶室・霊廟建築そして町家と町並みの成立を説明していく。 【準備学習の内容】戦国期に誕生した日本建築の特徴・日本的な特色を調べる。	A
	第6回	【テーマ】西洋の古典建築・オリエントとクラシック 【計画内容】エジプト、メソポタミア、古代ギリシア・ローマという西洋建築の源泉を学習する。 【準備学習の内容】エジプト、メソポタミア、ギリシア、ローマの代表的建築物を各1例ずつ調べてくる。	A
	第7回	【テーマ】西洋中世の建築様式 【計画内容】キリスト教建築のビザンチン・ロマネスク・ゴシック、それぞれのスタイルについて講義する。 【準備学習の内容】教会堂のビザンチンとロマネスクとゴシック様式の形態面での相違点を予習しておく。	A
	第8回	【テーマ】西洋の城と住宅・中世建築様式 【計画内容】中世封建社会における世俗建築のチューダー様式とハーフ・ティンバーを学ぶ。 【準備学習の内容】予習として、ヨーロッパのチューダー王朝について各自で文献調査する。	A
	第9回	【テーマ】西洋近代の幕開け 【計画内容】ルネサンス・マニエリスム・バロック・ロココという近代の様式を順に講義する。 【準備学習の内容】かつて社会科で教えられた「文芸復興」を復習しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】日本の近代・幕末から明治維新 【計画内容】江戸時代末期と開国そして明治時代の西洋建築について学習する。 【準備学習の内容】北海道を代表する明治建築・西洋館を1～2例図書館の蔵書で調べてくる。	A
	第11回	【テーマ】アール・ヌーヴォーとアール・デコ 【計画内容】19世紀末のアール・ヌーヴォーと20世紀のアール・デコの具体例を多数あげて講義する。 【準備学習の内容】よく似ているアール・ヌーヴォーとアール・デコの違いを整理してくること。	A
	第12回	【テーマ】モダニズムの芽生えと近代建築家 【計画内容】ヨーロッパの工業化社会と近代技術に支えられて新しい建築家たちが誕生した歴史を説明する。 【準備学習の内容】現代建築につながる鉄筋コンクリート構造の基本的知識を再確認してくる。	A、J
	第13回	【テーマ】大正・昭和の日本人建築家 【計画内容】様式折衷主義時代から分離派建築運動への歩みを著名建築家たちの実作にそって講ずる。 【準備学習の内容】現代の高層建築ほかを支える鉄骨構造の基本的知識を再確認してくる。	A、J
	第14回	【テーマ】世界現代の建築スタイル 【計画内容】インターナショナル建築と呼ばれた「国際建築」様式の誕生について講義する。 【準備学習の内容】20世紀の日本建築界をリードした建築家1名についてリポートをまとめる。	A、J
	第15回	【テーマ】ポスト・モダンと近未来建築 【計画内容】今日のポスト・モダン建築と今後の建築デザインを展望する。 【準備学習の内容】半期分全体の学習内容を学び直すと共に、建築界に対する自らの抱負を再確認する。	A、J

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		40%		20%	
補足						

質問への対応	その都度、学生個人に対して応ずると共に、必要な場合にはすべての受講生が共有することができるかたちで対応します。
資格	[芸]1・2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	届け出のない欠席がある場合は、単位認定が困難となります。

科目名	美術史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	柴　勤				
授業の目的	ねらい	西洋と日本の美術史の流れを学びながら、それらを当時の宗教や政治、経済など社会との関係の中で理解するとともに、美術作品を鑑賞する際の基本的な視点についても学ぶ。西洋美術はルネサンスから20世紀まで、日本美術は飛鳥時代から現代までの美術史を通して、それぞれの変遷を理解し、現代美術の多岐にわたる様相を考える手がかりを得ることが本講義の目的である。さらに、日本の伝統美術とアジア美術の潮流を眺めながら、こうした展開を具体的な作家、作品を取り上げて鑑賞しながら検証することから発展し、受講生一人ひとりが実際の美術館、ギャラリーで作品を鑑賞する契機とする。				
	到達目標	(1)西洋美術と日本美術の基本的な歴史を理解する。 (2)美術と社会との関係を理解する。 (3)美術と文学、音楽など隣接領域の芸術との関係を理解する。 (4)日本の現代美術と伝統美術との関係を理解する。 (5)アジア美術と現代美術との関係を理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の進め方と単位取得のための課題などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読し、講義ノートを一冊用意すること。				A
	第2回	【テーマ】西洋の美術(ルネサンス) 【計画内容】ルネサンス期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第3回	【テーマ】西洋の美術(バロック・ロココ) 【計画内容】バロックおよびロココ期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第4回	【テーマ】西洋の美術(19世紀前半①) 【計画内容】新古典主義からロマン主義に至る19世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第5回	【テーマ】西洋の美術(19世紀前半②) 【計画内容】バルビゾン派やレアリスム絵画など19世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第6回	【テーマ】西洋の美術(19世紀後半①) 【計画内容】マネから印象主義に至る19世紀後半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第7回	【テーマ】西洋の美術(19世紀後半②) 【計画内容】後期印象主義から世紀末美術に至る19世紀後半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第8回	【テーマ】西洋の美術(20世紀前半①) 【計画内容】フォーヴィスムからキュビスムに至る20世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第9回	【テーマ】西洋の美術(20世紀前半②) 【計画内容】ダダイスムからシュルレアリスム、およびエコール・ド・パリなど20世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第10回	【テーマ】西洋の美術(20世紀後半) 【計画内容】抽象表現主義やアンフォルメル、ポップアートなど20世紀後半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第11回	【テーマ】日本の美術(飛鳥～平安時代) 【計画内容】飛鳥から平安時代に至る美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第12回	【テーマ】日本の美術(鎌倉～江戸時代) 【計画内容】鎌倉から江戸時代に至る美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第13回	【テーマ】日本の美術(明治～昭和時代) 【計画内容】明治から大正を経て昭和時代(戦前)に至る美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第14回	【テーマ】日本の現代美術とアジアの美術 【計画内容】昭和(戦後)以降の日本の現代美術とアジアの美術の内容と関係性について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第15回	【テーマ】西洋の美術、日本の美術のまとめ 【計画内容】第2回から第14回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行い、課題レポートを提出する。 【準備学習の内容】講義ノートの整理と課題レポートの作成。				A、G
テキスト	プリントを使用します					
参考書	必要に応じて指示します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%	30%	20%			
	補足						

質問への対応	基本的には講義時に対応します。必要に応じてメール対応もします。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	

科目名	音楽鑑賞法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千葉　圭説				

授業の目的		
	ねらい	音楽は記憶の芸術である。音楽の記憶は日常生活の場面と結びつく視覚につながることが多く、音楽によって様々なシーンを連想させることもある。劇音楽やバレエ音楽は、まさにその効果を期待したものである。すべての音楽が直接情景を思い浮かべられる事を意図したものではないが、何らかの現象や情景を漠然と思い描かせるものである。名曲を鑑賞するとき、より深い理解と楽しみ方を得るために必要な知識と手段を作品の解説や作品の生まれた背景、演奏楽器の興味深い話を交えながら研究する。
	到達目標	(1)音楽の鑑賞は、記憶の学問であるから単に快楽的な鑑賞にとどめてはいけない。学術的分析方法を学ぶ。 (2)芸術的な名曲はその時代の歴史的時代を要約し、普遍的な真実を語ることを認識する。 (3)この講義では、楽譜を見ながら諸作品を鑑賞し、そのための分析法「楽曲アナリーゼ」を身につける。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】中世から近代までの名曲を鑑賞教材にする15講義の概要と鑑賞教材を説明します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第2回	【テーマ】中世とルネサンス音楽Ⅰ 【計画内容】グレゴリオ聖歌の特徴と魅力を探り、宗教音楽の祈りの音楽形式を探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第3回	【テーマ】中世とルネサンス音楽Ⅱ 【計画内容】音楽における中世世界の投影を認識し初期の多声音楽を分析し、西洋音楽の始動を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第4回	【テーマ】中世とルネサンス音楽Ⅲ 【計画内容】教会音楽の変容を認識し、カデンツ(終止形)の成立を検証します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第5回	【テーマ】バロック音楽Ⅰ 【計画内容】バロック音楽における拍子の発見を知ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第6回	【テーマ】バロック音楽Ⅱ 【計画内容】バロック時代最大の音楽家、J.S. バッハの作品を検証し、その実像を探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第7回	【テーマ】バロック音楽Ⅲ 【計画内容】バッハによるバロック音楽の集大成とは何かを探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第8回	【テーマ】古典派の音楽Ⅰ 【計画内容】バッハの器楽作品を鑑賞し、シンフォニーとソナタの始動を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第9回	【テーマ】古典派の音楽Ⅱ 【計画内容】モーツァルトの作品を分析し、古典派のソナタ形式の原理を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第10回	【テーマ】古典派の音楽Ⅲ 【計画内容】モーツァルトの作品を分析し、モーツァルト的な音楽とは何かを探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第11回	【テーマ】古典派の音楽Ⅳ 【計画内容】ベートーヴェンのピアノ作品を分析し、器楽作品におけるソナタ形式の最終回答を探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第12回	【テーマ】ロマン派の音楽Ⅰ 【計画内容】シューベルトの歌曲「魔王」を分析しロマン派の表現領域を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第13回	【テーマ】ロマン派の音楽Ⅱ 【計画内容】19世紀に花開いたピアノ音楽を分析し、ソナタ形式の変容を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第14回	【テーマ】ロマン派の音楽Ⅲ 【計画内容】ブラームス、ワーグナーの作品を分析し、音楽のテーマ、始動動機とは何かを探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。	A
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】聴いてきた鑑賞教材を聴取し、その音楽の分析を文章で論じます。 【準備学習の内容】事前配付資料を読んでおくこと。必ず持参すること。	A

テキスト	講師作成プリント
参考書	田村和紀夫、2006年、『名曲が語る音楽史』、音楽之友社 文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				60%	
	補足						

質問への対応	講義時に随時行います。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	この講義は、楽典などの学問的な知識を習得していることが条件であるので、学生は事前に学んでおくこと。

科目名	音楽史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	鈴木　しおり、千葉　圭説				
授業の目的	ねらい	西洋音楽史の8講義は、現代の音楽にいたる道のりをバロック、古典派、ロマン派、近代等の時代を認識し、各時代の音楽的特徴と音楽が生まれた背景を踏まえてその時代の作曲家の作品にふれながら、その人となりに関するエピソードを交えて進めていく。さらに日本音楽史6講義においては伝統音楽及びアジア民族の音楽を鑑賞しながら雅楽、琵琶、三味線、尺八、箏などの楽器を中心に、歌舞伎、能狂言、文楽などの舞台芸術から、日本独自の音楽の歴史を学ぶ。			
	到達目標	(1)この講義では、過去の歴史のためにではなく、生きた音楽のために音楽史の研究を行う。 (2)世界中の音楽の相互関係を明らかにする。 (3)音楽史の内容を他者に伝えられる知識を得る。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】15回の講義概要を紹介し、西洋音楽史8回と日本音楽史6回の課題を説明する。(鈴木しおり・千葉圭説) 【準備学習の内容】事前に配付する、各回の講義テキストを熟読しておくこと。			A
	第2回	【テーマ】「西洋音楽史」序：人間と音楽 【計画内容】西洋音楽の起源と機能などを古代ギリシャ哲学者たちの音楽観から学ぶ。(千葉圭説) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第3回	【テーマ】ルネサンス・中世時代 【計画内容】中世の教会音楽を中心にグレゴリオ聖歌から多声音楽への推移を検証する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】グレゴリオ聖歌の CD を聴くこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第4回	【テーマ】バロック時代Ⅰ 【計画内容】バロック音楽の作曲上の発明工夫を検証する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】バロック音楽 CD を聴いておくこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A、K
	第5回	【テーマ】バロック時代Ⅱ 【計画内容】バッハの音楽作品を中心に各国との比較・影響を学ぶ。(千葉圭説) 【準備学習の内容】バッハの音楽作品 CD を聴いておくこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A、L
	第6回	【テーマ】古典派の時代 【計画内容】ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの作品と人となりに触れながら、ヨーロッパ各国の音楽事情を学ぶ。(千葉圭説) 【準備学習の内容】ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの音楽作品 CD を聴いておくこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第7回	【テーマ】ロマン派Ⅰ 【計画内容】シューベルト、シューマンの作品を中心に多くの芸術家たちの活動を認識する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】シューベルト、シューマンの音楽 CD を聴くこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第8回	【テーマ】ロマン派Ⅱ 【計画内容】ブラームス、ワーグナーを中心にヨーロッパ各国の音楽事情を認識する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】ブラームス「子守唄」、ワーグナー「トリスタンとイゾルテ」を聴くこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第9回	【テーマ】西洋音楽史のまとめ 【計画内容】西洋音楽史についてのまとめを行う。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第10回	【テーマ】「日本音楽史」 【計画内容】300年から1000年頃までの日本音楽の動きと、大陸音楽からの影響を学ぶ。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第11回	【テーマ】雅楽、能・狂言 【計画内容】1000年から1500年までの日本音楽事情を雅楽、能・狂言を中心に検証する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第12回	【テーマ】近世の三味線音楽文化 【計画内容】1500年から1868年までの日本音楽事情を、三味線音楽である文楽、歌舞伎を中心に検証する。 (鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第13回	【テーマ】近代の日本の音楽事情 【計画内容】1868年から1945年までの明治政府による西洋音楽の導入事情を認識する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A
	第14回	【テーマ】日本の現代邦楽 【計画内容】1945年以降の日本音楽の推移を認識し、新しい邦楽を考える。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A、L
	第15回	【テーマ】日本音楽のまとめ 【計画内容】日本音楽史における雅楽、能・狂言、文楽、歌舞伎、または尺八、琵琶、等々の楽器から一つ選び、それについてのレポートを作成する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。			A、G
テキスト	西川浩平、『邦楽入門』、ヤマハミュージックメディア 文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』				
参考書	共著、2006年、『初めての音楽史』、音楽之友社 田中健次、2008年、『図解音楽史』、東京堂出版				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

質問への対応	随時講義上で対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	教職課程を履修する学生が受講対象であるが、一般学生も歓迎する。受講学生は活字による知識ばかりでなく、生の演奏や音楽 CD、DVD の鑑賞などで音楽的知識を得ること。また、授業内容の順番は入れ替わることがある。

学部共通科目

科目名	生涯学習論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				
授業の目的	ねらい	この科目は、生涯学習を初めて学習する学生への入門的な位置づけとしている。 生涯学習が提唱された背景、学習理念、目的、成り立ち、我が国への導入について基本的な理解をし、それが我が国社会でどのように進展したのかを見る。			
	到達目標	(1)生涯学習の基本的な理念を理解する。 (2)生涯学習の内容が多岐にわたることを理解する。 (3)生涯学習が我が国でどのように進展したか理解する。 (4)生涯学習が学習者にもたらすものを理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、講義の展開を説明する。履修の意思を確認する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A		
	第2回	【テーマ】生涯学習の理念① 【計画内容】基本的なラングラン(ユネスコ)の生涯学習に関する理論を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】生涯学習の理念② 【計画内容】OECD の生涯学習に関連する教育に対する基本的な理念を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A		
	第4回	【テーマ】生涯学習の理念の日本上陸 【計画内容】生涯学習の理念が、いつどのように日本に導入されたかを見る。その時期が高度経済成長期の末期であったことに関連して、社会情勢との関わりを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A、F、H		
	第5回	【テーマ】日本における社会教育と生涯学習 【計画内容】日本における社会教育と生涯学習について、個々の成り立ちを確認し双方の関わりについて学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A		
	第6回	【テーマ】生涯学習行政の外観 【計画内容】日本における生涯学習にかかる政策展開を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A		
	第7回	【テーマ】生涯教育から生涯学習へと名称が変化した社会的背景 【計画内容】言葉を変化させた要因をあげ、当時の社会状況を理解する。新自由主義による政策の転換について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A		
	第8回	【テーマ】生涯学習人口の急増 【計画内容】日本に導入されてから今日まで大きく発展した生涯学習の現状をデータを基に理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A		
	第9回	【テーマ】これまでの学習を振り返る 【計画内容】前半の学習のまとめとしてグループワークを行い、自身の考えを記述する。次々回から行う学生のプレゼンテーションについ説明をする。 【準備学習の内容】復習をきちんと行うこと。	G、H		
	第10回	【テーマ】生涯学習をする人々の群像 【計画内容】生涯学習をする成人の群像を探る。様々な形態で学習している人のライフヒストリーを見る。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	J		
	第11回	【テーマ】学生のプレゼンテーション①　新しい公共について 【計画内容】新しい公共について、何人かの学生のプレゼンテーションを行う。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F		
	第12回	【テーマ】学生のプレゼンテーション②　ソーシャルキャピタルについて 【計画内容】ソーシャルキャピタルに関する発表を学生が行う。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F		
	第13回	【テーマ】学生のプレゼンテーション③　夜間中学校の社会的役割について 【計画内容】夜間中学校の社会的役割について学生が発表を行う。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F		
	第14回	【テーマ】生涯学習の成果、評価活用、課題について 【計画内容】学習を望む人がどのようにすれば達成するのか、また学習後の課題について理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A、H		
	第15回	【テーマ】生涯学習、社会教育指導者の役割について 【計画内容】これまでの学習から、生涯学習や社会教育の現代的役割を再確認し理解する。 【準備学習の内容】使用したプリント、ノートを活用する。	A		
テキスト	プリントを使用します				
参考書	中村香、三輪建二、2012年、『生涯学習社会の展開』、玉川大学出版部				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		20%		10%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[教]社会教育主事 _ 必修、保育士 _ 選必　[芸]社会教育主事 _ 必修、学芸員 _ 必修　[心]社会教育主事 _ 必修
その他	生涯学習の基本となる科目であるため、しっかりと取り組んでいただきたい。

科目名	生涯学習展開論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	阿部　豊				

授業の目的	
ねらい	教育基本法には、生涯学習の理念が掲げられており、現代の教育政策や実践は、この生涯学習の理念に基づいて展開されている。まず、この理念を理解した上で、生涯各期の発達課題や学習課題、これらの課題に対応した学習の展開、それらを支援する行政の役割について学習する。
到達目標	(1)生涯学習の理念と教育政策について理解する。 (2)生涯各期の発達課題・学習課題とそれらに対応した学習の展開について理解する。 (3)多様な学習を支援する行政の役割について理解する。

授業の計画		
第1回	【テーマ】「生涯学習」とは 【計画内容】「生涯学習」の意味について様々な視点から考え、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【準備学習の内容】シラバスを一読し、授業で習得したいことを整理しておく。	A
第2回	【テーマ】生涯教育・生涯学習の系譜 【計画内容】生涯教育と生涯学習の系譜について理解し、「生涯学習の理念」が示されるまでの経緯について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、「生涯学習の理念」について考えておく。	A
第3回	【テーマ】生涯学習社会の構築 【計画内容】生涯学習社会の実現が求められる社会的背景と生涯学習社会の構築の意義について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、生涯学習社会の実現が求められる社会的背景について考えておく。	A、H
第4回	【テーマ】生涯学習政策の変遷 【計画内容】各種答申・報告等から、社会の変化に伴う生涯学習政策の変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、答申・報告等が示された社会的背景、社会の変化について考えておく。	A
第5回	【テーマ】生涯学習社会における社会教育の役割 【計画内容】第3回授業で学習した「生涯学習社会の構築」について、さらに理解を深め、社会教育の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、戦後から現在まで、社会教育が果たしてきた役割について考えておく。	A、H
第6回	【テーマ】生涯学習社会における学校教育の役割 【計画内容】第5回授業で学習した「生涯学習社会における社会教育の役割」について、さらに理解を深め、学校教育の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、学制の公布以降、学校教育が果たしてきた役割について考えておく。	A、H
第7回	【テーマ】生涯各期の発達課題・学習課題と学習の展開 【計画内容】生涯各期の発達課題や学習課題を理解し、学習の展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、生涯各期の発達課題について考えておく。	A
第8回	【テーマ】青少年期における学習の展開 【計画内容】青少年期、特に少年期の発達課題について理解し、事例研究から、体験活動を中心とした学習の展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、体験活動の意義について考えておく。	A、J
第9回	【テーマ】成人の学習機会と学習の展開 【計画内容】これまで成人に提供されてきた様々な学習機会について理解し、事例研究から、現代的課題等新たな学習課題に対応した学習の展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、成人に求められる学習課題について考えておく。	A、J
第10回	【テーマ】社会教育行政の意義と役割 【計画内容】人々の生涯学習を支援し振興するために、大きな役割を担う社会教育行政の意義と役割について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育行政の意義について考えておく。	A
第11回	【テーマ】社会教育の方法・形態 【計画内容】社会教育の方法と形態について理解し、社会教育における学習の展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育の方法などについて考えておく。	A、B
第12回	【テーマ】社会教育関係法令 【計画内容】社会教育行政を推進する上で、根拠となる法令について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、法令の内容について考えておく。	A
第13回	【テーマ】生涯学習の展開と支援者 【計画内容】生涯学習社会において、重要な役割を担う生涯学習の支援者、指導者について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、生涯学習の支援者、指導者について考えておく。	A
第14回	【テーマ】新しい公共と生涯学習の展開 【計画内容】「新しい公共」という考え方について理解し、市民の自主的・主体的な生涯学習の展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、「新しい公共」について考えておく。	A、H
第15回	【テーマ】家庭・学校・地域の連携と学習の展開 【計画内容】生涯学習を推進するためには、家庭・学校・地域の連携が欠かせないことを理解し、効果的な連携の在り方と学習の展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、三者の連係について考えておく。	A、H

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート等		授業内課題等	

質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会で直接対応します。(質問することによって、課題を解決し、生涯学習に対する理解をさらに深めてください。)
資格	[教] [芸] [心]社会教育主事 _ 必修
その他	成績評価は、毎回の授業を重視します。(評価の方針、方法については、第1回授業で詳しく説明します。)

科目名	カウンセリング心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小坂　守孝				

授業の目的	ねらい	個人の心理的問題を解決するために、カウンセリングは主要な支援方法の一つとなっている。本講義では、カウンセリングとはどのようなことをするものか、カウンセラーとはどのようなことをする人なのか、カウンセラーと来談者(クライエント)とはどのようなコミュニケーションを行っているのか、また、その中でカウンセラーはどのような観点でクライエントの話を聴き、応答しているのか、など、臨床心理学におけるカウンセリングについて基本的な知識を学ぶことを目的とする。
	到達目標	(1)カウンセリングの基本的な考え方を理解すること。 (2)カウンセリングにおける応答のしかたについて理解すること。 (3)様々な対象・状況におけるカウンセリングの方法を理解すること。

授業の計画	第1回	【テーマ】カウンセリングとは何か 【計画内容】カウンセリングの定義、カウンセラー、クライエント等の用語、諸概念について理解を深める。 【準備学習の内容】本シラバス「授業の目的(ねらい・到達目標)」を確認しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】カウンセリングの主な理論 : 自己理論 【計画内容】クライエント中心療法を提唱した Rogers.C.R. の理論について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第3回	【テーマ】カウンセリングの主な理論 : 精神分析理論 【計画内容】無意識の葛藤に着目する精神分析理論における心の捉え方、心理的問題についての解決方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第4回	【テーマ】カウンセリングの主な理論 : 行動理論 【計画内容】人間の行動に焦点を当てた心の捉え方、心理的問題についての解決方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第5回	【テーマ】カウンセリングの実例 【計画内容】カウンセリングの実際の様子について、映像を視聴しながら理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A、G
	第6回	【テーマ】カウンセリングの流れ 【計画内容】カウンセリングの進め方について、初回面接から継続面接、終結にいたるまでのプロセスについて理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第7回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】カウンセリングを習得する方法としてのロールプレイについて理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A、G
	第8回	【テーマ】児童期のカウンセリング 【計画内容】プレイセラピーと母子平行面接を中心に、児童期におけるカウンセリングの特徴について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第9回	【テーマ】解決志向ブリーフセラピー 【計画内容】心理的問題の原因を追求するのではなく、解決方法に焦点を当てるカウンセリングの方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第10回	【テーマ】認知行動療法 【計画内容】認知再構成法、問題解決法など、個人の認知と行動に着目するカウンセリングの方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A、G
	第11回	【テーマ】トラウマとカウンセリング 【計画内容】衝撃的な出来事を体験することによるトラウマ(心的外傷)を対象とするカウンセリングの方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第12回	【テーマ】教育領域におけるカウンセリング 【計画内容】スクールカウンセリング、教育相談室などにおけるカウンセリングについて理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第13回	【テーマ】医療領域におけるカウンセリング 【計画内容】総合病院やクリニックの精神科・心療内科等における心理士が行うカウンセリングなどの心理的援助について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第14回	【テーマ】産業領域におけるカウンセリング 【計画内容】企業組織内や EAP など、働く人の心の支援に携わる立場としてのカウンセリングの方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A
	第15回	【テーマ】日常生活に生かすカウンセリング 【計画内容】本講義を総括しつつ、カウンセリングの知識を生活の諸領域で活かすための方法について理解を深める。 【準備学習の内容】事前に配付されたプリントを熟読のこと。	A、G

テキスト	プリントを使用します
参考書	河合隼雄、1998年、『河合隼雄のカウンセリング入門―実技指導をとおして』、創元社、4422111965 前田重治編、1986年、『カウンセリング入門 : カウンセラーへの道』、有斐閣選書、4641180342

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

質問への対応	メールにて受け付けます。 E-Mail: kosaka@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。

教　育　学　科
学 科 専 門 科 目

科目名	介護等体験	授業形態	実習	単位数	1
教員名	木下　教子、杉浦　勉				
授業の目的	ねらい	社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間の計7日間の体験を行いますが、開始前に2回、終了後に1回、講義を行います。介護等体験を通して、個人の尊厳及び社会連帯に関する認識を深めます。			
	到達目標	(1)介護等体験の主旨と意義について理解する。 (2)体験実習の施設についての認識を深める。 (3)体験で関わる人たちの状況、心理、行動を理解し、関わり方についての認識を深める。 (4)体験にあたっての心構え、社会的常識など留意すべき点についての認識を深める。			

授業の計画		
	1. 介護等体験とは･事前指導1(90分) 【計画内容】介護等体験を行うにあたり、本科目の目的を理解し施設体験に向けた心構えをする。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために)』を熟読すること。	A
	2. 介護等体験とは･事前指導2(90分) 【計画内容】介護等体験をさせていただく社会福祉施設の担当者と特別支援学校の担当教員を講師に招き、介護等体験の実際について講義をしていただく。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために)』を熟読すること。	A
	3. 社会福祉施設での体験(1日6時間:5日間実施 :30時間) 【計画内容】障害者、高齢者に対する介護･介助･交流等の体験。話し相手、散歩、清掃、洗濯等の職員に必要とされる業務補助。 社会では人が支え合って生きていること、いろいろな立場の人がいることを学ぶ。体験を行う施設では、どのような介護が必要なのかを考え、体験を行う。また、毎日、介護等体験記録ノートに体験の内容、学んだこと等を記録すること。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために　3･介護等体験において留意すべきこと)』を熟読すること。また、体験を行う施設について調べておくこと。	A
	4. 特別支援学校での体験(1日6時間:2日間実施 :12時間) 【計画内容】各教科等の授業の参観や障害のある児童生徒の介護、交流等の体験。学校行事(文化祭･運動会)、給食等の支援。 障害のある子どもたちが学ぶ学校での介護等体験は、それぞれの障害に応じて教育の内容も異なるので、介護等体験の内容も異なる。各学校の指示に従い、障害のある子どもの実態について積極的に学び、理解を深める。また、毎日、介護等体験記録ノートに体験の内容･学んだこと等を記録すること。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために　3･介護等体験において留意すべきこと)』を熟読すること。また、体験を行う学校について調べておくこと。	A
	5. 介護等体験を終えて･事後指導(90分) 【計画内容】介護等体験を通して学んだことをまとめ、発表する。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために　4･受け入れ施設･学校の考え)』を熟読すること。	A、H

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		20%	20%
	補足			日誌提出		体験への意欲	発表の評価

質問への対応	各教員へ。
資格	
その他	「介護等体験」は小学校教諭免許状･中学校教諭免許状取得には、必ず必要です。 ただし、この科目の単位は教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。

科目名	学校ボランティア活動Ⅰ	授業形態	実習	単位数	1
教員名	二宮　孝行				

授業の目的		
	ねらい	学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。 本講義では、授業参観やボランティア活動などを通して教育現場の実際を体験し、学校教育への理解を深めます。さらには、教員を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。
	到達目標	(1)授業参観などを通して、学校教育における学習指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解する。

授業の計画	
【計画内容】 1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。	A
2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内等の小・中学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。	M
3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかかわり方について理解を深める。	H、J
4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間 :8回実施　24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。自己課題に基づき、活動記録を記載し、振り返る。	D
5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ、交流することにより、新たな目標を設定する。	L
【準備学習の内容】 資料や記録の下調べや活動の成果と課題をまとめておく。	

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					80%	20%
	補足					活動記録などによる	活動記録などによる

質問への対応	随時、対応します。
資格	
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。

科目名	学校ボランティア活動Ⅰ	授業形態	実習	単位数	1

教員名	今野　洋子、佐藤　朱美

授業の目的		
	ねらい	教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の学校教育を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、現場での授業を参観・協議したり、学校ボランティア活動を体験するなど、教育現場の実際を目と体で体験することで、学校教育への理解を深めます。さらには、教師を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。 講義を3回行ってから、ボランティア活動を行います。終了後にも講義を行います。
	到達目標	(1)研究授業の参観を通して、学校教育における教科指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。

授業の計画		
	【計画内容】 1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。	A、L
	2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内の小学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。	L、M
	3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかかわり方について学びを深める。	F、G、L
	4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間:8回実施　24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 「子どもたちとともに学ぶ」という姿勢で取り組みましょう。個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。 必ず各自で課題を設定し、目標を持って取り組み、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。	D、G、L、M
	5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ交流することで、新たな目標を設定する。	F、G、L
	【準備学習の内容】 シラバスを熟読すること。 事前に配付した研究会資料から自分の参加する分科会を決め、公開授業の単元の下調べをしておくこと。 研究会の記録をまとめておくこと。 ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。 活動内容をA4・1枚にまとめておくこと。	

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領』 文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説特別活動編』、東洋館出版社 文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説総則編 / 中学校学習指導要領 / 高等学校学習指導要領』、東洋館出版社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足			参加ごとに研究会参加記録			受け入れ校の評価・巡回時の評価

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。

科目名	知的障害者の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　至英、石塚　誠之				
授業の目的	ねらい	知的障害児(者)の障害特性、心理的影響、認知機能の発達、評価方法、生理・病理について、基本的な理解を得る。また事例を通して、自立及び社会参加、教育的ニーズ、基本的な支援方法について、考察する。さらに、通常学級において特別な支援を必要とする発達障害児の行動特性と支援方法についても理解を深める。				
	到達目標	(1)知的障害児(者)の障害特性について、基本的な知識を得る。 (2)知的障害児(者)の心理的影響について、基本的な知識を得る。 (3)知的障害児(者)の認知機能の発達、評価方法について、基本的な知識を得る。 (4)知的障害児(者)の生理・病理について、基本的な知識を得る。				
授業の計画	第1回	【テーマ】知的障害とは何か 【計画内容】知的障害とは何か：知的障害の医学的診断カテゴリーについて理解する。(石塚誠之) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。				A、K、L
	第2回	【テーマ】知的障害の下位分類 【計画内容】知的障害の医学的な発生要因ならびに知能水準について理解する。(石塚誠之) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、K、L
	第3回	【テーマ】知的障害の疫学・病因 【計画内容】知的障害の疫学・病因について、基本方法を理解する。(石塚誠之) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、K、L
	第4回	【テーマ】知的障害の臨床症状 【計画内容】発達、身体、行動について、基本的方法を理解する。(石塚誠之) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、K、L
	第5回	【テーマ】知的障害の心理(1)知的障害の基礎 【計画内容】知能とその障害について、基本的理解を得る。(石塚誠之) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第6回	【テーマ】知的障害の心理(2)知能の評価 【計画内容】知能の評価(1)について、基本的方法を理解する。(石塚誠之) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第7回	【テーマ】知的障害の心理(3)知能検査の概要 【計画内容】知能の評価(2)について、基本的方法を理解する。(石塚誠之) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第8回	【テーマ】知的障害の心理(4)読み書き能力の発達 【計画内容】読み書きの習得と支援について理解する。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、K、L
	第9回	【テーマ】知的障害の心理(5)知的障害児に対するアプローチ 【計画内容】TEACCH アプローチならびに応用行動分析の理論と方法について、理解する。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、K、L
	第10回	【テーマ】知的障害の生理・病理(1)神経機構 【計画内容】神経機構について、知的障害との関連で理解を深める。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第11回	【テーマ】知的障害の生理・病理(2)神経伝達物質 【計画内容】神経伝達物質について、知的障害との関連で理解を深める。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第12回	【テーマ】知的障害の生理・病理(3)薬物療法 【計画内容】薬物療法について、知的障害との関連で理解を深める。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第13回	【テーマ】事例(1)自傷行動への支援 【計画内容】自傷行動への具体的支援の方法を考える。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第14回	【テーマ】事例(2)コミュニケーション支援 【計画内容】学習態度と他者とのかかわりについて、具体的支援の方法を考える。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
	第15回	【テーマ】事例(3)自立と社会参加に向けた支援 【計画内容】自立ならびに社会参加について、具体的支援の方法を考える。(佐藤至英) 【準備学習の内容】配付資料を読み、疑問点を明らかにしておくこと。				A、L
テキスト	プリント等を配付します					
参考書	石部元雄・柳本雄次、2011年、『特別支援教育ー理解と推進のために一』、福村出版 梅谷忠勇、2004年、『図解　知的障害児の認知と学習ー特性理解と援助』、田研出版 田中農夫男・木村進、2009年、『ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援』、福村出版 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足			平時・最終		平時	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教] [ス]特支1種 _ 必修
その他	問題意識を持って、積極的に授業に参加すること。

科目名	肢体不自由者の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	阿部　達彦、笹木　美幸				

授業の目的		
	ねらい	はじめに、心身に障害のある子どもに対するこれまでの教育や処遇の歴史、障害の考え方について学び、特別支援教育の意義についての考えを深めてもらいたい。次に、身体各部位の名称と位置及び方向、各関節の運動及び肢位の表示法について学ぶ。さらに、肢体不自由の定義やその原因となる様々な疾患等について知り、通常の運動発達のプロセスや肢体不自由児に有効な心理テストの方法等を学ぶ。肢体不自由教育に必要となる基礎的な知識を身につけることを講義のねらいとする。
	到達目標	(1)肢体不自由の起因疾患とその特徴について理解する。 (2)肢体不自由者の状態を評価するための方法について理解する。 (3)人の発達のプロセスを理解し、麻痺や損傷によって生じる障害の状態について理解する。

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス－肢体不自由特別支援学校とは－ 【計画内容】授業展開を説明するとともに、肢体不自由特別支援学校の概要について知る。(阿部達彦) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A、K
第2回	【テーマ】心身に障害のある子どもの処遇と教育の歴史 【計画内容】肢体不自由者の処遇と教育について歴史的に考察する。(阿部達彦) 【準備学習の内容】障害のある子どもの処遇の歴史について調べておくこと。	A、K
第3回	【テーマ】障害の分類－ICIDH から ICF へ－ 【計画内容】近年の障害のとらえ方の変遷について、ICIDH と ICF を比較しながら考察する。(阿部達彦) 【準備学習の内容】ICIDH と ICF の概要について調べておくこと。	A、K
第4回	【テーマ】障害の考え方－ICF の理念をもとに－ 【計画内容】新学習指導要領に示された ICF の視点から障害を理解し、これを教育活動に生かす視点について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】ICF の考え方について復習しておくこと。	A、K
第5回	【テーマ】肢体不自由の定義 【計画内容】肢体不自由の定義と肢体不自由を生じさせる様々な起因疾患について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】肢体不自由を引き起こす起因疾患について調べておくこと。	A、K
第6回	【テーマ】脳性まひの原因とタイプ 【計画内容】肢体不自由特別支援学校の在籍児童生徒のうち多数を占める脳性まひの原因と病型について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】脳性まひの状態像について調べておくこと。	A、K
第7回	【テーマ】肢体不自由者に伴う疾患 【計画内容】肢体不自由を伴う様々な疾患の生理・病理について学ぶ。(笹木美幸) 【準備学習の内容】肢体不自由の病理について調べておくこと。	A、K
第8回	【テーマ】肢体不自由をあわせ有する病弱者の心理・生理・病理 【計画内容】てんかんなどを合併する病弱者の生理・病理について学ぶ。(笹木美幸) 【準備学習の内容】病弱の概念について調べておくこと。	A、K
第9回	【テーマ】肢体不自由教育における心理テストの活用1(発達検査) 【計画内容】肢体不自由児の発達の度合いについてアセスメントするための方法について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】発達検査の概要について調べておくこと。	A、K
第10回	【テーマ】肢体不自由教育における心理テストの活用2(知能検査) 【計画内容】肢体不自由児の学習を促進するために認知の特徴を理解する知能検査の実施方法と評価方法について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】発達検査の概要について調べておくこと。	A、K
第11回	【テーマ】肢体不自由教育における心理テストの活用3(肢体不自由児に有効な検査) 【計画内容】肢体不自由特別支援学校に多く在籍する無発語の児童生徒のアセスメントにも有効な CMMS、PVT-R 等の心理テストの方法について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】肢体不自由児に有効なアセスメント方法について調べておくこと。	A、K
第12回	【テーマ】反射・反応の発達 【計画内容】通常発達の中で出現したり消失する原始反射や反応の型について学ぶ。(笹木美幸) 【準備学習の内容】原始反射にはどのようなものがあるのか調べておくこと。	A、K
第13回	【テーマ】運動の発達段階 【計画内容】健常児の通常の運動発達のプロセスについて学び、通常の運動発達を阻害する要因について理解する。(笹木美幸) 【準備学習の内容】健常児の発達の順序について調べておくこと。	A、K
第14回	【テーマ】身体各部位の名称と位置・方向の表示法 【計画内容】肢体不自由児のアセスメントに欠かせない身体の動きや生理に関する基礎的事項について学ぶ。(笹木美幸) 【準備学習の内容】身体各部位の名称について調べておくこと。	A、K
第15回	【テーマ】各関節の運動及び肢位の表示法 【計画内容】各関節の運動と肢位の表示法について学び、肢体不自由の状態を記述する方法を理解する。(笹木美幸) 【準備学習の内容】関節の動きについて調べておくこと。	A、K

テキスト	プリントを配付する
参考書	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版 文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説総則編』、海文堂出版 文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領解説自立活動編』、海文堂出版

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的な評価や授業の内容について説明します。
資格	[教] [ス]特支1種 _ 必修
その他	出席を重視します。

科目名	病弱者の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	任　龍在				
授業の目的	ねらい	本講義では、循環器疾患、腎臓系疾患、神経系疾患、悪性新生物、心身症など病弱教育の対象となる各疾患の特性(心理・生理・病理)について講義するとともに、病弱者への教育的対応、病弱者とその家族の障害受容、教育・医療・保健・福祉の連携と支援などについて概説する。			
	到達目標	(1)病弱者の定義及び対象疾患の変遷について理解する。 (2)病弱者の基礎的な心理・病理・生理について理解する。 (3)病弱者への教育的対応について理解する。 (4)病弱者とその家族の障害受容をはじめとする心理問題について理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義内容の紹介、授業展開と評価方法などについて説明します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第2回	【テーマ】病弱者の定義と対象疾患の変遷 【計画内容】病弱者の定義について理解を深めるとともに、対象疾患の変遷について概観します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第3回	【テーマ】病弱教育の歴史と就学 【計画内容】病弱教育の歴史を理解するとともに、就学手続きや教育の場について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第4回	【テーマ】病弱者の病理と生理 【計画内容】病弱者の対象となる疾患の種類について理解するとともに、最近の新たな疾患(心身症、摂食障害、不登校、発達障害など)について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第5回	【テーマ】病弱者の心理 【計画内容】病気による心理的影響について理解するとともに、家族の心理や支援について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第6回	【テーマ】循環器疾患の心理・生理・病理 【計画内容】子どもの循環器疾患の病理について理解を深め、心理的な影響や生理的状態について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第7回	【テーマ】悪性新生物の心理・生理・病理 【計画内容】子どもの悪性新生物の病理について理解を深め、心理的な影響や生理的状態について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第8回	【テーマ】腎・泌尿器疾患の心理・生理・病理 【計画内容】子どもの腎・泌尿器疾患の病理について理解を深め、心理的な影響や生理的状態について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第9回	【テーマ】内分泌疾患の心理・生理・病理 【計画内容】子どもの内分泌疾患の病理について理解を深め、心理的な影響や生理的状態について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第10回	【テーマ】神経系疾患の心理・生理・病理 【計画内容】子どもの神経系疾患の病理について理解を深め、心理的な影響や生理的状態について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第11回	【テーマ】心身症の心理・生理・病理 【計画内容】子どもの心身症の病理について理解を深め、心理的な影響や生理的状態について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第12回	【テーマ】病弱者とその家族の障害受容をはじめとする心理問題 【計画内容】病弱者とその家族の障害受容をはじめとする心理問題について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第13回	【テーマ】病弱者への教育的対応 【計画内容】特別支援学校(病弱)、小・中学校等の特別支援学級、院内学級、訪問教育を中心に、病弱者への教育的対応について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第14回	【テーマ】教育・医療・保健・福祉の連携と支援 【計画内容】病弱者のための教育・医療・保健・福祉の連携と支援を説明します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
	第15回	【テーマ】病弱者を取り巻く法制度 【計画内容】病弱者を取り巻く法制度について講義します。 【準備学習の内容】テキストを予習すること。			A
テキスト	小野次朗、2011年、『病弱児の生理・病理・心理』、ミネルヴァ書房、9784623061532				
参考書	宮本信也、2015年、『病弱・虚弱児の医療・療育・教育』、金芳堂、9784765316279 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%		50%		30%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教] [ス]特支1種 _ 必修
その他	講義時には、テキストをご持参するようお願いいたします。

科目名	発達障害者等の心理・生理・病理	授業形態	講義	単位数	1
教員名	石塚　誠之				
授業の目的	ねらい	本講義では、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症スペクトラム障害などの発達障害のある児童生徒の認知機能や心理特性、生理・病理についての理解を深める。発達を規定する諸要因がわかり、発達障害の心理学的な特徴、認知・行動特性をアセスメントすることから、障害特性に応じた指導法について学ぶ。			
	到達目標	(1)発達障害児者の障害特性とニーズ、実態把握の方法について理解する。 (2)発達障害の児童への対応の実際とその原理について理解し、指導に活かす事ができる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】発達障害の概念と定義(目標1) 【計画内容】発達障害の概念の変遷、DSM-IV やアメリカ精神遅滞学会(AAMR)の定義について理解する。 【準備学習の内容】授業内容について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第2回	【テーマ】学習障害の病理と認知特性(目標1) 【計画内容】学習障害の病理と心理・行動・認知認知特性等について理解する。 【準備学習の内容】授業内容について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第3回	【テーマ】注意欠陥多動性障害の病理と認知特性(目標1) 【計画内容】注意欠陥多動性障害の病理と心理・行動・認知認知特性等について理解する。 【準備学習の内容】授業内容について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第4回	【テーマ】自閉症スペクトラム障害の病理と認知特性(目標1) 【計画内容】自閉症スペクトラム障害の病理と心理・行動・認知認知特性等について理解する。 【準備学習の内容】授業内容について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第5回	【テーマ】言語障害の病理と認知特性(目標1) 【計画内容】言語障害の病理と心理・行動・認知認知特性等について理解する。 【準備学習の内容】授業内容について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第6回	【テーマ】発達障害児の心理アセスメントの方法(目標1) 【計画内容】発達障害のある児童生徒の実態を把握するための様々なアセスメント法について理解する。 【準備学習の内容】発達検査について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第7回	【テーマ】発達障害児の支援における心理検査の活用(目標1・2) 【計画内容】発達障害のある児童生徒の認知プロフィールを分析するための知能検査の内容・検査結果の分析について学ぶ。 【準備学習の内容】発達障害児の認知プロフィールの特徴について参考書等で事前学習をすること。	A、L
	第8回	【テーマ】発達障害の認知特性に応じた支援方法(目標2) 【計画内容】発達障害の認知特性に応じた支援のあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】発達障害児の認知特性に応じた支援のあり方について参考書等で事前学習をすること。	A、K、L

テキスト	必要に応じてプリントを使用します
参考書	必要に応じてプリントを使用します 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		20%		30%	
	補足			授業後の小コメント等			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教] [ス]特支1種 _ 必修
その他	資料はポータルに公開しますが、講義時に携帯などを触るのは禁止しています。事前に各自で確認・印刷して下さい。

科目名	発達障害者等の教育課程及び指導法	授業形態	講義	単位数	1
教員名	瀧澤　聡				
授業の目的	ねらい	本講義では、自閉症、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、アスペルガー障害等の障害の認知特性に応じた教育課程の編成や指導方法、個別指導計画立案について学ぶことが、目的である。			
	到達目標	(1)発達障害のある児童・生徒に関する教育課程の編成の在り方を学ぶ。 (2)発達障害の認知特性に対応した指導方法ならびに支援の在り方を学ぶ。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】発達障害の教育課程の編成と指導方法、個別指導計画立案について、8回の授業展開を具体的に説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読すること。	A
	第2回	【テーマ】高機能自閉症、情緒障害の教育課程の編成 【計画内容】自閉症、情緒障害の障害の実態及び発達の段階を踏まえた指導内容を選択し、教育課程の編成と教材研究の在り方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J
	第3回	【テーマ】高機能自閉症、情緒障害の指導方法 【計画内容】自閉症、情緒障害の特性に応じた教育内容と指導方法をふまえ、個別の指導計画立案と実際の作成を通して、学習指導案を構想するためのスキルを学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J
	第4回	【テーマ】学習障害と教育課程 【計画内容】学習障害の実態及び発達の段階を踏まえた指導内容を選択し、教育課程の編成と教材研究の在り方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J
	第5回	【テーマ】学習障害の指導方法 【計画内容】学習障害の特性に応じた教育内容と指導方法をふまえ、個別の指導計画立案と実際の作成を通して、学習指導案を構想するためのスキルを学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J
	第6回	【テーマ】注意欠陥多動性障害と教育課程 【計画内容】注意欠陥多動性障害の実態及び発達の段階を踏まえた指導内容を選択し、教育課程の編成と教材研究の在り方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J
	第7回	【テーマ】注意欠陥多動性障害の指導方法 【計画内容】注意欠陥多動性障害の特性に応じた教育内容と指導方法をふまえ、個別の指導計画立案と実際の作成を通して、学習指導案を構想するためのスキルを学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J
	第8回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、広汎性発達障害（PDD）等について学習したさまざまな観点からの知見をふりかえり、教育実践でいかに具体化させるかを振り返り、再確認する。 【準備学習の内容】配付したプリント等を読んでおくこと。	A、J

テキスト	毎時間プリントを配付します
参考書	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂 文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領総則編』、教育出版

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	80%		10%		10%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	［教］［ス］特支1種 _ 必修
その他	

科目名	生活科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	亀山　比佐				

授業の目的		
	ねらい	生活科改訂の経緯とその意義及び教育的背景について理解し、指導計画作成の基本や学習指導の在り方について学びます。また、幼児期における遊びを通した総合的な学びと小学校の生活科との連続性を、スタートカリキュラムを通して考えます。身近な生活に関わる見方・考え方、自分自身、身近な人々、社会及び自然との関わりについて、アクティブ・ラーニングを活用した具体的な活動や体験を通して深めていきます。
	到達目標	(1)生活科改訂の経緯とその意義や教育的背景について理解する。 (2)生活科の学習内容の外観を捉え説明できる。 (3)生活科教育の果たす役割を具体的な活動や体験との関連から理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】生活科開設の経緯とその意義 【計画内容】生活科が低学年教育改革の代表教科として開設された教育的背景や意義、改訂の経緯や基本方針について学びます。 【準備学習の内容】自分が体験した「生活科」の授業を振り返っておくこと。	A
	第2回	【テーマ】生活科はどう変わったか 【計画内容】子どもを中心とした授業である生活科の目指すものは何か、教育的背景と理念を中心に学習します。 【準備学習の内容】配付したプリント等をよく読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】教科の目標と学年の目標 【計画内容】小学校学習指導要領から教科目標と学年目標を理解し、生活科の指導の特質と展開について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領をよく読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】生活科の内容構成① 【計画内容】生活科独特の内容構成の考え方を学び、生活科学習の概観を捉えます。 【準備学習の内容】生活科教科書(上)をよく読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】生活科の内容構成② 【計画内容】生活科独特の内容構成の考え方を学び、生活科学習の概観を捉えます。 【準備学習の内容】生活科教科書(下)をよく読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】体験を通した学び① 【計画内容】人と関わる活動を中心に体験的に学び、保育園や幼稚園と小学校との学びの連続性や接続性について捉えます。 【準備学習の内容】教科書をよく読んでおくこと。	A、H、K
	第7回	【テーマ】体験を通した学びの意義と幼児教育との関連 【計画内容】見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなど、対象に直接働きかける学習活動の楽しさを体験し、入学して間もない1年生のスタートカリキュラムとしての授業の意義や授業の組み立て方について学びます。 【準備学習の内容】配付したプリント等をよく読んでおくこと。	A、L
	第8回	【テーマ】体験を通した学び② 【計画内容】身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気づき、仲間と楽しみながら遊びを創り出そうとする活動の在り方を学びます。 【準備学習の内容】教科書をよく読んでおくこと。	A、H、K
	第9回	【テーマ】生活科における学びと遊び 【計画内容】幼児期の遊びを通した総合的な学びから、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことができるように、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や弾力的な時間の設定を行うことなどを学びます。 【準備学習の内容】配付したプリント等をよく読んでおくこと。	A、L
	第10回	【テーマ】体験を通した学び③ 【計画内容】具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行う授業の在り方を学びます。 【準備学習の内容】教科書をよく読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】生活科学習における気づき 【計画内容】生活科の見方・考え方を捉え、児童の資質・能力を育むために「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点で授業改善を進めることを学びます。 【準備学習の内容】配付したプリント等をよく読んでおくこと。	A
	第12回	【テーマ】年間指導計画と他教科との関連 【計画内容】生活科において育成する資質・能力が他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続を図る工夫を学びます。 【準備学習の内容】配付したプリント等をよく読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】体験的な学び④ 【計画内容】身近な自然を観察し関わることで、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気づくとともに、それらを取り入れて生活を楽しくしようとする活動を学びます。 【準備学習の内容】教科書をよく読んでおくこと。	A、H、K
	第14回	【テーマ】多様な表現方法と気づきの質 【計画内容】身近な人々、社会及び自然に関する活動を通して気づいたことや楽しかったことを表現する方法について考え、多様な方法で表現することを通して、気づきの質が高まること学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領をよく読んでおくこと。	A、L
	第15回	【テーマ】生活科の学習評価と講義のまとめ 【計画内容】多様な体験や活動による子どもの学びをどのように評価するのかその方法について学習します。 体験的な講義と生活科の目標等の理論的な学習を振り返りまとめます。 【準備学習の内容】これまで学習した内容について理解を深めておくこと。	A、L

テキスト	教科書『せいかつ(上)みんななかよし』、教育出版 教科書『せいかつ(下)なかよしひろがれ』、教育出版 『小学校学習指導要領解説　生活』
参考書	プリントを使用する。 講義時に説明する。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[教]幼・小1種 _ 必修
その他	

科目名	教育実習事前指導(幼・小)	授業形態	講義	単位数	1
教員名	中川　洋一、二宮　孝行、山崎　正明、伏見　千悦子				

授業の目的		
	ねらい	教員を目指す学生が、教育実習の基礎的理解、技術習得、要領等について具体的に学び、実習の心構えを確かなものとし、実習を意義あるものとします。 本講義では、教育実習(小学校、幼稚園)の意義と目的、形態や方法、授業実践の基本等についての理解や技能修得等をもって内容を構成し、教育実習が円滑に実践できるようにします。
	到達目標	(1)教育実習の基礎的な知識、技能、取組等について理解する。 (2)教育実習(幼稚園・小学校)の意義と目的、形態や方法、授業実践の基本を理解する。 (3)教育実習が円滑に実践できるような姿勢と技能を身に付ける。 (4)学科の教育理念「子どもに寄り添い可能性や主体性を引き出す支援」について、実習を通して学ぶ目的意識を明確に持つ。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】教育実習で何を学ぶか1(理論編) 【計画内容】講義計画と教育実習の目的と意義、教師の資質や能力、教育実習で学ぶことについて学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】教師の服務 【計画内容】服務規程、心構え、勤務、禁止事項、実習先からの注意事項について学ぶ。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】教育学科学生としての学習指導と生活指導及び保育指導について 【計画内容】子どもに寄り添う視点から、学習指導、生徒指導、保育指導を考察・交流する。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	A、H
	第4回	【テーマ】教育実習で何を学ぶか2(実践編) 【計画内容】教育実習報告会において、教育実習を実践した先輩の話を聞き、教育実習での学び方を知る。 【準備学習の内容】報告会の実施連絡について、把握しておくこと。	B、J
	第5回	【テーマ】教育実習日誌の書き方1 【計画内容】先輩の日誌から書き方を学ぶ。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	H、J
	第6回	【テーマ】教育実習日誌の書き方2 【計画内容】演習:「教育実習日誌」を実際に書く。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	H、J、K
	第7回	【テーマ】指導の実際 【計画内容】示範授業の参観の仕方と学習指導略案の書き方。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	H、J、K
	第8回	【テーマ】国語科学習指導案・幼稚園実習指導案の作成1 【計画内容】国語科学習(国語の授業とは)、あるいは保育内容から指導技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	G、H
	第9回	【テーマ】国語科学習指導案・幼稚園実習指導案の作成2 【計画内容】国語科学習(授業のポイント)、保育内容から指導技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	G、H
	第10回	【テーマ】国語模擬授業・保育模擬授業 【計画内容】模擬授業を通して国語学習(板書、発問、目線、子どもの反応予想など)、保育内容から指導技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	E
	第11回	【テーマ】実習生としての指導の実際1 【計画内容】算数科学習指導案の作成(実際の学習指導案を使って)、保育内容からの指導技術の確認。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	G、H
	第12回	【テーマ】実習生としての指導の実際2 【計画内容】算数科学習指導案の作成(授業のポイント)、保育内容からの指導技術の確認。(外部講師)予定。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	G、H
	第13回	【テーマ】実習生としての指導の実際3 【計画内容】模擬授業を通して算数学習(板書、発問、目線、子どもの反応予想など)、保育内容から指導技術を学ぶ。(外部講師)予定。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	E
	第14回	【テーマ】教育実習生調査票作成1 【計画内容】調査票の書き方及び履修科目の再確認。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	B
	第15回	【テーマ】教育実習生調査票作成2 【計画内容】調査票の点検、回収。 【準備学習の内容】前講義にて、テキストの該当箇所を指定。熟読しておくこと。	B

テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』、教育出版
参考書	文部科学省、2008年、『幼稚園教育要領』 文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	30%	30%		10%
	補足		模擬授業	各種レポート	指導案等		作品制作

質問への対応	講義の初めに説明します。
資格	[教]幼・小1種 _ 必修
その他	次年度「教育実習」を行う学生に限ります。 本科目を前年度までに修得していないと「教育実習」はできません。 教育実習では、大学の「出席」から、実習校・園での「勤務」となります。子どもたちへ真摯に、意欲的に向かう姿勢、教師になろうとする強い意識・態度、指導する力が身に付いていることで、実習が可能となります。実習受け入れ校・園には、実習をさせていただくという感謝の気持ちを持って臨みましょう。最近は、実習受け入れ校・園から事前に面接を望む声を聞くようになりました。意識を高く持って受講しましょう。

科目名	国語科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	二宮　孝行				
授業の目的	ねらい	国語科は、教材を読んで登場人物の気持ちを考えるだけの教科ではありません。国語科指導方法の基礎を学び、最後に学習指導案を作成します。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の国語の指導内容三領域と、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を駆使しながら学びを展開します。			
	到達目標	(1)国語科学習の特質と内容を理解できる。 (2)国語科の目標及び内容、指導事項や言語活動をもとにした基本的な指導法を理解できる。 (3)児童が自ら学ぶ国語科学習指導案作成の手順を理解できる。 (4)教室で使用される国語のルールについて理解できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法を説明します。また、自分の国語科授業の体験を交流することを通して、国語科授業の特質と内容を学びます。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】小学校の授業体験1 【計画内容】「読むこと」の教材をもとに小学校の授業を自分が児童の立場になって模擬体験し、教材解釈、教材化、言語活動等の重要性や国語の用語について学びます。 【準備学習の内容】配付された教材文を読んでおくこと。			A、B、H、K
	第3回	【テーマ】小学校の授業体験2 【計画内容】「書くこと」の教材をもとに小学校の授業を自分が児童の立場になって模擬体験し、教材解釈、教材化、言語活動等の重要性や国語の用語について学びます。 【準備学習の内容】配付された教材文を読んでおくこと。			A、B、H、K
	第4回	【テーマ】国語科授業づくりの要件1～国語科指導の特質 【計画内容】学校教育における国語科学習の位置づけと国語科学習を支える学級経営・学習ルールなどについて学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領解説の第2章を読んでおくこと。			A、B、H、K
	第5回	【テーマ】国語科授業づくりの要件2～教材研究 【計画内容】教材研究や学習者研究の在り方について、具体事例を参考にしながら学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントを読んでおくこと。			A、B、H、K
	第6回	【テーマ】国語科授業づくりの要件3～指導目標・指導計画 【計画内容】指導目標の設定の仕方と表現の在り方や指導計画立案のポイントについて、具体事例を参考にしながら学びます。 【準備学習の内容】配付された教材文と学習指導案の該当箇所を読んでおくこと。			A、B、H、K
	第7回	【テーマ】国語科授業づくりの要件4～本時の展開 【計画内容】本時の目標・展開、発問、板書、国語科の問題解決などについて、具体事例を参考にしながら学びます。 【準備学習の内容】学習指導案を読み、発問や板書を考えて整理しておくこと。			A、B、H、K
	第8回	【テーマ】「書くこと」の授業構造と具体例(アクティブ・ラーニングの活用) 【計画内容】書く活動の特質を理解し、参考学習指導案の一部をグループで具体化し模擬授業を行います。 【準備学習の内容】学習指導要領解説の第3章を読んでおくこと。			A、B、D、H、K
	第9回	【テーマ】「話すこと・聞くこと」の授業構造と具体例(アクティブ・ラーニングの活用) 【計画内容】話す・聞く活動の特質を理解し、参考学習指導案の一部をグループで具体化して模擬授業を行います。 【準備学習の内容】学習指導要領解説の「話すこと・聞くこと」の目標を読んでおくこと。			A、B、D、H、K
	第10回	【テーマ】「知識及び技能」の授業構造と具体例(アクティブ・ラーニングの活用) 【計画内容】漢字の読み、書き、筆順の指導方法を学び、読書活動(読み聞かせを含む)をグループで具体化してグループ内で模擬授業を行います。 【準備学習の内容】漢字の筆順を確認しておくこと。絵本を1冊用意しておき、読む練習をしておくこと。			A、B、D、H、K
	第11回	【テーマ】学習指導案づくり1～教材研究と授業像の想定 【計画内容】担当した授業の教材研究を行い、授業像を想定します。 【準備学習の内容】事前に教材文を読み、教材研究を進めておくこと。			A、B、H、K
	第12回	【テーマ】学習指導案づくり2～指導目標と指導計画 【計画内容】教材の特質、学習指導要領上の位置づけを踏まえて、学習意欲が高まるように指導目標と指導計画を具体化します。 【準備学習の内容】事前に指導目標と指導計画を考え、メモ書きを持って授業に臨むこと。			A、B、H、K
	第13回	【テーマ】学習指導案づくり3～本時の目標と授業展開 【計画内容】それぞれが選んだ本時の目標を具体化し、授業の展開を工夫します。 【準備学習の内容】事前に本時の目標と展開のあらましを考え、メモ書きを持って授業に臨むこと。			A、B、H、K
	第14回	【テーマ】代表グループによる模擬授業 【計画内容】代表グループの模擬授業をもとに、学習指導案の修正すべき点を全体で協議します。 【準備学習の内容】代表グループの学習指導案と自分たちのグループの学習指導案を比較しておくこと。			A、B、H、K
	第15回	【テーマ】「国語科指導法Ⅰ」のまとめと学習指導案の提出 【計画内容】「国語科指導法Ⅰ」(授業づくり)のまとめと、学習指導案、学習指導細案、板書計画を完成させ提出します。 【準備学習の内容】講義で配付されたプリントを読み直して学習指導案をほぼ完成させておくこと。			A
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説国語編』、東洋館出版社 久米公　編著、2017年、『漢字指導の手引き　第八版』、教育出版株式会社、9784316804705				
参考書	講義時に説明する				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足			指導案		授業参加の積極性	

質問への対応	講義終了後に受け付ける。回答は次時の冒頭に全体へ説明するか、あるいは終了後に質問者に回答する。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	丁寧な字体と正しい筆順で素早く板書できるように練習をすること。 第16回に筆記試験を行います。(国語科の目標・漢字の読み、書き、筆順)

科目名	国語科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	二宮　孝行				
授業の目的	ねらい	小学生の言語能力の発達を踏まえ、指導の目的を明確にした授業づくり、児童自らが言葉を学んでいける授業づくりを目指します。先行事例に学びながらも、指導者としての創意工夫が求められます。また、模擬授業を中心に講義を展開し、国語科の授業(指導)技術も磨きます。			
	到達目標	(1)各領域の言語活動の特質を理解し、目的に合った指導法を工夫することができる。 (2)小学生の言語能力の発達を踏まえた学習活動を考えて、学習指導案を作成することができる。 (3)児童の意欲を高め、多様な考えを引き出しながら、目標を達成できる授業を構築することができる。 (4)国語科授業に必要な授業(指導)技術を身に付けることができる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス～「国語科指導法Ⅰ」から「国語科指導法Ⅱ」へ～ 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法について説明します。模擬授業の進め方と分担も確認します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。「国語科指導法Ⅰ」で配付されたプリントを読み直しておくこと。			A
	第2回	【テーマ】国語科学習指導要領の構造と授業づくり(アクティブ・ラーニングの活用) 【計画内容】小学校6年間の言語能力の発達と指導事項との関連について、授業の具体例を参考にしながら学び合います。 【準備学習の内容】テキスト「小学校学習指導要領解説国語編」の指導事項を読んでおくこと。			A、B、H
	第3回	【テーマ】言葉の学び手を育てる国語科の授業(アクティブ・ラーニングの活用) 【計画内容】児童自らが「言葉」を発見していける授業づくりについて、授業の具体例を参考にしながら学び合います。 【準備学習の内容】「国語科指導法Ⅰ」で学んだ国語科授業の基本構造を読み直しておくこと。			A、B、H
	第4回	【テーマ】学習指導案づくり1～教材研究と教材観 【計画内容】教材の特質を探り、学習指導案作りを通して指導者としての教材観を高めます。 【準備学習の内容】担当した教材文を音読し、教材研究のポイントとなりそうな箇所にチェックしておくこと。			A、B、H
	第5回	【テーマ】学習指導案づくり2～年間指導計画に基づく指導目標と指導計画 【計画内容】一つの単元だけでなく、年間指導計画を想定した上で指導を重点化し、指導計画を立てることの重要性を学びます。 【準備学習の内容】「国語科指導法Ⅰ」で学んだ指導目標、指導計画のチェックポイントを復習しておくこと。			A、B、H
	第6回	【テーマ】学習指導案づくり3～本時の目標と展開 【計画内容】児童の具体的な姿を想定し、本時の目標を設定、言語活動を通しての学習活動について学びます。 【準備学習の内容】同系列の学習内容や関連する教材について、目を通しておくこと。			A、B、H
	第7回	【テーマ】学習指導案づくり4～指導細案(発問、板書、ワークシート等) 【計画内容】発問、指示、児童の活動について、授業の展開に沿って学びます。 【準備学習の内容】「国語科指導法Ⅰ」で学んだ指導法で応用できないか探しておくこと。図書館で参考になりそうな資料を探しておくこと。			A、B、H
	第8回	【テーマ】学習指導案づくり5～指導細案(発問、板書、ワークシート等) 【計画内容】板書内容、教材・教具の提示方法について、授業の展開に沿って学びます。 【準備学習の内容】「国語科指導法Ⅰ」で学んだ指導法で応用できないか探しておくこと。図書館で参考になりそうな資料を探しておくこと。			A、B、H
	第9回	【テーマ】模擬授業1～「知識及び技能」 【計画内容】児童の意欲や問題意識を高める「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の指導の在り方について、具体例を参考に学びます。 【準備学習の内容】教材と学習指導案を読み、正解や、子どもが陥りやすい誤解等について考えておくこと。			A、B、D、H
	第10回	【テーマ】模擬授業2～「思考力、判断力、表現力等」1 【計画内容】「話すこと・聞くこと」領域の授業構成について、具体例を参考にして考えます。 【準備学習の内容】教材と学習指導案を読み、正解や、児童が陥りやすい誤解等について考えておくこと。			A、B、D、H
	第11回	【テーマ】模擬授業3～「思考力、判断力、表現力等」2 【計画内容】「書くこと」領域の授業構成について、具体例を参考にして考えます。 【準備学習の内容】教材と学習指導案を読み、正解や、児童が陥りやすい誤解等について考えておくこと。			A、B、D、H
	第12回	【テーマ】模擬授業4～「思考力、判断力、表現力等」3 【計画内容】「読むこと」領域の授業構成について、具体例を参考にして考えます。(説明的な文章) 【準備学習の内容】教材と学習指導案を読み、正解や、児童が陥りやすい誤解等について考えておくこと。			A、B、D、H
	第13回	【テーマ】模擬授業5～「思考力、判断力、表現力等」4 【計画内容】「読むこと」領域の授業構成について、具体例を参考にして考えます。(文学的な文章) 【準備学習の内容】教材と学習指導案を読み、正解や、児童が陥りやすい誤解等について考えておくこと。			A、B、D、H
	第14回	【テーマ】学習指導案の再構成 【計画内容】模擬授業1～5までの実践で見えたことを基に学習指導案を再構成します。提出は次週。 【準備学習の内容】模擬授業1～5の際に記録したメモを読み直しておくこと。			A、B、D、H
	第15回	【テーマ】ベテランの授業に学ぶ 【計画内容】ベテランの授業をビデオを通して参観しながら、国語科の授業づくり、授業の展開の方法等について学びます。 【準備学習の内容】事前に教材を読み、教材研究を深めておくこと。			A、B、H
テキスト	甲斐睦郎他、2018年、『小学校国語科教科書5年』、光村図書出版株式会社				
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説国語編』、株式会社東洋館出版社				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		40%	30%
	補足			指導案・課題		授業への積極的な参加	模擬授業

質問への対応	講義終了後に受け付ける。回答は次時の冒頭に全体に説明するか、あるいは終了後に質問者に直接行う。
資格	[教]小1種 _ 選択
その他	「国語科指導法Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。 自分が模擬授業する教材だけでなく、他の教材にも目を通し積極的に模擬授業に参加すること。

科目名	社会科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中川　洋一				
授業の目的	ねらい	学習指導要領の目標や内容の改善を踏まえて、社会科の指導法や教材研究の在り方について学びます。社会科学習の典型的な学習展開を学びながら、問題解決的な学習を目指す指導法に取り組みます。			
	到達目標	(1)社会科学習の基本的な学習展開の流れや指導法を理解できる。 (2)地域社会や人々の社会生活を広い視野からとらえるための教材化について理解する。 (3)学習指導案の作成と模擬授業を通して、社会科指導の基本事項を理解できる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法や学習上のきまりごとについて説明します。小学校時代の社会科学習について交流します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】社会科学習の基本① 【計画内容】小学校社会科学習の展開の基本となる指導法について、具体例をもとにして学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】社会科学習の基本② 【計画内容】資料活用の技能を高める指導法について、具体例をもとにして学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J
	第4回	【テーマ】社会科学習の基本③ 【計画内容】我が国の国土に関する理解を深める指導法について、具体例をもとにして学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、H
	第5回	【テーマ】社会科学習指導案づくりと交流　その1 【計画内容】授業のねらいや活動、子どもに育てたい力を踏まえて、学習指導案づくりに取り組みます。 (指導内容別にグループ活動) 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、H
	第6回	【テーマ】社会科学習指導案づくりと交流　その2 【計画内容】授業のねらいや活動、子どもに育てたい力を踏まえて、学習指導案づくりに取り組みます。 (指導内容別にグループ活動) 【準備学習の内容】学習指導案を検討しておくこと。	A、H
	第7回	【テーマ】社会科学習指導案づくりと交流　その3 【計画内容】グループごとに構想した学習指導案をアクティブラーニングの手法を通してより良い学習指導案となるよう考えます。 【準備学習の内容】学習指導案を完成しておくこと。	H
	第8回	【テーマ】模擬授業の構想と準備　その1 【計画内容】グループごとに模擬授業の単元を決定して、学習指導案を作成していきます。 【準備学習の内容】どの単元を模擬授業とするか検討しておくこと。	H
	第9回	【テーマ】模擬授業の構想と準備　その2 【計画内容】学習指導案を作成し、教材や資料の活用方法や板書、発問などを吟味します。 【準備学習の内容】各グループが準備している内容を把握しておくこと。	H
	第10回	【テーマ】模擬授業の構想と準備　その3 【計画内容】学習指導案を作成し、教材や資料の活用方法や板書、発問などを吟味します。 【準備学習の内容】各グループが準備している内容を把握しておくこと。	H
	第11回	【テーマ】模擬授業による指導実践　その1 【計画内容】各グループによる模擬授業を行い、指導上のよさや改善点について意見交流をします。 【準備学習の内容】配付している各グループの資料を読んでおくこと。	F、H
	第12回	【テーマ】模擬授業による指導実践　その2 【計画内容】各グループによる模擬授業を行い、指導上のよさや改善点について意見交流をします。 【準備学習の内容】配付している各グループの資料を読んでおくこと。	F、H
	第13回	【テーマ】模擬授業による指導実践　その3 【計画内容】各グループによる模擬授業を行い、指導上のよさや改善点について意見交流をします。 【準備学習の内容】配付している各グループの資料を読んでおくこと。	F、H
	第14回	【テーマ】先輩の授業実践に学ぶ 【計画内容】先輩の先生の授業実践を視聴し、自分たちの行った模擬授業と比べ、違いや学ぶべき点について交流します。 【準備学習の内容】実践の授業単元及び本時から自分なりにどう指導するか考えておくこと。	A
	第15回	【テーマ】まとめと整理 【計画内容】これまでの講義を振り返り、社会科指導の基本と大切なポイントについてまとめ、意見交流します。 【準備学習の内容】これまで配付した資料や作成した指導案等について目を通しておくこと。	G、L

テキスト	文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説社会編』、東洋館出版社、9784491023724 有田和正他、2016年、『小学社会5上下6上下』、教育出版
参考書	講義の中で紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	30%	30%		10%
	補足		模擬授業	レポート	指導案		作品制作

質問への対応	初回講義時、具体的に説明します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	「社会科概論」を履修済みであることが望ましい。 使用テキストの教科書『小学社会5上下6上下』については、事前に詳細を別途指示。

科目名	算数科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	三浦　公裕				

授業の目的		
	ねらい	「算数科概論」、「算数科指導法Ⅰ」の学びを活用し、実際に子供にどう指導するか、模擬授業を通して、算数科授業の指導原理を学ぶ。授業づくりの基本であるねらいの立て方や学習活動の組み立て方、数学的活動をどう取り入れるかを実践を通して理解するとともに、学習者である子供の立場に立った学習を進めるために、ワークシートや提示教材の作成の仕方を学び、「楽しい」「分かる」授業の展開について理解を深める。
	到達目標	(1)子供の立場になって、疑問やアイディア、課題解決に努めている。 (2)指導案の作成を通して、教材・教具の作成や学習評価の考え方を理解している。 (3)模擬授業を通して、教科の特性に応じた情報機器や教材の効果的な活用を理解している。 (4)子供の認識・思考、学力等実態を視野に入れた授業構成に努めている。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション：「授業を想定した展開」 【計画内容】①「算数科指導法Ⅰ」との違い　②本講義の内容理解　③事例研究（模擬授業）の分担 【準備学習の内容】シラバス「算数科指導法Ⅱ」を熟読しておくこと。	A、H
	第2回	【テーマ】模擬授業と討議1　「1年生の最初の算数学習の展開」 【計画内容】教科書の絵だけの題材で、一対一対応に着目し、それをどのように展開するかを学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第3回	【テーマ】模擬授業と討議2　「繰り上がり・繰り下がりのあるたし算・ひき算」 【計画内容】学びを深め確かにするために算数的活動の一つである具体物の活用の仕方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第4回	【テーマ】模擬授業と討議3　「三角形と四角形のなかまわけ」 【計画内容】扱いにくいと言われる「なかまわけ」の指導の仕方を知る。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第5回	【テーマ】模擬授業と討議4　「わり算1」 【計画内容】等分除・包含除の理解とその指導について学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第6回	【テーマ】模擬授業と討議5　「わり算2」 【計画内容】あまりの存在の理解とその指導について学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第7回	【テーマ】模擬授業と討議6　「異分母分数のたし算・ひき算」 【計画内容】通分する必要性やその意味を理解する。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第8回	【テーマ】模擬授業と討議7　「複合図形の面積の求め方」 【計画内容】多様な考え方の予想と発表のさせ方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第9回	【テーマ】模擬授業と討議8　「台形の面積の求め方」 【計画内容】子供の多様な考え方を生かす学習の進め方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第10回	【テーマ】模擬授業と討議9　「面積の不思議な変化など変わり方の学習」 【計画内容】関数的な見方・考え方の育成の仕方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読し、自分なりに子どもの多様な反応を予想する。	A、K、N
	第11回	【テーマ】算数科の「発展的な学習」の教材研究のあり方について 【計画内容】現場の教師から、新鮮な実践情報を学ぶ。 【準備学習の内容】配付する資料熟読しておくこと。テキスト第3章 p.58-p.60を熟読しておくこと。	A、K、N
	第12回	【テーマ】「情報機器等（ICT）と算数科学習」の教材研究のあり方について 【計画内容】算数学習における情報機器等（ICT）の可能性とその活用について探る。 【準備学習の内容】配付する資料を熟読しておくこと。	A、H、K
	第13回	【テーマ】指導案の作成①　「授業におけるねらいと評価」について 【計画内容】これまでの講義を振り返り、題材を選択し単元構成を考える。 【準備学習の内容】これまでの講義資料やノートに目を通しておくこと。	A、G、K
	第14回	【テーマ】指導案の作成②　「本時案の構成と留意点の検討」について 【計画内容】数学的活動を生かす教材・教具を工夫し本時案の作成を目指す。 【準備学習の内容】おおまかに、本時の流れを作成しておくこと。	A、G、K
	第15回	【テーマ】まとめ「子供たちがつくる算数学習の展開」について 【計画内容】講義を振り返り、望ましい算数学習の在り方の理解を深める。 【準備学習の内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A、K、L

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説算数科編』 北翔大学・北翔大学短期大学部、2014年、『教育実習の手引き』
参考書	『小学算数』、教育出版 『新しい算数』、東京書籍 『わくわく算数』、啓林館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	20%		50%	
	補足		模擬授業	記録用紙作成		ワークシート作成	

質問への対応	随時440研究室にて応じます。
資格	[教]小1種 _ 選択
その他	小学校教員を目指す学生が受講対象です。また、「算数科指導法Ⅰ」を終了していることが望ましい。「算数科指導法Ⅱ」はより確かな指導法を身に付けることを願って、模擬授業形態で学びます。児童役、教師役を分担したりしながら、児童が自ら問題を解決していく学習展開を体験します。

科目名	理科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	横山　光				

授業の目的		
	ねらい	理科教育の理念と今日的な課題を理解し、小学校における授業の組み立てや展開の基本を、実際の授業を想定して学びます。特に模擬授業を通して、観察や実験の指導方法について実践を通して学びます。
	到達目標	(1)理科教育の理念と今日的な課題についての理解ができる。 (2)小学校理科教育の目標と内容及び単元構成が説明できる。 (3)指導計画の作成の手順や内容の取り扱いにおける配慮事項が説明できる。 (4)身近な自然の素材研究の方法を理解し、簡単な自作教具を作ることができる。 (5)子供の側に立った授業を構想し、理科学習指導案を作成することができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】理科教育の理念と今日的な課題 【計画内容】学習指導要領から学校教育における理科の理念と、小学校理科における今日的な課題について学びます。 【準備学習の内容】シラバスで15回の流れを十分に確認してください。また、教科書を準備してください。	L
	第2回	【テーマ】問題解決の活動と科学的な見方や考え方の構築 【計画内容】各学年で行う問題解決の活動と、科学的な見方や考え方の構築について学びます。 【準備学習の内容】指導要領の第1章を熟読すること。	L
	第3回	【テーマ】小学校理科教育の目標と内容及び単元構成 【計画内容】各学年の目標と内容及び単元構成を学びます。 【準備学習の内容】前時の内容を復習し、配付資料を熟読すること。	L
	第4回	【テーマ】小・中の関連を重視した理科指導とその実際 【計画内容】各区分に整理された小・中学校で学習する内容の関連性を整理し、小・中の関連を重視した理科指導とその実際について学びます。 【準備学習の内容】指導要領を用いて、小・中学校の関連性をＡ区分・Ｂ区分ごとに理解しておくこと。	H
	第5回	【テーマ】指導計画の作成と内容の取り扱い 【計画内容】指導計画の作成を実際に行い、学習指導要領に示された内容の取り扱いについて学びます。 【準備学習の内容】前時の内容を復習し、配付資料を熟読すること。	G
	第6回	【テーマ】学習指導法の類型とその特色 【計画内容】学習指導法を分類しその類型と特色について学びます。 【準備学習の内容】前時の内容を復習し、配付資料を熟読すること。	L
	第7回	【テーマ】理科の授業と評価 【計画内容】理科の授業と評価について学びます。 【準備学習の内容】前時の内容を復習し、配付資料を熟読すること。	H
	第8回	【テーマ】身近な素材や自作教具を活用した理科指導 【計画内容】身近な素材や自作教具を実際に作成し、それらを活用した理科指導について学びます。 【準備学習の内容】前時の内容を復習し、配付資料を熟読すること。	H
	第9回	【テーマ】小学校理科授業の実践例から学ぶ 【計画内容】実践例を通して小学校理科授業における注意点や課題を学びます。 【準備学習の内容】前時の内容を復習し、配付資料を熟読すること。	L
	第10回	【テーマ】子どもの側に立った授業づくりとその検討(実験：第3学年 風やゴムの働き) 【計画内容】グループごとに理科学習指導案の発表と模擬授業を行い、授業評価を行います。 【準備学習の内容】各グループごとに、指導案の作成を行っておくこと。	F、H
	第11回	【テーマ】子どもの側に立った授業づくりとその検討(実験：第4学年 金属、水、空気と温度) 【計画内容】グループごとに理科学習指導案の発表と模擬授業を行い、授業評価を行います。 【準備学習の内容】各グループごとに、指導案の作成を行っておくこと。	F、H
	第12回	【テーマ】子どもの側に立った授業づくりとその検討(実験：第5学年 振り子の運動) 【計画内容】グループごとに理科学習指導案の発表と模擬授業を行い、授業評価を行います。 【準備学習の内容】各グループごとに、指導案の作成を行っておくこと。	F、H
	第13回	【テーマ】子どもの側に立った授業づくりとその検討(観察：第5学年 動物の誕生) 【計画内容】グループごとに理科学習指導案の発表と模擬授業を行い、授業評価を行います。 【準備学習の内容】各グループごとに、指導案の作成を行っておくこと。	F、H
	第14回	【テーマ】子どもの側に立った授業づくりとその検討(実験：第6学年 電気の利用) 【計画内容】グループごとに理科学習指導案の発表と模擬授業を行い、授業評価を行います。 【準備学習の内容】各グループごとに、指導案の作成を行っておくこと。	F、H
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】本講義の内容を振り返り、まとめと確認を行います。 【準備学習の内容】教科書・ノート・配付資料を元に、本講義全体を復習。	G

テキスト	左巻健男・山下芳樹・石渡正志編著、2018年、『授業をつくる！ 最新小学校理科教育法～2017学習指導要領準拠～』、学文社、9784762027727
参考書	『小学校学習指導要領解説　理科編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	45%		25%		30%	
	補足			レポート課題など			

質問への対応	講義中も遠慮なく質問してください。また、各講義の終わりに記入するレビューシートでも質問を受け付けます。
資格	[教]小1種＿必修
その他	理科好きの子どもを育てるためにはどうしたらよいか、みなさんが「小学校の教師」になったことを想定して、楽しい授業づくりを考えてください。 第16回にテストを実施予定です。

科目名	生活科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	西出　勉				
授業の目的	ねらい	学習指導要領における生活科の教科目標や内容等を理解し、新しい方向を見据えた生活科の授業の在り方について、実際の展開例をもとにしながら学習指導案を作成するなど、実践的に学んでいきます。			
	到達目標	(1)生活科の教科目標と内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や内容の取扱いについて理解することができる。 (3)学習指導の効果的な進め方について理解することができる。 (4)生活科の学習評価について理解することができる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介、講義の展開、成績の評価方法等の概略を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】生活科はどう変わったか　①　【生活科の教科目標】 【計画内容】学習指導要領をもとに、生活科の教科目標について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】生活科はどう変わったか　②　【生活科の内容】 【計画内容】学習指導要領をもとに、生活科の内容について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】指導計画の作成と内容の取扱い　①　【指導計画の作成】 【計画内容】指導計画の作成に関する配慮事項について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】指導計画の作成と内容の取扱い　②　【内容の取扱い】 【計画内容】内容の取扱いに関する配慮事項について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】学習指導の進め方　① 【計画内容】生活科における学習指導の基本的な進め方について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K
	第7回	【テーマ】学習指導の進め方　② 【計画内容】学習過程における試行錯誤や繰り返す活動の設定、伝え合い交流する場の工夫等について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第8回	【テーマ】学習活動の展開　①　【教材研究と効果的な指導法】 【計画内容】「学校と生活」「家庭と生活」「地域と生活」の授業展開例について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第9回	【テーマ】学習活動の展開　②　【教材研究と効果的な指導法】 【計画内容】「公共物や公共施設の利用」「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」の授業展開例について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】学習活動の展開　③　【教材研究と効果的な指導法】 【計画内容】「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の伝え合い」「自分の成長」の授業展開例について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】生活科の学習評価　① 【計画内容】生活科における学習評価の考え方について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K
	第12回	【テーマ】生活科の学習評価　② 【計画内容】生活科における評価規準や評価計画について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第13回	【テーマ】学習指導案の作成　① 【計画内容】学習指導案の基本的な作成の仕方等について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第14回	【テーマ】学習指導案の作成　② 【計画内容】生活科の教科書をもとに、学習指導案を作成し検討します。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】生活科の学習指導の進め方について、資料等を振り返りながらまとめます。 【準備学習の内容】これまで配付した資料等について、理解を深めておくこと。	A、G、L

テキスト	文部科学省、2017年 .6、『小学校学習指導要領解説生活編』 教科書『せいかつ(上)みんな　なかよし』、教育出版
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

質問への対応	随時、対応します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	

科目名	生活科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	西出　勉				

授業の目的		
	ねらい	生活科の教科目標や内容の即した実践事例をもとに、計画、実践、評価、改善の一連の流れ(カリキュラム･マネジメント)を学ぶとともに、教材研究や学習指導案の作成を通して実践的指導力の基礎を育成します。また、生活科と各教科等との関連や幼児期の教育や中学年以降の学習とのかかわりについて学びます。
	到達目標	(1)生活科の教科目標と内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成と内容の取扱いについて理解することができる。 (3)学習指導の効果的な進め方について理解することができる。 (4)生活科の学習評価について理解することができる。 (5)学習指導の展開例を検討して、学習指導案等を作成することができる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介、成績の評価方法、生活科創設の趣旨等。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】生活科の教科目標 【計画内容】学習指導要領をもとに、生活科における教科目標の構成や資質能力の3つの柱、学年の目標について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】生活科の内容　① 【計画内容】学習指導要領をもとに、生活科における内容構成の考え方について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】生活科の内容　② 【計画内容】学習指導要領をもとに、生活科の内容と全体構成について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】生活科の指導計画　① 【計画内容】生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】生活科の指導計画　② 【計画内容】生活科における年間指導計画の作成について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第7回	【テーマ】生活科の指導計画　③ 【計画内容】生活科における単元計画の作成や幼児期の教育と小学校教育の接続について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第8回	【テーマ】生活科の学習指導　① 【計画内容】生活科の学習過程において、試行錯誤や繰り返す活動の設定、伝え合い交流する場の工夫について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第9回	【テーマ】生活科の学習指導　② 【計画内容】生活科の学習過程において、振り返り表現する機会の設定や児童の多様性を生かし、学びをより豊かにする指導の進め方について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】学習指導案の作成と学習評価　① 【計画内容】生活科における評価規準や具体的な評価方法について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成と学習評価　② 【計画内容】生活科におけるカリキュラム･マネジメントや指導と評価の一体化について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、K
	第12回	【テーマ】学習指導案の作成と模擬授業　① 【計画内容】授業の展開の仕方を考え、教師のかかわり方について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第13回	【テーマ】学習指導案の作成と模擬授業　② 【計画内容】模擬授業の結果から、学習指導の改善について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、F、H、K
	第14回	【テーマ】生活科と他教科等との関連 【計画内容】生活科を中心とした合科的･関連的な指導について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】改めて学習指導要領の改訂の趣旨やねらい等について整理します。 【準備学習の内容】これまで配付した資料等について理解を深めておくこと。	A、G、L

テキスト	文部科学省、2017年 .6、『小学校学習指導要領解説生活編』 教科書『せいかつ(下)みんな　なかよし』、教育出版
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

質問への対応	随時、対応します。
資格	[教]小1種 _ 選択
その他	

科目名	音楽科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤田　悦子				
授業の目的	ねらい	学習指導要領に即した小学校音楽科の達成目標に沿い、年間指導計画や学習指導など総合的な関連の理解と構成できる方法を学習する。学習指導案作成に基づき、指導目標、指導内容、教材、評価計画、評価基準、展開過程、題材の構成について理解を深める。			
	到達目標	(1)学習指導要領の教育の理念を踏まえ音楽科の特性を理解する。 (2)音楽科の学習指導計画(年間計画と指導案)の作成について学ぶ。 (3)音楽学習の評価(観点と評価基準)について学ぶ。			
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】学習指導要領、音楽科の目標と理念、指導内容、学習指導計画について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおく。教科書の音楽科の目標、指導内容、指導計画について調べておく。	A		
	第2回	【テーマ】音楽科の基礎的･基本的知識･技能について学ぶ 【計画内容】共通教材の表現(歌唱、器楽、創作)と鑑賞、およびそれぞれの関連性について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の音楽科の指導内容(表現、鑑賞、共通事項)について調べておく。	A		
	第3回	【テーマ】音楽知識、技能を高める 【計画内容】音楽科授業テーマ(表現･鑑賞)を達成するための思考力、判断力、表現力を高める。 【準備学習の内容】教科書の表現と鑑賞について調べておく。	A		
	第4回	【テーマ】音楽科の年間指導計画について、学年ごとの指導要領を基に計画を立てる 【計画内容】グループを組み、小学校各学年の音楽科の目標、指導内容を踏まえて指導計画を作成する。 【準備学習の内容】教科書の音楽科の目標、指導内容、学習指導計画について調べておく。	A、H		
	第5回	【テーマ】作成した年間指導計画の検討 【計画内容】グループごとに立案した年間指導計画が、教科目標、学年目標と合致するか検討する。 【準備学習の内容】教科書の学習指導計画について調べておく。	A、H		
	第6回	【テーマ】年間指導計画を領域ごとに学習指導案の作成をする 【計画内容】担当領域ごとのグループで学習指導案の題材を研究する。 【準備学習の内容】教科書の学習指導計画、題材の構成について調べておく。	A、H		
	第7回	【テーマ】学習指導案の指導目標の設定 【計画内容】グループごとで音楽科授業を構想し、児童の資質や能力を活かす方法を考える。 【準備学習の内容】教科書の学習指導案の作成について調べておく。	A、H		
	第8回	【テーマ】各自作成した学習指導案を基に一つにまとめる 【計画内容】グループごとに学習指導案を発表し合いまとめる。 【準備学習の内容】学習指導案を各自、作成しておく。	A、H		
	第9回	【テーマ】各領域、学年から学習指導案をまとめる 【計画内容】学年群と2つの領域からグループを選出する。 【準備学習の内容】グループでまとめた学習指導案を確認しておく。	A、H		
	第10回	【テーマ】各グループの模擬授業体験の準備として、学習指導案を整える 【計画内容】教材研究を深め、学習のねらいを明確にし、指導要領評価基準を設定し工夫する。 【準備学習の内容】教科書の音楽学習の評価を調べておく。	A、H		
	第11回	【テーマ】低学年の表現、鑑賞分野の模擬授業を実施する 【計画内容】題材、本時の目標、展開、低学年への働きかけなど明確にする。 【準備学習の内容】作成した学習指導案の確認と教科書の学習指導案について調べておく。	A、B、H、K		
	第12回	【テーマ】中学年の表現、鑑賞分野の模擬授業を実施する 【計画内容】中学年の興味･関心などが達成されるように、児童への働きかけについて観察する。 【準備学習の内容】作成した学習指導案の確認と教科書の学習指導案について調べておく。	A、B、H、K		
	第13回	【テーマ】高学年の表現、鑑賞分野の模擬授業を実施する 【計画内容】高学年の興味･関心などが達成されるように、児童への働きかけについて考える。 【準備学習の内容】作成した学習指導案の確認と教科書の学習指導案について調べておく。	A、B、H、K		
	第14回	【テーマ】模擬授業のまとめをする 【計画内容】各学年での模擬授業のねらいと成果についてまとめる。 【準備学習の内容】作成した学習指導案の確認と教科書の学習指導案について調べておく。	A、B、H、K		
	第15回	【テーマ】模擬授業を受けた児童の評価についてまとめる 【計画内容】各グループの学習指導案の評価について検討する。 【準備学習の内容】作成した学習指導案の確認と教科書の学習指導案について調べておく。	A、K		
テキスト	初等科音楽教育研究会編、『初等科音楽教育法』、音楽之友社 文部科学省、『小学校学習指導要領解説(音楽編)』				
参考書	プリントを使用する				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足			レポート			発表

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	

科目名	音楽科指導法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤田　悦子				
授業の目的	ねらい	小学校音楽科の学年目標に沿い、幼児・児童の発達特性を活かした授業の指導手法の実践力を学ぶ。音楽に対する情意的側面、即ち音楽に向かう姿勢、音楽を体験したり、実践する習慣を育てることにより、子ども達の感性や情操の育成をどのように導くかを目的とする。			
	到達目標	(1)学習指導要領の歌唱指導において求めている教師の指導能力を身につける。 (2)学習指導要領の器楽指導において求めている教師の指導能力を高める。 (3)音楽の創作、鑑賞の指導について指導能力を深める。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】歌唱、器楽、創作、鑑賞について学習計画を理解する。 【準備学習の内容】学習指導要領の歌唱指導、器楽指導、音楽の総諾、鑑賞について確認しておく。	A
	第2回	【テーマ】歌唱指導と発声法について学ぶ 【計画内容】発声練習において幼児・児童の特質に即した発声方法を学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の歌唱の学習と指導について調べておく。	A、H
	第3回	【テーマ】児童の発声について課題を設定する 【計画内容】映像やCDをもとに範唱を聴き、実習曲を学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の共通教材について確認しておく。	A
	第4回	【テーマ】歌唱練習の聴唱法と視唱法を学ぶ 【計画内容】歌詞の意味を調べ、階名練習、歌詞練習を繰り返いし行い、音楽内容を高める。 【準備学習の内容】教科書の共通教材を確認しておく。	A、B、H
	第5回	【テーマ】器楽指導について、楽器演奏方法を実践し、聴奏・視奏を行う 【計画内容】楽器演奏経験者、初心者、それぞれの進度に併せて楽器演奏を試みる。 【準備学習の内容】教科書の器楽の学習と指導について調べておく。	A、B、E
	第6回	【テーマ】器楽奏法についてアンサンブル曲を設定し演奏する 【計画内容】グループのパート毎でリズム・拍子・音程の譜読みを行い、演奏法を学ぶ。 【準備学習の内容】楽器の特性と選曲した曲の譜読みを確認する。	A、B、E、H
	第7回	【テーマ】それぞれの器楽の特性を生かし、表現の工夫をする 【計画内容】選曲した楽器の音出し練習を行い、指導するための演奏技術を高める。 【準備学習の内容】楽器の特性と選曲した曲の譜読みを確認する。	A、B、E、H
	第8回	【テーマ】ハーモニーを工夫する 【計画内容】調和のとれた演奏の協同する喜びや楽しさを味わい、責任感と協調性を養うことを実感し、理解する。 【準備学習の内容】選曲した曲のパートの確認と表現の工夫を確認しておく。	A、B、E
	第9回	【テーマ】音楽科の共通事項について学ぶ 【計画内容】共通事項の表現と鑑賞について学習を深める。 【準備学習の内容】教科書の音楽科の指導内容(表現、鑑賞、共通事項)について調べておく。	A
	第10回	【テーマ】作曲ルールについて学ぶ 【計画内容】音遊び、即興的音楽、リズムなどから音楽づくりを工夫する。 【準備学習の内容】教科書の音楽づくりの学習と指導について調べておく。	A、B、H
	第11回	【テーマ】一定のルールを設定し、音を音楽へ構成していく仕組みについて考える 【計画内容】児童の感性や創造性を駆使して活動に参加できるよう工夫する。 【準備学習の内容】教科書の音楽づくりの学習と指導について調べておく。	A、H
	第12回	【テーマ】作品の発表と鑑賞 【計画内容】グループごとで作品を作り、演奏する。それぞれの発表を鑑賞する。 【準備学習の内容】教科書の鑑賞について調べておく。	A、B、H
	第13回	【テーマ】音楽作りの参考となる音楽を鑑賞する 【計画内容】交響曲、歌劇、宗教曲、日本音楽などを鑑賞する。 【準備学習の内容】教科書の鑑賞教材について調べておく。	A
	第14回	【テーマ】鑑賞した音楽から教材選択の観点と教材研究を行う 【計画内容】教材研究の観点、楽曲の背景、指導についてまとめる。 【準備学習の内容】教科書の鑑賞教材選択の観点と教材研究について調べておく。	A、B、H
	第15回	【テーマ】学習のまとめと課題の発表 【計画内容】グループごとに課題について演奏・鑑賞・作品解説をまとめ、発表する。 【準備学習の内容】教科書の表現、鑑賞、共通事項について確認しておく。演奏について練習しておく。	A、F、H

テキスト	初等科音楽教育研究会編、『初等科音楽教育法　改訂版』、音楽之友社 文部科学省、『小学校学習指導要領解説(音楽編)』
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足						発表

質問への対応	講義時に紹介します。
資格	[教]小1種 _ 選択
その他	

科目名	図画工作科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	山崎　正明				

授業の目的		
	ねらい	「図画工作」を通して身につけるべき資質･能力を始め、ねらいや内容を、授業をづくりを通して実践的に学んでいく。あわせて様々な指導を学ぶと共に適切な評価方法も身につける。表現では基礎的な表現技法を具体的な制作を通しながら身に着ける。鑑賞では様々な鑑賞法を身に付けて、実際の授業で活用できるようにする。
	到達目標	(1)「学習指導要領　図画工作」のねらいと内容を理解する。 (2)「図画工作」のねらいをもとに具体的な授業を想定した授業作りができる。 (3)「図画工作」の指導に必要な基礎的な技能を身につける。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】「学習指導要領　図画工作」の全体の構造を捉えながら、ねらい及び内容の概略を理解する。 特に育むべき脂質･能力については「学習指導要領総則」との関連から理解を深める。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと	A
	第2回	【テーマ】子供の絵の発達 【計画内容】乳幼児期から小学生、中学生までの絵画表現など発達について理解をふかめる。 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書を見ておくこと	A
	第3回	【テーマ】図画工作の授業に現れる子供の姿 【計画内容】映画「トントンギコギコ図工の時間」の視聴し、子供の姿から「図画工作」の授業の在り方を考える。 【準備学習の内容】Webサイト「トントンギコギコ図工の時間」を見ておく　http://www.tontongikogiko.com	G
	第4回	【テーマ】図画工作の指導と放送教材 【計画内容】NHK for School「キミなら何つくる」の試聴を通して、授業づくりのポイントを捉えることができる。 【準備学習の内容】Web サイト　NHK for School「キミなら何つくる」を見ておく　http://www.nhk.or.jp/zukou/kiminara/	G
	第5回	【テーマ】図画工作の学習指導案 【計画内容】「図画工作科」の教科書をもとに学習指導案をつくる。 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書を見ておくこと	B、H
	第6回	【テーマ】アートカードを用いた鑑賞授業 【計画内容】「アートカード」をもとにした鑑賞の体験 【準備学習の内容】鑑賞教育 JP を見ておくこと　http://kanshokyoiku.jp/index.html	B、H
	第7回	【テーマ】対話による美術鑑賞 【計画内容】「対話による意味生成的な美術鑑賞」の体験 【準備学習の内容】鑑賞教育 JP を見ておくこと　http://kanshokyoiku.jp/index.html	B、H
	第8回	【テーマ】授業における情報機器などの活用及び造形遊び 【計画内容】情報機器の効果的な活用方法と造形遊び体験を通した学びについての考察 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書を見ておくこと	B、H
	第9回	【テーマ】実技　絵画表現 【計画内容】スケッチや水彩、墨、版を用いた表現 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書を見ておくこと	B、H
	第10回	【テーマ】実技　モダンテクニック 【計画内容】マーブリング、ドリッピング、ステンシル、フロッタージュを用いた表現 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書を見ておくこと	B、H
	第11回	【テーマ】実技　立体表現 【計画内容】粘土、針金、光、などを用いた表現 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書を見ておくこと	B、H
	第12回	【テーマ】低学年の指導 【計画内容】小学校低学年の図画工作科指導案作成と模擬授業 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書をもとに指導の方法を考えておくこと	B、H
	第13回	【テーマ】中学年の指導 【計画内容】小学校中学年の図画工作科指導案作成と模擬授業 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書をもとに指導の方法を考えておくこと	B、H
	第14回	【テーマ】高学年の指導 【計画内容】小学校高学年の図画工作科指導案作成と模擬授業 【準備学習の内容】「図画工作」の教科書をもとに指導の方法を考えておくこと	B、H
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】全講義のふりかえりとまとめ 【準備学習の内容】これまで学んできたことをふりかえっておくこと	L

テキスト	講義時に説明する
参考書	『小学校学習指導要領解説　図画工作編』 講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	20%	30%	
	補足						

質問への対応	2つの方法のいずれでもかまいません。 (1)講義終了時に声をかけてください。時間のかかるものは、相談に応じます。 (2)メールでの質問　yamazaki@hokusho-u.ac.jp
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	

科目名	家庭科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	木下　教子				
授業の目的	ねらい	小学校家庭科の目標及び内容を分析して教科内容のねらいにそって指導計画をたてる方法について学ぶ。児童が基礎的･基本的な知識および技術を習得できるような創意･工夫した発展的な教材研究と教育実践力などの資質や能力を身につける。			
	到達目標	(1)家庭科の授業に適切な単元、題材、目標、指導方法、評価方法を提案することができる。 (2)学習指導案をもとに効果的な教材を用いて模擬授業を実践することができる。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回までの講義内容について概観する。 【準備学習の内容】学習指導要領の教科の内容について復習する。	A
第2回	【テーマ】「衣食住の生活 教材1」 【計画内容】―生活に役立つ小物の手縫い製作物の製作計画をたてる― 【準備学習の内容】学習指導要領の衣食住の生活について復習する。	A、D
第3回	【テーマ】「衣食住の生活 教材2」 【計画内容】衣生活分野の指導法について学び、製作物の布の裁断、適した縫い方について学ぶ。 【準備学習の内容】小物の製作計画を考える。	A、D
第4回	【テーマ】「衣食住の生活　教材3」 【計画内容】製作物の仕上げをして、アイロンをかける。 【準備学習の内容】ミシンの縫い方の留意点について調べる。	D
第5回	【テーマ】「衣食住の生活 教材4」 【計画内容】製作物をふり返り、製作過程の留意点についてまとめる。 【準備学習の内容】製作の指導法の留意点についてまとめる。	D
第6回	【テーマ】「調理の基礎」についての指導法1 【計画内容】ご飯とみそ汁の作り方について学ぶ。 【準備学習の内容】米、みその種類について調べる。	A
第7回	【テーマ】「調理の基礎」についての指導法2 【計画内容】実際にご飯とみそ汁を作る。 【準備学習の内容】文化鍋でご飯を炊く手順、火加減について復習する。	D
第8回	【テーマ】「快適な住まい」の指導法 【計画内容】住生活分野の指導法(暑さ･寒さ･通風･換気･採光･音)について学習する。 【準備学習の内容】室内の場所に応じた照度について調べる。	H
第9回	【テーマ】グループ学習による学習指導案、教材の作成1 【計画内容】「家庭生活と家族」の学習指導案の作成をグループ学習で行う。 【準備学習の内容】グループ毎に単元を考える。	H
第10回	【テーマ】グループ学習による学習指導案、教材の作成2 【計画内容】「食事の役割」の学習指導案、教材の作成をグループ学習で行う。 【準備学習の内容】教材の作成を考える。	H
第11回	【テーマ】グループ学習による学習指導案、教材の作成3 【計画内容】「日常着の手入れ」の学習指導案、教材の作成をグループ学習で行う。 【準備学習の内容】教材の作成を考える。	H
第12回	【テーマ】グループ学習による学習指導案、教材の作成4 【計画内容】「環境に配慮した生活の工夫」の学習指導案、教材の作成をグループ学習で行う。 【準備学習の内容】教材の作成を考える。	H
第13回	【テーマ】グループ学習による模擬授業の公開(前半グループ) 【計画内容】グループごとの模擬授業後に学習指導案、教材、授業展開等を全体交流をする。 【準備学習の内容】模擬授業の分担を考える。	F
第14回	【テーマ】グループ学習による模擬授業の公開(後半グループ) 【計画内容】グループごとの模擬授業後に学習指導案、教材、授業展開等を全体交流をする。 【準備学習の内容】模擬授業の分担を考える。	F
第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習をふり返り、家庭科教育の課題をまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領、ノート、プリント等を復習しておく。	A、G

テキスト	内野紀子他、2015年、『わたしたちの家庭科5･6』、開隆堂出版、9784304080647
参考書	『小学校学習指導要領解説　家庭編』 講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	40%	20%	
	補足			小レポート			

質問への対応	質問は、講義中･講義後に対応します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	衣食住の日常生活を整える大切さについて学び、実践してほしい。

科目名	体育科指導法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅尾　秀樹				
授業の目的	ねらい	体育の授業を行うには、運動領域の特性に応じた教材が必要です。初歩的な授業研究によって、学習過程や指導技術についての考察をすすめます。			
	到達目標	(1)授業研究の方法を理解し、記録・考察することができる。 (2)保健学習のねらいと指導について考察する。 (3)合理的な指導技術がわかる。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】授業のガイダンス・授業展開の説明 【計画内容】授業研究の目的と進め方を理解する。 【準備学習の内容】授業研究を考える。	A
第2回	【テーマ】体育学習を考察する1 【計画内容】学習目標・学習内容と学習指導案について考える。 【準備学習の内容】低学年の内容に目を通しておく。	A
第3回	【テーマ】体育学習を考察する2 【計画内容】学習指導案と授業の実際を考察する。 【準備学習の内容】中・高学年の内容に目を通しておく。	A
第4回	【テーマ】からだほぐし運動1 【計画内容】からだほぐし運動のねらい、内容についての説明と教材の実際。 【準備学習の内容】からだほぐし運動の学習教材を調べる。	A、F
第5回	【テーマ】からだほぐし運動2 【計画内容】教材の取り扱いについてふれ、授業研究としてすすめる。 【準備学習の内容】からだほぐし運動の学習教材を調べる。	A、F
第6回	【テーマ】多様な動きをつくる運動遊び1 【計画内容】体のバランスをとる、体を移動する運動のねらいと教材の実際。 【準備学習の内容】バランス運動・移動運動を調べる。	A、F
第7回	【テーマ】多様な動きをつくる運動遊び2 【計画内容】用具を操作する運動、力試しの運動のねらいと教材の実際。 【準備学習の内容】用具を操作する運動、力試しの運動を調べる。	A、F
第8回	【テーマ】体力を高める運動1 【計画内容】体力を高める運動の教材の取り扱いと授業研究。 【準備学習の内容】体力を高める運動教材を調べる。	A、F
第9回	【テーマ】体力を高める運動2 【計画内容】体力を高める運動のまとめと発展的課題。 【準備学習の内容】体力を高める運動教材の扱い方を調べる。	A、F
第10回	【テーマ】保健学習を考察する1 【計画内容】保健学習のねらいと学習内容。 【準備学習の内容】こどもの既習内容と学習目標	A、F
第11回	【テーマ】保健学習を考察する2 【計画内容】学習内容を日常生活に活用させる指導法。 【準備学習の内容】子どもの健康安全と標語などの指導媒体。	A
第12回	【テーマ】学習の評価 【計画内容】学習活動の成果の測定と評価法。 【準備学習の内容】運動測定の方法を考える。	A
第13回	【テーマ】スキー 【計画内容】教材の地域性と学習指導要領上での位置づけ、教材の取り扱いを考える。 【準備学習の内容】歩くスキーの事故防止と指導上の留意点を考える。	A
第14回	【テーマ】自然の中での遊び・雪遊び・野外活動 【計画内容】教材のねらいと実際の活動。 【準備学習の内容】冬の外遊びを考える。	A、H
第15回	【テーマ】授業のまとめ・理解度自己評価 【計画内容】授業研究記録の整理・まとめ、授業研究意見交換。 【準備学習の内容】授業研究のまとめを考える。	A、L

テキスト	文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説体育編』、東洋館出版社
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	スキーは、歩くスキーを行います。用具(ブーツ、スキー、ストック)の準備は不要です。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。

科目名	道徳教育論(小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	二宮　孝行				
授業の目的	ねらい	学校教育の中での道徳教育の位置づけや教科化となった「特別の教科　道徳」が置かれている意義について学びます。小学校における道徳教育は、人間としてよりよく生きるための基礎・基盤となる道徳性を育成するところに意義があることを学びます。事例をもとに学習指導案を作成します。			
	到達目標	(1)教育活動全体で行う道徳教育と「特別の教科　道徳」の違い、位置づけを理解することができる。 (2)学習指導要領に示された「特別の教科　道徳」の目標や内容を理解することができる。 (3)これまでの道徳教育、世界の道徳教育について理解することができる。 (4)学習指導案を作成することができる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義全体のガイダンス 【計画内容】講義展開や到達目標、評価方法や学習上のマナーなどについて説明します。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】道徳とは何か1 【計画内容】モラル、マナー、倫理、法律と道徳の異同について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】道徳とは何か2 【計画内容】近代ヨーロッパの倫理、思想、東洋の道徳思想、日本の道徳思想について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第4回	【テーマ】道徳教育の歴史1 【計画内容】「修身科」と道徳教育、教育勅語と戦後教育について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第5回	【テーマ】道徳教育の歴史2 【計画内容】学習指導要領の変遷と教育基本法の改正について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A、H
	第6回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育1 【計画内容】学校教育全体で行う道徳教育の目標及び内容について学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第2章第1節に目を通しておくこと	A、H、K
	第7回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育2 【計画内容】「特別の教科　道徳」の目標ついて学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第2章第2節に目を通しておくこと	A、H、K
	第8回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育3 【計画内容】指導計画の作成と内容項目、別葉作成について学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第4章に目を通しておくこと	A、H
	第9回	【テーマ】道徳教育の授業方法 【計画内容】学習指導案の枠組みと記入のポイントを学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第3章に目を通しておくこと	A、H
	第10回	【テーマ】学習指導の多様な展開 【計画内容】学習指導を構想するための4つのポイントについて学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第4章第2節に目を通しておくこと	A、H
	第11回	【テーマ】指導方法の工夫と学習指導案 【計画内容】学習指導案の形式と資料の選択、授業の展開について学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第3章に目を通しておくこと	A、H
	第12回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】学習指導案を作成します。 【準備学習の内容】学習指導案を完成させておくこと。	A、H
	第13回	【テーマ】道徳教育の評価の在り方 【計画内容】道徳の評価のポイントについて学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領第5章に目を通しておくこと	A、H
	第14回	【テーマ】世界の道徳教育(グループワーク) 【計画内容】仏・露・中・米・豪・東京都の『市民科』について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、H
	第15回	【テーマ】学習のまとめと振り返り 【計画内容】グループで模擬授業を行い、交流します。最後に学習を振り返り、これまでの道徳教育についてまとめます。 【準備学習の内容】配付した資料を復習しておくこと。	A、K

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』、廣済堂あかつき株式会社
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		20%		30%	
	補足			ワーク・指導案			

質問への対応	講義終了後に受け付ける。回答は次時の冒頭に全体に説明するか、あるいは終了後に質問者に直接行う。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	第16回に筆記試験を行う。

科目名	特別活動論(小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				

授業の目的	ねらい	こんにち、各学校には、特色ある教育活動や開かれた学校づくりが求められています。「特別活動」は創意工夫の余地の広い活動領域であることから、特色ある学級や学校づくりに大きな役割を果たしています。この講義では、特別活動の目標、内容、教育的意義と、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の指導計画、実践・評価の一連の流れを学び、望ましい集団活動を通して展開される特別活動とはどのような教育活動かを探究していきます。
	到達目標	(1)特別活動の意義、目標及び内容を理解できる。 (2)特別活動の指導の在り方を理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の到達目標、展開、評価方法、参考文献などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】学習指導要領と特別活動 【計画内容】学習指導要領改訂の経緯や趣旨、特別活動の位置付けや各教科等との関連などについて学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第1章)を読んでおくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】特別活動の目標と主な内容 【計画内容】特別活動の目標や、各活動・学校行事の目標や内容などについて学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第2章　第1節)を読んでおくこと。	A、H、K
	第4回	【テーマ】特別活動の全体計画と各教科等との関連 【計画内容】特別活動の意義や各教科等との関連を図った全体計画、各活動・学校行事の指導計画作成の重要性について学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第2章　第2節、第4章　第1、2節)を読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】学級活動の進め方と指導のポイント① 【計画内容】学級活動の特質、目標・内容などについて学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第3章　第1節)を読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】学級活動の進め方と指導のポイント② 【計画内容】主体的・対話的な学習形態の中で、「学級や学校の生活づくり」に関する指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】「学級や学校の生活づくり」に関する指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第7回	【テーマ】学級活動の進め方と指導のポイント③ 【計画内容】主体的・対話的な学習形態の中で、「日常の生活や学習への適応及び健康安全」または「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意のテーマについて指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第8回	【テーマ】学級活動の進め方と指導のポイント④ 【計画内容】作成した指導計画の中から、合意形成に向けた話合い活動や、意思決定につながる指導の点で優れているものについて評価し合います。 【準備学習の内容】自分の指導計画のポイントを整理し、話合いに備える。	A、H、K
	第9回	【テーマ】児童会活動の進め方と指導のポイント 【計画内容】児童会活動の特質、目標及び主な内容について学びます。実践事例などから児童会活動の実態を考察します。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第3章　第2節)を読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】クラブ活動の進め方と指導のポイント 【計画内容】クラブ活動の特質、目標及び主な内容について学びます。また活動事例などからクラブ活動の実態を考察します。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第3章　第3節)を読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント① 【計画内容】学校行事の特質、目標及び主な内容について学ぶとともに、儀式的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第3章　第4節)を読んでおくこと。	A、H、K
	第12回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント② 【計画内容】文化的行事、健康安全・体育的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意の行事について指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第13回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント③ 【計画内容】遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意の行事について指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第14回	【テーマ】特別活動の指導と評価 【計画内容】特別活動に係る指導体制や、評価の在り方の重要性について学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説特別活動編』(第4章　第3～5節)を読んでおくこと。	A、K
	第15回	【テーマ】特別活動と家庭、地域などとの連携 【計画内容】特別活動における、家庭、地域、関係機関との連携の重要性について学ぶとともに、授業全体を振り返り、学んだことがらを整理します。 【準備学習の内容】これまでの講義の内容を整理しておくこと。	A、G、L

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説特別活動編』、東洋館出版社
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、2014年、『教育実習の手引き』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%			50%
	補足			内容・丁寧さ			論述形式のレポートなど

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	課題は毎回提出します。丁寧に一生懸命に書くことが評価のポイントになります。 受講のルールを守り、楽しく、積極的に学ぶようにしてください。

科目名	生徒指導論(進路指導を含む)(小)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	佐々木　邦子	
授業の目的	ねらい	生徒指導は、児童・生徒の人格の健全な育成を図るため、全教育活動において行われるものであり、学校教育においては、教科指導と車の両輪としての意義を持っている。本講義では、非行や問題行動への対応ばかりではなく、積極的に教科、学級(HR)、学年、学校全体の教育活動に携わる望ましい生徒指導、進路指導の在り方を学習する。 生徒指導は、小学校、特別支援学校、および幼稚園・保育園においても教員として欠かすことのできない重要な教育技法であるため、初等教育における開発的、発達援助的な生徒指導のあり方や進路指導のあり方についての基本を理解することが肝要である。
	到達目標	(1)生徒指導の教育的意義や目的、基本原理や機能を理解する。 (2)児童・生徒理解のあり方、個に応じた望ましい指導の実践力を身につける。 (3)個と併せて集団指導のあり方を理解する。 (4)今日的な課題の多様な解決策、問題行動に対応できる資質能力を身につける。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の目的と進め方を説明する。生徒指導の導入として、文部科学省から出された『生徒指導提要』に基づき生徒指導の教育的意義を学習する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】生徒指導の範囲・生徒指導の基本原理 【計画内容】学校教育における生徒指導の範囲、基本原理について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】個別指導について 【計画内容】児童生徒個々の心情や生育環境などに対する理解が、生徒指導にとってきわめて重要なことであることを確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】集団指導について 【計画内容】集団指導の方法や課題を理解する。個別指導と集団指導をバランスよく取り入れていくことが肝要であるが、突き詰めれば集団指導は個別指導に他ならない点を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】生徒指導と道徳や特別活動との関わり 【計画内容】生徒指導と各教科とのつながりを学習する。中でも道徳や特別活動との関わりが深いことを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】学級担任と生徒指導 【計画内容】学校組織内で生徒指導に果たす学級担任のあり方、教師間の連携について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】小学校における生徒指導体制のあり方 【計画内容】学校組織内で生徒指導をいかに潤滑に行うか、校務分掌間の関連を学習する。 【準備学習の内容】これまでの学習内容をよく復習し理解をしておくこと。	A
	第8回	【テーマ】これまでの学習のまとめとしてグループ・ワーク 【計画内容】これまでの学習を踏まえて、論点を出し合い、グループワークを行う。 11回からの学生によるプレゼンテーションの説明 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第9回	【テーマ】生徒指導の現代的課題と問題行動 【計画内容】児童生徒の問題行動が社会の影響を強く受けるものであることを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】生徒指導に関するケース・スタディ 【計画内容】いじめ、不登校、万引きなど、小学校における具体的な問題の事例により学習を深める。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	J
	第11回	【テーマ】小学校におけるいじめについて　プレゼンテーション 【計画内容】主にいじめを取り上げ、現在の学校現場でのいじめの状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第12回	【テーマ】小学校における不登校について　　プレゼンテーション 【計画内容】主に不登校を取り上げ、学校現場での不登校の状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第13回	【テーマ】いじめ、不登校のまとめ、振り返り 【計画内容】いじめや不登校の対策として地域、家庭、関係専門機関との連携の重要性について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第14回	【テーマ】小学校におけるキャリア教育① 【計画内容】キャリア教育推進の方針について学習する。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A
	第15回	【テーマ】小学校におけるキャリア教育②総合的な振り返り 【計画内容】各発達段階で必要な経験を確認し、児童生徒に有効な支援を実施できるようにする。 【準備学習の内容】これまでの学習について復習し、使用したプリントを持参する。	H

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、『小学校学習指導要領』 文部科学省、『生徒指導提要』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	70%		20%		10%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]小1種 _ 必修
その他	他の科目と同時に重要な内容を含んでおります。理論と事例を取り交ぜますので、しっかり取り組んで学習をしてください。

科目名	小学校英語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菅井　留美子				
授業の目的	ねらい	学習指導要領から外国語活動･外国語科における目標及び内容を理解し、改訂のポイントからこれからの小学校英語教育について学びます。さらに、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の領域別の目標や内容をふまえ、言語活動を中心とした学習指導案例を参考にして具体的な授業づくりや指導法を学びます。			
	到達目標	(1)学習指導要領から小学校外国語活動･外国語科の目標、内容、指導理論に関する知識を身に付ける。 (2)小学校外国語活動･外国語科の学習指導案例を通して授業づくりと指導技術を身に付ける。 (3)英語に関する基本的な事柄(音声、語彙、文構造、文法、正書法等)について理解することができる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法や学習上の決まりについて説明します。小学校時代の外国語活動について交流します。 【準備学習の内容】シラバスの内容についてよく読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】学習指導要領改訂の背景及び小学校外国語活動･外国語科の目標及び内容 【計画内容】学習指導要領の目標及び内容から、小･中の接続を踏まえて外国語を学ぶ本質的な意義について学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領から外国語活動･外国語科の目標及び内容を読んでおくこと。			A、K
	第3回	【テーマ】学習指導要領から外国語活動及び外国語科における目標 【計画内容】外国語活動及び外国語科における3つの資質･能力について、実際の授業場面を想定して学びます。 【準備学習の内容】前回講義内容を復習しておくこと。			A、B、J
	第4回	【テーマ】学習指導要領から外国語活動における言語活動及び言語の働き 【計画内容】外国語活動における「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」の言語活動や言語の働きについて学びます。 【準備学習の内容】外国語活動のテキスト『Let's Try!』を読んでくること。			A、B、H
	第5回	【テーマ】外国語活動における授業研究と評価の実際① 【計画内容】学習指導案例を参考に、外国語活動の具体的な授業づくりと指導法及び学習評価の方法について学びます。 【準備学習の内容】外国語活動のテキスト『Let's Try!』を読んでくること。			A、H、J
	第6回	【テーマ】外国語活動における授業研究と評価の実際② 【計画内容】学習指導案例を参考に、外国語活動の具体的な授業づくりと指導法及び学習評価の方法について学びます。 【準備学習の内容】外国語活動のテキスト『Let's Try!』を読んでくること。			A、H、J
	第7回	【テーマ】学習指導要領から外国語科における言語活動及び言語の働き 【計画内容】外国語科における5つの領域「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)「書くこと」の言語活動や言語の働きについて学びます。 【準備学習の内容】学習指導要領から外国語科の目標及び内容を読んでおくこと。			A、B、H
	第8回	【テーマ】第二言語習得についての知識とその活用 【計画内容】音声によるインプットの内容の類推から理解へと進むプロセス、音声から文字へと進むプロセスについて学びます。 【準備学習の内容】外国語科のテキスト『We Can!』を読んでくること。			A、B、H
	第9回	【テーマ】外国語科における授業研究と評価の実際① 【計画内容】学習指導案例を参考に、外国語科の具体的な授業づくりと指導法及び学習評価の方法について学びます。 【準備学習の内容】外国語科のテキスト『We Can!』を読んでくること。			A、H、J
	第10回	【テーマ】外国語科における授業研究と評価の実際② 【計画内容】学習指導案例を参考に、外国語科の具体的な授業づくりと指導法及び学習評価の方法について学びます。 【準備学習の内容】外国語科のテキスト『We Can!』を読んでくること。			A、H、J
	第11回	【テーマ】ALT 等とのティーム･ティーチングによる指導法の在り方 【計画内容】ALT 等とのティーム･ティーチングによる授業計画や授業の進め方について学びます。 【準備学習の内容】前回講義内容を復習しておくこと。			A、B、H
	第12回	【テーマ】小学校英語の授業研究① 【計画内容】学習指導案例を参考に、模擬授業の指導案を作成します。 【準備学習の内容】前回講義内容を復習しておくこと。			H
	第13回	【テーマ】小学校英語の授業研究② 【計画内容】模擬授業を発表･交流する中で授業づくりと指導法を学びます。 【準備学習の内容】前回講義内容を復習しておくこと。			F、H
	第14回	【テーマ】小学校英語の授業研究③ 【計画内容】模擬授業を発表･交流する中で授業づくりと指導法を学びます。 【準備学習の内容】前回講義内容を復習しておくこと。			F、H
	第15回	【テーマ】講義のまとめと振り返り 【計画内容】外国語活動･外国語科の指導法及びこれからの小学校英語についてまとめます。 【準備学習の内容】今までの講義内容を復習しておくこと。			F、G、K
テキスト	2018年、『外国語活動「Let's Try!」』、文部科学省 2018年、『外国語科「We Can!」』、文部科学省				
参考書	『小学校学習指導要領』				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	20%	20%	20%	10%	10%
	補足		模擬授業	レポート	指導案		活動制作等

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]小1種 _ 選択
その他	

科目名	保育内容指導論	授業形態	演習	単位数	2
教員名	工藤　ゆかり				
授業の目的	ねらい	保育者は、子どもの主体的・対話的な深い学びを実現できるように、広い視野と見通しをもって子ども達の育ちを捉え、保育を構想し、実践しなければなりません。「なぜ」「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どのように」指導するのかを考え、指導案を作成し、模擬保育を行い、自己評価・他者評価を通して、保育実践力を身に付け、同時に保育者としての姿勢も身に付けます。				
	到達目標	(1)事例を通して、幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、具体的な保育の指導法を理解する。 (2)多様な保育者の役割について理解する。 (3)保育指導案作成、模擬保育を通して保育を構想する力、保育実践力を身に付ける。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「保育内容指導論」における学習の到達目標とねらいを理解し、15回の授業内容を概観します。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』のはじめにを読み、目次に目を通しておく。	A
	第2回	【テーマ】保育方法とは何か 【計画内容】保育者の子どもへの関わり方、保育の展開の仕方について、事例を通して学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第1章を読んでおく。	A、B
	第3回	【テーマ】子ども理解からはじまる保育方法 【計画内容】保育の出発点である子どもを理解し、子ども理解に基づく保育方法について学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第2章を読んでおく。	A、B
	第4回	【テーマ】環境を生かした保育方法 【計画内容】幼児教育の基本である環境を通しての保育方法について学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第3章を読んでおく。	A、B
	第5回	【テーマ】遊びを通しての総合的な指導方法 【計画内容】子どもにとって遊びが学びであることを理解し、遊びを通しての総合的な指導方法について学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第4章読んでおく。	A、B
	第6回	【テーマ】個と集団を生かした保育方法　　特別な支援を必要とする子どもに対する保育方法 【計画内容】個の育ち、集団の育ちを保障する保育方法について学びます。また、特別な支援を必要とする子どもに対する保育方法について、事例を通して学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第5章、第12章を読んでおく。	A、B
	第7回	【テーマ】子どもにふさわしい園生活と保育形態 【計画内容】子どもにとってふさわしい園生活とは、及び子どもの実態に即した保育形態について学び、一日の流れをデザインする力を身に付けます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第6章を読んでおくこと。	A、B
	第8回	【テーマ】3・4・5歳児の発達に応じた保育方法 【計画内容】3・4・5歳児の発達について理解し、その発達に応じた保育方法について学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第7章を読んでおく。	A、B
	第9回	【テーマ】0・1・2歳児の発達に応じた保育方法 【計画内容】0・1・2歳児の発達について理解し、その発達に応じた保育方法について学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第8章を読んでおく。	A、B
	第10回	【テーマ】保育指導計画の実際1(個人の指導案作成) 【計画内容】今まで学んできたことを基に、個人で指導案を作成します。 【準備学習の内容】指導案作成のための参考文献を準備しておく。	A、B
	第11回	【テーマ】保育指導計画の実際2(グループの指導案作成) 【計画内容】個人で作成した指導案を持ち寄り、グループで指導案を作成します。 【準備学習の内容】指導案作成のための参考文献を準備しておく。	A、B、H
	第12回	【テーマ】保育指導計画の実際3(グループの指導案に基づく教材研究) 【計画内容】指導案を基に、保育を展開するための教材の在り方について、グループで教材研究しながら学びます。 【準備学習の内容】教材製作のための参考文献を準備しておく。	A、B、H
	第13回	【テーマ】保育計画の実際4(模擬保育1と振り返り) 【計画内容】模擬保育を実践し、保育実践力を身に付けます。また、模擬保育後に保育を振り返り、省察します。 【準備学習の内容】各グループの指導案を読んでおく。	B、H、L
	第14回	【テーマ】保育計画の実際5(模擬保育2と振り返り) 【計画内容】模擬保育を実践し、保育実践力を身に付けます。また、模擬保育後に保育を振り返り、省察します。 【準備学習の内容】各グループの指導案を読んでおく。	B、H、L
	第15回	【テーマ】家庭・地域・小学校との連携を生かした保育方法 【計画内容】子どもの育ちのための家庭・地域・小学校との連携の在り方について、事例を通して学びます。 【準備学習の内容】『保育方法・指導法』の第10章を読んでおく。	A、B

テキスト	大豆生田啓友ほか、2012年、『保育方法・指導法』、ミネルヴァ書房、9784623061266
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、9784577814222 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、9784577814239 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、9784577814249

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%	50%			
	補足		演習課題	保育指導案			

質問への対応	常時研究室にて対応します。
資格	[教]幼1種 _ 必修、保育士 _ 必修
その他	

科目名	保育内容(健康)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	長津　詩織				
授業の目的	ねらい	現代における課題をふまえ、子どもの健康を支えるための幼稚園・保育所における運動遊びと生活習慣指導の重要性を学ぶ。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた事例検討や実践演習を通して、保育者として必要な領域「健康」に関する知識と技術を深める。			
	到達目標	(1)「健康」に関わる保育実践の内容がわかる。 (2)子どもの発達と領域「健康」との関係がわかる。 (3)運動遊びおよび生活習慣指導の模擬授業から、具体的な知識・技能を身に付ける。 (4)領域「健康」における保育者と子どもの関係を理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】保育内容としての「健康」 【計画内容】『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』で求められる「健康」の内容を、現代的状況と関連付けながら学ぶ。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』における「健康」に関する記述を読んでおく。			A、H
	第3回	【テーマ】子どもの心身と体力・運動能力の発達 【計画内容】幼児期の心身の発達、運動の重要性、獲得すべき運動パターンについて、「幼児期運動指針」を参照しながら学ぶ。また、小学校体育との接続を意識する。 【準備学習の内容】『幼児期運動指針』を読んでおく。			A、H
	第4回	【テーマ】運動遊びの展開 【計画内容】基礎的運動パターンとの関連をふまえて、様々な運動遊びの展開方法を学ぶ。 【準備学習の内容】基礎的運動パターンの内容を確認しておく。			A、H
	第5回	【テーマ】子どもの運動遊びにおける保育者の関わり 【計画内容】幼稚園・保育所での運動遊びの具体例から、保育者の関わりの重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】運動遊び指導の留意点を考えておく。			A、H
	第6回	【テーマ】安全教育 【計画内容】「安全」「危険」についての考え方や、子どもの視点に立った安全教育の手法を学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの事故について調べておく。			A、H
	第7回	【テーマ】子どもの心身の発達と生活習慣の獲得過程 【計画内容】心身の発達をふまえて、幼児期における基本的生活習慣の獲得過程を学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの心身の発達過程を確認しておく。			A、H
	第8回	【テーマ】幼稚園・保育所における生活 【計画内容】家庭での生活との連続性や、小学校以降の生活を意識しながら、幼児期に集団のなかで生活することの意味を考える。 【準備学習の内容】幼稚園・保育所と家庭での過ごしかたの違いを考えておく。			A、H
	第9回	【テーマ】幼稚園・保育所における食育 【計画内容】子どもの食を取り巻く環境について、具体的事例から学び、幼稚園・保育所で食育を行う重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの食に関する話題について調べておく。			A、H
	第10回	【テーマ】「保育内容(健康)」に関する指導案の作成 【計画内容】指導案作成上の留意点と評価の観点を学ぶ。また、情報機器を用いた指導方法を知る。 【準備学習の内容】指導案作成のための教材を準備しておく。			A、B
	第11回	【テーマ】模擬授業1(運動遊び) 【計画内容】競い合う遊びの指導の実際を学ぶ。 【準備学習の内容】模擬授業の準備をする。			B
	第12回	【テーマ】模擬授業2(集団遊び) 【計画内容】集団で一つの目標を達成するような遊びの指導の実際を学ぶ。 【準備学習の内容】模擬授業の準備をする。			B
	第13回	【テーマ】模擬授業3(生活習慣) 【計画内容】生活習慣の指導の実際を学ぶ。 【準備学習の内容】模擬授業の準備をする。			B
	第14回	【テーマ】模擬授業4(生活習慣・食育) 【計画内容】生活習慣および食育の指導の実際を学ぶ。 【準備学習の内容】模擬授業の準備をする。			B
	第15回	【テーマ】これまでの学習のまとめ 【計画内容】「保育内容(健康)」の全体を振り返る。 【準備学習の内容】これまでの学習を整理しておく。			L
テキスト	杉原隆・湯川秀樹編、2010年、『新保育シリーズ　保育内容健康』、光生館、9784332701330				
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 厚生労働省、『保育所保育指針』 文部科学省、『幼児期運動指針』				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足			模擬授業		演習への取り組み	

質問への対応	講義時のほか、随時対応します
資格	[教]幼1種 _ 必修、保育士 _ 必修
その他	

科目名	保育内容(人間関係)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	工藤　ゆかり				

授業の目的		
	ねらい	乳幼児期は、情緒の安定した生活が保障され、能力を存分に発揮することにより、心身共に健全な発達が促されます。また、生涯にわたる人格形成の基礎が培われるこの時期は、特定範囲の人との安定した関係を得ることが必要不可欠であり、乳幼児と密接に関わる保育者は発達を支える重要な役割を担います。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」のねらいと内容について学習し、子どもの社会性の発達を踏まえ、保育者の求められる援助の在り方について学習します。
	到達目標	(1)幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における療育「人間関係」のねらいと内容について理解する。 (2)人間関係の発達における乳幼児期の重要性について理解する。 (3)領域「人間関係」での指導案作成と模擬保育を通して、実践的指導法を理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「保育内容(人間関係)」における学習の到達目標とねらいについて理解し、15回の授業内容を概観します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第1章を読んでおく。	A
	第2回	【テーマ】乳幼児期の発達と領域「人間関係」1 【計画内容】親との出会い、保育者との出会いを通して、子どもの人との関わりがどのように育つのかについて学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第2章1節、2節を読んでおく。	A
	第3回	【テーマ】乳幼児期の発達と領域「人間関係」2 【計画内容】友達との出会い、友達とのぶつかり合いを通して、子どもの人との関わりがどのように育つのかについて学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第2章3節、4節を読んでおく。	A
	第4回	【テーマ】子どもと保育者の関わり1 【計画内容】子どもと保育者との信頼関係を築くことの必要性について学びます。また、保育者が子ども同士の関係をつなぐ役割を果たすことについても学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第3章1節、2節を読んでおく。	A
	第5回	【テーマ】子どもと保育者の関わり2 【計画内容】子どもの自己主張を支える必要性について学習します。また、自立に向かう子どもの育ちを支える保育者の役割についても学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第3章3節、4節、5節を読んでおく。	A
	第6回	【テーマ】遊びの中での人との関わり 【計画内容】遊びの中で人との関わりが育つことを、事例を通して学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第4章を読んでおく。	A、J
	第7回	【テーマ】生活の中での人との関わり 【計画内容】家庭生活、園生活、社会生活の中で人との関わりが育つことを、事例を通して学びます。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第5章を読んでおく。	A、J
	第8回	【テーマ】個と集団の育ち 【計画内容】一人一人の人との関わりの状況を理解し、集団で活動する楽しさを味わい、さらに協同性を育む保育の在り方について学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第6章を読んでおく。	A
	第9回	【テーマ】依存と自立、自我の発達と自己主張・自己抑制 【計画内容】子どもは保育者との信頼関係を基盤に人との関わりを広げていくこと、自我が発達して自己主張することによるいざこざを通して自己抑制が育っていくことなどを、事例を通して学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第7章を読んでおく。	A、J
	第10回	【テーマ】幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 【計画内容】人と関わる力が育ちにくい現代社会に生きる子ども達を育てるための、保育の在り方について学習します。 【準備学習の内容】『保育内容人間関係』の第8章を読んでおく。	A
	第11回	【テーマ】領域「人間関係」に関わる保育指導案の作成(個人) 【計画内容】人と関わる力を育むための保育指導案を個人で作成し、保育計画の在り方について学習します。 【準備学習の内容】指導案作成のための参考文献を準備する。	A、B
	第12回	【テーマ】領域「人間関係」に関わる保育指導案の作成(グループ) 【計画内容】人と関わる力を育むための保育指導案をグループで作成し、保育計画の在り方について学びを深めます。 【準備学習の内容】指導案作成のための参考文献を準備する。	B、H
	第13回	【テーマ】領域「人間関係」に関わる保育指導案に基づく教材研究(グループ) 【計画内容】人と関わる力を育むためのグループで作成した保育指導案に基づき教材研究を行い、教材研究・教材作成の在り方について学習します。 【準備学習の内容】教材作成のための参考文献を準備する。	B、H
	第14回	【テーマ】領域「人間関係」に関わる模擬保育と振り返り1 【計画内容】人と関わる力を育むための模擬保育を行い、保育実践力を身に付けます。また、模擬保育後に自分の保育実践を振り返り、他のグループの保育実践を評価して、評価の在り方についても学習します。 【準備学習の内容】各グループの指導案を読んでおく。	B、H、L
	第15回	【テーマ】領域「人間関係」に関わる模擬保育と振り返り2 【計画内容】人と関わる力を育むための模擬保育を行い、保育実践力を身に付けます。また、模擬保育後に自分の保育実践を振り返り、他のグループの保育実践を評価して、評価の在り方についても学習します。 【準備学習の内容】各グループの指導案を読んでおく。	B、H、L

テキスト	無藤隆ほか、2007年、『領域人間関係』、萌文書林、9784893470973
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、9784577814222 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、9784577814239 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、9784577814246

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%	60%			
	補足		模擬保育・振り返り	指導案			

質問への対応	常時研究室にて対応します。
資格	[教]幼1種 _ 必修、保育士 _ 必修
その他	

科目名	保育内容(環境)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	山崎　正明				
授業の目的	ねらい	「幼稚園教育要領の解説」に示されている具体的な内容を、実際の保育を想定して、具体的にどのように教育をすすめるか理解する。さらに、自然の中でのさまざまな営みや季節の移り変わりに触れ、身近な環境の中で、子どもたちが生き生きと過ごし成長していくために保育者は何が出来るのかを様々なグループワークなどを通して学びを広げたり、深めたりする。また、いのちの尊さや大切さを感じられるような教材の発見や、遊びの中での人とのかかわりについての学び、好奇心や探究心を育むための取り組みを実践的に行う。			
	到達目標	(1)「幼稚園教育要領」をもとに「保育内容(環境)」についてのねらいと内容を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連させながら理解する。 (2)幼児の発達を踏まえたうえで、「保育内容(環境)」について具体的な保育を構想することができる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】『幼稚園教育要領』の保育内容(環境)の全体構造を理解しながら、概観をとらえる。 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連させながら理解する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】自然から学ぶ～センス・オブ・ワンダー 【計画内容】レイチエル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」をベースに教育における自然の価値を考える。 【準備学習の内容】web サイト「レイチェル・カーソンの感性の森」を見ておくこと　http://www.uplink.co.jp/kansei/	A
	第3回	【テーマ】人間と自然 【計画内容】アイヌ民族の自然観を　DVD 教材「イランカラプテ」の他、知里幸恵のことや北海道におけるアイヌ文化の施設などにつても知る。 【準備学習の内容】web サイト「http://www.aozora.gr.jp」青空文庫で知里幸恵訳「アイヌ神謡集」の「序」を読んでおくこと	A．B
	第4回	【テーマ】実践記録動画から学ぶ 【計画内容】子供と環境について保育現場における実践記録から学ぶ。 【準備学習の内容】web サイト「社会福祉法人わこう村 和光保育園　ようこそわこう村」 http://www.wakoh-mura.com　を見ておくこと	A、H
	第5回	【テーマ】教育現場から学ぶ 【計画内容】実際の幼稚園では、具体的にどのように実践しているかを学ぶ。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領』の関連する部分をよく読んでおくこと	A、H
	第6回	【テーマ】自然を学ぶ、公共機関について知る 【計画内容】「野幌森林公園　自然ふれあい交流館」での活動内容を知り、活用方法を理解する。 【準備学習の内容】web で「野幌森林公園　自然ふれあい交流館」の情報を調べておくこと	M
	第7回	【テーマ】幼児の視点で自然に触れる 【計画内容】実際に自然に触れながら、幼児の学びについて理解する。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	M
	第8回	【テーマ】生き物の栽培、飼育と生命尊重について 【計画内容】生き物の栽培や飼育についての具体的方法を知り、教育内容を構想することができる。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	A
	第9回	【テーマ】幼児にとっての身近なものや遊具について 【計画内容】幼児が身近なものや遊具から学ぶことを考察する。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	A．B
	第10回	【テーマ】幼児の学びを広げる環境としての道具づくり、掲示物づくり 【計画内容】幼児の学びを広げるために、実際に道具や掲示物をつくったり、情報機器を活用するなどして教育内容を構想することができる。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	E
	第11回	【テーマ】日常生活と数量や図形について 【計画内容】幼児教育においての数量や図形について、具体的な指導の在り方を構想する。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	A、K
	第12回	【テーマ】簡単な文字や標識について 【計画内容】幼児教育においての簡単な文字や標識について、具体的な指導の在り方を構想する。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	A、K
	第13回	【テーマ】国旗を親しむこと～伝統文化・国際理解 【計画内容】幼児期における伝統文化に親しむことや国際理解や、国旗に親しむことを理解する。 さらに具体的な指導の在り方を構想する。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	A、K
	第14回	【テーマ】保育内容(環境) 【計画内容】講義全体を通して、特に興味や関心の高かったものをもとに、実際の教育現場での実践を踏まえて、構想したものを互いに交流し、学びを広げる。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領の解説』の関連する部分をよく読んでおくこと	G、K
	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】これまでの講義の内容をもとにレポートとしてまとめます。 【準備学習の内容】シラバスをもとにこれまで学んだ内容を簡単にふりかえっておくこと	G、L

テキスト	講義時に説明する
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、9784577814222 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、9784577814239 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、9784577814246

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	2つの方法のいずれでもかまいません。 (1)講義終了時に声をかけてください。時間のかかるものは、相談に応じます。 (2)メールでの質問　yamazaki@hokusho-u.ac.jp
資格	[教]幼1種 _ 必修、保育士 _ 必修
その他	

科目名	保育内容(言葉)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	伏見　千悦子、熊田　広樹				
授業の目的	ねらい	思考･理解･表現に深くかかわる言葉について、乳幼児期の発達過程や保育者としての援助の方法を学びます。子どもはさまざまな人とのふれあいの中で体験や感動を共有し、言葉を獲得していきます。そのため保育者として相手の言葉に耳を傾け、自分の思いや考えを的確に伝えられること、言葉に対する感受性を磨くことが大切です。豊かな人間関係を築くための言葉について学びを深めていきましょう。			
	到達目標	(1)領域「言葉」のねらいと内容を理解する。 (2)子どもの言葉の発達を促す保育者の役割を理解し、個々の課題を明確にする。 (3)保育者としての表現技術を身につけるとともに、指導案作成と模擬保育を通して実践的指導法を理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】受講の心得と講義展開の説明をします。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領』を読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】子どもと言葉 【計画内容】子どもにとって言葉がどのような役割を果たしているかについて学びます。(熊田広樹) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第3回	【テーマ】言葉とコミュニケーションの発達 【計画内容】「言葉による伝え合い」に至るまでの乳幼児の言語発達の道筋について学びます。(熊田広樹) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第4回	【テーマ】発達のアセスメントと言葉を育む環境(1) 【計画内容】言葉やコミュニケーションの発達を捉える視点と、言葉を育むための遊びや保育環境および小学校での教科学習との発達的なつながりについて学びます。(熊田広樹) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第5回	【テーマ】発達のアセスメントと言葉を育む環境(2) 【計画内容】言葉の発達に関して配慮が必要な子どもとその保護者へのかかわりや、小学校を含む他機関との連携および環境調整のあり方について学びます。(熊田広樹) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第6回	【テーマ】教材研究(乳児の言葉) 【計画内容】身近な人や保育者との関わりを通して育つ乳児の言葉について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第7回	【テーマ】教材研究(幼児の言葉) 【計画内容】身近な人や保育者との関わりを通して育つ幼児の言葉について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第8回	【テーマ】児童文化財(1) 【計画内容】児童文化財(絵本や紙芝居、シアター)について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			B、H
	第9回	【テーマ】児童文化財(2) 【計画内容】児童文化財(指遊びや言葉遊び)について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			B、H
	第10回	【テーマ】児童文化財(3) 【計画内容】児童文化財(おはなしや素話)について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			B、H
	第11回	【テーマ】保育者の役割 【計画内容】保育者の役割、保育計画と保育指導案について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第12回	【テーマ】保育者の援助活動 【計画内容】保育者の援助のあり方について学び、保育指導案を作成します。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			A、K
	第13回	【テーマ】模擬保育(1) 【計画内容】わらべうた、手遊びについて模擬保育を通して考えます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			B
	第14回	【テーマ】模擬保育(2) 【計画内容】紙芝居、絵本について模擬保育を通して考えます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。			B
	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】講義のまとめを行い、レポート課題について説明します。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】これまでに配付したプリントやテキストの内容について理解を深めておくこと。			A、H
テキスト	駒井美智子編、2018年、『保育者をめざす人の保育内容「言葉」』、みらい				
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 厚生労働省、『保育所保育指針』 内閣府･文部科学省･厚生労働省、2014年、『幼保連携型認定こども園教育･保育要領』、株式会社チャイルド本社				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		20%	20%
補足						発表

質問への対応	オフィスアワー
資格	[教]幼1種 _ 必修、保育士 _ 必修
その他	幼児の成長に深く関わる保育者は、言語環境としても大変責任のある立場です。 日頃から豊かで魅力ある言葉との出会いを心掛け、言葉の感受性を磨きましょう。

科目名	保育内容(表現)	授業形態	演習	単位数	2

教員名	伏見　千悦子、山崎　正明	
授業の目的	ねらい	幼児の日常生活そのものを「表現」ととらえ、幼児の主体的でのびのびした表現を引き出すために、どのような方法があるのかを学びます。言葉、人間関係、健康、環境など他領域とも関連させながら表現の領域における総合的な指導や援助が行えるよう理論と実践について学びます。
	到達目標	(1)領域「表現」のねらいと内容を理解する。 (2)幼児の豊かな表現を引き出すための保育者の役割を理解し、個々の課題を明確にする。 (3)保育者としての表現技術を身につけるとともに、指導案作成と模擬授業を通して実践的指導法を理解する。
授業の計画	第1回	【テーマ】表現とは何か 【計画内容】幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本と領域「表現」について学びます。(伏見千悦子・山崎正明) 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領』を読んでおくこと。
	第2回	【テーマ】「表現」のねらいと内容 【計画内容】表現のねらいと内容及び表出から表現へのプロセスとこころとからだの関係性について学びます。(山崎正明) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第3回	【テーマ】模倣から創造への過程 【計画内容】具体的な遊びや活動の組み立てと保育計画について理解します。(山崎正明) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第4回	【テーマ】乳幼児の言語的表現活動 【計画内容】発達段階に合ったわらべうた遊びの体験を通して、言語的な表現活動について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第5回	【テーマ】乳幼児の言語的表現活動とその指導法 【計画内容】発達段階に応じたわらべうた遊びの体験を通して、言語的な表現活動の指導について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第6回	【テーマ】幼児の身体表現 【計画内容】模倣や即時反応、粗大運動を中心とした音楽遊びの体験を通して、聴く力や想像力、コミュニケーション力を育てる表現活動について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第7回	【テーマ】幼児の身体表現とその指導法 【計画内容】模倣や即時反応、粗大運動を中心とした音楽遊びの体験を通して、聴く力や想像力、コミュニケーション力」を育む表現活動の指導について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第8回	【テーマ】幼児の音遊び 【計画内容】簡易打楽器や身近なものを用いたリズム遊びの体験を通して、聴く力や音感を育む表現活動について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第9回	【テーマ】幼児の音遊びとその指導法 【計画内容】簡易打楽器や身近なものを用いたリズム遊びの体験を通して、聴く力や音感を育む表現活動の指導について学びます。(伏見千悦子) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第10回	【テーマ】幼児の絵画表現 【計画内容】絵画表現の体験を通して、幼児の表現活動についての理解を深めます。(山崎正明) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第11回	【テーマ】幼児の造形表現 【計画内容】造形表現の体験を通して、幼児の表現活動についての理解を深めます。(山崎正明) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第12回	【テーマ】幼児の絵画表現・造形表現とその指導法 【計画内容】絵画表現・造形表現の体験を通して、幼児の表現活動の指導について学びます。(山崎正明) 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第13回	【テーマ】保育指導案と教材研究(うた絵本の製作) 【計画内容】うた絵本の題材の選び方、製作に関する留意点について学びます。(伏見千悦子・山崎正明) 【準備学習の内容】各自、製作の準備としての調べ学習をしておくこと。
	第14回	【テーマ】模擬保育(うた絵本の発表) 【計画内容】製作した教材を模擬保育として発表し、意見交流を行います。(伏見千悦子・山崎正明) 【準備学習の内容】各自、発表の準備をしておくこと。
	第15回	【テーマ】まとめとレポート課題について 【計画内容】授業のまとめを行い、レポート課題について説明します。(伏見千悦子・山崎正明) 【準備学習の内容】これまでに配付したプリントの内容について理解を深めておくこと。

授業の計画	第1回	A、B					
	第2回	A、B、H					
	第3回	A、B、H					
	第4回	A、B、H					
	第5回	A、B、H					
	第6回	A、B、H					
	第7回	A、B、H					
	第8回	A、B、H					
	第9回	A、B、H					
	第10回	A、B、H					
	第11回	A、B、H					
	第12回	A、B、H					
	第13回	A、B					
	第14回	E、H					
	第15回	A、L					
テキスト	プリントを使用します						
参考書	文部科学省 / 厚生労働省、『幼稚園教育要領』/『保育所保育指針』 内閣府・文部科学省・厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 美育文化協会、『美育文化ポケット』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		20%	20%
	補足						発表
質問への対応	オフィスアワー:615研究室(伏見)、432研究室(山崎)						
資格	[教]幼1種 _ 必修、保育士 _ 必修						
その他	実践的な内容を含みますので、動きやすい服装で受講してください。グループワークには積極的に参加してください。						

科目名	こどもの表現あそび	授業形態	演習	単位数	2
教員名	伏見　千悦子				

授業の目的		
	ねらい	この講義は、前学期に履修した「保育内容(表現)」の応用・発展として位置づけられています。幼児の表現のプロセスを理解し、さまざまな表現遊びや保育教材を活用して保育を展開できるよう、実践力を身につけます。身体(からだ)による表現、音楽による表現、造形による表現を大きな柱とし、数多くの遊びを体験しながら幼児の表現遊びについて理解を深めます。
	到達目標	(1)幼児の表現のプロセスを理解する。 (2)さまざまな表現遊びや保育教材を用いて保育が展開できる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】幼児の表現 【計画内容】領域「表現」の意味やねらいについて学びます。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領』領域「表現」を読んでおくこと。
	第2回	【テーマ】身体(からだ)による表現(1) 【計画内容】粗大運動を伴う表現あそびについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第3回	【テーマ】身体(からだ)による表現(2) 【計画内容】粗大運動を伴う表現あそびについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第4回	【テーマ】身体(からだ)による表現(3) 【計画内容】微細運動を伴う表現遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第5回	【テーマ】身体(からだ)による表現(4) 【計画内容】微細運動を伴う表現遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第6回	【テーマ】音楽による表現(1) 【計画内容】リズム遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第7回	【テーマ】音楽による表現(2) 【計画内容】うた遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第8回	【テーマ】音楽による表現(3) 【計画内容】わらべうたについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第9回	【テーマ】音楽による表現(4) 【計画内容】わらべうた・伝承遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第10回	【テーマ】音楽による表現(5) 【計画内容】楽器遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第11回	【テーマ】音楽による表現(6) 【計画内容】楽器遊びについて学び、ミュージックベルやトーンチャイムを演奏します。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第12回	【テーマ】造形による表現(1) 【計画内容】さまざまな素材を用いた遊びについて考察します。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第13回	【テーマ】造形による表現(2) 【計画内容】さまざまな素材を用いた遊びについて考察します。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。
	第14回	【テーマ】造形による表現(3) 【計画内容】作って遊ぶ造形表現について考察します。 【準備学習の内容】配付プリントに示した復習課題に取り組むこと。
	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】これまでの授業を振り返り、レポート課題に取り組みます。 【準備学習の内容】前回までの授業内容を復習しておくこと。

授業の計画	
	A
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	A、B、H
	H、L

テキスト	プリントを配付します
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 全国大学音楽教育学会、2013年、『明日へ歌い継ぐ日本の子どもの歌』、音楽之友社、9784276590250 大坂克之監修、2008年、『感性を育む表現教育』、コレール社、9784876372270

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		30%	30%
補足			レポート			発表

質問への対応	オフィスアワー :615研究室
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	幼児教育コースの選択科目です。 実践的な内容を多く含み、グループワークも行いますので積極的に受講してください。 例年、学外での発表を行っています。

科目名	こどもの体育あそび	授業形態	演習	単位数	2
教員名	長津　詩織				

授業の目的		
	ねらい	こどもにとって体を用いた遊びは、身体的発達はもちろんのこと、精神的発達にも大きな影響を与える重要な保育内容である。本授業では、乳幼児の心身の発達に適した運動遊び・体育遊びを学ぶ。その知識を活用し、ねらいに応じて遊びを工夫し、指導する基礎的な力を身につける。
	到達目標	(1)こどもの運動遊びのねらいと方法がわかる。 (2)多様な身体運動に含まれる楽しさと発展性を知る。 (3)他者と協力し、豊かな人間関係を育む運動遊びの内容を理解する。 (4)安全面に留意した運動指導と、教材・用具の改良方法がわかる。

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んでおく。	A
第2回	【テーマ】乳幼児期の身体発達と運動遊び 【計画内容】身体の発達過程と、それに適した運動遊びの内容について考える。 【準備学習の内容】乳幼児の身体の発達過程を復習しておく。	A、H
第3回	【テーマ】乳幼児の基礎的な動きとその展開 【計画内容】『幼児期運動指針』を用い、基礎的な動きとそのバリエーションを学ぶ。 【準備学習の内容】『幼児期運動指針』を読んでおく。	A、H
第4回	【テーマ】教材研究①じゃんけん 【計画内容】じゃんけんを用いた運動遊びを体験し、その特性を学ぶ。 【準備学習の内容】じゃんけんを用いた運動遊びを調べておく。	B、H
第5回	【テーマ】教材研究②紙コップ 【計画内容】紙コップを用いた運動遊びを体験し、その特性を学ぶ。 【準備学習の内容】紙コップを用いた運動遊びを調べておく。	B、H
第6回	【テーマ】教材研究③新聞紙 【計画内容】新聞紙を用いた運動遊びを体験し、その特性を学ぶ。 【準備学習の内容】新聞紙を用いた運動遊びを調べておく。	B、H
第7回	【テーマ】教材研究④おにごっこ 【計画内容】おにごっこの特性を学び、その多様な展開を知るとともに、指導法を考える。 【準備学習の内容】様々な種類のおにごっこを調べておく。	B、H
第8回	【テーマ】教材研究⑤フルーツバスケット 【計画内容】フルーツバスケットの特性を学び、役割交代を伴う運動遊びの指導法を考える。 【準備学習の内容】フルーツバスケットのルールを確認しておく。	B、H
第9回	【テーマ】教材研究⑥ドッヂボール 【計画内容】ドッヂボールの特性を学び、複雑なルールのゲーム遊びの指導法を考える。 【準備学習の内容】ドッヂボールのルールを確認しておく。	B、H
第10回	【テーマ】教材研究⑦伝承遊び 【計画内容】運動遊びにおける伝承遊びを体験する。 【準備学習の内容】伝承遊びを調べておく。	B、H
第11回	【テーマ】教材研究⑧作って遊ぶ 【計画内容】簡単な製作から運動遊びへの展開を学ぶ。 【準備学習の内容】運動遊びに展開できる製作物を調べておく。	B、H
第12回	【テーマ】野外での運動遊び 【計画内容】季節に応じた運動遊びについて、地域特性もふまえて考える。 【準備学習の内容】季節に応じた運動遊びを考えておく。	A、H
第13回	【テーマ】野外での運動遊びの実際 【計画内容】冬季の運動遊びを体験する。 【準備学習の内容】冬季の運動遊びの特徴を考えておく。	B、H
第14回	【テーマ】野外での運動遊びの特性 【計画内容】前時の体験をふまえ、野外での運動遊びにおける特性と留意点を考える。 【準備学習の内容】冬季の運動遊び指導の留意点を考えておく。	A、H
第15回	【テーマ】まとめとレポートについて 【計画内容】これまでの学習を振り返り、レポートにまとめる。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返っておく。	G、L

テキスト	プリントを使用します。
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 厚生労働省、『保育所保育指針』 文部科学省、『幼児期運動指針』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足			レポート等			

質問への対応	授業時のほか、随時対応します。
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	動きやすい服装で受講してください。

科目名	こどもの言葉あそび	授業形態	演習	単位数	2
教員名	伏見　千悦子				

授業の目的		
	ねらい	前学期に履修した「保育内容(言葉)」の応用・発展として位置づけられています。幼児の言語発達のみちすじを理解し、さまざまな児童文化財や保育教材を活用して保育を展開できるよう、実践力を身につけます。幼児の言語発達過程についての学びを深め、児童文化財(素話、詩、言葉遊び、絵本、紙芝居、ペープサート、劇遊び)を用いた保育の実際を体験しながら幼児の言葉遊びについて理解を深めます。
	到達目標	(1)幼児の言語発達過程を理解する。 (2)児童文化財や保育教材を用いて保育を展開することができる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】幼児期のことば(1) 【計画内容】乳児期の言語発達過程について学びます。 【準備学習の内容】『幼稚園教育要領』領域「言葉」を読んでおくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】幼児期のことば(2) 【計画内容】幼児期の言語発達過程について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、B
	第3回	【テーマ】幼児期のことば(3) 【計画内容】乳幼児期の言語発達過程と保育者の配慮について学びます。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと。	A、B
	第4回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(1) 【計画内容】おはなし・素話について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第5回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(2) 【計画内容】詩や言葉あそびの絵本について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した予習課題に取り組むこと。	A、B
	第6回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(3) 【計画内容】物語絵本や知識の本について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第7回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(4) 【計画内容】紙芝居について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第8回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(5) 【計画内容】ペープサートについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第9回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(6) 【計画内容】パネルシアターについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第10回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(7) 【計画内容】立体紙芝居について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第11回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(8) 【計画内容】人形劇(指使い人形、片手使い人形)について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第12回	【テーマ】ことばを育てる児童文化財(9) 【計画内容】劇遊びについて学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第13回	【テーマ】ことばを育てる保育(1) 【計画内容】指導案の立案について学びます。 【準備学習の内容】配付プリントに示した課題に取り組むこと。	A、B
	第14回	【テーマ】ことばを育てる保育(2) 【計画内容】指導案に沿って、幼児の前で遊びの指導を行います。 【準備学習の内容】発表のための準備、練習を各自行っておくこと。	F
	第15回	【テーマ】講義のまとめとレポート 【計画内容】これまでの講義を振り返り、レポート課題に取り組みます。 【準備学習の内容】前回までの講義内容を復習しておくこと。	G、L

テキスト	プリントを配付します
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 駒井美智子編、2012年、『保育者をめざす人の保育内容「言葉」』、みらい、9784860152710

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
	補足			レポート			発表

質問への対応	オフィスアワー:615研究室
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	幼児教育コースの選択科目です。 実践的な内容を多く含み、グループワークも行いますので積極的に受講してください。 例年、学外での発表を行っています。

科目名	児童家庭福祉	授業形態	講義	単位数	2
教員名	武田　克江				

授業の目的		
	ねらい	子どもと子育て家庭の現状と課題に目を向け、歴史的変遷や子どもの人権、法制度について理解し、課題と今後の展望について考察する。 児童家庭福祉の一端を担う専門職として、事例を交え、子どもの最善の利益の保障と健やかな生活ができる社会について考える。
	到達目標	(1)児童家庭福祉の理念、歴史的変遷、法制度について理解する。 (2)児童家庭福祉施策の現状と課題について理解する。 (3)子どもの人権の理解と専門職としての保育観、倫理観を養う。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】保育における児童家庭福祉 【計画内容】講義の概要を説明し、児童家庭福祉とは何かを学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスの内容を確認しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】現代社会と児童家庭福祉 【計画内容】家庭の外形的変化や地域社会の変容について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】児童家庭福祉の意義と歴史的展開 【計画内容】児童家庭福祉の考え方と歴史・児童観について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】児童家庭福祉に関する法制度と実施体制 【計画内容】児童福祉法とその他の関連法律について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】児童家庭福祉施策の現状と課題① 【計画内容】少子化と子育て支援サービス、保育ニーズの対応について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、H
	第6回	【テーマ】児童家庭福祉施策の現状と課題② 【計画内容】母子保健サービスと児童の健全育成について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、H
	第7回	【テーマ】児童家庭福祉施策の現状と課題③ 【計画内容】社会的養護サービスとひとり親家庭福祉について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、H
	第8回	【テーマ】児童家庭福祉施策の現状と課題④ 【計画内容】障害のある子どもへの支援について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、H
	第9回	【テーマ】児童家庭福祉施策の現状と課題⑤ 【計画内容】情緒障害、少年非行問題について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、H
	第10回	【テーマ】児童家庭福祉施策の現状と課題⑥ 【計画内容】児童虐待とＤＶへの対応について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、H
	第11回	【テーマ】諸外国の児童家庭福祉の歴史と現状 【計画内容】諸外国の保育制度や家族施策について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントに示す課題について予習すること。	A
	第12回	【テーマ】子どもの人権 【計画内容】子どもの権利保障の歴史と子どもの権利を護る取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントに示す課題について予習すること。	A
	第13回	【テーマ】児童家庭福祉援助活動 【計画内容】児童家庭福祉援助活動と保育や相談支援、活動の実際について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントに示す課題について予習すること。	A
	第14回	【テーマ】児童家庭福祉専門職と連携 【計画内容】児童福祉施設に携わる専門職と関連機関との連携の重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付プリントに示す課題について予習すること。	A
	第15回	【テーマ】講義のまとめと確認 【計画内容】これまでの講義内容の振り返りとまとめ。 【準備学習の内容】これまでの学びを確認しておくこと。	A

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		30%		30%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。基本的には講義終了後に受け付けます。
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	毎時出席を原則とします。第16回に確認テストを行います。

科目名	相談援助	授業形態	演習	単位数	2
教員名	三浦　公裕				
授業の目的	ねらい	本演習では、保育における相談援助の概要について理解を深め、その具体的展開について事例研究をとおして技術の習得を目指す。相談援助の方法と技術、ソーシャルワークの応用と事例分析、関係機関、専門職との連携などについての理解を深める。さらに、虐待の予防と対応策、障害のある子どもとその保護者への支援などを事例研究をもとに考察し、理解を深める。			
	到達目標	(1)教育相談の基本的な考えを理解できる。 (2)教育相談の基本的な方法を身につけることができる。 (3)幼児に生起する諸問題の背景についての理解とその対応策を考えることができる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション　教育相談･カウンセリング･心理療法の理解 【計画内容】講義のすすめ方及び教育相談の理論の基本的理解。 【準備学習の内容】シラバスを事前に確認し、講義全体の内容を理解しておく。			A、L
	第2回	【テーマ】幼稚園･保育所における教育相談･カウンセリングの意義と役割 【計画内容】幼児への接し方、保護者への対応などの基本的考え、方法の理解。 【準備学習の内容】日常生活で見せる子どもたちの様々なサインの意味を考える。			A、L
	第3回	【テーマ】幼稚園･保育所における教育相談･カウンセリングの基本的な理論 【計画内容】コーヒーカップ方式、マイクロカウンセリングの関わり技法、傾聴技法についての理解。 【準備学習の内容】アイビー、カーカフの人物、考え方を事前に学習する。			A、L
	第4回	【テーマ】幼稚園･保育所における教育相談･カウンセリングの実際的方法 【計画内容】教育活動に教育相談の考えを生かす方法の理解。 【準備学習の内容】教育相談の考えを授業に生かす具体的方法について事前に考える。			A、L
	第5回	【テーマ】保育者の行う教育相談･カウンセリングの具体的方法 【計画内容】幼児の理解の方法、個別面接のすすめ方、エンカウンターなどの方法の理解。 【準備学習の内容】幼児を多面的に理解する方法、面接のすすめ方を事前に学習する。			A、L
	第6回	【テーマ】自己理解と集団の雰囲気の理解と教育相談･カウンセリング 【計画内容】エゴグラム、Q-U の実際と活用。 【準備学習の内容】エゴグラム、Q-U について事前学習する。			H、L
	第7回	【テーマ】教育活動と教育相談･カウンセリング 【計画内容】授業及び行事等で教育相談の考えを生かす方法の理解。 【準備学習の内容】「親和的風土」「自己決定」「共感的理解」の言葉の意味を事前に調べる。			H、L
	第8回	【テーマ】幼稚園･保育所の指導体制と教育相談室の活用と運営 【計画内容】スクールカウンセラー、教育相談員、相談室担当教員との連携の在り方についての理解。 【準備学習の内容】スクールカウンセラーの役割と教師の役割について事前に学習する。			A、L
	第9回	【テーマ】教育相談･カウンセリングと事例研究･研修のすすめ方 【計画内容】幼稚園･保育所において実施する事例研究のすすめ方についての理解。 【準備学習の内容】心理教育的援助サービスとは具体的にどのようなことかを調べる。			H、L
	第10回	【テーマ】諸問題の発生メカニズムの理解と対応 【計画内容】虐待･いじめ問題等の構造的理解とその予防についての理解。 【準備学習の内容】過去に発生した虐待やいじめ問題について事前に調べておく。			L
	第11回	【テーマ】登園しぶりの問題発生のメカニズムの理解と対応 【計画内容】集団不適応がおこる背景の理解とその対応の基本的方法の理解。 【準備学習の内容】登園しぶりの状況について事前に確認する。			J、L
	第12回	【テーマ】幼稚園･保育所で活用できるカウンセリングの理論(1) 【計画内容】人間性中心療法の理論と方法についての理解。 【準備学習の内容】ロジャースの考え方、カウンセリング･マインドについて事前学習する。			A、L
	第13回	【テーマ】幼稚園･保育所で活用できるカウンセリングの理論(2) 【計画内容】精神分析療法、フロイトの心の構造理論について。 【準備学習の内容】同一視、及びエディプスコンプレックスなどフロイトの考えを事前学習する。			A、L
	第14回	【テーマ】幼稚園･保育所で活用できるカウンセリングの理論(3) 【計画内容】交流分析の理論の理解。 【準備学習の内容】フロイトの心の構造と交流分析の関係を事前学習する。			A、L
	第15回	【テーマ】幼稚園･保育所で活用できるカウンセリングの理論(4)及びまとめと確認 【計画内容】問題解決志向ブリーフセラピーの理論と方法の理解。 【準備学習の内容】ブリーフセラピーの基本的内容を事前学習する。			L
テキスト	プリントを配付します				
参考書	厚生労働省、『保育所保育指針　解説書』、フレーベル館 文部科学省、『幼稚園教育要領』 西尾祐吾、2015年、『保育の質を高める相談援助･相談支援』、晃洋書房、9784771026070				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%		20%		40%	20%
補足	小テスト等		レポート			ワークシート

質問への対応	随時研究室(440研究室)で対応する。
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	各回の講義後半に、次回講義のテーマを紹介することで事前学習を促します。

科目名	社会的養護	授業形態	講義	単位数	2
教員名	鈴木　幸雄				
授業の目的	ねらい	現代社会において少子化が進行する一方、児童虐待があとを絶たず、社会的養護の重要性が高まっている。社会的養護の意義と歴史、児童の権利擁護と児童福祉、人権擁護、自立支援について学ぶ中で、社会が守り育む児童について理解を深める。また社会的養護の制度や実施体系を学び、社会的養護の現状と課題について理解することを目的とする。				
	到達目標	(1)現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 (2)社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利について理解する。 (3)社会的養護の制度や実施体系について理解する。 (4)社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。 (5)社会的養護の現状と課題について理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】現代社会における社会的養護の意義 【計画内容】社会的養護の理念と概念について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第2回	【テーマ】現代社会における社会的養護の歴史的変遷 【計画内容】社会的養護の歴史的変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第3回	【テーマ】社会的養護と児童家庭福祉① 【計画内容】児童家庭福祉の一分野としての社会的養護について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第4回	【テーマ】社会的養護と児童家庭福祉② 【計画内容】社会的養護における児童の権利擁護について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第5回	【テーマ】社会的養護の制度と実施体系① 【計画内容】社会的養護の制度と法体系について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第6回	【テーマ】社会的養護の制度と実施体系② 【計画内容】社会的養護の仕組みと実施体系について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第7回	【テーマ】社会的養護の制度と実施体系③ 【計画内容】社会的養護における家庭的養護と施設養護について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第8回	【テーマ】社会的養護の制度と実施体系④ 【計画内容】社会的養護に携わる専門職と資格について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A、L
	第9回	【テーマ】施設養護の実際① 【計画内容】社会的養護･施設養護の基本原理について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第10回	【テーマ】施設養護の実際② 【計画内容】施設養護における具体的支援の実際について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第11回	【テーマ】施設養護の実際③ 【計画内容】施設養護におけるソーシャルワークとその展開について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第12回	【テーマ】施設養護の実際④ 【計画内容】社会的養護を担う施設等の運営の現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第13回	【テーマ】施設養護の実際⑤ 【計画内容】記録作成の留意点と自己評価の視点について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A、L
	第14回	【テーマ】社会的養護の現状と課題① 【計画内容】社会的養護を担う施設等における被措置児童等の虐待と虐待防止の現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A
	第15回	【テーマ】社会的養護の現状と課題② 【計画内容】日本における社会的養護についてのまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】事前に教科書で学習しておくこと。				A、L
テキスト	新保育士養成講座編集委員会編、2017年、『社会的養護』、全国社会福祉協議会、9784793511585					
参考書	栄留里美、2015年、『社会的養護児童のアドボカシー　－意見表明権の保障を目指して－』、明石書店、9784750342689 NPO 法人日向ぼっこ編著、2009年、『施設で育った子どもたちの居場所「日向ぼっこ」と社会的養護』、明石書店、9784750330044					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
	補足						

質問への対応	原則講義中に対応します。
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	講義で使用するプリントや統計資料などは適宜配付する。私語は避けること。

科目名	こどもの保健Ⅰａ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　恵美子				
授業の目的	ねらい	こどもの心身の健康を保持することは、保育の原点であると考えられている。そのためには、こどもの心身の特徴について理解することが不可欠である。本講義は、保育士養成のための必修科目として、こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解し、こどもの身体発育や生理機能及び運動機能、さらには精神機能の発達と精神保健について理解することを目的としている。			
	到達目標	(1)こどもの心身の特徴について理解する。 (2)こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 (3)こどもの身体発育や生理機能および運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。 (4)こどもの精神保健とその課題等について理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション　こどもの健康と保健の意義 【計画内容】講義の概要について説明します。こどもの健康と保健の意義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第2回	【テーマ】健康の概念と健康指標 【計画内容】健康とはどういうことかを考え、健康の概念について学びます。また、健康のレベルの測定に用いられている様々な指標について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第3回	【テーマ】保健統計 【計画内容】こどもに関する様々な統計資料から読み取れることを考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A、B、H
	第4回	【テーマ】地域における保健活動 【計画内容】出生率や少子化の現状について学び、地域における保健活動について理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A、B、H
	第5回	【テーマ】ヒトの体の基本 【計画内容】こどもの体について理解するために、人間の体の基本的な構造について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第6回	【テーマ】こどもの発育・発達1 【計画内容】生物としてのヒトの成り立ち、発育期の区分、発育・発達の経過と速度について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第7回	【テーマ】こどもの発育・発達2 【計画内容】新生児、乳児期、幼児期の身体発育の経過について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第8回	【テーマ】発育の評価 【計画内容】身体発育の評価である、パーセンタイル曲線、肥満度などについて学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A、B、K
	第9回	【テーマ】生理機能の発達1 【計画内容】呼吸・循環機能、体温調節機能を中心に生理機能について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第10回	【テーマ】生理機能の発達2 【計画内容】消化機能、尿排泄機能、水分調節機能を中心に生理機能について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第11回	【テーマ】生理機能の発達3 【計画内容】神経・感覚機能を中心に生理機能について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第12回	【テーマ】精神機能の発達 【計画内容】知能、思考、言語および情動などの発達について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A
	第13回	【テーマ】運動機能の発達1 【計画内容】原始反射や運動機能の発達について学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A、B、H、K
	第14回	【テーマ】運動機能の発達2 【計画内容】こどもの体力について学び、現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。			A、B、H、K
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】子どもを取り囲む生活環境について考え、まとめと振り返りを行います。場合によっては最終討論も行います。 【準備学習の内容】これまでの内容をまとめておく。			A、B、H、K、L
テキスト	プリントを配布します				
参考書	巷野悟郎、2017年、『子どもの保健 第7版』、診断と治療社、9784787822949 澤田淳編、2013年、『最新 子ども保健』、日本小児医事出版社、9784889242232 志村二三夫ほか編、2010年、『解剖生理学ー人体の構造と機能ー』、羊土社、9784758108690				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		10%		10%	10%
	補足			レポート		発言の積極性	討論、考察

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	対象者の進度によって講義計画の変更の可能性もあります。グループ討論では積極的な発言を求めます。

科目名	こどもの保健Ⅰb	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　恵美子				
授業の目的	ねらい	現代社会においてこどもを取り巻く環境はめまぐるしく変化している。個々のライフスタイルの多様化とともに、こどもの健康問題は単なる医療面の支援だけでなく、文化・社会面での支援も必要となっている。本講義はめまぐるしく変化する環境における保育士養成のための必修科目となっている。こどもを取り囲む環境及び衛生管理並びに安全管理、疾病とその予防、健康及び安全の実施体制について理解することを目的としている。			
	到達目標	(1)こどもの健康に関わる衛生管理について理解する。 (2)こどもの健康に関わる安全管理について理解する。 (3)こどもの疾病とその予防について理解する。 (4)現代社会におけるこどもの健康問題や地域保健活動等について理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション　環境整備の意義 【計画内容】講義の概要について説明します。こどもの生活環境整備の意義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第2回	【テーマ】現場における衛生管理1 【計画内容】生活環境に関して、主に空気環境について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第3回	【テーマ】現場における衛生管理2 【計画内容】生活環境に関して、主に温度や湿度などの温熱環境について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第4回	【テーマ】現場における衛生管理3 【計画内容】生活環境に関して、主に水の衛生と環境について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第5回	【テーマ】現場における安全管理 【計画内容】こどもの生活環境における安全管理とその対策について学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A、B、H		
	第6回	【テーマ】感染症の予防と対策 【計画内容】感染症発症についての基本を学び、感染症の予防とその対策としての法律について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第7回	【テーマ】こどもに多い感染症1 【計画内容】学校において予防すべき感染症(第二種感染症)として、インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎などのこどもに多くみられる感染症の特徴について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第8回	【テーマ】こどもに多い感染症2 【計画内容】結核、突発性発疹、伝染性紅斑、手足口病、ヘルパンギーナなどのこどもに多くみられる感染症の特徴について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A		
	第9回	【テーマ】こどもに多い病気 【計画内容】皮膚疾患や脳・神経系疾患など、感染症の他にこどもに多く見られる疾患の特徴について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A、B		
	第10回	【テーマ】食品衛生 【計画内容】食中毒統計をもとに食品衛生について学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A、B、H、K		
	第11回	【テーマ】アレルギーと食品安全 【計画内容】アレルギーと食品安全について学び、アクティブ・ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A、B、H、K		
	第12回	【テーマ】生活習慣と健康 【計画内容】生活習慣と健康について学び、こどもにとっての生活習慣の意義について考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおく。	A、B、H、K		
	第13回	【テーマ】生活環境と精神保健1 【計画内容】こどもの生活環境と精神保健に関して、現代社会における健康問題とそれに関わる地域保健活動について調べ、場合により討論を行います。 【準備学習の内容】こどもの精神保健に影響する生活環境について事前に調べておく。	A、B、H、K		
	第14回	【テーマ】生活環境と精神保健2 【計画内容】こどもの生活環境と精神保健に関して、現代社会における健康問題とそれに関わる地域保健活動について調べ、討論を行った場合には、結果について学びの共有を行います。 【準備学習の内容】討論の内容をまとめておく。	A、B、H、K		
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】感染症予防に必要な環境整備について考え、まとめと振り返りを実施します。場合によっては最終討論も行います。 【準備学習の内容】これまでの内容をまとめておく。	A、B、L		
テキスト	プリントを配布します				
参考書	巷野悟郎、2017年、『子どもの保健 第7版』、診断と治療社、9784787822949 澤田淳編、2013年、『最新 子ども保健』、日本小児医事出版社、9784889242232 志村二三夫ほか編、2010年、『解剖生理学一人体の構造と機能一』、羊土社、9784758108690				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		10%		10%	10%
	補足			レポート		発言の積極性	討論、考察

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]保育士 _ 必修
その他	対象者の進度やそのときの社会的な話題によって講義計画の変更の可能性もあります。グループ討論では積極的な発言を求めます。

科目名	教育経営学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				
授業の目的	ねらい	今、児童生徒が様々な課題を抱えていることが社会的にも着目されている。その関連で教育の意義もまた問われているのである。 本講義では、以上を踏まえて、学校教育などの公教育の意義や可能性を考える機会とし、児童生徒の学ぶ環境を保持するために学校経営がきわめて大きな意味を有することを学習する。			
	到達目標	(1)児童生徒を取り巻く環境を広い視野に立って理解できる。 (2)社会における様々な教育について基本的な理解ができる。 (3)児童生徒の安全を守ることが学校の大きな役割であることを理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義の進め方 【計画内容】講義の進め方や受講上の留意点に触れる。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A		
	第2回	【テーマ】我が国における学校教育制度の始まり 【計画内容】明治期に始まった学校教育制度を概観し、社会の変化とどのような関わりをもつか理解する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第3回	【テーマ】我が国における学校教育制度の発展 【計画内容】明治、大正、昭和戦前までの教育制度を確認する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第4回	【テーマ】我が国における現代の教育制度、教育基本法、学校教育法を含む 【計画内容】昭和戦後、我が国で相次いで制定された教育基本法・学校教育法の理念について、基本的な理解をし教育が大きく変化した社会的背景を見る。その後の高度経済成長期における高学歴化の進行について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第5回	【テーマ】新しい学校制度 【計画内容】中等教育学校、義務教育学校について、概要とこれらの学校制度ができた社会的背景を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第6回	【テーマ】信頼される教員、学校 【計画内容】信頼を得るために必要な説明責任と開かれた学校づくり、教員責務について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第7回	【テーマ】教職員の服務 【計画内容】学校教育に携わる教職員が守らなければならない点、それが児童生徒の安全な生活につながることを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第8回	【テーマ】学校の組織・運営 【計画内容】学校の組織、分掌と教職員の経営参画意識や評価について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第9回	【テーマ】学校のリスク・マネジメント(1) 【計画内容】学校が児童生徒の生命と安全を守るために行っているにもかかわらず、時としてそれらが危ぶまれる事故や事件が起きる。それらを教訓にするために事例について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第10回	【テーマ】学校のリスク・マネジメント(2) 【計画内容】学校が児童生徒の生命と安全を守るために行っている取り組みを学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	J		
	第11回	【テーマ】市町村の教育委員会制度 【計画内容】市町村の教育委員会制度が学校教育とどのようにかかわっているか学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第12回	【テーマ】僻地教育について 【計画内容】北海道は全国で僻地指定校が最も多い地域であるため、その僻地校での教育の特徴点を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A		
	第13回	【テーマ】コミュニティスクールの現状と課題 【計画内容】コミュニティ・スクールと学校運営協議会の連携が学校を活性化することで児童生徒の教育に及ぼす影響、課題も含めて学習する。コミュニティスクールについて、調べたことを学生が発表をする。 【準備学習の内容】各自でよく調べ、レジュメを作成する。	F		
	第14回	【テーマ】夜間中学校の現代的課題 【計画内容】現代の夜間中学校に通う若者の多くが、中学校までの学習を十分にできていない実情がある。夜間中学校の現状と、そこに通う若者が就学年齢であった時の学習課題への対応について学習する。事前に学生に調べ、レジュメ作成を指示し、ここで発表をする。 【準備学習の内容】各自でよく調べ、レジュメを作成する。	A、F		
	第15回	【テーマ】学校と家庭・地域社会との連携の重要性 【計画内容】児童生徒が安心して生活をするためには学校だけでは困難がある。家庭や地域社会とどのように関わるのか、具体的な事例や方法を学ぶ。 【準備学習の内容】講義内容全般についての確認をすること。	A、H、J		
テキスト	プリントを使用します				
参考書	『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』 講義で説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		15%		15%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修、中・高1種(音楽)_ 必修 [芸]中・高1種(美術)_ 必修
その他	教職に就くことを希望しているかどうかにかかわらず、免許を取得するために重要な科目です。そのことを強く意識してしっかりと取り組んでください。

科目名	道徳教育論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉浦　勉				

授業の目的		
	ねらい	学校教育の中で道徳教育がどのように位置づけられているのかを学びます。中学校教育に「道徳の時間（道徳科）」が置かれている意義を理解します。高等学校での道徳教育の中心となるのは、特別活動のホームルーム活動、公民科における「現代社会」と「倫理」ですが、道徳教育は、学校教育活動全体を通じて行うことが基本であることを理解します。事例をもとに指導案を書きます。
	到達目標	(1)学校教育全体で行う道徳教育と「道徳の時間」（道徳科）に行う道徳教育の意義を理解することができる。 (2)学習指導要領に示された道徳の目標や内容を理解することができる。 (3)「道徳の時間（道徳科）」の指導案を作成することができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A、L
	第2回	【テーマ】道徳とは何か(1) 【計画内容】モラル、マナー、倫理、法律と道徳の異同について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、K、L
	第3回	【テーマ】道徳とは何か(2) 【計画内容】近代ヨーロッパの倫理、思想、東洋の道徳思想、日本の道徳思想について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、L
	第4回	【テーマ】道徳教育の歴史(1) 【計画内容】「修身科」と道徳教育、教育勅語と戦後教育について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、L
	第5回	【テーマ】道徳教育の歴史(2) 【計画内容】学習指導要領の変遷と教育基本法の改正について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、L
	第6回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育(1) 【計画内容】学校教育全体で行う道徳教育の目標及び内容について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、L
	第7回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育(2) 【計画内容】「道徳の時間（道徳科）」に行う道徳教育の目標について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、L
	第8回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育(3) 【計画内容】指導計画の作成と内容の取扱いについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、K、L
	第9回	【テーマ】道徳教育の授業方法 【計画内容】「私たちの道徳」や「教科書」の扱い方と指導事例を学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、K、L
	第10回	【テーマ】学習指導案の作成(1) 【計画内容】事例研究とモラルジレンマなどの指導方法について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J、L
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成(2) 【計画内容】指導案の形式と資料の選択、授業の展開について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、K、L
	第12回	【テーマ】学習指導案の作成(3) 【計画内容】指導案を作成します。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、K、L
	第13回	【テーマ】学習指導案の交流と検討 【計画内容】模擬授業を行い、検討します。 【準備学習の内容】自分の指導案を完成させておくこと。	B、L
	第14回	【テーマ】世界の道徳教育 【計画内容】仏･露･中･米･豪･東京都の「市民科」について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、L
	第15回	【テーマ】学習の振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返ります。道徳教育の「教科化」など、道徳教育をめぐる現代の課題について考えます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、K、L

テキスト	柴原弘志、2016年、『中学校新学習指導要領の展開　特別の教科　道徳編』、明治図書、9784182731143
参考書	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領解説道徳編』、日本文教出版、4536590048

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修、中1種（音楽）_ 必修、高1種（音楽）_ 選択 [芸]中1種（美術）_ 必修、高1種（美術）_ 選択
その他	

科目名	特別活動論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				
授業の目的	ねらい	今日、各学校には、特色ある教育活動や開かれた学校づくりが求められています。「特別活動」は創意工夫の余地の広い活動領域であることから、特色ある学級や学校づくりに大きな役割を果たしています。この講義では、特別活動の目標、内容、教育的意義と、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、及び学校行事の指導計画、実践・評価の一連の流れを学び、望ましい集団活動を通して展開される特別活動とはどのような教育活動かを探究していきます。				
	到達目標	(1)特別活動の意義、目標及び内容を理解できる。 (2)特別活動の指導の在り方を理解できる。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の到達目標、展開、評価方法、参考文献などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】学習指導要領と特別活動 【計画内容】学習指導要領改訂の経緯や趣旨、特別活動の位置付けや各教科等との関連などについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第1章）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】特別活動の目標と主な内容 【計画内容】特別活動の目標や、各活動・学校行事の目標や内容などについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第2章第1節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第4回	【テーマ】特別活動の全体計画と各教科等との関連 【計画内容】特別活動の意義や各教科等との関連を図った全体計画、各活動・学校行事の指導計画作成の重要性について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第2章第2節、第4章　第1、2節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント① 【計画内容】学級（ホームルーム）活動の特質、目標・内容などについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第3章第1節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント② 【計画内容】主体的・対話的な学習形態の中で、「学級や学校における生活づくりへの参画」に関する指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】「学級や学校における生活づくりへの参画」に関する指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第7回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント③ 【計画内容】主体的・対話的な学習形態の中で、「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」または「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意のテーマについて指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第8回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント④ 【計画内容】指導計画の中から、合意形成に向けた話合い活動や、意思決定につながる指導の点で優れているものについて評価し合います。 【準備学習の内容】自分の指導計画のポイントを整理し、話合いに備える。	A、H、K
	第9回	【テーマ】生徒会活動の進め方と指導のポイント① 【計画内容】生徒会活動の特質、目標及び主な内容について学びます。実践事例などから生徒会活動の実態を考察します。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第3章第2節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】生徒会活動の進め方と指導のポイント② 【計画内容】生徒会活動と部活動との関係を考えます。生徒会活動の教育的意義や生徒会活動の諸問題について考察します。 【準備学習の内容】部活動の教育的意義について考えておくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント① 【計画内容】学校行事の特質、目標及び主な内容について学ぶとともに、儀式的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第3章第3節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第12回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント② 【計画内容】文化的行事、健康安全・体育的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意の行事について指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第13回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント③ 【計画内容】旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意の行事について指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第14回	【テーマ】特別活動の指導と評価 【計画内容】特別活動に係る指導体制や、評価の在り方の重要性について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキスト（中学校・高校）の第4章第4節、第5節を読んでおくこと。	A、K
	第15回	【テーマ】特別活動と家庭、地域などとの連携 【計画内容】特別活動における、家庭、地域、関係機関との連携の重要性について学ぶとともに、授業全体を振り返り、学んだことがらを整理します。 【準備学習の内容】これまでの講義の内容を整理しておくこと。	A、G、L

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説特別活動編』、東山書房 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領』、プリントを使用する
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、2014年、『教育実習の手引き』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%			50%
補足			内容・丁寧さ			論述形式のレポート等

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修、中・高1種（音楽）_ 必修　[芸]中・高1種（美術）_ 必修　[ス]中・高1種（保健体育）_ 必修
その他	『高等学校学習指導要領』は刊行されていないので、プリントを配付します。 課題は毎回提出してもらいます。丁寧に一生懸命に書くことが評価のポイントになります。

科目名	衛生学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　浩子				
授業の目的	ねらい	本講義の目的は、現在様々な分野で問題となっている環境衛生に関しての基本的な知識を学び、環境衛生の意義について理解を深めるものとなっている。特に、学校環境衛生に関する項目については、学校環境衛生の基準を参照しながら学ぶ。			
	到達目標	(1)環境衛生に関する各項目の意義を理解する。 (2)環境衛生に関する現代的課題とその解決方法について考えることができる。 (3)学校環境衛生の基準を把握する。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション　衛生学の意義と役割 【計画内容】15回の流れなどについて説明を行います。また、衛生学という学問の意義と学校保健における役割について学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】室内環境(空気1) 【計画内容】空気を構成する要素である酸素(O2)、二酸化炭素(CO2)、窒素(N)について学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】室内環境(空気2) 【計画内容】人間の活動によってもたらされる一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NOX)、硫黄酸化物(SOX)などについて学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】温熱条件･温熱環境 【計画内容】室内空気の温熱条件としての、気温、気湿、気流、輻射熱について学び、換気の意義などについても学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A、K
第5回	【テーマ】室内環境(採光･照度) 【計画内容】室内環境の空気に関すること以外の条件として、主に光や明るさなどの条件である採光、照度などについて学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A、K
第6回	【テーマ】騒音と振動 【計画内容】騒音と振動は同時に発生することが多く、長期間の曝露によって生体への影響が懸念されます。この回では、それらについて学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】水質(1) 【計画内容】水は人間にとってなくてはならないものです。その水に関して、上水道、飲料水の水質基準などについて、学校環境衛生との関連から学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A
第8回	【テーマ】水質(2) 【計画内容】水は、地球全体で大きな循環をしています。使用した水の再使用、つまり下水道の意義としくみを知り、水の循環についてについて学び、アクティブ･ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A、H
第9回	【テーマ】廃棄物 【計画内容】近年、廃棄物の増加とそれに伴い様々な法律が制定されました。廃棄物処理の現状と課題について学び、アクティブ･ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A、G、H
第10回	【テーマ】環境汚染と化学物質 【計画内容】生活の利便性が上がる一方で、各地で環境汚染や様々な化学物質による健康影響などが懸念されています。環境汚染と化学物質の現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】テキストや実務必携の該当箇所を読んでおくこと。	A、F、H
第11回	【テーマ】食品衛生 【計画内容】従来夏場に多かった食中毒が、近年は冬場にも多く発生しています。食中毒の現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】食品衛生について学習を深めておく。	A、H
第12回	【テーマ】産業衛生 【計画内容】学校に限らず、労働の現場でも空気や水の他に、作業姿勢や長時間労働などの問題があります。産業疲労の現状と課題について学び、アクティブ･ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】学校現場におけるこころの健康問題について学習を深めておく。	A、H
第13回	【テーマ】精神衛生 【計画内容】こころの健康は、現代の大きな健康課題となっています。精神衛生の意義と生理学的影響について学びます。 【準備学習の内容】精神衛生について学習を深めておく。	A
第14回	【テーマ】衛生行政 【計画内容】衛生行政に関わる職種について学びます。また、患者調査を元にした医療機関の現状について学びます。 【準備学習の内容】衛生行政に関して学習と深めておく。	A
第15回	【テーマ】環境衛生に関する現代的課題 【計画内容】講義のまとめと振り返りを行います。また、場合によっては、現代的な衛生課題についての討論を行います。 【準備学習の内容】必要な資料をまとめて、準備しておく。	A、G、H、L

テキスト	齋藤和雄･上田直利共著、1995年、『新しい環境衛生(改訂第6版)』、南江堂、4524209972 学校保健･安全実務研究会編著、2017年、『新訂版 学校保健実務必携(第4次改訂版)』※、第一法規、9784474056732
参考書	鈴木庄亮ほか編著、2018年、『シンプル衛生公衆衛生学＜年度版＞』、南江堂、9784524255535 蔵楽正邦ほか著、2009年、『環境衛生学実験(第2版)』、建帛社、9784767918518 伊藤孝編、2007年、『現代生活と保健衛生(第5版)』、篠原出版新社、9784884123017

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		10%		10%	10%
	補足			レポート		参加意欲	考察、討論

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	第16回には筆記試験を実施します。本講義は養護教諭1種免許状取得希望者の必修科目になっていることから、教職免許取得にふさわしい一定水準以上の到達レベルを目指しています。しかし、対象者の進度やその時点での社会的な話題などによって授業計画や内容の変更の可能性があります。 内容の一部は「公衆衛生学」(後学期開講科目)と関連･重複します。 テキスト欄の※印は、他講義でも使用しているテキストです。すでに購入している者は新たに購入する必要はありません。 また、この講義のテキストは「衛生学実験」でも使用します。 この講義を通じて学校保健安全法等の各種法規についての理解を深めることを望みます。

科目名	衛生学実験	授業形態	実験	単位数	2

教員名	佐々木　浩子

授業の目的		
	ねらい	人の健康に多大な影響を与えている空気と水は、感染症とも関連する環境衛生の重要な項目である。また、疲労はストレスとも関連して、精神衛生上の重要な項目である。本講義の目的は、室内環境、水質、疲労に関して実践を通じて理解を深めることである。なお、本講義は選択であるが、「衛生学」の講義で学んだ内容の実践を行う予定で、法規のより深い理解のためには、併せて受講することが望ましい。
	到達目標	(1)学校環境衛生の基準を理解する。 (2)学校環境衛生基準に沿った測定、評価、および考察ができる。 (3)学校の環境衛生の維持および向上のために適切な対処ができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 学校環境衛生の意義 【計画内容】オリエンテーションを行います。学校環境衛生基準の意義について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A	第16回	【テーマ】室内および水質の一般細菌検査 【計画内容】室内や水質の一般細菌検査の方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H
	第2回	【テーマ】室内環境測定1 【計画内容】温熱条件である気温、気湿、気流の測定方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第17回	【テーマ】室内および水質の一般細菌検査 【計画内容】室内や水質の一般細菌検査を行います。測定結果を、学校環境衛生の基準と照らして、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H
	第3回	【テーマ】室内環境測定2 【計画内容】温熱条件である気温、気湿、気流の測定を行います。測定結果を、学校環境衛生の基準と照らして、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第18回	【テーマ】疲労検査1 【計画内容】自覚的疲労測定として疲労自覚症状検査を、客観的疲労測定としてフリッカー検査を行います。測定結果より、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H
	第4回	【テーマ】室内環境測定3 【計画内容】輻射熱の測定と温熱指数の算出方法について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第19回	【テーマ】疲労検査2 【計画内容】客観的疲労検査として、ブロッキング検査、皮膚二点弁別検査を行います。測定結果より、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H
	第5回	【テーマ】室内環境測定4 【計画内容】輻射熱の測定を行います。気温、気湿、気流の結果を合わせて温熱指数(感覚温度及び不快指数)などの算出を行います。算出結果より、評価および考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第20回	【テーマ】疲労検査3 【計画内容】生理的な指標の代表として、心拍数及び血圧測定を行います。自覚的測定及び客観的測定の指標とともに、総合的な評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H
	第6回	【テーマ】室内環境測定5 【計画内容】二酸化炭素(CO2)、揮発性有機化合物の1つであるホルムアルデヒドの測定方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第21回	【テーマ】疲労検査4 【計画内容】疲労検査に関して、まとめと考察を行います。アクティブラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、F、H
	第7回	【テーマ】室内環境測定6 【計画内容】二酸化炭素(CO2)、揮発性有機化合物の1つであるホルムアルデヒドの測定を行います。測定結果より、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第22回	【テーマ】衛生施設見学1-1 【計画内容】廃棄物等の課題の理解のために、江別市のリサイクルセンターの施設見学を行います。見学後はレポートを作成します。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、G、M
	第8回	【テーマ】室内環境測定7 【計画内容】照度、粉じん、騒音の測定方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第23回	【テーマ】衛生施設見学1-2 【計画内容】廃棄物等の課題に関して、まとめと考察を行います。アクティブラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、F、G、M
	第9回	【テーマ】室内環境測定8 【計画内容】照度、粉じん、騒音の測定を行います。測定結果を、学校環境衛生の基準と照らして、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第24回	【テーマ】衛生施設見学2-1 【計画内容】廃棄物等の課題の理解のために、江別市の環境クリーンセンター(廃棄物処理施設)の施設見学を行います。見学後はレポートを作成します。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、G、M
	第10回	【テーマ】水質に関する測定1 【計画内容】水道水の濁度及び色度の測定方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第25回	【テーマ】衛生施設見学2-2 【計画内容】廃棄物等の課題に関して、まとめと考察を行います。アクティブラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、F、G、M
	第11回	【テーマ】水質に関する測定2 【計画内容】水道水の濁度及び色度の測定を行います。測定結果を、学校環境衛生の基準と照らして、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第26回	【テーマ】衛生施設見学3-1 【計画内容】水質環境の課題の理解のために、江別市の浄化センター(下水処理施設)の施設見学を行います。見学後はレポートを作成します。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、G、M
	第12回	【テーマ】水質に関する測定3 【計画内容】水道水の味及び臭気の測定方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第27回	【テーマ】衛生施設見学3-2 【計画内容】水質環境の課題に関して、まとめと考察を行います。アクティブラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、F、G、M
	第13回	【テーマ】水質に関する測定4 【計画内容】水道水の味及び臭気の測定を行います。測定結果を、学校環境衛生の基準と照らして、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第28回	【テーマ】衛生施設見学4-1 【計画内容】食品衛生の課題の理解のために、食品衛生関連の施設見学を行います。見学後はレポートを作成します。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、G、M
	第14回	【テーマ】水質に関する測定5 【計画内容】水道水の遊離残留塩素及び塩素イオンの測定方法を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第29回	【テーマ】衛生施設見学4-2 【計画内容】食品衛生の現場に関して、まとめと考察を行います。アクティブラーニングを通して、考察を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、F、G、M
	第15回	【テーマ】水質に関する測定6 【計画内容】水道水の遊離残留塩素及び塩素イオンの測定を行います。測定結果を、学校環境衛生の基準と照らして、評価及び考察を行います。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	A、C、H	第30回	【テーマ】まとめとふりかえり 【計画内容】実験結果のまとめと考察を行います。アクティブラーニングを通して考察を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。	D、F、G、M

テキスト	齋藤和雄･上田直利共著、1995年、『新しい環境衛生』、南江堂、4524209972 学校保健･安全実務研究会編著、2009年、『< 新訂版 > 学校保健実務必携(第2次改訂)』、第一法規、9784474024762
参考書	鈴木庄亮ほか編著、2016年、『シンプル衛生公衆衛生学2016』、南江堂、9784524263158 蔵楽正邦ほか著、2009年、『環境衛生学実験(第2版)』、建帛社、9784767918518 伊藤孝編、2007年、『現代生活と保健衛生(第5版)』、篠原出版新社、9784884123017

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			実験の種類ごとのレポート		参加意欲、実験に取り組む姿勢	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	「衛生学」を受講している者に限ります。 対象者の進行状況により、内容の変更もあり得ます。 また、講義内容の性質上、一時期に集中的に行われることもあります。 施設見学は、見学する施設の都合により、他の内容と入れ替わる可能性もあります。実験時は各種薬剤の使用や実験室内の安全対策のために、白衣(エプロン可)と運動靴を着用すること。 実験はグループ作業にて行うため、履修する場合には途中で履修放棄をすることのないことを望みます。また、積極的に学ぶ姿勢を望みます。 特に各種実験用具を使用するので、注意を怠らないようにしてください。 指定テキストは「衛生学」にて使用しているテキストです。すでに購入している者は新たに購入する必要はありません。 レポートは実験･見学の種類ごとに課されます。未提出の場合には単位認定されない場合があるので注意すること。

科目名	公衆衛生学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　浩子				

授業の目的		
	ねらい	本講義の目的は、教育の現場において必要な公衆衛生学の意義と基本的知識について学ぶとともに、集団と個人の健康の関連について学ぶことである。また、それらから、生涯を通した健康づくりについて考察するものである。具体的には、各種統計資料から現代の保健･健康課題を考える。そして、生活環境が及ぼす健康について学ぶことに重点をおく。
	到達目標	(1)健康に関する現代的課題について理解できる。 (2)その課題の解決へ向けた方策について理解できる。 (3)生涯を通した健康づくりについて考察できる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション　公衆衛生学序論 【計画内容】15回の流れについて説明します。公衆衛生学序論として、健康とはどういうことかを考えます。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。
	第2回	【テーマ】健康と体力 【計画内容】健康と関わりの深い体力について学びます。体力の分類、子どもや高齢者における体力の現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】健康と体力について学習を深めておく。
	第3回	【テーマ】健康指標 【計画内容】健康レベルの測定には、地域の衛生状態や様々な環境整備などの項目が関係しています。それらへの理解を深めて健康レベルの測定について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第4回	【テーマ】人口統計 【計画内容】人口静態統計、人口動態統計を元に、年次推移や様々な指標が算出されています。それら統計から読み取れることを考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第5回	【テーマ】疫学基礎 【計画内容】疫学の基礎として、疫学の目的や方法について学びます。疫学の方法としての、記述疫学、分析疫学について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第6回	【テーマ】感染症と健康 【計画内容】感染症発症には3つの要因が関わっています。感染症発症の要因である、病原体、感染経路、宿主の感受性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第7回	【テーマ】感染症の対策と法規 【計画内容】感染症の法律として「感染症の予防及び感染症の患者に関する医療に関する法律」について学びます。また、学校保健安全法における感染症と関連する事項についても学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第8回	【テーマ】感染症各論 【計画内容】注意すべき感染症についてトピックスとして取り上げ、現状と予防について学び、アクティブ･ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。討論に必要な資料を準備しておく。
	第9回	【テーマ】生活習慣と健康1 【計画内容】現在の日本人の死因の上位を占める悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の現状と予防について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第10回	【テーマ】生活習慣と健康2 【計画内容】内臓脂肪蓄積型の疾患であるメタボリックシンドロームを含む、代謝性疾患などの現状と予防について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第11回	【テーマ】食生活と健康 【計画内容】生活習慣病予防に必要な食習慣について学びます。また、食品衛生や食の安全性の課題についても学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第12回	【テーマ】地域保健と健康づくり ライフステージと健康 【計画内容】「健康日本21」(第二次)に代表される、様々な健康施策について学びます。母子保健、学校保健、高齢者の保健など、それぞれのライフステージにおける健康課題について学び、アクティブ･ラーニングを通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第13回	【テーマ】職業生活と健康 【計画内容】職業生活と健康について学びます。特に、近年問題となっている長時間労働、うつ、アルコール摂取という問題を考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第14回	【テーマ】生活環境と健康 【計画内容】不慮の事故や環境問題など、日常生活において健康に影響する様々な課題について現状とその予防について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読んでおくこと。
	第15回	【テーマ】現代生活と健康 【計画内容】国民の5人に1人は悩んでいるという睡眠の問題や生活のリズムについて考えます。講義のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】睡眠に関する学習を深めておく。討論に必要な資料を準備しておく。これまでの内容をまとめておく。

テキスト	鈴木庄亮ほか編著、2018年、『シンプル衛生公衆衛生学2018』、南江堂、9784524269068
参考書	学校保健･安全実務研究会編著、2014年、『新訂版 学校保健実務必携(第3次改訂版)』、第一法規、9784474028630 田中平三編、2013年、『これからの公衆衛生 社会･環境と健康(改訂第2版)』、南江堂、9784524268924 岸玲子ほか編著、2012年、『New 予防医学･公衆衛生学 改訂第3版』、南江堂、9784524263158

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		10%		10%	10%
	補足			レポート		参加意欲･発言の積極性	討論、考察

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	第16回には筆記試験を行います。本講義は養護教諭1種免許状取得希望者の必修科目になっていることから、教職免許取得にふさわしい一定水準以上の到達レベルを目指しています。対象者の進度やその時点での社会的な話題によって内容の変更の可能性があります。 内容の一部は「衛生学」(前学期開講科目)と重複する部分があります。受講にあたっては、現代的健康課題について自ら考察する積極的な姿勢を望みます。 参考書については、1年次科目で購入したものが含まれています。未購入の場合は購入すること。

科目名	学校保健	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　朱美				
授業の目的	ねらい	学校保健とは、学校における幼児·児童·生徒と学生および教職員、施設·設備並びに学校生活のすべてにわたる健康と安全に関する一切の管理及び教育のことを指すことから、他の分野とも関わりは深い。本講義では学校保健の基礎的理解を学ぶとともに、学校保健安全法に基づ保健管理面及び保健教育面の専門的事項を学び、さらにこれらの両面の連携及びそれらを支える組織活動の重要性を認識する。			
	到達目標	(1)専門的知識を教育活動に結びつけた理解ができる。 (2)学校保健にかかわる今日的課題について対処方法を含めて理解できる。 (3)学校保健にかかわる周辺の法律について理解できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義全体のガイダンスと学校保健の概説(1) 【計画内容】講義のねらいと目標を示し、15回の展開を説明する。学校保健の意義と目的、内容と展開について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバス熟読のこと。			A、L
	第2回	【テーマ】学校保健の概説(2) 【計画内容】これまでの学校保健の歴史的変遷と、かかわる職員について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを予習しておく。			A、L
	第3回	【テーマ】ヘルスプロモーションと健康教育 【計画内容】ヘルスプロモーションの概念と学校における健康教育について学ぶ。 【準備学習の内容】学習指導要領の体育·保健体育科における保健領域、保健分野、保健科目を予習しておく。			A、H、L
	第4回	【テーマ】児童生徒の健康と心身の発達(1) 【計画内容】健康水準の指標と学校保健統計、定期健康診断にみる児童生徒の健康状態、国民の健康実態と学校保健、最近の児童生徒の健康問題について学ぶ。 【準備学習の内容】現代の児童生徒の健康状態を表す新しいデータを探し読むこと。			A、H、L
	第5回	【テーマ】児童生徒の健康と心身の発達(2) 【計画内容】成長過程にある児童生徒の精神の発達発育と、そこに関わる要因や疾病の特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】学童期の健康問題について復習しておく。			A、L
	第6回	【テーマ】学校における健康管理(1) 【計画内容】学校組織の中で行われる健康診断、健康調査の方法や実践について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの健康診断、健康調査を予習すること。			A、L
	第7回	【テーマ】学校における健康管理(2) 【計画内容】学校生活の中で行われる健康観察、健康相談の方法や実践について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの健康観察、健康相談を予習すること。			A、L
	第8回	【テーマ】学校における健康管理(3) 【計画内容】学校における感染予防、危機管理について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを予習しておく。			A、L
	第9回	【テーマ】学校環境衛生 【計画内容】学校環境の衛生を保つための意義と目的、法的根拠、検査の実際について学ぶ。 【準備学習の内容】衛生学との関連を予習しておくこと。			A、L
	第10回	【テーマ】食育と学校給食 【計画内容】学校における食育として関係職員との連携や指導体制について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを予習しておく。			A、L
	第11回	【テーマ】学校保健計画·学校安全計画 【計画内容】学校生活を安全に過ごすために必要な計画について、その根拠と理由、実際の計画策定や内容について学ぶ。 【準備学習の内容】養護実践学で学んだ学校保健計画について復習しておく。			A、L
	第12回	【テーマ】学校保健組織活動 【計画内容】学校組織の中で活動する学校保健委員会、職員保健組織、児童生徒保健自治組織について学ぶ。 【準備学習の内容】教職科目の中で関連する部分を予習しておく。			A、L
	第13回	【テーマ】学校保健としての今日的課題(1) 【計画内容】現代の子どもにみられる健康に関わる問題としての生活リズム、不登校、虐待について学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの生活リズム、不登校、虐待などの現状を予習しておく。			A、F、L
	第14回	【テーマ】学校保健としての今日的課題(2) 【計画内容】現代の子どもを取り巻く環境が関わる健康問題としての飲酒·喫煙·薬物乱用や性行動ついて学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの健康に関する最近の新聞記事などを探しておく。			A、F、L
	第15回	【テーマ】学校保健を考える 【計画内容】これまでの講義の中から学んだ学校生活における健康について振り返り、まとめを提出する。 【準備学習の内容】これまでの資料をよく読み、整理して課題に取り組む。			A、L
テキスト	徳山美智子、2013年、『改訂　学校保健』、東山書房、9784827814491 文部科学省監修、2015年、『児童生徒等の健康診断マニュアル』、日本学校保健会				
参考書	教員養成大学保健協議会、2014年、『学校保健ハンドブック』、ぎょうせい、9784324098004				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワー :766研究室
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	

科目名	学校保健管理論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　朱美				
授業の目的	ねらい	養護教諭として、どのように学校における保健管理を進めていけばよいでしょうか。 本講義では、保健管理を実践的に展開できるような能力を養います。			
	到達目標	(1)保健管理として運営しなければならない内容が理解できる。 (2)保健管理を進める上での具体的な方法を提示できる。 (3)予防的見地から保健管理を進めることができる。 (4)教育活動として、学校における保健管理を展開できる。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション·本学習での目標設定、保健管理とは何か 【計画内容】学校保健の領域について考え、保健管理の意義を理解します。 【準備学習の内容】執務について調べ、臨みます。	A、L
第2回	【テーマ】学校環境衛生活動①日常点検 【計画内容】学校環境衛生活動における日常の点検項目や方法について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第3回	【テーマ】学校環境衛生活動②定期点検 【計画内容】学校環境衛生活動における定期点検項目や方法について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第4回	【テーマ】感染症予防 【計画内容】感染症予防について、日常的に予防的見地から保健管理をどのように進めるべきか学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第5回	【テーマ】感染症対策の実際① 【計画内容】インフルエンザ等の流行を想定し、健康観察から出席停止の措置まで、どのように対策をするか学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第6回	【テーマ】感染症対策の実際② 【計画内容】最新の感染症の流行を想定し、健康観察から臨時休校の措置まで、どのように対策をするか学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第7回	【テーマ】災害共済給付金事務手続き 【計画内容】給付金手続きについて知り、具体的な事務手続きができるよう学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、L
第8回	【テーマ】保健室の消耗品·備品の管理 【計画内容】薬品管理簿の記入など、保健室に置くべき消耗品や備品の管理について具体的に学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第9回	【テーマ】健康診断票·諸表簿等の管理 【計画内容】健康診断票の記入や保管、学校保健日誌や諸表簿等の管理について、具体的に学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第10回	【テーマ】学校三師との連携·学校保健委員会の組織運営 【計画内容】よりよい保健管理を進める上で、学校三師との連携をはかるとともに、学校保健委員会の組織運営に努めるよう、実践的に学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、L
第11回	【テーマ】学校生活管理指導表の活用① 【計画内容】心臓疾患に関わる学校生活管理指導表の活用について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第12回	【テーマ】学校生活管理指導表の活用② 【計画内容】腎臓疾患に関わる学校生活管理指導表の活用について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第13回	【テーマ】学校生活管理指導表の活用③ 【計画内容】アレルギーに関わる学校生活管理指導表の活用について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、L
第14回	【テーマ】エピペンの管理 【計画内容】保護者との連携、エピペンの使用方法や保管方法、エピペンの管理について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、B、L
第15回	【テーマ】まとめと確認·保健管理のまとめ 【計画内容】保健管理について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A、L

テキスト	学校保健·安全実務研究会、2014年、『新訂版学校保健実務必携』、第一法規出版、9784474028630 三木とみ子、2009年、『四訂　養護概説』、(株)ぎょうせい、9784324085943
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	

科目名	学校保健執務演習	授業形態	演習	単位数	1
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美				
授業の目的	ねらい	学校教育において、養護教諭はどのような目的を持ち、一年間の計画を立案し、実践しているのでしょうか。 本演習では、一年間の学校保健の執務を通し、養護実践について体験的に学びます。			
	到達目標	(1)一年間の執務の見通しを持ち、計画を立てることができる。 (2)一カ月ごとの執務を理解し、計画を立てることができる。 (3)一日の執務を考え、計画を立てることができる。 (4)養護実践を意識した執務を考えることができる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション･本学習での目標設定･執務とは何か 【計画内容】学校保健執務について考え、1日の執務計画を立てる。 【準備学習の内容】執務について調べ、臨みます。			A、L
	第2回	【テーマ】4月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】4月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第3回	【テーマ】5月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】5月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第4回	【テーマ】6月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】6月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第5回	【テーマ】7月の執務について考え、執務計画を立てる 【計画内容】7月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第6回	【テーマ】8月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】8月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第7回	【テーマ】9月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】9月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第8回	【テーマ】10月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】10月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第9回	【テーマ】11月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】11月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第10回	【テーマ】12月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】12月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第11回	【テーマ】1月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】1月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第12回	【テーマ】2月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】2月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第13回	【テーマ】3月の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】3月の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第14回	【テーマ】1年間の執務について考え、執務計画を立てる。 【計画内容】1年間の学校行事や保健行事を念頭に、執務計画を立てることができる。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。			A、F、H、L
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】執務計画について学んだことを振り返り、まとめる。また、学習不足の点や自己課題について把握する。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。			A、L
テキスト	三木とみ子、2009年、『四訂　養護概説』、ぎょうせい、9784324085943 学校保健･安全実務研究会、2014年、『新訂版　学校保健実務必携』、第一法規、9784474056732				
参考書	講義時に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			平時		平時	

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	養護教諭の執務の理解に役立ちます。特に、養護実習を希望する学生にとって、本演習で理解を深めておくと事前指導や養護実習と結びつけ、学習をより深化させることができます。

科目名	養護実践学演習	授業形態	演習	単位数	3
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美				

授業の目的		
	ねらい	養護実践とはどうあるべきでしょうか？ 本演習では、養護教諭として、教育活動として養護実践をどう進めるか、体験的に学びます。 養護実践に関し、法的根拠や効果に基づいた具体的内容および方法をアクティブラーニングの方法に基づいて学びます。
	到達目標	(1)共通理解を得られるような資料を準備できる。 (2)目的を持って、教育活動を展開できるようにする。 (3)養護実践の根拠を提示し、説明することができる。 (4)効果的な実践の方法を示すことができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション·本学習での目標設定·養護実践とは何か 【計画内容】養護実践について考え、教育活動としての養護実践について考えを深める。 【準備学習の内容】養護実践とは何か、調べておく。	A、B、L	第13回	【テーマ】特別な配慮を必要とする子どもへの対応① 【計画内容】養護教諭として、発達障害等の子どもや保護者にどう対応するか学ぶ。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んでおく。	A、B、L
	第2回	【テーマ】保健管理①学校保健計画の立案 【計画内容】教育活動としての学校保健を考え、学校保健計画を立案する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んでおく。	A、B、L	第14回	【テーマ】特別な配慮を必要とする子どもへの対応② 【計画内容】養護教諭として、慢性疾患を持つ子どもにどう対応するか学ぶ。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んでおく。	A、B、L
	第3回	【テーマ】保健管理②学校保健計画の検討 【計画内容】教育活動としての学校保健計画として適切か、検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んでおく。	A、B、L	第15回	【テーマ】特別な配慮を必要とする子どもへの対応③ 【計画内容】養護教諭として、アレルギーのある子どもにどう対応するか学ぶ。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んでおく。	A、B、L
	第4回	【テーマ】感染症予防に関する保健指導 【計画内容】感染症予防に関する保健指導について検討する。 【準備学習の内容】手洗いやうがいの効果や、感染症の特徴について調べ、まとめておく。	A、B、L	第16回	【テーマ】特別な配慮を必要とする子どもへの対応④ 【計画内容】養護教諭として、虐待等が疑われる子どもにどう対応するか学ぶ。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んでおく。	A、B、L
	第5回	【テーマ】応急処置に関する保健指導 【計画内容】応急処置に関する保健指導について検討する。 【準備学習の内容】子どもに、応急手当でしてはいけないことについて整理しておく。	A、B、L	第17回	【テーマ】記録の役割 【計画内容】子どもの健康課題解決のための記録の方法について検討する。 【準備学習の内容】記録の仕方や方法について調べ、まとめておく。	A、B、L
	第6回	【テーマ】保健室経営①経営案の策定 【計画内容】子どもの健康課題解決のための経営案について検討する。 【準備学習の内容】保健室経営の意義について理解を深めておく。	A、B、L	第18回	【テーマ】養護実践の教育的意義 【計画内容】これまでの学習を振り返り、あらためて養護実践とは何かを検討する。 【準備学習の内容】養護実践に関する定義に関し、考えを深めておく。	A、B、L
	第7回	【テーマ】保健室経営②経営案の策定 【計画内容】子どもの健康課題解決のための保健室の配置について検討する。 【準備学習の内容】保健室の設置基準等について把握しておく。	A、B、L	第19回	【テーマ】養護教諭の行う環境衛生と日常点検 【計画内容】具体的な環境衛生保全のための内容と方法について知る。 【準備学習の内容】環境衛生の目的、法的根拠についてまとめておく。	A、B、L
	第8回	【テーマ】学校保健計画①保健行事案 【計画内容】子どもの健康問題解決のための保健行事について検討する。 【準備学習の内容】学校保健計画立案について学習を深めておく。	A、B、L	第20回	【テーマ】養護教諭の研修 【計画内容】養護教諭の研修の必要性や研究の重要性について検討する。 【準備学習の内容】研修や研究の定義や法的根拠についてまとめておく。	A、B、L
	第9回	【テーマ】学校保健計画②保健指導の計画立案 【計画内容】子どもの健康問題解決のための保健指導について検討する。 【準備学習の内容】保健指導の意義や法的根拠について整理しておく。	A、B、L	第21回	【テーマ】養護教諭の研究 【計画内容】養護教諭の最新の研究動向や養護教諭として研究すべきテーマや方法について学ぶ。 【準備学習の内容】研修や研究の定義や法的根拠についてまとめておく。	A、B、L
	第10回	【テーマ】学校保健計画③保健組織活動の立案 【計画内容】子どもの健康問題解決のための保健組織活動の展開について検討する。 【準備学習の内容】保健組織活動のあり方について学習を深めておく。	A、B、L	第22回	【テーマ】養護実践の評価 【計画内容】養護実践についてどのような評価項目及び方法があるか検討する。 【準備学習の内容】評価について調べ、まとめておく。	A、B、L
	第11回	【テーマ】組織的な活動の進め方①校内連携 【計画内容】効果的な連携の方法や工夫について検討する。 【準備学習の内容】連携の意義について復習しておく。	A、B、L	第23回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】学習における成果と課題について検討し、今後の自己課題を把握する。 【準備学習の内容】自分の学習に関する成果と課題についてまとめておく。	A、B、L
	第12回	【テーマ】組織的な活動の進め方②校外連携 【計画内容】必要な機関や効果的な連携の方法、具体的な工夫について検討する。 【準備学習の内容】子どもの健康課題に応じて必要な関係機関を確認しておく。	A、B、L			

テキスト	三木とみ子、2009年、『四訂　養護概説』、ぎょうせい 学校保健·安全実務研究会、2014年、『新訂版　学校保健実務必携』、第一法規
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	[教]養教1種 _ 選択
その他	

科目名	健康相談活動演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美				

授業の目的		
	ねらい	保健室に「おなかが痛い」と言って訪れた子どもに、養護教諭として、あなたは何をしなければならないでしょうか？ どのように養護診断し、どう対応しなければならないでしょうか？ この講義では、養護教諭が行う健康相談活動の基本を理解した上で、子どもの観察や問診などを通して、養護診断を行い、子どもの抱える問題を把握することを体得することを目標とします。その上で、子どもに対して共感的態度を示しながら、子どもが解決できるよう具体的な支援の方法を提示する能力を養います。また、子どもへの最良の支援のために連携する関係者や専門機関への働きかけまでを、具体的な支援の範囲に含め、演習を行います。
	到達目標	(1)養護教諭の専門性を生かした健康相談活動を体得する。 (2)健康相談活動の過程を理解し、支援する能力を養う。 (3)子どもの訴えから、子どもが抱える問題を読み取る方法を体得する。 (4)健康相談活動の過程を理解したうえで、支援する能力を養う。 (5)子どもの様子から、子どもが抱える課題を読み取る能力を養う。 (6)具体的な支援方法を子どもに掲示できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】展開方法やほけんだより作成についての確認。保健室の環境調整をはかる。 【準備学習の内容】健康相談活動の定義について振り返り、学習に臨む。	A、B、L
	第2回	【テーマ】アセスメントの基本 【計画内容】養護教諭の行うアセスメントについて確認する。 【準備学習の内容】必要なアセスメント項目や方法を振り返り、学習に臨む。	A、B、L
	第3回	【テーマ】4月の保健室での対応 【計画内容】4月に腹痛や嘔気等を訴えて来室する子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】4月の学校生活等の理解を図り、腹痛等に対する基本的な対応を理解したうえで臨む。	B、F、L、N
	第4回	【テーマ】5月の保健室での対応 【計画内容】5月に頭痛を訴えて来室する子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】5月の学校生活等の理解を図り、頭痛に対する基本的な対応を理解したうえで臨む。	B、F、L、N
	第5回	【テーマ】6月の保健室での対応 【計画内容】6月に倦怠感を訴えて来室する子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】6月の学校生活等の理解を図り、倦怠感を訴える子どもに対する基本的な対応を理解したうえで臨む。	B、F、L、N
	第6回	【テーマ】7月の保健室での対応 【計画内容】7月に頭部打撲や目の打撲による傷病で来室した子どもへの対応を行う。緊急性の判断だけでなく訴えの背景を把握する。 【準備学習の内容】7月の学校生活等の理解を図り、頭部打撲や目の打撲を訴える子どもに対する基本的な対応を理解したうえで臨む。	B、F、L、N
	第7回	【テーマ】8月の保健室での対応 【計画内容】8月に四肢や手指の傷病で来室した子どもへの対応を行う。緊急性の判断だけでなく訴えの背景を把握する。 【準備学習の内容】8月の学校生活等の理解を図り、四肢や手指の傷病に対する理解を深めたうえで臨む。	B、F、L、N
	第8回	【テーマ】9月の保健室での対応 【計画内容】9月に胸部や腹部の傷病で来室した子どもへの対応を行う。緊急性の判断だけでなく訴えの背景を把握する。 【準備学習の内容】9月の学校生活について理解し、胸部や腹部の傷病に対する理解を深めたうえで臨む。	B、F、L、N
	第9回	【テーマ】10月の保健室での対応 【計画内容】10月に問題行動も含め、来室した子どもへの対応を行う。教育実践として対応できるようにする。 【準備学習の内容】子どもの問題行動に対する理解を深めたうえで臨む。	B、F、L、N
	第10回	【テーマ】11月の保健室での対応 【計画内容】11月に家庭の問題等を抱えて来室した子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】11月の学校生活について理解を深め、現在の経済状況等を理解したうえで臨み、教育職として対応できるようにする。	B、F、L、N
	第11回	【テーマ】12月の保健室での対応 【計画内容】12月に友人関係等の問題を抱えて来室した子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】12月の学校生活についての理解を深め、子どもの発達段階や交友関係について理解したうえで臨む。	B、F、L、N
	第12回	【テーマ】1月の保健室での対応 【計画内容】1月に、専門機関との連携を要する子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】1月の学校生活を理解し、専門機関との連携について理解を深めたうえで臨む。	B、F、L、N
	第13回	【テーマ】2月の保健室での対応 【計画内容】2月に、危機介入を必要とする子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】2月の学校生活を理解し、危機介入を必要とする事例等について理解を深めたうえで臨む。	B、F、L、N
	第14回	【テーマ】3月の保健室での対応 【計画内容】3月に、継続指導を考慮した子どもへの対応を行う。 【準備学習の内容】3月の学校生活等の理解を深め、継続指導を必要とする事例等について理解したうえで臨む。	B、F、L、N
	第15回	【テーマ】まとめと確認･健康相談活動の評価 【計画内容】前学期間の学習を振り返り、理解できたことをまとめる。課題レポートの確認を行う。 【準備学習の内容】演習内容を振り返り、自己課題について明確にして臨む。	A、H、L

テキスト	三木とみ子･徳山美智子、2007年、『健康相談活動の理論と実際』、ぎょうせい 初回講義時にプリントを配付します
参考書	講義時に紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		20%		40%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。オフィスアワーを積極的に活用してください。
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	講義のはじめに「心のコラム」を取り入れたほけんだよりを持参し、それをもとに保健指導を行います。

科目名	薬理概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中山　章				
授業の目的	ねらい	養護教諭は医薬品投与を受けている体調の悪い児童生徒と接する機会が多く、その理解が十分でなければ、効果的な対応は期待できない。すなわち、医薬品に対する生体側の応答を治療効果に限らず、その延長線上にある有害作用などに関する知識に関しても必要である。また保健室で使用する医薬品の働きに対し、副作用等の予知予見を行い、児童生徒を十分ケアできる指導者となることを目指すことを目的とする。			
	到達目標	(1)医薬品の生体への効果に関する基礎的知識を身につけると共に、保健室における実務に必要な知識を身につける。 (2)医薬品の特徴及びその用法を理解し、学校において使用される医薬品の取り扱いの認識を高める。 (3)家庭において、よく使用される医薬品についての知識を身につける。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス及び薬理概論 【計画内容】講義の具体的内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、薬とは何か、薬の役割を考えます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。			A
	第2回	【テーマ】消毒薬 【計画内容】消毒薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第3回	【テーマ】病気の原因を抑える薬･がんを抑える薬 【計画内容】病気の原因を抑える薬･がんを抑える薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第4回	【テーマ】痛みをとる薬･熱を下げる薬 【計画内容】痛みをとる薬･熱を下げる薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第5回	【テーマ】薬物体内動態、体内情報伝達機構･薬の作用機序 【計画内容】薬物体内動態、体内情報伝達機構、薬の作用機序、受容体について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第6回	【テーマ】中枢神経にはたらく薬 【計画内容】中枢神経に作用する薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第7回	【テーマ】末梢神経にはたらく薬 【計画内容】末梢神経に作用する薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第8回	【テーマ】オータコイドに関連する薬 【計画内容】オータコイドに関連する薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第9回	【テーマ】心臓･血管･血液にはたらく薬 【計画内容】心臓、血管、血液に作用する薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第10回	【テーマ】呼吸器にはたらく薬 【計画内容】呼吸器に作用する薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第11回	【テーマ】胃腸にはたらく薬 【計画内容】胃腸に作用する薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第12回	【テーマ】体内環境を整える薬 【計画内容】体内環境を整える薬について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの指定箇所を読んでおくこと。			A
	第13回	【テーマ】一般用医薬品 【計画内容】一般用医薬品について学びます。 【準備学習の内容】インターネット等を利用して、上記テーマについて調べておくこと。			A
	第14回	【テーマ】乱用される薬物 【計画内容】乱用される薬物について学びます。 【準備学習の内容】インターネット等を利用して、上記テーマについて調べておくこと。			A
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】講義の振り返り、まとめを行います。 【準備学習の内容】テキスト、筆記ノート及び配付プリント等について十分確認しておくこと。			L
テキスト	小山岩雄、2006年、『超入門 新薬理学』、照林社、9784796521260				
参考書	石井邦雄、2013年、『はじめの一歩のイラスト薬理学』、羊土社、9784758120456				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				50%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。 メールでの対応も可 E-Mail : anakayam@hoku-iryo-u.ac.jp
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	原則的には、教職課程(養1種)を履修する学生を受講対象にします。

科目名	看護技術演習(救急処置を含む)Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	丸岡　里香、畑江　郁子				

授業の目的		
	ねらい	養護実践学の基礎科目として、「看護技術演習Ⅰ」を基礎とした看護援助の科学的根拠を理解し具体的な技術を学ぶ。対象の情報から援助の必要をアセスメントし、日常生活の援助を提供することを目標とする。看護学臨床実習における病院実習の準備としても位置付けられる。
	到達目標	(1)看護援助の目的を理解することができる。 (2)援助技術の根拠を理解することができる。 (3)日常生活の援助技術を実践することができる。 (4)心肺蘇生法を理解し AED を使うことができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス・1. 移動・移送の援助①「歩行の介助」 【計画内容】移送の安全・安楽について基礎知識を学ぶ。歩行の介助、車いすや、松葉つえによる移送を経験する。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】「看護技術演習Ⅰ」の内容を復習しておく。	A、B
	第2回	【テーマ】1. 移動・移送の援助② 【計画内容】高齢者体験モデルや妊婦体験モデルを使用し実際の生活を想定した安全な援助を演習する。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「移送」を熟読のこと。	A、B
	第3回	【テーマ】1. 移動・移送の援助③ 【計画内容】車椅子の介助について車椅子の使用方法と留意点を学び演習する。移送時の危険を予測し危機回避のための方法を学ぶ。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】1.2回の内容を復習しておく。	A、B
	第4回	【テーマ】2. 応急処置：包帯法① 【計画内容】「看護技術演習Ⅰ」を基礎とした三角布、包帯を使用した応急処置について、原理原則を学び演習にてスキルを身につける。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】看護技術Ⅰ包帯法資料を復習のこと。	A、B
	第5回	【テーマ】2. 応急処置：包帯法② 【計画内容】前回の基本を元に、外傷の処置や固定について学び、演習にてスキルを身につける。身体の清潔に関する基礎知識を学ぶ。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】前回の演習内容を復習し、練習しておくこと。	A、B
	第6回	【テーマ】3. 衣生活に関する援助 【計画内容】衣生活の基礎知識と健康への影響を学び援助の留意点を身につける。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「衣生活」を熟読のこと。	A
	第7回	【テーマ】4. 身体の清潔の援助 【計画内容】身体の清潔を保ち向上させるために、身体の部位や清潔の程度に適した援助の方法を演習を通して理解する。 演習「手浴」(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「身体の清潔の援助」を熟読のこと。	A、B
	第8回	【テーマ】5. 与薬・吸入・吸引 【計画内容】与薬の援助について演習を通して理解する。医療的ケアと吸入・吸引の基礎知識を学び演習にて理解する。 医療的ケアを考慮した予薬・吸入・吸引についての演習を行う。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「与薬・吸入・吸引」を熟読のこと。	A、B
	第9回	【テーマ】6. 食事の援助 【計画内容】1. 食事の援助について基礎的知識の講義(丸岡里香) 2. 食事の援助に必要な観察や方法の留意点を考えながら演習を行い安全な援助を身につける。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「食事の援助」について熟読のこと。	A A、B
	第10回	【テーマ】7. 排泄の援助① 【計画内容】排泄に関する基礎知識を学び、理解する。排泄の援助として導尿について学び、理解を深める。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】解剖生理学「泌尿器科」を復習のこと。	A
	第11回	【テーマ】7. 排泄に関する援助②オムツ交換 【計画内容】排泄に関する生理学的作用について理解した援助について学ぶ。演習「オムツ交換」(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「排泄の援助」を熟読のこと。	A、B
	第12回	【テーマ】7. 排泄に関する援助③導尿 【計画内容】排泄に関する援助基本的技術と医療的ケアである自己導尿の介助について学ぶ。 演習「自己道尿の援助」(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】テキスト「導尿」を熟読のこと。	A、B
	第13回	【テーマ】8. 医療的ケア① 【計画内容】医療的ケアを必要とする子どもに対する援助について、必要な基礎知識と基礎技術を復習し、モデルケースから支援の方法を考える。」(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】医療的ケアについての資料を熟読する。	A、B
	第14回	【テーマ】8. 医療的ケア② 【計画内容】医療的ケアを必要とする子どもの日常生活での支援や学校における応急処置の実際とその後の搬送や連絡に関して、演習を展開して学ぶ。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】学校における緊急対応について復習しておく。	B
	第15回	【テーマ】総合演習と確認 【計画内容】基礎知識の理解の確認と技術の確認。(丸岡里香・畑江郁子) 【準備学習の内容】これまでの講義資料・演習ワークシートを振り返る。	B、L

テキスト	岡田加奈子ほか、2017年、『学校看護』、東山書房、9784827845009
参考書	大谷尚子、2013年、『養護教諭のためのフィジカルアセスメント2』、日本小児医事出版社、9784827815511

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%	30%			10%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)を活用してください。
資格	[教]養教1種 _ 選択
その他	「看護技術演習Ⅰ」の内容を基本とするため、「看護技術演習Ⅰ」を履修していることが望ましい。受講の人数によって予定テーマが前後することがある。

科目名	救急処置活動論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	丸岡　里香				

授業の目的		
	ねらい	救命救急の実際の活動について基礎的知識を学び、実技を身につけることを目的とする。そのために講義の中で実際の事例を用いてその原因･対応･事後処置をアセスメントし、養護教諭としてどのような知識や技術が必要であるかを確認する。また、教育的関わりとして身に付けた救急処置の技術を保健指導に取り入れ、子どもが自分のからだを守ることを目的とした指導を組み立てる。救急処置の対象として一般はもちろんのこと小児の救急処置の特徴を学ぶ事を重視する。
	到達目標	(1)救急処置についての原理･原則を学ぶ。 (2)救命救急処置を身につけ実施することができる。 (3)保健指導として救急処置方法の指導を実施することができる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･学校教育のなかの救急処置について 【計画内容】本学習の目標を確認し、学校教育で必要な救急処置の実際について学ぶ。 【準備学習の内容】最近の児童生徒の救急処置の事例を探しまとめておく。	A
	第2回	【テーマ】救急処置のエビデンス①外傷等 【計画内容】外傷時の救急処置を必要とする生理的な生体の変化とその回復について、これまで学んできた知識を復習しながら統合する。 【準備学習の内容】解剖生理学の循環器について復習しておく。	A、H、J
	第3回	【テーマ】救急処置のエビデンス②心停止等 【計画内容】心停止時の救急処置を必要とする生理的な生体の変化とその回復について、これまで学んできた知識を復習しながら統合する。 【準備学習の内容】「看護技術演習」の演習を復習しておく。	A、H、J
	第4回	【テーマ】救急救命処置演習の準備 【計画内容】救急処置の方法について基本的技術を確認し、実施方法を演習する。 【準備学習の内容】第2回、第3回の内容を復習しておく。	A、B、J
	第5回	【テーマ】救急救命演習① 【計画内容】心肺蘇生法、AED の使用法、止血法などの説明を受け、身につけるための演習を行う。 【準備学習の内容】第2回、第3回、第4回の内容を復習しておく。	A、B、J
	第6回	【テーマ】救急救命演習② 【計画内容】心肺蘇生法、AED の使用法、止血法などの方法を知り、身につけるための演習を行う。 【準備学習の内容】第2回、第3回、第4回の内容を復習しておく。	A、B、J
	第7回	【テーマ】救急救命演習③ 【計画内容】心肺蘇生法、AED の使用法、止血法などの方法を演習し、身につける。 【準備学習の内容】第2回、第3回、第4回の内容を復習しておく。	A、 B、J
	第8回	【テーマ】救急救命演習④ 【計画内容】心肺蘇生法、AED の使用法、止血法などの演習の効果測定を行い、実技の定着をはかる。 【準備学習の内容】第2回、第3回、第4回の内容を復習しておく。	A、B、H、J
	第9回	【テーマ】救急救命演習で学んだ知識と技術の復習 【計画内容】演習の学びを事例に適した方法で実践できるようにグループワークで計画を立てる。 【準備学習の内容】これまでの演習で学んだ知識と技術を確認しておく。	A、H、J
	第10回	【テーマ】救急処置の技術の定着を図る① 【計画内容】グループワークの発表を通して、それぞれの方法の確認をし評価する。 【準備学習の内容】個人の技術トレーニングをしておく。	A、F、H、J
	第11回	【テーマ】救急処置の技術の定着を図る② 【計画内容】グループワークの発表を通して、それぞれの方法の確認をし評価する。 【準備学習の内容】個人の技術トレーニングをしておく。	A、F、H、J
	第12回	【テーマ】救急処置の技術の定着を図る③ 【計画内容】グループワークの発表を通して、それぞれの方法の確認をし評価する。 【準備学習の内容】個人の技術トレーニングをしておく。	A、F、H、J
	第13回	【テーマ】救急処置の技術の定着を図る④ 【計画内容】グループワークの発表を通して、それぞれの方法の確認をし評価する。 【準備学習の内容】個人の技術トレーニングをしておく。	A、F、H、J
	第14回	【テーマ】救急処置の技術の定着を図る⑤ 【計画内容】グループワークの発表を通して、それぞれの方法の確認をし評価する。 【準備学習の内容】個人の技術トレーニングをしておく。	A、F、H、J
	第15回	【テーマ】全体を通したまとめ 【計画内容】講習や演習の発表を通して今後のスキルアップのための方法などを考える。 【準備学習の内容】これまでの全体を復習しておく。	A、F、H、J

テキスト	講義時に説明します
参考書	講習テキスト

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)で対応します。
資格	
その他	「看護技術演習Ⅰ」「看護技術演習Ⅱ」を履修済または履修中であることが望ましい。 学外での演習に参加することもあり、学内･学外とも演習の出席は単位認定のために必須である。

科目名	看護学臨床実習	授業形態	実習	単位数	4
教員名	丸岡　里香、畑江　郁子				

授業の目的

ねらい	養護実践学の基礎として、疾病や、障害についての医療や看護の知識やかかわりを学ぶ。そのために臨床での医療や看護の実践場面を見学し、学内での学びをより確実なものとすると共に、関連他職種の機能や役割を理解し、養護教諭として学校保健活動遂行時に必要な連携のあり方を学習する機会とする。
到達目標	(1)人間の発達及び健康レベルを理解することができる。 (2)疾病や障害への支援や連携について関連職種の機能や役割を理解することができる。 (3)健康に関して地域社会のなかで学校保健がどのような役割を持つかを理解することができる。

授業の計画

【計画内容】

第1回	講義ガイダンス:講義計画を説明し、この講義の目的と到達目標を確認する。受講に必要な学習準備と態度について伝える。「小児の発育と発達」についてこれまでの学習の統合を確認する。(丸岡里香)	A
第2回	事前学習①小児の発育と発達及び疾患についての事前学習の課題への取り組みを確認する。(丸岡里香･畑江郁子)	H
第3回	事前学習②前回の事前学習の不足を補い基礎知識を統合して考えられているかを確認する。(丸岡里香･畑江郁子)	H
第4回	事前学習③各実習施設の概要と役割をグループ学習にて調べる。(丸岡里香･畑江郁子)	H
第5回	事前学習④第4回のまとめをグループ毎に発表し各施設について共通理解する。(丸岡里香･畑江郁子)	F、H
第6回	事前学習⑤臨床実習診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第7回	事前学習⑥臨床実習各診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第8回	事前学習⑦臨床実習各診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第9回	事前学習⑧臨床実習各診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第10回	事前学習⑨臨床実習各診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第11回	事前学習⑩臨床実習各診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第12回	事前準備⑪臨床実習各診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第13回	事前学習⑫臨床実習の診療科について、主な疾患の解剖生理、病態、検査等をまとめ、全体に発表して共有する。(畑江郁子)	F、H
第14回	実習準備①実習要綱を説明し、見学実習や病院実習に必要な準備について確認する。これまでのグループ学習がどのようにかかわるのかを確認する。(丸岡里香)	A
第15回	事前学習⑬特別支援教育の現状やインクルーシブ教育の実際について調べ理解を深める。(丸岡里香)	A
第16回	特別講義①特別支援教育やインクルーシブ教育の現状について実際のお話を伺い学ぶ。(丸岡里香)	A
第17回	事前学習⑭特別講義の学びをグループ毎に発表し、見学実習時の留意点をまとめる。(丸岡里香)	H
第18回	事前学習⑮地域の保健センターの役割ついて事前学習し、見学の留意点や質問事項をグループワークによりまとめる。(丸岡里香)	H
第19回	見学実習①地域の保健センターを見学し、概要と組織機構、役割について説明を受け、実際の機能を知り、現状の理解を深める。(丸岡里香)	D
第20回	見学実習②地域の保健センターを見学し、準備した質問を通して理解を深める。(丸岡里香)	D
第21回	事前学習⑯地域の保健センターの見学からの学びをまとめ共有する。(丸岡里香)	H
第22回	実習準備②看護学臨床実習に臨む自己目標を作成する。日々の実習の記録の記載方法について説明し、実習の目標の到達方法を確認する。(丸岡里香)	A、K
第23回	特別講義②疾患を持った小児の生活と医療職の役割について医療職の立場からの講義を受ける。(丸岡里香)	H、M
第24回	事前学習⑰特別講義の学びをグループでまとめ医療職の役割を確認する。(畑江郁子)	H
第25回	事前学習⑱実習時のカンファレンスについて学び実際にロールプレイにより実施する。(丸岡里香)	F、H
第26回	事前学習⑲各グループのカンファレンスを見学し、評価をすることで留意点などを学ぶ。(丸岡里香･畑江郁子)	F、H
第27回	実習準備③実習病院を事前訪問し、概要などのオリエンテーションを受ける。(丸岡里香･畑江郁子)	M
第28回	実習準備④実習病院の事前訪問時に説明されたことの確認と、記録物の配付、連絡方法の確認。(丸岡里香･畑江郁子)	H、L
第29回	実習準備⑤最終的な実習中の諸注意の確認。(丸岡里香)	A
第30回	実習準備⑥実習激励会を行い実習の目的を再確認する。(丸岡里香･畑江郁子)	A
第31回	病院実習1-①学校保健と関係の深い診療科を見学し、疾患の診断過程や対応について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第32回	病院実習1-②病院を受診する対象に対する看護の実際について見学し理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第33回	病院実習1-③病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第34回	病院実習1-④見学した診療科の特色などをまとめ、学びを整理し学校保健との関連を考察する。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第35回	病院実習2-①学校保健と関係の深い診療科を見学し、疾患の診断過程や対応について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第36回	病院実習2-②病院を受診する対象に対する看護の実際について見学し理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第37回	病院実習2-③病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第38回	病院実習2-④見学した診療科の特色などをまとめ、学びを整理し学校保健との関連を考察する。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第39回	病院実習3-①学校保健と関係の深い診療科を見学し、疾患の診断過程や対応について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第40回	病院実習3-②病院を受診する対象に対する看護の実際について見学し理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第41回	病院実習3-③病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第42回	病院実習3-④見学した診療科の特色などをまとめ、学びを整理し学校保健との関連を考察する。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第43回	病院実習4-①学校保健と関係の深い診療科を見学し、疾患の診断過程や対応について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第44回	病院実習4-②病院を受診する対象に対する看護の実際について見学し理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第45回	病院実習4-③病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第46回	病院実習4-④病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第47回	病院実習5-①学校保健と関係の深い診療科を見学し、疾患の診断過程や対応について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第48回	病院実習5-②病院を受診する対象に対する看護の実際について見学し理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第49回	病院実習5-③病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第50回	病院実習5-④病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第51回	病院実習6-①学校保健と関係の深い診療科を見学し、疾患の診断過程や対応について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第52回	病院実習6-②病院を受診する対象に対する看護の実際について見学し理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第53回	病院実習6-③病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第54回	病院実習6-④病院で見られる疾患の病態生理や治療について理解を深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第55回	病院実習7-①病院実習での学びの中から、カンファレンスのテーマをグループで話し合い準備をする。	D
第56回	病院実習7-②実習のまとめをグループカンファレンスの中で共有し深める。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第57回	事後学習①病院実習での学びを統合し、実習の学び、疾患の学びをグループでまとめる。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第58回	事後学習②上記のまとめを報告会で発表する準備をする。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第59回	事後学習③:個人の報告を報告集にまとめ、実習報告会及び実習施設への報告の準備をする。(丸岡里香･畑江郁子)	D
第60回	実習報告会:見学実習で学びえたことを発表し合うことで、学びのまとめと今後の課題の明確にし、他の学生との学びの共有を行う。(丸岡里香･畑江郁子)	F

【準備学習の内容】
「看護学概論」、「看護学各論」、「看護技術演習」の内容を復習し、各グループ学習時の資料としてまとめること。

テキスト	岡田加奈子、2017年、『学校看護』、東山書房、9784827815511 早川浩、2012年、『テキスト子どもの病気』、日本小児医事出版社、9784889242195
参考書	山内豊明、2013年、『保健室で役立つフィジカルアセスメント』、東山書房、9784827815207

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%		30%	50%
補足			期限厳守を履修条件とする			合格点に達しない場合は履修の継続ができない

質問への対応	オフィスアワー:768研究室
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	「看護学概論」「看護学各論」「看護技術演習Ⅰ」を履修していることが望ましい。 受講にはこれまでの知識や理解が基本となり、講義開始までに復習し身につけていることを重視し、確認テストでは6割以上を合格とする。 見学実習の日程は施設の都合により変更することがある。短期間での貴重な学外実習の機会であり、出席･態度を重視する。全日出席厳守である。グループでの取り組み姿勢が実習成果に大きく影響することを自覚し、積極的な受講が望ましい。

科目名	養護教諭教育演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、畑江　郁子、丸岡　里香、大村　道子				
授業の目的	ねらい	子どもの健康課題解決のために効果的なことは何でしょうか。養護教諭として、明らかにしておきたいことは何でしょうか。 この演習では、特に調査研究の体験学習を通して、卒業研究に生かせる具体的な内容や方法を習得します。また、養護教諭としての研究能力につながるような基本的能力の獲得を目指します。			
	到達目標	(1)研究のイメージをつかむことができる。 (2)文献を読み、研究に活用することができる。 (3)研究計画を立て、検討できる。 (4)調査票を作成し、検討することができる。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション·本学習での目標設定 【計画内容】調査研究の必要性と意義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章·第2章を読んで臨みます。	A、B、H
第2回	【テーマ】調査研究のイメージをつかむ(1) 【計画内容】調査研究をどのように計画し、進めていくか、イメージをつかみます。テーマ設定·研究デザインの決定·調査票の形式や調査の依頼や回収について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んで臨みます。	A、B、H
第3回	【テーマ】調査研究のイメージをつかむ(2) 【計画内容】調査研究をどのように計画し、進めていくか、イメージをつかみます。データのチェックや入力、データ分析、結果の表示および分析作業について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んで臨みます。	A、B、H
第4回	【テーマ】文献購読(1) 【計画内容】読んだ文献のテーマ·背景·結果·考察等の要約をレジュメにまとめ、ひとりひとり発表し、全員で検討します。論文の種類等についても理解を深めます。 【準備学習の内容】興味関心のあるテーマに関する文献を読み、レジュメを作成して臨みます。	A、B、H
第5回	【テーマ】文献購読(2) 【計画内容】読んだ文献のテーマ·背景·結果·考察等の要約をレジュメにまとめ、発表して検討します。 【準備学習の内容】興味関心のあるテーマに関する文献を読み、レジュメを作成して臨みます。	A、B、F、H
第6回	【テーマ】文献購読(3) 【計画内容】読んだ文献のテーマ·背景·結果·考察等の要約をレジュメにまとめ、発表して検討します。 【準備学習の内容】興味関心のあるテーマに関する文献を読み、レジュメを作成して臨みます。	A、B、F、H
第7回	【テーマ】文献購読(4) 【計画内容】読んだ文献のテーマ·背景·結果·考察等の要約をレジュメにまとめ、発表して検討します。 【準備学習の内容】興味関心のあるテーマに関する文献を読み、レジュメを作成して臨みます。	A、B、F、H
第8回	【テーマ】研究計画書の作成 【計画内容】個別の研究計画書について討議し、グループで研究計画書を作成します。倫理的配慮について理解します。 【準備学習の内容】個別に研究計画書を作成して臨みます。	A、B、H
第9回	【テーマ】研究テーマの検討 【計画内容】グループ毎に設定した研究テーマとその背景や先行研究について発表し、検討します。 【準備学習の内容】テキストの第5章を読み、先行研究や参考となる資料をよく読んで臨みます。	A、B、F、H
第10回	【テーマ】研究方法の検討 【計画内容】グループ研究の具体的な研究方法や調査対象について発表し、検討します。 【準備学習の内容】テキストの第6章を読んで臨みます。	A、B、F、H
第11回	【テーマ】調査票の作成(1) 【計画内容】グループで作成した調査票を発表し、検討します。 【準備学習の内容】テキストの第7章を読み、調査票を作成して臨みます。	A、B、F、H
第12回	【テーマ】調査票の作成(2) 【計画内容】前回の検討を踏まえ、グループで修正した調査票を発表し、検討します。 【準備学習の内容】調査票を修正して臨みます。	A、B、F、H
第13回	【テーマ】調査票の作成(3) 【計画内容】前回の検討を踏まえ、グループでさらに修正した調査票を発表し、検討します。併せて、調査結果入力データ用の表を作成して検討します。 【準備学習の内容】調査票をさらに修正して臨みます。	A、B、F、H
第14回	【テーマ】調査の実施 【計画内容】作成した調査票を用い、実際に調査を行います。対象者に配付·回収し、データのチェックをします。 【準備学習の内容】対象者用に調査票を準備し、臨みます。	A、B、H
第15回	【テーマ】まとめと確認·身に付いた研究能力についての省察 【計画内容】研究について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A、B、F、H

テキスト	朝倉隆司、2013年、『養護教諭のための調査研究法入門』、少年写真新聞社、9784879814678 石村貞夫、2014年、『Excel でやさしく学ぶアンケート調査と統計処理〈2013年〉』、東京図書、9784489021909
参考書	浜田麻里·平尾得子·由井紀久子、1997年、『大学生と留学生のための論文ワークブック』、くろしお出版、9784874241271

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		討論、考察	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	養護教諭になる上で、また卒業研究に取り組む上で有意義な演習です。

科目名	養護教諭教育演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、畑江　郁子、丸岡　里香、大村　道子				

授業の目的		
	ねらい	子どもの健康課題解決のために効果的なことは何でしょうか。養護教諭として、明らかにしておきたいことは何でしょうか。 この演習では、「養護教諭教育演習Ⅰ」で行った調査の結果を考察し、研究発表として完成させます。この演習を通し、卒業研究に生かせる能力を向上させます。また、養護教諭としての研究能力につながるような基本的能力の獲得を目指します。
	到達目標	(1)データの適切な表示や分析ができる。 (2)考察を深めることができる。 (3)研究について報告書(抄録)に適切にまとめることができる。 (4)研究成果をわかりやすく発表することができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション·本学習での目標設定 【計画内容】学習目標を設定し、調査研究の発表までの計画を立てます。 【準備学習の内容】入力したデータの集計資料を作成して臨みます。	A、B、H
	第2回	【テーマ】統計の役割とデータの分析(1) 【計画内容】統計の役割を知り、データを統計的に分析することを学びます。データの平均値と分散、標準偏差等を求め、分析します。 【準備学習の内容】テキスト第8章を読み、データの集計資料を作成して臨みます。	A、B、H
	第3回	【テーマ】統計の役割とデータの分析(2) 【計画内容】データ分析したことがらを発表し、検討します。 【準備学習の内容】テキスト第8章を読み、データの集計資料を作成して臨みます。	A、B、H
	第4回	【テーマ】統計の役割とデータの分析(3) 【計画内容】前回の検討を生かし、さらに分析したことがらを発表し、検討します。 【準備学習の内容】テキスト第8章を読み、データの集計資料を作成して臨みます。	A、B、H
	第5回	【テーマ】統計的検定の考え方と進め方(1) 【計画内容】統計的検定の考え方と進め方について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第8章を読んで臨みます。	A、B、H
	第6回	【テーマ】統計的検定の考え方と進め方(2) 【計画内容】手順に沿って行った統計的検定の結果から考えられることを検討します。 【準備学習の内容】テキストの第8章を読んで臨みます。	A、B、H
	第7回	【テーマ】統計的検定の考え方と進め方(3) 【計画内容】前回の検討を生かし、統計的検定の結果から考えられることをさらに検討します。 【準備学習の内容】テキストの第8章を読んで臨みます。	A、B、H
	第8回	【テーマ】報告書(抄録)の作成(1) 【計画内容】報告書(抄録)の構成、作成のポイントについて学びます。 【準備学習の内容】テキストの第9章を読んで臨みます。	A、B、H
	第9回	【テーマ】報告書(抄録)の作成(2) 【計画内容】報告書(抄録)について、検討します。 【準備学習の内容】テキストの第9章を読み、報告書(抄録)を作成して臨みます。	A、B、H
	第10回	【テーマ】報告書(抄録)の作成(3) 【計画内容】前回の検討を生かし、報告書(抄録)をさらに検討します。 【準備学習の内容】テキストの第9章を読み、前回の検討を反映した報告書(抄録)を作成して臨みます。	A、B、H
	第11回	【テーマ】口頭発表の準備(1) 【計画内容】研究発表のための要点を確認し、検討します。 【準備学習の内容】テキストの第9章を読み、パワーポイント等を作成して臨みます。	A、B、H
	第12回	【テーマ】口頭発表の準備(2) 【計画内容】研究発表のための要点を確認し、検討します。 【準備学習の内容】テキストの第9章を読み、パワーポイント等を作成して臨みます。	A、B、H
	第13回	【テーマ】研究報告会の実施 【計画内容】研究成果を時間内にわかりやすく発表します。研究に対する質疑応答を活発なものにし、さらによい研究にできるよう理解を深めます。 【準備学習の内容】よりよい研究発表ができるよう準備を十分にして臨みます。	B、F、H
	第14回	【テーマ】今後の研究計画 【計画内容】卒業研究のテーマ等を念頭に、今後の研究の方向性について考えます。先輩学生から卒業研究のテーマや取組について話を聞き、ゼミ決定にも役立てます。 【準備学習の内容】対象者用に調査票を準備し、臨みます。	A、B、H
	第15回	【テーマ】まとめと確認·身に着いた研究能力についての省察 【計画内容】研究について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A、B、G、H

テキスト	朝倉隆司、2013年、『養護教諭のための調査研究法入門』、少年写真新聞社、9784879814678 石村貞夫、2014年、『Excel でやさしく学ぶアンケート調査と統計処理〈2013年〉』、東京図書、9784489021909
参考書	浜田麻里·平尾得子·由井紀久子、1997年、『大学生と留学生のための論文ワークブック』、くろしお出版、9784874241271

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		考察、討論	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	養護教諭になる上で、また卒業研究に取り組む上で有意義な演習です。

科目名	保健指導演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美				

授業の目的		
	ねらい	子どもの健康課題解決のための保健指導は、どのようにすればよいのでしょうか。本演習では、歯科保健指導を通し、体験的に学ぶことで、テーマ設定や教材作成、保健指導の進め方について、基本的な指導力を獲得します。 子どもの健康実態について分析し、効果的な保健指導を実践できるような能力を獲得できるよう目指します。
	到達目標	(1)効果的な保健指導のためのテーマを設定することができる。 (2)保健指導の効果的な導入・展開・まとめを考えることができる。 (3)効果的な保健指導のための教材を考え、作成することができる。 (4)保健指導を適切に評価することができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・保健指導の意義 【計画内容】保健指導の意義・目的、位置づけおよび法的根拠について学びます。 【準備学習の内容】保健指導の法的根拠等について調べ、臨みます。	A、L
	第2回	【テーマ】歯科保健に関する健康課題の把握 【計画内容】歯科保健における健康課題を把握し、保健指導のテーマを探究します。 【準備学習の内容】歯科保健における健康課題を調べ、臨みます。	A、F、L
	第3回	【テーマ】子どもの発育発達と歯科保健の健康課題 【計画内容】子どもの発育発達に応じた歯科保健における健康課題を把握し、保健指導のテーマを探究します。 【準備学習の内容】子どもの発育発達に応じた歯科保健における健康課題を調べ、臨みます。	A、F、L
	第4回	【テーマ】指導案作成(1) 【計画内容】保健指導の過程を考え、指導案を作成します。子どもの興味関心を喚起し、よりよい学習につながるような導入・展開・まとめを考えます。 【準備学習の内容】指導案の略案を作成して臨みます。	A、F、L
	第5回	【テーマ】指導案作成(2) 【計画内容】指導案の検討をします。子どもの興味関心を喚起し、よりよい学習につながるような導入・展開・まとめを考え、検討します。発達段階に応じた指導案になっているか検討します。 【準備学習の内容】指導案の略案を作成して臨みます。	A、F、L
	第6回	【テーマ】指導案作成(3) 【計画内容】指導案の検討をします。子どもの活発な学習となっているか、教師主導の展開となっていないか、検討します。 【準備学習の内容】指導案を作成して臨みます。	A、F、L
	第7回	【テーマ】教材作成(1) 【計画内容】指導内容に即したワークシート、掲示物等を作成できるよう考えます。 【準備学習の内容】教材作成について計画し、臨みます。	A、F、L
	第8回	【テーマ】教材作成(2) 【計画内容】発達段階に合ったワークシートや掲示物等か検討します。 【準備学習の内容】教材を作成して、臨みます。	A、F、L
	第9回	【テーマ】教材作成(3) 【計画内容】板書計画についても確認し、学年配当にあった漢字や正確な文字かどうかも確認します。 【準備学習の内容】板書計画を持参し、臨みます。	A、F、L
	第10回	【テーマ】保健指導の実際(1) 【計画内容】グループで計画した保健指導を実際に行い、評価します。 【準備学習の内容】準備を十分にして臨みます。	A、F、H、L
	第11回	【テーマ】保健指導の実際(2) 【計画内容】グループで計画した保健指導を実際に行い、評価します。前回の反省点が生かされているか確認します。 【準備学習の内容】準備を十分にして臨みます。	A、F、H、L
	第12回	【テーマ】保健指導の実際(3) 【計画内容】グループで計画した保健指導を実際に行い、評価します。前回の反省点が生かされ、よりよいものになるよう検討します。 【準備学習の内容】準備を十分にして臨みます。	A、F、H、L
	第13回	【テーマ】保健指導の実際(4) 【計画内容】保健指導を実際に行い、評価します。前回の反省点が生かされ、よりよいものになるよう検討します。 【準備学習の内容】準備を十分にして臨みます。	A、F、H、L
	第14回	【テーマ】保健指導の実際(5) 【計画内容】保健指導を実際に行い、評価します。これまでの反省点が生かされ、よりよいものになるよう検討します。 【準備学習の内容】準備を十分にして臨みます。	A、F、H、L
	第15回	【テーマ】まとめと確認・保健指導のまとめ 【計画内容】保健指導について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A、L

テキスト	学校保健・安全実務研究会、2014年、『新訂版学校保健実務必携』、第一法規出版、9784474056732 三木とみ子、2009年、『四訂 養護概説』、(株)ぎょうせい、9784324085943
参考書	文部科学省、2015年、『児童生徒の健康診断マニュアル』、日本学校保健会

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	

科目名	健康診断演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美				
授業の目的	ねらい	学校における保健管理の中核として、また、教育活動として、健康診断を運営するためには、どうすればよいのでしょうか。健康診断の意義・目的について理解を深め、円滑な健康診断を運営できるような能力を獲得します。			
	到達目標	(1)健康診断の意義・目的の理解を深める。 (2)具体的な測定方法を身につけることができる。 (3)健康診断実施要領を作成することができる。 (4)健康診断の事前指導・事後措置等を適切にできる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・健康診断の意義 【計画内容】健康診断の意義・目的、位置づけおよび法的根拠について学びます。 【準備学習の内容】健康診断の法的根拠等について調べ、臨みます。	A、L
	第2回	【テーマ】健康診断の過程および項目を把握する 【計画内容】健康診断の実施過程を把握し、健康診断の事前準備や項目について学びます。 【準備学習の内容】『養護概説』をよく読み、健康診断の実施過程を学んで臨みます。	A、F、H、L
	第3回	【テーマ】健康診断の記録用紙・保健調査票の作成 【計画内容】健康診断結果の記録および保健調査について学び、用紙を作成します。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第4回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(1) 【計画内容】身長・体重の測定方法、受け方の指導について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第5回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(2) 【計画内容】視力検査の測定方法、受け方の指導について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第6回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(3) 【計画内容】聴力検査の測定方法、受け方の指導について学びます。聴力損失デシベルの出し方についても学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第7回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(4) 【計画内容】歯科検診の準備、受け方の指導、記録について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第8回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(5) 【計画内容】耳鼻咽喉科検診の準備、受け方の指導、記録について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第9回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(6) 【計画内容】心電図検診の準備、受け方の指導、記録について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第10回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(7) 【計画内容】尿検査の準備、受け方の指導、記録について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第11回	【テーマ】健康診断の実施内容について学ぶ(8) 【計画内容】内科健診の準備、受け方の指導、記録について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第12回	【テーマ】健康診断票の記入について学ぶ 【計画内容】健康診断票の記録の方法、記録したことの意味について学びます。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第13回	【テーマ】健康診断実施要領の作成(1) 【計画内容】円滑な健康診断が実施できるよう、健康診断実施要領を作成します。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第14回	【テーマ】健康診断実施要領の作成(2) 【計画内容】作成した健康診断実施要領を検討します。 【準備学習の内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A、F、H、L
	第15回	【テーマ】まとめと確認・健康診断のまとめ 【計画内容】健康診断について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A、F、G、H、L

テキスト	学校保健・安全実務研究会編著、2014年、『新訂版学校保健実務必携(第3次改訂版)』、第一法規出版、9784474028630 三木とみ子、2009年、『四訂 養護概説』、(株)ぎょうせい、9784324085943
参考書	文部科学省監修、2015年、『児童生徒の健康診断マニュアル 改訂版』、日本学校保健会

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	生徒指導論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				

授業の目的		
	ねらい	生徒指導は、児童・生徒の人格の健全な育成を図るため、全教育活動において行われるものであり、学校教育においては、教科指導と車の両輪としての意義を持っている。本講義では、非行や問題行動への対応ばかりではなく、積極的に教科、学級(HR)、学年、学校全体の教育活動に携わる望ましい生徒指導、進路指導の在り方を学習する。 生徒指導は、小学校、特別支援学校、および幼稚園・保育園においても教員として欠かすことのできない重要な教育技法であるため、初等教育における開発的、発達援助的な生徒指導のあり方や進路指導のあり方についての基本を理解することが肝要である。
	到達目標	(1)生徒指導の教育的意義や目的、基本原理や機能を理解する。 (2)全学校種における生徒理解のあり方、個に応じた望ましい指導の実践力を身につける。 (3)個と併せて集団指導のあり方を理解する。 (4)今日的な課題の多様な問題行動に、養護教諭として適切に対応できる資質能力を身につける。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の目的と進め方を説明する。生徒指導の導入として、文部科学省から出された『生徒指導提要』に基づき生徒指導の教育的意義を学習する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】生徒指導の範囲・生徒指導の基本原理 【計画内容】学校教育における生徒指導の範囲、基本原理について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】個別指導について 【計画内容】児童生徒個々の心情や生育環境など理解することが、生徒指導にとってきわめて重要なことであることを確認する。特に、保健室・養護教諭の役割が大きなことを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】集団指導について 【計画内容】集団指導の方法や課題を理解する。個別指導と集団指導をバランスよく取り入れていくことが肝要であるが、突き詰めれば集団指導は個別指導に他ならないことを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】生徒指導と道徳や特別活動との関わり 【計画内容】生徒指導と各教科とのつながりを学習する。中でも道徳や特別活動との関わりが深いことを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】学校組織と生徒指導 【計画内容】学校組織内で生徒指導に果たす教師間の連携について学習する。養護教諭の果たす役割が大きいことを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】生徒指導体制のあり方 【計画内容】学校組織内で生徒指導をいかに潤滑に行うか、校務分掌間の関連を学習する。 【準備学習の内容】これまでの学習内容をよく復習し理解をしておくこと。	A
	第8回	【テーマ】これまでの学習のまとめとして　グループ・ワーク 【計画内容】これまでの学習を踏まえて、論点を出し合い、グループワークを行う。11回からの学生によるプレゼンテーションの説明をする。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第9回	【テーマ】生徒指導の現代的課題と問題行動 【計画内容】児童生徒の問題行動が社会の影響を強く受けるものであることを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】生徒指導に関するケース・スタディ(養護教諭) 【計画内容】いじめ、不登校、万引きなど、具体的な問題の事例について、養護教諭としての対応を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	J
	第11回	【テーマ】学校におけるいじめについて　プレゼンテーション 【計画内容】主にいじめを取り上げ、現在の学校現場でのいじめの状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第12回	【テーマ】学校における不登校について　プレゼンテーション 【計画内容】主に不登校を取り上げ、学校現場での不登校の状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第13回	【テーマ】いじめ、不登校のまとめ、振り返り 【計画内容】いじめや不登校の対策として地域、家庭、関係専門機関との連携の重要性について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第14回	【テーマ】小・中・高等学校におけるキャリア教育① 【計画内容】キャリア教育推進の方針について学習する。特に、初等教育から段階的にキャリア教育を実施すべきであるとした方針について理解を深める。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A
	第15回	【テーマ】小・中・高等学校におけるキャリア教育②、総合的な振り返り 【計画内容】各発達段階で必要な経験を確認し、児童生徒に有効な支援を実施できるようにする。 【準備学習の内容】これまでの学習について復習し、使用したプリントを持参する。	H

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、『生徒指導提要』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	70%		20%		10%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	他の科目と同時に重要な内容を含んでおります。理論と事例を取り交ぜますので、しっかり取り組んで学習をしてください。

科目名	養護実習事前指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	今野　洋子、佐藤　朱美				
授業の目的	ねらい	養護実習に臨むにあたり、どのような準備をすればよいのでしょうか。 養護実習は、養護教諭になり、養護教諭として成長していくための基礎・基本を学ぶ大切な機会です。 養護実習の意義を理解し、準備を十分にすることによって、有意義な養護実習となるよう努めます。			
	到達目標	(1)養護実習の意義を理解する。 (2)養護実習の内容について説明できる。 (3)養護教諭の職務と保健室について理解する。 (4)養護実習の評価項目および方法について学ぶ。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・養護実習の意義 【計画内容】養護実習の意義・目的、位置づけおよび法的根拠について学びます。 【準備学習の内容】養護実習の意義について調べ、臨みます。			A、L
	第2回	【テーマ】養護実習における実習生の心構え・取組 【計画内容】養護実習における実習生の心構えについて理解を深めます。養護実習の内容、実習方法等について学びます。 【準備学習の内容】『養護実習報告集』等を熟読し、臨みます。			A、F、L
	第3回	【テーマ】学校教育計画や学校組織の理解 【計画内容】学校の教育計画や学校組織(校務分掌)、学校保健計画や学校保健組織等について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第4回	【テーマ】子どもの学校生活と環境についての理解 【計画内容】子どもにとっての学校生活、学校の日課、学校行事等について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第5回	【テーマ】養護教諭の職務と保健室についての理解 【計画内容】養護教諭の職務と保健室についての理解を深め、養護実習での課題を明らかにします。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第6回	【テーマ】子どもの心身の健康管理のための活動(1) 【計画内容】子どもの心身の健康の保持増進をはかることができるよう、健康管理のための活動について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第7回	【テーマ】子どもの心身の健康管理のための活動(2) 【計画内容】子どもの心身の健康の保持増進をはかることができるよう、健康相談活動や健康相談、感染症予防のための活動について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第8回	【テーマ】保健室来室者への対応(1) 【計画内容】頭痛や腹痛等、さまざまな訴えで来室する子どもへの対応について、学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第9回	【テーマ】保健室来室者への対応(2) 【計画内容】倦怠感等、さまざまな訴えで来室する子どもへの対応について、学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第10回	【テーマ】救急処置の実際 【計画内容】保健室での救急処置について、体験的に学びます。 【準備学習の内容】救急処置のテキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第11回	【テーマ】集団対象の健康教育(1) 【計画内容】集団保健指導の機会と内容、指導の実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第12回	【テーマ】集団対象の健康教育(2) 【計画内容】保健学習と内容、指導の実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第13回	【テーマ】実習日誌の書き方・記録の仕方 【計画内容】実習日誌の書き方を学び、省察したことがらを日々の実習にいかせるよう学びます。記録の仕方についても学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第14回	【テーマ】養護実習の評価 【計画内容】養護実習の評価の観点や方法について学びます。 【準備学習の内容】テキストをよく読んで、臨みます。			A、F、L
	第15回	【テーマ】まとめと確認・養護実習事前指導のまとめ 【計画内容】学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握し、養護実習までの改善方法について考えます。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。			A、F、G、L
テキスト	大谷尚子ほか、2015年、『改訂養護実習ハンドブック』、東山書房、9784827815429				
参考書	プリントを使用します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%				30%	
	補足						

質問への対応	オフィスアワーを活用してください。
資格	[教]養教1種 _ 必修
その他	

科目名	音楽鑑賞法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千葉　圭説				

授業の目的		
	ねらい	音楽は記憶の芸術である。音楽の記憶は日常生活の場面と結びつく視覚につながることが多く、音楽によって様々なシーンを連想させることもある。劇音楽やバレエ音楽は、まさにその効果を期待したものである。すべての音楽が直接情景を思い浮かべられる事を意図したものではないが、何らかの現象や情景を漠然と思い描かせるものである。名曲を鑑賞するとき、より深い理解と楽しみ方を得るために必要な知識と手段を作品の解説や作品の生まれた背景、演奏楽器の興味深い話を交えながら研究する。
	到達目標	(1)音楽の鑑賞は、記憶の学問であるから単に快楽的な鑑賞にとどめてはいけない。学術的分析方法を学ぶ。 (2)芸術的な名曲はその時代の歴史的時代を要約し、普遍的な真実を語ることを認識する。 (3)この講義では、楽譜を見ながら諸作品を鑑賞し、そのための分析法「楽曲アナリーゼ」を身につける。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】中世から近代までの名曲を鑑賞教材にする15講義の概要と鑑賞教材を説明します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第2回	【テーマ】中世とルネサンス音楽Ⅰ 【計画内容】グレゴリオ聖歌の特徴と魅力を探り、宗教音楽の祈りの音楽形式を探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第3回	【テーマ】中世とルネサンス音楽Ⅱ 【計画内容】音楽における中世世界の投影を認識し初期の多声音楽を分析し、西洋音楽の始動を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第4回	【テーマ】中世とルネサンス音楽Ⅲ 【計画内容】教会音楽の変容を認識し、カデンツ(終止形)の成立を検証します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第5回	【テーマ】バロック音楽Ⅰ 【計画内容】バロック音楽における拍子の発見を知ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第6回	【テーマ】バロック音楽Ⅱ 【計画内容】バロック時代最大の音楽家、J.S. バッハの作品を検証し、その実像を探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第7回	【テーマ】バロック音楽Ⅲ 【計画内容】バッハによるバロック音楽の集大成とは何かを探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第8回	【テーマ】古典派の音楽Ⅰ 【計画内容】バッハの器楽作品を鑑賞し、シンフォニーとソナタの始動を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第9回	【テーマ】古典派の音楽Ⅱ 【計画内容】モーツァルトの作品を分析し、古典派のソナタ形式の原理を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第10回	【テーマ】古典派の音楽Ⅲ 【計画内容】モーツァルトの作品を分析し、モーツァルト的な音楽とは何かを探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第11回	【テーマ】古典派の音楽Ⅳ 【計画内容】ベートーヴェンのピアノ作品を分析し、器楽作品におけるソナタ形式の最終回答を探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第12回	【テーマ】ロマン派の音楽Ⅰ 【計画内容】シューベルトの歌曲「魔王」を分析しロマン派の表現領域を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第13回	【テーマ】ロマン派の音楽Ⅱ 【計画内容】19世紀に花開いたピアノ音楽を分析し、ソナタ形式の変容を認識します。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第14回	【テーマ】ロマン派の音楽Ⅲ 【計画内容】ブラームス、ワーグナーの作品を分析し、音楽のテーマ、始動動機とは何かを探ります。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読し、鑑賞教材の CD などを聴いておくこと。
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】聴いてきた鑑賞教材を聴取し、その音楽の分析を文章で論じます。 【準備学習の内容】事前配付資料を読んでおくこと。必ず持参すること。

テキスト	講師作成プリント
参考書	田村和紀夫、2006年、『名曲が語る音楽史』、音楽之友社 文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				60%	
	補足						

質問への対応	講義時に随時行います。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	この講義は、楽典などの学問的な知識を習得していることが条件であるので、学生は事前に学んでおくこと。

科目名	音楽史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	鈴木　しおり、千葉　圭説				

授業の目的		
	ねらい	西洋音楽史の8講義は、現代の音楽にいたる道のりをバロック、古典派、ロマン派、近代等の時代を認識し、各時代の音楽的特徴と音楽が生まれた背景を踏まえてその時代の作曲家の作品にふれながら、その人となりに関するエピソードを交えて進めていく。さらに日本音楽史6講義においては伝統音楽及びアジア民族の音楽を鑑賞しながら雅楽、琵琶、三味線、尺八、箏などの楽器を中心に、歌舞伎、能狂言、文楽などの舞台芸術から、日本独自の音楽の歴史を学ぶ。
	到達目標	(1)この講義では、過去の歴史のためにではなく、生きた音楽のために音楽史の研究を行う。 (2)世界中の音楽の相互関係を明らかにする。 (3)音楽史の内容を他者に伝えられる知識を得る。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】15回の講義概要を紹介し、西洋音楽史8回と日本音楽史6回の課題を説明する。(鈴木しおり・千葉圭説) 【準備学習の内容】事前に配付する、各回の講義テキストを熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】「西洋音楽史」序：人間と音楽 【計画内容】西洋音楽の起源と機能などを古代ギリシャ哲学者たちの音楽観から学ぶ。(千葉圭説) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】ルネサンス・中世時代 【計画内容】中世の教会音楽を中心にグレゴリオ聖歌から多声音楽への推移を検証する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】グレゴリオ聖歌の CD を聴くこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】バロック時代Ⅰ 【計画内容】バロック音楽の作曲上の発明工夫を検証する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】バロック音楽 CD を聴いておくこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A、K
	第5回	【テーマ】バロック時代Ⅱ 【計画内容】バッハの音楽作品を中心に各国との比較・影響を学ぶ。(千葉圭説) 【準備学習の内容】バッハの音楽作品 CD を聴いておくこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A、L
	第6回	【テーマ】古典派の時代 【計画内容】ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの作品と人となりに触れながら、ヨーロッパ各国の音楽事情を学ぶ。(千葉圭説) 【準備学習の内容】ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの音楽作品 CD を聴いておくこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】ロマン派Ⅰ 【計画内容】シューベルト、シューマンの作品を中心に多くの芸術家たちの活動を認識する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】シューベルト、シューマンの音楽 CD を聴くこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】ロマン派Ⅱ 【計画内容】ブラームス、ワーグナーを中心にヨーロッパ各国の音楽事情を認識する。(千葉圭説) 【準備学習の内容】ブラームス「子守唄」、ワーグナー「トリスタンとイゾルテ」を聴くこと。事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第9回	【テーマ】西洋音楽史のまとめ 【計画内容】西洋音楽史についてのまとめを行う。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】「日本音楽史」 【計画内容】300年から1000年頃までの日本音楽の動きと、大陸音楽からの影響を学ぶ。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第11回	【テーマ】雅楽、能・狂言 【計画内容】1000年から1500年までの日本音楽事情を雅楽、能・狂言を中心に検証する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第12回	【テーマ】近世の三味線音楽文化 【計画内容】1500年から1868年までの日本音楽事情を、三味線音楽である文楽、歌舞伎を中心に検証する。 (鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第13回	【テーマ】近代の日本の音楽事情 【計画内容】1868年から1945年までの明治政府による西洋音楽の導入事情を認識する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A
	第14回	【テーマ】日本の現代邦楽 【計画内容】1945年以降の日本音楽の推移を認識し、新しい邦楽を考える。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A、L
	第15回	【テーマ】日本音楽のまとめ 【計画内容】日本音楽史における雅楽、能・狂言、文楽、歌舞伎、または尺八、琵琶、等々の楽器から一つ選び、それについてのレポートを作成する。(鈴木しおり) 【準備学習の内容】事前配付のテキストを熟読しておくこと。	A、G

テキスト	西川浩平、『邦楽入門』、ヤマハミュージックメディア 文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』
参考書	共著、2006年、『初めての音楽史』、音楽之友社 田中健次、2008年、『図解音楽史』、東京堂出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

質問への対応	随時講義上で対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	教職課程を履修する学生が受講対象であるが、一般学生も歓迎する。受講学生は活字による知識ばかりでなく、生の演奏や音楽 CD、DVD の鑑賞などで音楽的知識を得ること。また、授業内容の順番は入れ替わることがある。

科目名	和声学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菅原　克弘				
授業の目的	ねらい	和声の基礎知識を身につけること。具体的には音楽の調性の基本となる主要三和音、その他いくつかの和音について、それぞれの基本形や転回形を把握し、和音連結の実習を通じて初歩的な和声の構造を学びます。また簡単なメロディに和声法にのっとった基本的な和音をつけられるようになることで、楽曲構造の理解を深めます。場合に応じて音楽作品の一部を引用し、それらのアナリーゼ(分析)を行います。			
	到達目標	(1)初歩的な和声の構造を理解できるようになること。 (2)簡単なメロディに和声法にのっとった基本的な和音をつけられるようになること。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容の紹介、講義展開の説明。音楽の3要素を基に、和声の役割について考える。 【準備学習の内容】楽典を振り返り、音楽の3要素について理解しておくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】和声分析の基礎①　音階と3和音、7の和音の種類 【計画内容】和声分析練習を通して、調と3和音、7の和音の関係について、基本形、転回形を含め理解する。 【準備学習の内容】楽典を振り返り、各種音程と音階の種類について確認しておくこと。	A、D、K、L
	第3回	【テーマ】和声分析の基礎②　終止、機能、カデンツについて 【計画内容】和声分析を通して、終止、機能、カデンツについて理解を深める。 【準備学習の内容】和声分析の課題を実施し、期日までに提出しておくこと。	A、D、K、L
	第4回	【テーマ】基本位置3和音の配置について 【計画内容】和声課題の実施例を基に、各声部の音域や声部間の距離を理解し基本位置3和音の配置について理解する。 【準備学習の内容】前時で学んだ終止、機能、カデンツについて復習しておくこと。	A、D、K
	第5回	【テーマ】基本位置3和音の配置と連結について 【計画内容】基本位置主要3和音の四声体配置と連結方法について、練習課題を通じて理解を深める。 【準備学習の内容】和声連結の基本となる配置について、前時に配付する資料を熟読しておくこと。	A、D、K
	第6回	【テーマ】和声課題(四声体)の実施方法について① 【計画内容】基本位置主要3和音の四声体連結について、和声課題(四声体)を通じて進行の禁則を理解する。 【準備学習の内容】課題を実施し期限までに提出しておくこと。	A、D、K
	第7回	【テーマ】和声課題(四声体)の実施方法について② 【計画内容】基本位置3和音(主要3和音以外を含む)の四声体連結について、和声課題(四声体)を通じて進行の禁則を理解する。 【準備学習の内容】課題を実施し、期限までに提出しておくこと。	A、D、K
	第8回	【テーマ】和声課題(四声体)の実施方法について③ 【計画内容】基本位置3和音の四声体連結について、和声課題(四声体)を通じて更に進行の禁則を理解する。 【準備学習の内容】課題を実施し、期限までに提出しておくこと。	A、D、K
	第9回	【テーマ】カデンツ(終止形)について 【計画内容】和音機能に基づくカデンツの種類を理解し、四声体和声連結課題の実施方法を理解する。 【準備学習の内容】3種の和音機能を復習しておくこと。	A、D、K、L
	第10回	【テーマ】カデンツ(終止形)の連結について 【計画内容】完全終止・不完全終止・偽終止・変格終止など各種カデンツの理解を深め、その連結について理解を深める。 【準備学習の内容】前時の課題を実施し、期限までに提出しておくこと。	A、D、K
	第11回	【テーマ】各種の調におけるカデンツについて 【計画内容】四声体和声連結課題の実施を通して、各種の調におけるカデンツを理解する。 【準備学習の内容】楽典を基に各種の調について復習しておくこと。	A、D、K
	第12回	【テーマ】メロディと和声(伴奏)の基本的関係について 【計画内容】曲例を用いたカデンツの分析により、非和声音の理解を通してメロディと和声の関係を理解する。 【準備学習の内容】楽典を基に非和声音の種類について確認しておくこと。	A、D、K
	第13回	【テーマ】メロディ(非和声音)と和声(伴奏)について 【計画内容】メロディに含まれる非和声音の理解を通して、和声法に沿った基本的な和声付けを理解する。 【準備学習の内容】前時に配付されたプリントを基に、メロディと和声の関係を予習しておくこと。	A、D、K
	第14回	【テーマ】音楽形式を含む楽曲分析について 【計画内容】和声分析を軸に音楽形式を含む楽曲分析の方法について理解する。 【準備学習の内容】楽典を基に音楽形式について予習しておくこと。	A、D、K
	第15回	【テーマ】学習内容のまとめと振り返り 【計画内容】四声体和声連結課題の実施方法を含め、カデンツ連結及び和声(伴奏)付けについて理解を深める。 【準備学習の内容】前時の課題を期限までに提出し、これまでの学習内容を振り返っておくこと。	A、D、K、L

テキスト	島岡譲、1996年、『和声ー理論と実習Ⅰー』、音楽之友社、9784276102057 適宜プリントを使用する
参考書	佐怒賀悦子、2015年、『演奏につなげる和声 入門ワーク』、ヤマハミュージックメディア、9784636904406 島岡譲、2012年、『和声と楽式のアナリーゼ』、音楽之友社、4276102138 適宜プリントを使用する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%		50%		30%	
	補足	四声体和声連結課題		和声や確認課題の成果		予習復習など積極性	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	第16回に最終確認テストを実施します。

科目名	作曲法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菅原　克弘				

授業の目的	ねらい	音楽の理論面についての学習が演奏や指導に根拠を与えるためにも不可欠であることを理解し、曲が作られるための基礎的な理論を習得する。調性や音階などの初歩知識をふまえ、音楽構成の要である和声法をもとに旋律と歌詞との関係を理解し、自作メロディへの伴奏付けや編曲に必要な知識を深めることにより、音楽現場での実践につながる即応力を養うことを目的とする。
	到達目標	(1)音楽に理論的な側面があることを理解する。 (2)音楽の要素、構成などについて理解する。 (3)自作メロディへの簡単な和音づけができる。 (4)編曲に必要な知識を理解する。

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容の紹介、講義展開の説明。「作曲」という音楽活動とはどのようなものか、理解する。 【準備学習の内容】音楽活動には「作曲」以外にどのようなものがあるか、考えておくこと。	A
第2回	【テーマ】作曲活動の基礎となる楽典や和声法の基礎について 【計画内容】これまでに学んだ音楽的基礎理論(楽典や和声法)の理解度について確認し、作曲に必要な基礎力を培う。 【準備学習の内容】今後の講義の土台となる、楽典や和声法の基礎について復習をしておくこと。	A、K
第3回	【テーマ】言葉とリズムの関係について 【計画内容】言葉や詩を声に出して朗読することにより、言葉と声の高さ(抑揚)やリズムとの関係性を理解する。 【準備学習の内容】前時に提示された詩について、声を出して朗読しておくこと。	A、D、K
第4回	【テーマ】言葉や詩をメロディとして表現する 【計画内容】音の高さやリズムを工夫し、言葉や詩をメロディとして表現してみる。 【準備学習の内容】これまでに学んだ「言葉や詩と音の高さやリズムとの関係性」について復習しておくこと。	A、D、K
第5回	【テーマ】メロディを変化させる方法について 【計画内容】メロディを変化させる方法(リズム、拍子、調性など)について理解する。 【準備学習の内容】前回作成のメロディを完成させておくこと。	A、D、K
第6回	【テーマ】作品発表① 【計画内容】それぞれが創ったメロディについて自分の工夫を発表したり、他人の作品を鑑賞し感想を述べることにより、自分の特徴や今後工夫すべき点などを理解する。 【準備学習の内容】メロディを変奏させて創作し、期限までに提出しておくこと。	A、F、L
第7回	【テーマ】オリジナルメロディーの創作と変奏 【計画内容】提示された動機を基に、形式にのっとったオリジナルメロディを創り、更に各種変奏に取り組む。 【準備学習の内容】音楽の形式と各種変奏方法を復習しておくこと。	A、D
第8回	【テーマ】移調課題への取り組み 【計画内容】編曲時に必要となる移調について理解を深め、メロディの移調を行う。 【準備学習の内容】移調楽器についてどのようなものがあるか調べておくこと。	A、D、K
第9回	【テーマ】作品発表② 【計画内容】第7·8回の講義を通じて完成させた作品を発表し合い、知識と作曲技術の向上を図る。 【準備学習の内容】作品を完成させ、期限までに提出しておくこと。	A、F、L
第10回	【テーマ】メロディに伴奏(和声)付けする方法について 【計画内容】各種カデンツを含め和声学で学んだ知識を生かし、メロディに伴奏(和声)付けをする方法について理解する。 【準備学習の内容】カデンツを中心に和声学で学んだことを復習しておくこと。	A、K
第11回	【テーマ】楽曲構造の理解とオリジナルメロディの創作 【計画内容】動機や小楽節、大楽節、各種形式について理解を深め、オリジナルメロディを創作する。 【準備学習の内容】楽典で学んだ楽曲構造や各種形式について復習しておくこと。	A、D
第12回	【テーマ】オリジナルマーチの創作 【計画内容】前時に創作したオリジナルメロディを基に、マーチ形式の作品に発展させる。 【準備学習の内容】期限までにオリジナルメロディを提出しておくこと。	A、D、L
第13回	【テーマ】オリジナルマーチへの伴奏(和声)付け 【計画内容】完成したオリジナルマーチのメロディに、和声法を意識した伴奏付けを行う。 【準備学習の内容】調性とカデンツについて復習しておくこと。	A、D、L
第14回	【テーマ】オリジナルマーチの完成 【計画内容】序奏やコーダなどを含め、形式にのっとったオリジナルマーチを完成させる。 【準備学習の内容】伴奏(和声)付けを完成させ、序奏やコーダについても考えておくこと。	A、D、L
第15回	【テーマ】これまでのまとめと振り返り及びオリジナル作品の完成 【計画内容】完成させた作品を聴き合い、それぞれの工夫を感じ取り、オリジナル作品の曲名を決めて最終提出する。 【準備学習の内容】どのような編成(楽器)で演奏して欲しいか、そのための編曲方法について考えておくこと。	A、F、L

テキスト	適宜プリントを使用します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領芸術編』
参考書	中田義直、2013年、『新版　実用和声学ー旋律に美しい和音をつけるためにー』、音楽之友社、9784276102101 青島広志、2011年、『誰にでもできるやさしい作曲術』、マガジンハウス、9784838723744 適宜プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%		30%	30%	30%	
補足	和声の知識など確認		作品発表への課題取組	最終作品の完成度	講義での発言等取組態度	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中·高1種(音楽)_必修
その他	「楽典」と「和声学」の単位を取得の上、履修するようにして下さい。 第16回に最終的に完成させた作品の発表及びまとめを行います。

科目名	合唱Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	石田　久大				

授業の目的	
ねらい	文部科学省学習指導要領では、中・高の音楽科科目指導者は「歌唱」「器楽」「鑑賞」と指導内容が置かれています。歌唱において声を合わせ、心を合わせ、協力し合いながら合唱の形を創ります。この講義では歌う姿勢、呼吸法と発声法、表現力などの習得、加えて教会音楽、音楽と精神性の関わりについての理解を深めます。合唱を愛好するための基礎力を培います。
到達目標	(1)文科省の学習指導要領の音楽科の理解と説明。 (2)教会音楽について学ぶ (3)パートやグループ別練習を通じ、音の重なりや独唱では味わえない美しさを学ぶ。 (4)合唱学習から習得することができる協調性、同調性、独唱部分などを楽譜を通して学ぶ。 (5)フレージングの重なりによるブレッシングの変化を学ぶ。

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を具体的に説明する。呼吸法、発声法を学び、基本的な4声体の進行形をアドリブし、アクティブ・ラーニングして声の広がりを味わう。全ての授業で使う楽譜を2回に分けて(楽譜1、楽譜2)配付する。ここではバロックからロマン派までの課題曲楽譜の配付を行う。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】和声学進行形をアクティブ・ラーニング 【計画内容】軽く身体運動と呼吸法の柔軟体操をする。次に声を入れながら体操をし、歩きながら声出しへと進む。用意した和声学の基本的な楽譜を分析し、4声に分け曲を進行させる。発声をしながら声の重なりや声による参加や声を減らすなどのアクティブ・ラーニングを行い、楽しみながら合唱形を創造する。 【準備学習の内容】楽譜1のプリントから前回の4声体の形を歌っておく。	A、H
第3回	【テーマ】カノン導入 【計画内容】歌うことの正しい呼吸法(腹式呼吸)と前回行った合唱に適した発声法を続けて学び、合唱の導入としてカノンを練習する。アクティブに場所を定めず、歌いたい場所で歌いたい楽譜箇所での参加を導くようにする。 【準備学習の内容】配付したプリントに示すカノンに親しんでおくこと。	A、E
第4回	【テーマ】基本練習と小ハーモニー 【計画内容】呼吸法・発声法の練習とカデンツの練習(以後、準じ行う)及び小合唱曲を練習し、そのハーモニーの美しさを共感する。 【準備学習の内容】前回の授業で学んだ呼吸法と発声法を復習しておくこと。	E、H
第5回	【テーマ】バロック時代の教会音楽 【計画内容】バロック時代の教会音楽についての概観、精神性などを理解し、歌う旋律を重ねていく。旋律をよく覚え暗譜してからの練習となる。 【準備学習の内容】配付したプリントの講義内容を予習しておくこと。	A、H
第6回	【テーマ】ミサ曲について 【計画内容】課題曲のミサ曲と原語(ラテン語)の理解と大まかな発音練習。身体の共鳴腔を探し、他者の共鳴腔も探す手伝いをしながらアクティブ・ラーニングする。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、確認しておくこと。	H
第7回	【テーマ】バロック時代教会音楽とミサ曲の原語発音練習と各パート音取り 【計画内容】課題曲の詳しい原語発音練習(楽譜のリズムに即し)と各パートの音取りを行う。アクイティブ・ラーニングを活用する。 【準備学習の内容】原語発音練習を復習し、パートの音取りをしておくこと。	E、H
第8回	【テーマ】古典派の課題合唱曲 【計画内容】各パートでパートリーダーを中心に発声・表現を考え、協調性のある練習を進め、合唱全体練習につなげてゆく。アクティブ・ラーニングの実践。 【準備学習の内容】原語発音練習とパートの音取りを再度、十分に行っておくこと。	E、H
第9回	【テーマ】前回の古典派合唱曲練習 【計画内容】パート別練習の成果を踏まえ、原語と音楽の結びつき・精神性の関わりに着目、合唱全体練習をより高めてゆく方法を全員で考え、一定のスキルを計画立てる。アクティブ・ラーニングの活用を行う。 【準備学習の内容】他のパートの音取りも行い、自分のパートとの協調性を高める練習も進めておくこと。	H、K
第10回	【テーマ】これまでの3曲について 【計画内容】小グループに分け、練習を行う。より主体的、協働的に参加・協力し、合唱アンサンブルの響きを作り上げる。またこれらの曲の課題を見出し、改善方法と曲の完成に向けて能動的に全員で関わるように学習方法を考える。 【準備学習の内容】前回の準備学習の内容の課題点、その改善方法などを考えておく。	H、L
第11回	【テーマ】前回の課題点、改善方法の結果を実践する 【計画内容】完成を目指し、どのようなことを行ってきたかが曲に活かされるように、練習を行う。その成果を次週中間発表する。その準備学習を行う。 【準備学習の内容】これまでの講義内容をしっかり把握し個人練習を行い、合唱に積極的に参加する意識を高めておくこと。	E、H
第12回	【テーマ】3曲の中から発表 【計画内容】作品作曲の時代・音楽性・作風などを理解し、それを基に課題曲の特色・しくみなどを把握し、合唱を発表する。全員が全曲を発表する。その後「個々の関わり方、協働で行ったところ、それぞれの曲で学んだことやこのように考えた」などを発表する。歌唱と解説を行う。 【準備学習の内容】これまで学習したことをまとめておく。	F、H、L
第13回	【テーマ】古典派以降の曲 【計画内容】新しいプリントからグループごとに何曲か選択し、前講義までを理解・確認し、新曲合唱の響き・表現・ハーモニーなどにより統一性を計り、合唱づくりを深めてゆく。 【準備学習の内容】歌うことの理解、協働作業である合唱の形とその演奏について楽譜上に記入しておく。	A、H
第14回	【テーマ】古典派以降課題曲練習 【計画内容】合唱の仕上げ・完成に向け全員一丸となり練習に励み、感動を共にする。楽曲においてよく考え、判断し、実践することを行う。呼吸法・発声法・その曲の原語発声・旋律・和声など基本的なことを復習しながら、創り上げる喜びを体験するように準備する。 【準備学習の内容】更に幅広く練習を積み上げておくこと。	E、H
第15回	【テーマ】合唱のすばらしさの体験 【計画内容】講義のまとめと確認(合唱のすばらしさ、美しいハーモニー及び深い精神性など)のため、発表する。発表後「これらの体験的実践学習について、また生きている者が録音などではなく歌っていることの価値、意義などについて」討議する。 【準備学習の内容】これまでに学んできた講義内容を復習し、より良い合唱にするための改善点を見い出し、練習を深めておくこと。	F、H、L

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		20%	20%	20%	40%	
補足						

質問への対応	講義時に可能な限り、具体的に説明します。また必要であれば、そのことについて他者の意見も聞き、学習のアプローチを広げます。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	合唱Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	石田　久大				
授業の目的	ねらい	学習指導要領に述べられていることへの実践を行います。音楽指導者を目指す意識を持ち、合唱を通し、美しいハーモニーと協調性から生じるコミュニケーション力を高めるものです。合唱活動の持つ特徴的な生きる力の基礎としての(旋律の独創性、リズムの精神的柔軟性、テンポの揺るぎない安定、曲想の自己認識、和声の協調性)事柄などについて、合唱を通して身に付ける実践を行います。				
	到達目標	(1)合唱のしくみや特色を理解する。 (2)ラテン語、ドイツ語、フランス語による作品を歌う。 (3)パートやグループ別練習を通じ、アクティブ・ラーニングの活用。 (4)日本語の合唱作品を歌う。 (5)歌を通して、基礎音楽力を高める。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を具体的に説明する。「合唱Ⅰ」で習得した発声練習法とカノンやミサ曲に見られる特徴的練習方法を復習として行う。簡単な合唱楽譜を配付し、各パートに分かれて行う。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】ロマン派時代の合唱曲を導入 【計画内容】ロマン派合唱曲を原語で合唱する。一回目である本授業は数曲の中からクラスで選曲する。また同時にパート分けを行う。 【準備学習の内容】発声練習を行い、声出しをしておくこと。	E、H
	第3回	【テーマ】選曲した合唱曲の原語と視唱 【計画内容】原語の発音、発声法を考慮しながら各パート旋律を歌う。同時代の交響曲なども鑑賞する。この時代の和声感を味わい、合唱に活かす。 【準備学習の内容】配付した楽譜を良く練習しておく。	A、E、H
	第4回	【テーマ】課題となった合唱曲の質を高める 【計画内容】呼吸法・発声法の練習とカデンツの練習をし、そのハーモニーの美しさを認識し、さらに美しく合唱するためにアクティブ・ラーニングを行い、お互いに質を高めるよう練習する。必要に応じて授業以外の練習も行うような意欲を高めるよう積極性を養う。 【準備学習の内容】前回の講義で学んだことを復習しておくこと。	E、H
	第5回	【テーマ】課題曲の完成に向けて練習 【計画内容】課題曲の音楽性と精神性の関わりについて理解を深め、和声の厚みや深さを理解し、合唱の醍醐味や重唱での表現力について学習する。 【準備学習の内容】楽譜に書かれた音楽用語等予習しておくこと。	E、H
	第6回	【テーマ】課題曲の完成 【計画内容】完成に向けて練習する。お互いで聞きながら、修正箇所なども話し合い練習していく。また聞いている人への合唱曲のアプローチが行えるか、アクティブ・ラーニング学習をする。 【準備学習の内容】前回の授業内容を復習し、確認しておくこと。	E、H、L
	第7回	【テーマ】現代曲に入る。日本の合唱曲を選曲。 【計画内容】課題曲の日本語発音練習(楽譜のリズムに即し)と各パートの音取りを行う。日本語の美しい響きに重点を置き、現代損なわれている日本語を学習する。日本語の発音における移り変わり(時代的変化)も紹介し、本来の日本語の発声法を学ぶ。 【準備学習の内容】日本語原語発音練習を復習し、パートの音取りをしておくこと。	A、E、H
	第8回	【テーマ】日本語詩文の理解と楽譜のパート別練習 【計画内容】各パートパート練習を行う。しかしその前に日本語の音律について音節で丁寧に学習する。その音節での発声・表現を考え、協調性のある練習を進め、合唱練習につなげてゆく。 【準備学習の内容】日本語発音練習とパートの音取りを再度、十分に行っておくこと。	A、E、H
	第9回	【テーマ】パート練習を高め、全体で合わせる 【計画内容】パート別練習の成果を踏まえ、原語と音楽の結びつき・他者との共同で行う合唱に対して、協調性、同調性を養うように精神性の関わりに着目する。合唱全体練習をより高めてゆく。 【準備学習の内容】他のパートの音取りも行い、自分のパートとの協調性を高める練習も進めておくこと。	E、H
	第10回	【テーマ】全体練習と曲想(レガート、フレーズ、強弱など)の把握 【計画内容】小グループに分け、練習を行う。より主体的に参加・協力し、合唱アンサンブルの響きを作り上げる。アクティブに実働的に行う。また主旋律の主張を妨げないように合唱の構成を考えていく練習を行う。 【準備学習の内容】前回の準備学習の内容をより確かなものにしておくこと。	E、H
	第11回	【テーマ】課題曲の発表準備 【計画内容】各グループ別発表を聴き、合唱アンサンブルの良さを認識し、その成果を合唱づくりにつなげてゆく。日本語の美しさや難しい発音、自分ではこのように歌っているにも関わらず、発音が浮かび上がらないなど自己チェックを入れてお互いに学び合う。 【準備学習の内容】授業内容をしっかり把握し個人練習、パート練習、全体練習においての、積極的に参加する意識を高めておくこと。	E、H
	第12回	【テーマ】仕上げが近づいたので、作曲家と課題曲について調べて、肉付けする 【計画内容】作曲家の生涯・音楽性・作風などを概観、それを基に課題曲の特色・しくみなどを把握し、作曲家の意図を合唱づくりに強く反映していくように学ぶ。合唱の素晴らしさを認識する。 【準備学習の内容】配付するプリントの講義内容を予習しておくこと。	E、H
	第13回	【テーマ】合唱発表準備 【計画内容】発表するにあたり、発声からくる個々の声の響き、全体での曲調表現・ハーモニーなどによる美しさ、和声の重厚感、威圧的強弱表現法など、合唱づくりを深める。 【準備学習の内容】前回の講義で学んだ内容の理解と復習練習を行い、合唱づくりにどう生かしてゆくか自分なりの考えをまとめておくこと。	E、H
	第14回	【テーマ】日本語による現代合唱曲発表 【計画内容】合唱の荘重さ・崇高さ等を共有し、合唱の仕上げ・完成に向け全員一丸となり練習に励み、発表し感動を共にする。 【準備学習の内容】幅広く(曲の理解、発声法、日本語の正確さなど)練習を積み上げておくこと。	F、H
	第15回	【テーマ】合唱のすばらしさのレポート作成 【計画内容】講義のまとめと確認(合唱のすばらしさ、美しいハーモニー及び深い精神性など)し、体験した本授業についてレポートとして、音ではなく文字によってまとめ、自己認識力を養う。より良い合唱にするための改善点を見い出す。また、学んだ収穫についても肯定感を認識する。 【準備学習の内容】これまでに学んできた授業内容を思い出しておく。	H、K、L

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		20%	20%	20%	40%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	予習、復習、個人練習、グループ練習など積極的に取り組むこと。

科目名	合奏Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	今井　敏勝、千葉　圭説				
授業の目的	ねらい	吹奏楽形態による「合奏」を通じ、チューニングや音階、バランス、ハーモニーなど合奏としての基本トレーニング方法について学ぶと共に、合奏指導の基礎力を身に付ける。同時に技術的に平易な楽曲練習を通じ、楽曲演奏に必要な基本トレーニングの効果的な方法についても学ぶ。合奏における個人・パートの役割や、打楽器の役割を意識し合奏として演奏表現を身に付ける。			
	到達目標	(1)合奏指導の基礎力を理解する。 (2)個人及びアンサンブルとしての基本的な練習方法を身に付ける。 (3)個人や他のパートの役割を理解した演奏表現を身に付ける。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業の概要説明、担当楽器及びパート、チューニングなど基礎的な奏法を確認する。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】シラバスの内容を確認しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】合奏において各パートの役割を理解する。 【計画内容】合奏としての基本トレーニング(音階など)を通じ、合奏において各パートの役割を理解する。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】音階など基本トレーニングを確認しておくこと。	B
	第3回	【テーマ】合奏において音程・ハーモニーを学ぶ。 【計画内容】合奏としての基本トレーニング(ハーモニーなど)を通じ、楽曲を使用した合奏を学ぶ。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】基本トレーニングの音程を注意しながら練習し、楽曲との調関係を確認しておくこと。	B、H
	第4回	【テーマ】個人及びパートの役割を認識し、個人の演奏技術を深める。 【計画内容】合奏としての基本トレーニングにより、個人の奏法をチェックしながら演奏技術を深める。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】自分が担当する楽器の奏法について、基礎基本を確認しておくこと。	B、H
	第5回	【テーマ】音楽表現としてのフレーズ感を学ぶ。 【計画内容】楽曲を通して音楽のフレーズ感を学ぶ。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】基本トレーニング(バランスとハーモニー)を練習しておくこと。	B、H
	第6回	【テーマ】各グループで、アクティブ・ラーニングの活用により、各パートの役割に合った演奏表現を目指す。 【計画内容】各パートに分かれて楽曲を使用した分奏練習により、役割に合った演奏表現を身に付ける。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】奏法の基礎基本を見直した個人練習をしておくこと。	B、H
	第7回	【テーマ】各グループで、アクティブ・ラーニングの活用により、器楽表現の創意工夫を目指す。 【計画内容】楽曲を使用した合奏において、曲想と音楽の構造との関わりを学ぶ。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】ハーモニー練習を意識し、音程に注意した練習をしておくこと。	B、H
	第8回	【テーマ】中間発表により、これまでの学習成果を確認する。 【計画内容】今まで使用した楽曲で合奏を発表し、これまでの学習成果について自己点検を行い自分の考えを発表する。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】基礎基本を重視し、より安定した演奏ができるよう準備しておくこと。	B、L
	第9回	【テーマ】各楽器の音色や響きのための奏法を身に付ける。 【計画内容】楽曲を使用した合奏において、各楽器の音色や響きのための奏法を学ぶ。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】発音の仕方や響きに注意し練習をしておくこと。	B、H
	第10回	【テーマ】新曲の譜読みと音楽用語などを理解する。 【計画内容】新曲を中心に楽曲の理解を深め、譜読みとともに、音楽用語や記号について共通理解を深める。 (今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】楽曲の用語等に注意し練習をしておくこと。	B、H
	第11回	【テーマ】各パートの創意工夫を活かし、合奏で演奏表現を目指す 【計画内容】前回の内容を基にパートとしてまとまりある演奏表現を目指し、分奏練習を行なう。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】各自演奏曲の役割を考え、音量や音程を考えた練習をしておくこと。	B、H
	第12回	【テーマ】各楽器の音色や奏法の特徴を活かし、豊かな演奏表現を目指す。 【計画内容】これまでの学びを基にそれぞれが豊かに演奏表現するためのポイントを確認し、全体として表現力豊かな演奏に仕上げるための方向性を示す。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】楽曲におけるパートの役割を確認しておくこと。	B、H
	第13回	【テーマ】演奏発表会の準備 【計画内容】最終的な仕上げのために、各曲の特徴を理解しより効果的な表現での演奏を行なうため、意見交換等を取り入れイメージを膨らませる工夫をする。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】各自で個人練習をしておくこと。	B、H
	第14回	【テーマ】リハーサル・演奏発表会の最終確認 【計画内容】本番同様のリハーサルを行い、準備・運営など協働しながら一つの音楽を創り上げることによる、演奏を行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】楽曲表現に必要な演奏力を向上させるための練習をしておくこと。	B、H
	第15回	【テーマ】演奏発表会と振り返り 【計画内容】演奏発表の本番を行い、最終的な振り返りを行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】演奏発表に向けた確認練習をしておくこと。	B、L

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領』/『高等学校学習指導要領』 各種楽曲
参考書	J.D プロイハー・G.B. ゼップ、1993年、『3Dバンド・ブック』、音楽之友社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					40%	60%
	補足					平時	中間発表及び各演奏会

質問への対応	随時、質問等に応じます。 オフィスアワーを活用してください。(843研究室)
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	合奏Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	今井　敏勝、千葉　圭説				
授業の目的	ねらい	「合奏Ⅰ」での学びを踏まえ、楽曲練習を中心に音程やリズムなど基本的な合奏技術の向上を目指す。パートや役割グループとしての特徴を意識することにより、より一層演奏の質的向上を図ると同時に、発表会準備や運営の体験を通し、協働して一つの音楽を創り上げる喜びを体験する。			
	到達目標	(1)音程やリズム・ハーモニーなど基本的なことに注意しながら演奏できる。 (2)パートや役割グループとしてまとまりのある演奏表現ができる。 (3)楽曲の特徴に合った演奏表現ができる。 (4)演奏発表に対する準備や運営など協働して一つの音楽を創り上げることができる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業の概要 【計画内容】楽譜配付、授業概要を説明し、担当パート確認。「合奏Ⅰ」での練習内容を振り返り、基礎合奏力の確認を行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】「合奏Ⅰ」を振り返り、基本トレーニングの内容を確認しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】豊かで美しいサウンド創りを目指す 【計画内容】「合奏Ⅰ」の成果を踏まえた基本トレーニングを行い、呼吸法を中心に豊かで美しいサウンド創りを行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】合奏に必要な基本トレーニングを練習しておくこと。	B
	第3回	【テーマ】魅力あるハーモニー創りを目指す 【計画内容】合奏トレーニング及び合奏曲において、豊かで美しいサウンドを生かしながら魅力あるハーモニー創りを行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】ハーモニーの構成音について確認しておくこと。	B、H
	第4回	【テーマ】打楽器との関連を踏まえたリズムトレーニング法 【計画内容】合奏の基本トレーニングと合奏曲の双方において、打楽器との関連を踏まえた演奏が出来るよう取り組む。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】合奏曲を演奏出来るように練習しておくこと。	B、H
	第5回	【テーマ】分奏と合奏の理解 【計画内容】合奏曲を中心に分奏と合奏の練習を行うことにより、各パートの役割をしっかりと認識できるようにする。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】合奏曲を中心に個人練習をしておくこと。	B、H
	第6回	【テーマ】グループワークを活用し、表現力の向上を目指す 【計画内容】各パートでアクティブ・ラーニングを活用し、表現力の向上を図る。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】演奏曲の練習ポイントを考えておくこと。	B、H
	第7回	【テーマ】演奏の創造性 【計画内容】中間発表に向け、各パートでアクティブ・ラーニングを活用し、それぞれの表現力を生かしながら、まとまりある演奏が出来るためのポイントを指導する。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】パート及びグループでの確認練習をしておくこと。	B、H
	第8回	【テーマ】中間発表：成果発表と振り返り 【計画内容】これまでの練習成果を演奏発表し、良かった点や改善点について意見を発表し合う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】発表に向けた準備をしておくこと。	B、L
	第9回	【テーマ】課題の確認と目標の再設定 【計画内容】中間発表の成果と振り返り内容を踏まえ、より良い演奏表現が出来るようになるための課題を明確にした合奏を行う。新曲を配付する。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】中間発表で明らかになった課題を明確に理解しておくこと。	B、H
	第10回	【テーマ】新曲の譜読みと音楽用語 【計画内容】新曲を中心に楽曲の理解を深めるべく譜読みを行い、同時に音楽用語や記号について共通理解を深める。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】新曲の譜読みと同時に個人的な問題点(演奏技術等)を練習しておくこと。	B、H
	第11回	【テーマ】豊かな演奏表現Ⅰ 【計画内容】前回の内容を基にパートとしてまとまりある演奏表現を目指し、分奏練習を行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】新曲を中心に個人練習しておくこと。	B、H
	第12回	【テーマ】豊かな演奏表現Ⅱ 【計画内容】これまでの学びを基にそれぞれが豊かに演奏表現するためのポイントを確認し、全体として表現力豊かな演奏に仕上げるための方向性を示す。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】個人練習において、役割グループの特徴を抽出し、練習しておくこと。	B、H
	第13回	【テーマ】豊かな演奏表現Ⅲ 【計画内容】最終的な仕上げのために、各曲の特徴を理解しより効果的な表現での演奏を行うため、意見交換等を取り入れイメージを膨らませる工夫をする。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】合奏曲の特徴を確認して練習すること。	B、H
	第14回	【テーマ】リハーサル：演奏発表会の最終確認 【計画内容】本番同様のリハーサルを行い、準備・運営など協働しながら一つの音楽を創り上げることにより、豊かな表現演奏を行うことを学ぶ。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】演奏面、運営面ともに必要な準備を確認すること。	B、H
	第15回	【テーマ】演奏発表会と振り返り 【計画内容】演奏発表の本番を行い、最終的な振り返りを行う。(今井敏勝・千葉圭説) 【準備学習の内容】各個人で本番に向けた体調管理、演奏準備を行うこと。	B、L

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領』/『高等学校学習指導要領』 各種楽曲
参考書	J.D プロイハー /G.B. ゼップ、1993年、『3Dバンド・ブック』、音楽之友社

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					40%	60%
補足					平時	各演奏会

質問への対応	随時、質問等に応じます。 オフィスアワーを活用してください。(843研究室)
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	声楽表現演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	石田　久大				

授業の目的		
	ねらい	声を出すことの可能性を研究学習する。広い視野から課題曲選定ができる。 ミュージカル作品、オペラ作品、ドイツ歌曲、フランス歌曲、イタリア歌曲、日本歌曲など様々な歌を学習する。 これらの作品を学ぶことにより、作品中の詩文を理解し、人間性を高めることが期待できる。また、日常生活にも精神的安定を促す。
	到達目標	(1)曲の正しい発声法、ここではベルカント唱法を学び、疲れないでいつまでも歌える発声方法を学ぶ。 (2)日常生活にも表現として活かせるように歌うことの大切さを学ぶ。 (3)一生涯“声”を大切にする健康的な発声法を学ぶ。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】全体学習：選曲 【計画内容】最終計画、内容を紹介する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】課題曲選定を行う。それぞれの音域、音質に合わせて選曲をする。 【計画内容】課題曲の詩文について、時代背景や音楽的流行など、また詩文の美しいところや旋律では歌いづらいところも見つけておく。 【準備学習の内容】音程を正しく歌うよう、ハミングで歌っておく。	A
	第3回	【テーマ】旋律を母音発声法や子音を交えた発声法で歌い、そのメロディーを覚える。 【計画内容】旋律を覚え、どのような調でも歌えるようにする。そのうえで詩文の音節の詩節を語り歌へと導く。 【準備学習の内容】旋律の音程、音の流れを歌っておく。	A、E
	第4回	【テーマ】課題曲の旋律のフレージングやアーティキレーションの付け方を工夫する 【計画内容】詩文の意味を把握し、芸術的音楽表現をするよう学ぶ。 【準備学習の内容】芸術的音楽表現を練習、演習する。	E、H
	第5回	【テーマ】その曲のヴォーカリーゼを行う。さらに呼吸について復習する。 【計画内容】表現のための発声法について学び、原語と音節、音節と詩節、詩節と意味、流れを学ぶ。 【準備学習の内容】ベルカント唱法について復習しておく。	E、H、L
	第6回	【テーマ】韻律で覚える練習と旋律に韻律を入れて歌う練習 【計画内容】韻律とフレーズを生かし、アーティキレーションを付ける。生き生きとした歌曲にするよう学習する。お互いに聴き合い、困難な箇所、上手く歌える箇所を認識する。 【準備学習の内容】音程が飛躍しているものもあるので、ヴォーカリーゼを行っておく。	E、H
	第7回	【テーマ】新たな課題曲を選定し、旋律をハミングしながら選曲する。 【計画内容】見込まれた課題曲の作曲時代背景、作曲者の意図など学ぶ。また歌詞の中のどの部分が強調されているかを見つける。それをどのように歌うかを学習する。発表し合いアクティブ･ラーニングする。 【準備学習の内容】詩文をうまく発声できるようにヴォーカリーゼを怠らない。	E、H
	第8回	【テーマ】旋律を母音発声法や子音を交えた発声法で歌い、そのメロディーを覚える。 【計画内容】見込まれた課題曲の作曲時代背景、作曲者の意図など学ぶ。成果を発表し合いアクイティブ･ラーニングし、実践する。 【準備学習の内容】初見力(ソルフェージュ力)と和声的アナリーゼをしておく。	E、H
	第9回	【テーマ】譜読み：新たな課題曲選定の譜読み 【計画内容】見込まれた課題曲の作曲時代背景、作曲者の意図など学ぶ。 【準備学習の内容】初見力(ソルフェージュ力)と和声的アナリーゼをしておく。	A、E
	第10回	【テーマ】工夫：新たな課題曲の旋律のフレージングやアーティキレーションの付け方を工夫する 【計画内容】芸術的表現、曲想、作曲者の意図を理解する。 【準備学習の内容】関係文献を読み研究する。課題曲の旋律のフレージングやアーティキレーションの付け方を工夫する。	E、H
	第11回	【テーマ】発声法の呼吸について復習し、課題曲の向上を図る。 【計画内容】表現のための発声法について学ぶ。旋律の美しいところ、訴えているメロディなど考える。 【準備学習の内容】どのように声を出すとどのような心情を表現できるかをベルカント唱法を通して復習しておく。	E、H、L
	第12回	【テーマ】最終指導に入る。暗譜するときの音節を決められているリズムに載せて歌えるようにする訓練を行う。 【計画内容】音楽的暗譜と精神的理解を同時に行う方法について学ぶ。また、音節を用いて体で覚えていくよう学習する。 【準備学習の内容】声を滑らかにしておく。激しい練習を行うため、声を痛めないようにヴォーカリーゼを怠らない。	H、L
	第13回	【テーマ】自分以外の人に聞いていただく作業を学ぶ 【計画内容】音楽的暗譜と精神的理解を同時に行う方法について学ぶ。 【準備学習の内容】上がらないように心掛ける。精神が上がっても横隔膜が上がらないように呼吸法を身につける。	E、H
	第14回	【テーマ】課題曲をどのように理解したかを歌唱中に表現できるようにしっかり歌う練習を行う 【計画内容】旋律の流れと声の流れ、気持ちの移行は同時進行されることを学ぶ。どちらかが遅れても歌詞は生きないことを体験しながら学ぶ。 【準備学習の内容】声を出して詩文を朗読し、だんだん音楽を付けていくよう練習しておく。	E、H
	第15回	【テーマ】人前で歌うことはその曲の言葉を伝えること、そのことを実践する。 【計画内容】旋律という音楽が歌曲となったことは、どのような時もその歌曲の原語の韻律が優先する。ただ言葉を唱えてはいけないことを学習し、最後の授業となる。 【準備学習の内容】歌うことがどのようなことかを考え、まとめておく。	E、H、L

テキスト	講義時に紹介します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』 プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%			50%	
	補足						

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[教]中･高1種(音楽)_選択
その他	

科目名	声楽表現演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	石田　久大				
授業の目的	ねらい	声を出すことの可能性を研究学習する。広い視野から課題曲選定ができます。 ミュージカル作品、オペラ作品、ドイツ歌曲、フランス歌曲、イタリア歌曲、日本歌曲など様々な歌を学習する。 これらの作品を学ぶことにより、作品中の詩文を理解し、人間性を高めることが期待できる。また、日常生活にも精神的安定を促す。			
	到達目標	(1)曲の正しい発声法、ここではベルカント唱法を学び、疲れないでいつまでも歌える発声方法を学ぶ。 (2)日常生活にも表現として活かせるように歌うことの大切さを学ぶ。 (3)一生涯“声”を大切にする健康的な発声法を学ぶ。			
授業の計画	第1回	【テーマ】全体学習：選曲 【計画内容】最終計画、内容を紹介する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A		
	第2回	【テーマ】課題曲選定を行う。それぞれの音域、音質に合わせて選曲をする。 【計画内容】課題曲の詩文について、時代背景や音楽的流行など、また詩文の美しいところや旋律では歌いづらいところも見つけておく。 【準備学習の内容】音程を正しく歌うよう、ハミングで歌っておく。	A、E		
	第3回	【テーマ】旋律を母音発声法や子音を交えた発声法で歌い、そのメロディーを覚える。 【計画内容】旋律を覚え、どのような調でも歌えるようにする。そのうえで詩文の音節の詩節を語り歌へと導く。 【準備学習の内容】旋律の音程、音の流れを歌っておく。	A、E		
	第4回	【テーマ】課題曲の旋律のフレージングやアーティキレーションの付け方を工夫する 【計画内容】詩文の意味を把握し、芸術的音楽表現をするよう学ぶ。 【準備学習の内容】芸術的音楽表現を練習、演習する。	E、H		
	第5回	【テーマ】その曲のヴォーカリーゼを行う。さらに呼吸について復習する。 【計画内容】表現のための発声法について学び、原語と音節、音節と詩節、詩節と意味、流れを学ぶ。 【準備学習の内容】ベルカント唱法について復習しておく。	E、H		
	第6回	【テーマ】韻律で覚える練習と旋律に韻律を入れて歌う練習 【計画内容】韻律とフレーズを生かし、アーティキレーションを付ける。生き生きとした歌曲にするよう学習する。お互いに聴き合い、困難な箇所、上手く歌える箇所を認識する。 【準備学習の内容】音程が飛躍しているものもあるので、ヴォーカリーゼを行っておく。	E、H		
	第7回	【テーマ】新たな課題曲を選定し、旋律をハミングしながら選曲する。 【計画内容】見込まれた課題曲の作曲時代背景、作曲者の意図など学ぶ。また歌詞の中のどの部分が強調されているかを見つける。それをどのように歌うかを学習する。発表し合いアクティブ･ラーニングする。 【準備学習の内容】詩文をうまく発声できるようにヴォーカリーゼを怠らない。	A、E		
	第8回	【テーマ】旋律を母音発声法や子音を交えた発声法で歌い、そのメロディーを覚える。 【計画内容】見込まれた課題曲の作曲時代背景、作曲者の意図など学ぶ。成果を発表し合いアクイティブ･ラーニングし、実践する。 【準備学習の内容】初見力(ソルフェージュ力)と和声的アナリーゼをしておく。	E、H		
	第9回	【テーマ】譜読み：新たな課題曲選定の譜読み 【計画内容】見込まれた課題曲の作曲時代背景、作曲者の意図など学ぶ。 【準備学習の内容】初見力(ソルフェージュ力)と和声的アナリーゼをしておく。	A、E		
	第10回	【テーマ】工夫：新たな課題曲の旋律のフレージングやアーティキレーションの付け方を工夫する 【計画内容】芸術的表現、曲想、作曲者の意図を理解する。 【準備学習の内容】関係文献を読み研究する。課題曲の旋律のフレージングやアーティキレーションの付け方を工夫する。	E、H		
	第11回	【テーマ】発声法の呼吸について復習し、課題曲の向上を図る。 【計画内容】表現のための発声法について学ぶ。旋律の美しいところ、訴えているメロディなど考える。 【準備学習の内容】どのように声を出すとどのような心情を表現できるかをベルカント唱法を通して復習しておく。	A、E、L		
	第12回	【テーマ】最終指導に入る。暗譜するときの音節を決められているリズムに載せて歌えるようにする訓練を行う。 【計画内容】音楽的暗譜と精神的理解を同時に行う方法について学ぶ。また、音節を用いて体で覚えていくよう学習する。 【準備学習の内容】声を滑らかにしておく。激しい練習を行うため、声を痛めないようにヴォーカリーゼを怠らない。	E、H		
	第13回	【テーマ】自分以外の人に聞いていただく作業を学ぶ 【計画内容】音楽的暗譜と精神的理解を同時に行う方法について学ぶ。 【準備学習の内容】上がらないように心掛ける。精神が上がっても横隔膜が上がらないように呼吸法を身につける。	A、H		
	第14回	【テーマ】課題曲をどのように理解したかを歌唱中に表現できるようにしっかり歌う練習を行う 【計画内容】旋律の流れと声の流れ、気持ちの移行は同時進行されることを学ぶ。どちらかが遅れても歌詞は生きないことを体験しながら学ぶ。 【準備学習の内容】声を出して詩文を朗読し、だんだん音楽を付けていくよう練習しておく。	E、H、L		
	第15回	【テーマ】人前で歌うことはその曲の言葉を伝えること、そのことを実践する。 【計画内容】旋律という音楽が歌曲となったことは、どのような時もその歌曲の原語の韻律が優先する。ただ言葉を唱えてはいけないことを学習し、最後の授業となる。 【準備学習の内容】歌うことがどのようなことかを考え、まとめておく。	E、L		
テキスト	講義時に紹介します				
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』 プリントを使用します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%			50%	
	補足						

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[教]中･高1種(音楽)_選択
その他	

科目名	器楽表現演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井　敏勝、千葉　圭説				
授業の目的	ねらい	「器楽基礎演習Ⅰ・Ⅱ」で修得した基本的奏法と読譜力に基づき、楽曲演奏を通じ基礎技術の向上に重点を置いた演習を行います。教則本及び練習曲を用いたレッスンにより各自がそれぞれ奏法上の課題を的確に把握し、各自それぞれの技量に合わせた選曲を行い、その楽曲の演奏表現に必要とされるより高度な演奏技術や呼吸法、読譜力を習得します。良い状態で演奏できるために必要な楽器の維持管理をします。和楽器(箏)の基本奏法及び楽曲演奏を行うことにより和楽器への知識と体験を深めます。				
	到達目標	(1)楽曲の特徴をとらえた演奏表現ができる。 (2)楽器を良好な状況に保つことができる。 (3)和楽器「箏」で簡易な楽曲を演奏できる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】講義の概要 【計画内容】講義の概要を説明し、選択楽器及び担当教員を決定します。楽器用ロッカーを決定します。 【準備学習の内容】各自選択する楽器について、奏法の基本及び手入れ方法を確認しておくこと。				B
	第2回	【テーマ】楽器メンテナンスと基本奏法の確認 【計画内容】楽器演奏法の基本的奏法(呼吸法など)を確認し、技術面での課題と今学期の練習目標を設定します。各自の演奏技術面での習得状況に合った適切な演奏曲を選定します。 【準備学習の内容】ロングトーンや1つ打ちなど基本奏法を練習しておくこと。				B
	第3回	【テーマ】独奏曲の練習1 【計画内容】楽曲演奏に必要な練習方法を確認し練習します。和楽器(箏)の基本奏法及び楽譜の読み方を確認し、簡単なフレーズの演奏を行います。 【準備学習の内容】和楽器「箏」について、基本奏法を確認しておくこと。				B
	第4回	【テーマ】独奏曲の練習2 【計画内容】楽曲演奏に必要な練習方法を確認し練習します。選定した演奏曲の読譜及び練習を行います。和楽器(箏)の基本奏法及び楽譜の読み方の確認し、簡単なフレーズの演奏を行います。 【準備学習の内容】和楽器「箏」の楽譜を読んでおくこと。				B
	第5回	【テーマ】独奏曲の練習(ピアノ伴奏付き)1 【計画内容】中間発表へむけての選曲。楽曲表現に必要なより高度な演奏技術と呼吸法の習得、読譜力の向上を図ります。 【準備学習の内容】楽譜を読む練習をしておくこと。				B
	第6回	【テーマ】独奏曲の練習(ピアノ伴奏付き)2 【計画内容】楽曲表現に必要な課題をみつけ、演奏技術の向上を図ります。ピアノとのアンサンブルを大切にします。 【準備学習の内容】呼吸法とより高度な演奏技術を身につけるため、繰り返し練習をすること。				B
	第7回	【テーマ】独奏曲の練習(ピアノ伴奏付き)3 【計画内容】中間発表での演奏曲の総仕上げ。より表現力をつけた演奏を心がけます。 【準備学習の内容】より高度な演奏技術を身につけるため繰り返し練習をすること。				B
	第8回	【テーマ】中間発表と確認 【計画内容】各自発表を行い、それまでの学習状況を振り返ります。 【準備学習の内容】楽器の状態を把握しておくこと。				B、F
	第9回	【テーマ】振り返り(自己課題発見) 【計画内容】中間発表会での演奏を振り返り、基礎基本の習得状況に応じて課題設定を見直します。演奏実技試験を視野に入れ、演奏表現に必要なより高度な技術の習得を目指します。 【準備学習の内容】各自、自分の練習課題を明確にしておくこと。				B、L
	第10回	【テーマ】楽曲の選曲 【計画内容】演奏発表を視野に入れ、さまざまな時代の作品を演奏します。また、無伴奏曲に多い現代奏法についても研究します。 【準備学習の内容】楽曲演奏に必要な基本練習を繰り返し実施すること。				B
	第11回	【テーマ】楽曲の練習(無伴奏曲)1 【計画内容】演奏表現法の高度な技術の習得を目指します。特にピアノ伴奏ではなく無伴奏での演奏法を学びます。 【準備学習の内容】楽曲演奏に必要な基本練習を繰り返し実施すること。				B
	第12回	【テーマ】楽曲の練習(無伴奏曲)2 【計画内容】無伴奏曲での音楽表現に必要な、より高度な技術の定着を目指します。 【準備学習の内容】各自課題を明確に、繰り返し練習をすること。				B
	第13回	【テーマ】楽曲の練習(無伴奏曲)3 【計画内容】これまでに学んだ、より高度な技術を駆使し楽曲を演奏し、表現力向上に結びつけます。 【準備学習の内容】演奏発表に備え集中力を持って、曲想表現に重点を置いた基礎練習を行うこと。				B
	第14回	【テーマ】演奏発表 【計画内容】各自練習した演奏曲を披露し、学習成果を確認します。 【準備学習の内容】演奏発表に備え集中力を持って、曲想表現に重点を置いた練習を行うこと。				B
	第15回	【テーマ】これまでの振り返りとまとめ 【計画内容】楽器の管理状況や演奏発表を含む基礎基本奏法の習得状況及び表現技術習得状況の確認を行います。 【準備学習の内容】楽器の手入れを行い、演奏発表までの取り組みをまとめておくこと。				B、L
テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』 各楽器の練習曲、演奏曲					
参考書	初回オリエンテーションで説明します					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		70%			30%	
	補足		適時			平時	

質問への対応	授業前後またはオフィスアワーにて対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_選択
その他	

科目名	器楽表現演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井　敏勝、千葉　圭説				

授業の目的		
	ねらい	「器楽基礎演習Ⅰ・Ⅱ」で修得した基本的奏法と読譜力に基づき、楽曲演奏を通じ基礎技術の向上に重点を置いた演習を行います。教則本及び練習曲を用いたレッスンにより各自がそれぞれ奏法上の課題を的確に把握し、各自それぞれの技量に合わせた選曲を行い、その楽曲の演奏表現に必要とされるより高度な演奏技術や呼吸法、読譜力を習得します。良い状態で演奏できるために必要な楽器の維持管理をします。和楽器(箏)の基本奏法及び楽曲演奏を行うことにより和楽器への知識と体験を深めます。
	到達目標	(1)楽曲の特徴をとらえた演奏表現ができる。 (2)楽器を良好な状況に保つことができる。 (3)和楽器「箏」で簡易な楽曲を演奏できる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の概要を説明し、選択楽器及び担当教員を決定します。楽器用ロッカーを決定します。 【準備学習の内容】各自選択する楽器について、奏法の基本及び手入れ方法を確認しておくこと。
	第2回	【テーマ】楽器メンテナンスと基本奏法の確認 【計画内容】楽器演奏法の基本的奏法(呼吸法など)を確認し、技術面での課題と今学期の練習目標を設定します。各自の演奏技術面での習得状況に合った適切な演奏曲を選定します。 【準備学習の内容】ロングトーンや1つ打ちなど基本奏法を練習しておくこと。
	第3回	【テーマ】独奏曲の練習1 【計画内容】楽曲演奏に必要な練習方法を確認し練習します。和楽器(箏)の基本奏法及び楽譜の読み方を確認し、簡単なフレーズの演奏を行います。 【準備学習の内容】和楽器「箏」について、基本奏法を確認しておくこと。
	第4回	【テーマ】独奏曲の練習2 【計画内容】楽曲演奏に必要な練習方法を確認し練習します。選定した演奏曲の読譜及び練習を行います。和楽器(箏)の基本奏法及び楽譜の読み方の確認し、簡単なフレーズの演奏を行います。 【準備学習の内容】和楽器「箏」の楽譜を読んでおくこと。
	第5回	【テーマ】独奏曲の練習(ピアノ伴奏付き)1 【計画内容】中間発表へむけての選曲。楽曲表現に必要なより高度な演奏技術と呼吸法の習得、読譜力の向上を図ります。 【準備学習の内容】楽譜を読む練習をしておくこと。
	第6回	【テーマ】独奏曲の練習(ピアノ伴奏付き)2 【計画内容】楽曲表現に必要な課題をみつけ、演奏技術の向上を図ります。ピアノとのアンサンブルを大切にします。 【準備学習の内容】呼吸法とより高度な演奏技術を身につけるため、繰り返し練習をすること。
	第7回	【テーマ】独奏曲の練習(ピアノ伴奏付き)3 【計画内容】中間発表での演奏曲の総仕上げ。より表現力をつけた演奏を心がけます。 【準備学習の内容】より高度な演奏技術を身につけるため繰り返し練習をすること。
	第8回	【テーマ】中間発表と確認 【計画内容】各自発表を行い、それまでの学習状況を振り返ります。 【準備学習の内容】楽器の状態を把握しておくこと。
	第9回	【テーマ】振り返り(自己課題発見) 【計画内容】中間発表会での演奏を振り返り、基礎基本の習得状況に応じて課題設定を見直します。演奏実技試験を視野に入れ、演奏表現に必要なより高度な技術の習得を目指します。 【準備学習の内容】各自、自分の練習課題を明確にしておくこと。
	第10回	【テーマ】楽曲の選曲 【計画内容】演奏発表を視野に入れ、さまざまな時代の作品を演奏します。また、無伴奏曲に多い現代奏法についても研究します。 【準備学習の内容】楽曲演奏に必要な基本練習を繰り返し実施すること。
	第11回	【テーマ】楽曲の練習(無伴奏曲)1 【計画内容】演奏表現法の高度な技術の習得を目指します。特にピアノ伴奏ではなく無伴奏での演奏法を学びます。 【準備学習の内容】楽曲演奏に必要な基本練習を繰り返し実施すること。
	第12回	【テーマ】楽曲の練習(無伴奏曲)2 【計画内容】無伴奏曲での音楽表現に必要な、より高度な技術の定着を目指します。 【準備学習の内容】各自課題を明確に、繰り返し練習をすること。
	第13回	【テーマ】楽曲の練習(無伴奏曲)3 【計画内容】これまでに学んだ、より高度な技術を駆使し楽曲を演奏し、表現力向上に結びつけます。 【準備学習の内容】演奏発表に備え集中力を持って、曲想表現に重点を置いた基礎練習を行うこと。
	第14回	【テーマ】演奏発表 【計画内容】各自練習した演奏曲を披露し、学習成果を確認します。 【準備学習の内容】演奏発表に備え集中力を持って、曲想表現に重点を置いた練習を行うこと。
	第15回	【テーマ】これまでの振り返りとまとめ 【計画内容】楽器の管理状況や演奏発表を含む基礎基本奏法の習得状況及び表現技術習得状況の確認を行います。 【準備学習の内容】楽器の手入れを行い、演奏発表までの取り組みをまとめておくこと。

テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』
参考書	初回オリエンテーションで説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		70%			30%	
補足		適時			平時	

質問への対応	授業前後またはオフィスアワーにて対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_選択
その他	

科目名	ピアノ表現演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	鈴木　しおり				

授業の目的		
	ねらい	(1)表現としての読譜力と技術を養う。 (2)歌唱教材(中学校･高等学校)に簡単な伴奏を付け、移調する。 (3)時代ごと(バロック･古典派･ロマン派･近代)の鍵盤作品の様式を学び、音楽史や音楽文化の理解に繋げる。 (4)ソナタ･変奏曲･ロンドなど、ピアノ作品の代表的な形式を理解する。 (5)ピアノ作品を鑑賞し、豊かな情操を養う。
	到達目標	(1)16小節程度の楽曲の移調＆伴奏、スケール＆カデンツを演奏する。 (2)古典作品(形式は自由)またはバロック作品を演奏する。 (3)自由課題のパフォーマンス(3分以内)を演奏する。 (4)生演奏や視聴覚教材でピアノ演奏を鑑賞学習する。 (5)学習成果を中間発表や最終発表で演奏披露する。

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション：「ピアノ表現演習Ⅰ」で学ぶこと 【計画内容】「ねらい」と「到達目標」について説明し、この講義の概要を学習します。また、実技レッスンの準備をします。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】演奏表現の基礎を固める(1) 【計画内容】表現力の基礎を固めるためスタートとして、マンツーマンのワンポイント･レッスンを実施します。 【準備学習の内容】演奏できる曲があれば、練習しておくこと。演奏できる曲のテキストがあれば、持参すること。	E
第3回	【テーマ】演奏表現の基礎を固める(2) 【計画内容】表現力の基礎を固めるため、ペダル奏法の基礎知識とその歴史的推移を学習します。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。自分の指導教員とレッスン室を確認しておくこと。	E
第4回	【テーマ】演奏表現の基礎を固める(3) 【計画内容】表現力の基礎を固めるため、レガート奏法の基礎知識とその歴史的推移を学習します。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	E
第5回	【テーマ】鑑賞学習(1) 【計画内容】ピアノの生演奏や DVD/CD の演奏を聴き、多様な音楽表現を聴き取る学習をします。 【準備学習の内容】教室(会場)の確認と、配付された資料を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】演奏表現の基礎を固める(4) 【計画内容】表現力の基礎を固めるため、ペダル奏法とレガート奏法の基礎知識とその歴史的推移を学習します。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	E
第7回	【テーマ】中間発表(1)～スケール･カデンツ、移調･伴奏～ 【計画内容】スケール･カデンツ、移調･伴奏の発表をします。 【準備学習の内容】充分に楽曲を練習して、発表できる段階まで準備し、完成させること。	E、L
第8回	【テーマ】演奏表現の基礎を固める(5) 【計画内容】表現力の基礎を固めるため、アーティキュレーションの基礎知識とその歴史的推移を学習します。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	E
第9回	【テーマ】演奏表現の基礎を固める(6) 【計画内容】表現力の基礎を固めるため、アーティキュレーションの基礎知識とその歴史的推移を学習します。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	E
第10回	【テーマ】演奏発表に向けての取り組み(1) 【計画内容】古典作品･バロック作品か、或いはパフォーマンスにおける最終発表に向けて、図書館等でテキストを探し選曲します。クラシックだけでなくポピュラー･ジャズなども学習財に含みます。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	E
第11回	【テーマ】中間発表(2)～演奏発表～ 【計画内容】「最終発表」を視野に入れた演奏発表をし、互いの演奏を聴きあう学習をします。 【準備学習の内容】充分に楽曲を練習して、発表できる段階まで準備すること。	F、H、L
第12回	【テーマ】鑑賞学習(2) 【計画内容】ピアノの生演奏や DVD/CD の演奏を聴き、多様な音楽表現を聴き取る学習をします。 【準備学習の内容】教室(会場)の確認と、配付された資料を読んでおくこと。	A
第13回	【テーマ】演奏発表に向けての取り組み(2) 【計画内容】古典作品･バロック作品とパフォーマンスにおける最終発表に向けて、自らの課題を見つけ、準備します。 【準備学習の内容】あらかじめ、テキストを検索しておくこと。	E
第14回	【テーマ】演奏発表に向けての取り組み(3) 【計画内容】古典作品･バロック作品とパフォーマンスにおける最終発表に向けて完成させます。 【準備学習の内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を完成させておくこと。	E
第15回	【テーマ】最終発表 【計画内容】担当教員を含めた全員の前で最終発表として演奏し、互いの演奏を聴きあう学習をします。 【準備学習の内容】充分に楽曲を練習して、発表できる段階まで準備し、完成させること。	F、H、L

テキスト	各自の進度に合わせて指示します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足					課題曲の予習･復習等	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中･高1種(音楽)_ 選択
その他	実技の習得は、毎日の練習が基本であることを自覚して講義に臨んでください。 「実技レッスン」「鑑賞学習」「中間発表」の順は、変更になる場合があります。

科目名	ピアノ表現演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	鈴木　しおり

授業の目的		
	ねらい	ピアノは、88鍵盤をもつ音域の広さであらゆる楽器の音域を網羅し、更に、旋律・ハーモニー・リズムと音楽の多様な要素に、ソロやアンサンブルとして対応できます。その意味から、人々の生涯学習における支援の場において大いに活躍が期待できる楽器です。本科目では、ピアノ実技を教員とのマンツーマンのレッスンを通して学習します。
	到達目標	(1)楽譜を正確に読みとる読譜力の学習 (2)ピアノパフォーマンスで自分らしさを出す表現力の学習 (3)音楽鑑賞で、ピアノの音楽表現を聴き取る学習 (4)スケール・カデンツと移調・伴奏の学習

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション:「ピアノ表現演習Ⅱ」で学ぶこと 【計画内容】「ねらい」と「到達目標」について説明し、この授業の概要を学習します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。演奏できる曲があれば、準備してくること。	A
	第2回	【テーマ】実技授業1: 楽譜を正確に読みとる読譜力について 【計画内容】楽譜に書かれている音符、拍子、リズム、フレージング、デナーミク、運指法など、ピアノでの表現方法をクラシックを教材として学習します。 【準備学習の内容】あたえられた課題を予習(練習)してくること。	E
	第3回	【テーマ】実技授業2: 楽譜を正確に読みとる読譜力について 【計画内容】楽譜に書かれている音符、拍子、リズム、フレージング、デナーミク、運指法など、ピアノでの表現方法をクラシックを教材として学習します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第4回	【テーマ】実技授業3: 楽譜を正確に読みとる読譜力について 【計画内容】楽譜に書かれている音符、拍子、リズム、フレージング、デナーミク、運指法など、ピアノでの表現方法をクラシックを教材として学習します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第5回	【テーマ】実技授業4: 楽譜を正確に読みとる読譜力について 【計画内容】楽譜に書かれている音符、拍子、リズム、フレージング、デナーミク、運指法など、ピアノでの表現方法をクラシックを教材として学習します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第6回	【テーマ】実技授業5: 楽譜を正確に読みとる読譜力について 【計画内容】楽譜に書かれている音符、拍子、リズム、フレージング、デナーミク、運指法など、ピアノでの表現方法をクラシックを教材として学習します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第7回	【テーマ】中間発表1 【計画内容】スケール・カデンツ、移調・伴奏の発表 【準備学習の内容】配付された資料をよく練習してくること。教室を確認しておくこと。	E、L
	第8回	【テーマ】鑑賞学習1 【計画内容】生演奏と視聴覚教材によるピアノ作品を鑑賞します。 【準備学習の内容】教室を確認しておくこと。	A
	第9回	【テーマ】鑑賞学習2 【計画内容】ピアノの生演奏を聴き、課題に基づいてレポートを提出します。 【準備学習の内容】日時や会場の確認をすること。配付された資料を読んでくること。	A
	第10回	【テーマ】実技授業6: コードへの理解 【計画内容】コードをポピュラーやジャズから学習します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第11回	【テーマ】実技授業7: 音階(スケール)と終止形(カデンツ) 【計画内容】音階と終止形を学び、楽曲理解と演奏表現へ繋がる学習をします。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第12回	【テーマ】実技授業8: 音階(スケール)と終止形(カデンツ) 【計画内容】音階と終止形を学び、楽曲理解と演奏表現へ繋がる学習をします。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	E
	第13回	【テーマ】中間発表2: 最終発表にむけての準備 【計画内容】最終発表にむけてリハーサルをかねて全員で準備します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	F、H、L
	第14回	【テーマ】中間発表3:最終発表にむけての準備 【計画内容】最終発表にむけてリハーサルをかねて全員で準備します。 【準備学習の内容】課題について復習と予習をしてくること。	F、H、L
	第15回	【テーマ】最終発表 【計画内容】各自が課題曲を全員の前で演奏発表し、学習の成果を披露します。 【準備学習の内容】これまでの学習課題を各自が全員の前で演奏発表をします。	F、H、L

テキスト	個人の進度に合わせて指示します

参考書	個人の進度に合わせて指示します 文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足					課題曲の予習・復讐を含む	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_ 選択
その他	「ピアノ基礎演習Ⅰ」、「ピアノ基礎演習Ⅱ」、「ピアノ表現演習Ⅰ」を履修済みであることが望ましいです。 中間発表や鑑賞学習の順は変わることがあります。

科目名	音楽教育フィールド演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井　敏勝、鈴木　しおり、千葉　圭説、河口　しほり				

授業の目的		
	ねらい	ピアノ･声楽･管打楽器、それぞれに「基礎演習Ⅰ･Ⅱ」で学んだ技術を基に重唱･重奏の演奏形態を通じてアンサンブルとしての表現技術及び表現方法を習得する。 この講義では、それぞれの編成のために作曲又は編曲された作品を、ジャンルを問わず演奏し、アンサンブルとしての基礎技術を身につける。
	到達目標	(1)グループとして演奏し、自分のパートの役割を理解する。 (2)アンサンブルに必要な個々の演奏技術を理解し、身につける。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション(15回の展開説明) 【計画内容】編成の確認。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。
	第2回	【テーマ】編成･楽曲を決める 【計画内容】ピアノは連弾、声楽は重唱、器楽は同属器楽によるアンサンブルを中心に行う。 【準備学習の内容】各楽器の準備と練習。
	第3回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。アンサンブルとしての基礎練習を含む。 【準備学習の内容】楽曲の個人練習。
	第4回	【テーマ】アンサンブル練習と楽曲について 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことで、より作品の理解を深める。 【準備学習の内容】作曲者や編曲者について調べる。
	第5回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】楽曲の練習。 【準備学習の内容】個人練習。
	第6回	【テーマ】アンサンブル練習 : 編成を変える 【計画内容】ピアノは2台ピアノ、声楽は重唱、器楽は同属器楽によるアンサンブルを中心に行う。 【準備学習の内容】新しい編成への準備。
	第7回	【テーマ】作品分析と練習 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことで、より作品の理解を深める。 【準備学習の内容】作曲者や編曲者について調べる。
	第8回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】ピアノは2台8手、声楽は重唱、器楽は4～10重奏などラージ編成のアンサンブルにも取り組む。 【準備学習の内容】新しい楽曲への準備、作品を分析する。
	第9回	【テーマ】アンサンブル基礎練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。アンサンブルとしての基礎練習を含む。 【準備学習の内容】楽曲練習、基礎要素を含む。
	第10回	【テーマ】新曲配付　アンサンブル練習 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことでより作品の理解も深める。 【準備学習の内容】作曲者について調べる。
	第11回	【テーマ】演奏発表会の企画 【計画内容】2台ピアノ、声楽は重唱、器楽は管打混合編成を含むアンサンブルも含め、学内外でのミニコンサートを企画･立案･実施する。 【準備学習の内容】発表会の企画を考える。
	第12回	【テーマ】発表会へむけての練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。アンサンブルとしての表現の幅を広げる。 【準備学習の内容】個人練習。
	第13回	【テーマ】発表会へむけての練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。 【準備学習の内容】個人練習。
	第14回	【テーマ】発表会へむけての練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。 【準備学習の内容】個人練習。
	第15回	【テーマ】演奏会の実施と反省 【計画内容】学内外での演奏発表会。 【準備学習の内容】各グループでの個別練習を実施。

テキスト	各自、各グループに合った楽譜を使用します。
参考書	初回オリエンテーションで説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)で対応します。
資格	
その他	課題評価は、演奏会における企画及び成果発表の内容です。

科目名	音楽教育フィールド演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井　敏勝、鈴木　しおり、千葉　圭説、河口　しほり				

授業の目的		
	ねらい	ピアノ･声楽･管打楽器、それぞれに「基礎演習Ⅰ･Ⅱ」で学んだ技術を基に重唱･重奏の演奏形態を通じてアンサンブルとしての表現技術及び表現方法を習得する。 この講義では、それぞれの編成のために作曲又は編曲された作品を、ジャンルを問わず演奏し、アンサンブルとしての演奏能力の向上を図る。
	到達目標	(1)グループとして演奏し、自分のパートの役割を理解したうえで、音程やタイミング、ハーモニーなどを合わせることができる。 (2)個々の演奏技術向上に加え、アンサンブルとしての表現技術を高める。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】編成の確認。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。
	第2回	【テーマ】各グループでのアンサンブル 【計画内容】ピアノは連弾、声楽は重唱、器楽は同属器楽によるアンサンブルを中心に行う。 【準備学習の内容】それぞれの楽曲選択と練習。
	第3回	【テーマ】各グループでのアンサンブル 【計画内容】アンサンブルとしての基礎練習を含む。 【準備学習の内容】新しい楽曲の練習。
	第4回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】作品分析を含む、楽曲の練習。 【準備学習の内容】楽譜を分析する。
	第5回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】それぞれのグループでリズム、ハーモニーなど基礎要素を確認する。 【準備学習の内容】個人練習。
	第6回	【テーマ】編成を変えてのアンサンブル 【計画内容】ピアノは2台、声楽は重唱、器楽は同属器楽によるアンサンブルを中心に行う。 【準備学習の内容】新しい編成でのアンサンブル曲を選択する。
	第7回	【テーマ】新曲でのアンサンブル 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことでより作品の理解も深める。 【準備学習の内容】前回の分析をもとに個人練習。
	第8回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】ピアノは2台8手、声楽は重唱、器楽は4～10重奏などラージ編成のアンサンブルにも取り組む。 【準備学習の内容】さまざまなアンサンブル形態を調べる。
	第9回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】各グループでの楽曲練習。アンサンブルとしての基礎練習を含む。 【準備学習の内容】各グループでの自主練習。
	第10回	【テーマ】アンサンブル 【計画内容】楽曲の練習、楽譜の分析等を行うことでより作品の理解も深める。 【準備学習の内容】各グループでの自主練習。
	第11回	【テーマ】発表演奏会企画 【計画内容】前学期に引き続き、より高度なアンサンブルを目指し、2台ピアノ、声楽は重唱、は管打混合編成を含むアンサンブルも含め、学内外でのミニコンサートを企画･立案･実施する。 【準備学習の内容】楽曲選択のための準備。
	第12回	【テーマ】演奏会へむけた各グループでの楽曲練習 【計画内容】アンサンブルとしての表現の幅を広げる。 【準備学習の内容】個人ならびにグループでの練習。
	第13回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】各グループでの練習。 【準備学習の内容】個人ならびにグループでの練習。
	第14回	【テーマ】アンサンブル練習 【計画内容】演奏会前のすべてのプログラムを演奏する。 【準備学習の内容】各グループでの練習。
	第15回	【テーマ】演奏会の実施と反省 【計画内容】演奏会終了後に演奏と企画についての反省をする。 【準備学習の内容】本番へむけての練習。

授業の計画	
	A
	E、H
	E、H
	A、E
	E、H
	H
	A、E、H
	E、H
	E、H
	A
	B、H
	H
	H
	H、L
	B、F、H、L

テキスト	各自、各グループに合った楽譜を使用します。
参考書	初回オリエンテーションで説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)で対応します。
資格	
その他	課題評価は、演奏会における企画及び成果発表の内容です。

科目名	音楽科教育法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	今井　敏勝				
授業の目的	ねらい	音楽科教育法の基礎を学ぶ。 音楽科教育の意義や学習指導要領の内容を理解し、音楽教育の基礎を学ぶ。音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質、能力を教育する基礎を身につける。			
	到達目標	(1)中学校・高等学校の音楽科教育の意義・目標と教育内容の基礎について理解する。 (2)音楽科の学習指導要領と、基礎的な指導法について理解する。 (3)教材研究の重要性について理解する。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義の概要及び講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、展開、テキスト等についての説明を行う。 【準備学習の内容】シラバスやテキストに目を通し、持参すること。	A
	第2回	【テーマ】これからの音楽科教育の役割 【計画内容】音楽科教育で何を指導するか、音楽科教育の基礎を学ぶ。 【準備学習の内容】青少年期における音楽科の役割(テキスト p.6～ p.9)を熟読しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】学習指導要領とはⅠ 【計画内容】中学校における学習指導要領の理解と全体構造の内容を学ぶ。 【準備学習の内容】学習指導要領(テキスト p.150～ p.153)を熟読しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】学習指導要領とはⅡ 【計画内容】高等学校の芸術(音楽)における学習指導要領の構造と内容を学ぶ。 【準備学習の内容】学習指導要領(テキスト p.154～ p.157)を熟読しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】学習評価の考え方 【計画内容】学習評価についての考え方、評価方法、観点についての理解を学ぶ。 【準備学習の内容】評価(テキスト p.78～ p.83)を熟読しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】教材研究の意義と重要性について学ぶ。 【計画内容】教材研究の意義と重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト p.28～ p.33を熟読しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】教材研究の作成方法を学ぶ。 【計画内容】教材研究の作成方法を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの教材研究を熟読しておくこと。	A、N
	第8回	【テーマ】発展的な学習とは 【計画内容】音楽科教育における、主体的・対話的な教育の指導のあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】第7章を熟読しておくこと。	A、N
	第9回	【テーマ】授業の計画案の重要性 【計画内容】音楽教育における授業計画案の重要性を考察し計画案の立案をする。 【準備学習の内容】テキストの指導計画と評価計画を熟読しておくこと。	A、N
	第10回	【テーマ】】学習指導案の作成の準備と情報機器の活用法 【計画内容】学習指導案の作成の理解と、情報機器の活用法を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの学習指導案の作成と手順を熟読しておくこと。	A、N
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】前回学習したことを踏まえて、学習指導案を作成する。 【準備学習の内容】各自学習指導案のテーマを考察しておく。	A、H
	第12回	【テーマ】模擬授業の基礎Ⅰ(A班) 【計画内容】各自作成した学習指導案を基に、模擬授業を行なう。 【準備学習の内容】各自の授業テーマに従って模擬授業の準備しておく。	A、G
	第13回	【テーマ】模擬授業の基礎Ⅱ(B班) 【計画内容】各自作成した学習指導案を基に、模擬授業を行なう。 【準備学習の内容】各自学習指導案を基に模擬授業の研究しておくこと。	A、H、N
	第14回	【テーマ】模擬授業の振り返り・改善 【計画内容】これまで行なった模擬授業の反省及び改善点を研究する。 【準備学習の内容】各自学習指導案を基に、模擬授業の改善点を研究しておくこと。	A、H、N
	第15回	【テーマ】「音楽科教育法Ⅰ」のまとめ 【計画内容】これまで学んだ音楽教育における、実践的にどのように展開していくかを学ぶ。 【準備学習の内容】成果を発表できるよう準備すること。	A、L

テキスト	石澤眞紀夫、『音楽科教育法』、教育芸術社 『中学音楽1、2・3上、2・3下　音楽のおくりもの』、教育出版、教育出版 『Tutti 音楽Ⅰ・Ⅱ』、教育出版
参考書	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領』、東山書房 その他、プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	30%	20%	20%
	補足			平時	指導案作成	平時	模擬授業

質問への対応	適宜対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	意欲的に授業に参加できるよう予習・復習を徹底すること。

科目名	音楽科教育法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	今井　敏勝				
授業の目的	ねらい	「音楽科教育法Ⅰ」で身につけた音楽科、芸術科に関する基礎的な理解や指導法を踏まえ、感性を働かせ、他者と協働して音楽表現を生み出す力や、音楽の楽しさ、良さを感じることなどの発展的な指導法を身につける。			
	到達目標	(1)音楽科教育の意義・目標・内容・方法の理解を深め、指導法を身につける。 (2)音楽科の学習指導要領を基に指導法を深め、具体的な学習指導計画を学ぶ。 (3)教材研究を深め、各領域の指導法を身につけ、模擬授業を通して指導法を学ぶ。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義の概要及び講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、展開、テキスト等について説明する。 【準備学習の内容】シラバスやテキストに目を通し、持参すること。	A
	第2回	【テーマ】指導要領の理解と授業展開1 【計画内容】中学校の指導要領の理解を深め、どのように授業を展開していくかを学ぶ。 【準備学習の内容】各自中学の学習指導要領を読んでおくこと。	A、G
	第3回	【テーマ】指導要領の理解と授業展開2 【計画内容】高等学校の授業を指導要領の理解を深め、どのように授業を展開していくかを学ぶ。 【準備学習の内容】各自高等学校の指導要領を読んでおくこと。	A、G、H
	第4回	【テーマ】評価の意義と課題 【計画内容】音楽科教育における評価の観点と評価基準を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの5·評価を読んでおくこと。	A、N
	第5回	【テーマ】音楽科教育における教材研究1 【計画内容】表現(歌唱)の教材研究を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第3章　教材研究を熟読しておくこと。	A、H
	第6回	【テーマ】音楽科教育における教材研究2 【計画内容】表現(器楽)の教材研究を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの教材研究の方法を熟読しておくこと。	A、G、H
	第7回	【テーマ】音楽科教育における教材研究3 【計画内容】表現(創作)の教材研究を学ぶと共にコンピュータソフトの活用を学ぶ。 【準備学習の内容】創作に関する教材研究を考察しておくこと。	A、N
	第8回	【テーマ】音楽科教育における教材研究4 【計画内容】鑑賞の教材研究を学ぶ。 【準備学習の内容】中学·高等学校の鑑賞教材をまとめておくこと。	A、H
	第9回	【テーマ】コンピュータと音楽 【計画内容】音楽ソフトを効果的に活用する方法を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの「コンピューターと音楽」を熟読しておくこと。	A、G
	第10回	【テーマ】学習指導計画の重要性 【計画内容】学習指導計画の重要性を理解し作成と手順を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの学習指導計画を熟読をしておくこと。	A、N
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成1 【計画内容】表現(歌唱·器楽·創作)の学習指導案の作成。 【準備学習の内容】第4章　学習指導案の作成と手順を熟読しておくこと。	A、H
	第12回	【テーマ】学習指導案の作成2 【計画内容】表現及び鑑賞の関連性を考察した学習指導案の作成を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの学習指導案の事例を熟読しておくこと。	A、G
	第13回	【テーマ】模擬授業の展開1 【計画内容】Ａグループにより作成された指導案を基に模擬授業を行い、指導方法について学ぶ。 【準備学習の内容】模擬授業の準備をしておくこと。	A、N
	第14回	【テーマ】模擬授業の展開2 【計画内容】Ｂグループにより作成された指導案を基に模擬授業を行い、指導方法について学ぶ。 【準備学習の内容】模擬授業の準備をしておくこと。	A、H
	第15回	【テーマ】「音楽科教育法Ⅱ」のまとめ 【計画内容】これまで行なわれた指導案作成や模擬授業を振り返り、改善点を学ぶ。 【準備学習の内容】これまで学んだことをまとめておくこと。	A、L

テキスト	石澤眞紀夫、『音楽科教育法』、教育芸術社 『中学音楽1、2·3上、2·3下　音楽のおくりもの』、『中学器楽　音楽のおくりもの』、教育出版 『Tutti 音楽Ⅰ·Ⅱ』、教育出版
参考書	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領』、東山書房 その他、プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	30%	20%	20%
	補足			平時	指導案作成	平時	模擬授業

質問への対応	適宜対応します。
資格	[教]中·高1種(音楽)_必修
その他	意欲的に授業に参加できるよう予習·復習を徹底すること。

科目名	生徒指導論(進路指導を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				

授業の目的		
	ねらい	生徒指導は、児童・生徒の人格の健全な育成を図るため、全教育活動において行われるものであり、学校教育においては、教科指導と車の両輪としての意義を持っている。本講義では、非行や問題行動への対応ばかりではなく、積極的に教科、学級(HR)、学年、学校全体の教育活動に携わる望ましい生徒指導、進路指導の在り方を学習する。 生徒指導は、中学校・高校においては教員として欠かすことのできない重要な教育技法であるため、中等教育における開発的、発達援助的な生徒指導のあり方や進路指導のあり方についての基本を理解することが肝要である。
	到達目標	(1)生徒指導の教育的意義や目的、基本原理や機能を理解する。 (2)中等教育における生徒理解のあり方、個に応じた望ましい指導の実践力を身につける。 (3)個と併せて集団指導のあり方を理解する。 (4)今日的な課題の多様な解決策、問題行動に対応できる資質能力を身につける。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の目的と進め方を説明する。生徒指導の導入として、文部科学省から出された『生徒指導提要』に基づき生徒指導の教育的意義を学習する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】生徒指導の範囲・生徒指導の基本原理 【計画内容】学校教育における生徒指導の範囲、基本原理について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】個別指導について 【計画内容】児童生徒個々の心情や生育環境など理解することが、生徒指導にとってきわめて重要なことであることを確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】集団指導について 【計画内容】集団指導の方法や課題を理解する。個別指導と集団指導をバランスよく取り入れていくことが肝要であるが、突き詰めれば集団指導は個別指導に他ならないことを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】生徒指導と道徳や特別活動との関わり 【計画内容】生徒指導と各教科とのつながりを学習する。中でも道徳や特別活動との関わりが深いことを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】学級担任と生徒指導 【計画内容】学校組織内で生徒指導に果たす学級担任のあり方、教師間の連携について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】中・高等学校における生徒指導体制のあり方 【計画内容】学校組織内で生徒指導をいかに潤滑に行うか、校務分掌間の関連を学習する。 【準備学習の内容】これまでの学習内容をよく復習し理解をしておくこと。	A
	第8回	【テーマ】これまでの学習のまとめとして　グループ・ワーク 【計画内容】これまでの学習を踏まえて、論点を出し合い、グループワークを行う。11回からの学生によるプレゼンテーションの説明。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第9回	【テーマ】生徒指導の現代的課題と問題行動 【計画内容】児童生徒の問題行動が社会の影響を強く受けるものであることを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】生徒指導に関するケース・スタディ(中学校・高等学校) 【計画内容】いじめ、不登校、万引きなど、中・高等学校における具体的な問題の事例により学習を深める。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	J
	第11回	【テーマ】中・高等学校におけるいじめについて　プレゼンテーション 【計画内容】主にいじめを取り上げ、現在の学校現場でのいじめの状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第12回	【テーマ】中・高等学校における不登校について　プレゼンテーション 【計画内容】主に不登校を取り上げ、学校現場での不登校の状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第13回	【テーマ】いじめ、不登校のまとめ、振り返り 【計画内容】いじめや不登校の対策として地域、家庭、関係専門機関との連携の重要性について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第14回	【テーマ】中・高等学校におけるキャリア教育① 【計画内容】キャリア教育推進の方針について学習する。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A
	第15回	【テーマ】中・高等学校におけるキャリア教育②　総合的な振り返り 【計画内容】各発達段階で必要な経験を確認し、児童生徒に有効な支援を実施できるようにする。 【準備学習の内容】これまでの学習について復習し、使用したプリントを持参する。	H

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、『生徒指導提要』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		20%		10%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修　[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	他の科目と同時に重要な内容を含んでおります。理論と事例を取り交ぜますので、しっかり取り組んで学習をしてください。

芸　術　学　科
学 科 専 門 科 目

科目名	美術史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	柴　勤				
授業の目的	ねらい	西洋と日本の美術史の流れを学びながら、それらを当時の宗教や政治、経済など社会との関係の中で理解するとともに、美術作品を鑑賞する際の基本的な視点についても学ぶ。西洋美術はルネサンスから20世紀まで、日本美術は飛鳥時代から現代までの美術史を通して、それぞれの変遷を理解し、現代美術の多岐にわたる様相を考える手がかりを得ることが本講義の目的である。さらに、日本の伝統美術とアジア美術の潮流を眺めながら、こうした展開を具体的な作家、作品を取り上げて鑑賞しながら検証することから発展し、受講生一人ひとりが実際の美術館、ギャラリーで作品を鑑賞する契機とする。				
	到達目標	(1)西洋美術と日本美術の基本的な歴史を理解する。 (2)美術と社会との関係を理解する。 (3)美術と文学、音楽など隣接領域の芸術との関係を理解する。 (4)日本の現代美術と伝統美術との関係を理解する。 (5)アジア美術と現代美術との関係を理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の進め方と単位取得のための課題などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読し、講義ノートを一冊用意すること。				A
	第2回	【テーマ】西洋の美術(ルネサンス) 【計画内容】ルネサンス期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第3回	【テーマ】西洋の美術(バロック･ロココ) 【計画内容】バロックおよびロココ期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第4回	【テーマ】西洋の美術(19世紀前半①) 【計画内容】新古典主義からロマン主義に至る19世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第5回	【テーマ】西洋の美術(19世紀前半②) 【計画内容】バルビゾン派やレアリスム絵画など19世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第6回	【テーマ】西洋の美術(19世紀後半①) 【計画内容】マネから印象主義に至る19世紀後半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第7回	【テーマ】西洋の美術(19世紀後半②) 【計画内容】後期印象主義から世紀末美術に至る19世紀後半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第8回	【テーマ】西洋の美術(20世紀前半①) 【計画内容】フォーヴィスムからキュビスムに至る20世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第9回	【テーマ】西洋の美術(20世紀前半②) 【計画内容】ダダイスムからシュルレアリスム、およびエコール･ド･パリなど20世紀前半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第10回	【テーマ】西洋の美術(20世紀後半) 【計画内容】抽象表現主義やアンフォルメル、ポップアートなど20世紀後半期美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第11回	【テーマ】日本の美術(飛鳥～平安時代) 【計画内容】飛鳥から平安時代に至る美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第12回	【テーマ】日本の美術(鎌倉～江戸時代) 【計画内容】鎌倉から江戸時代に至る美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第13回	【テーマ】日本の美術(明治～昭和時代) 【計画内容】明治から大正を経て昭和時代(戦前)に至る美術の内容と意義について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第14回	【テーマ】日本の現代美術とアジアの美術 【計画内容】昭和(戦後)以降の日本の現代美術とアジアの美術の内容と関係性について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。				A
	第15回	【テーマ】西洋の美術、日本の美術のまとめ 【計画内容】第2回から第14回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行い、課題レポートを提出する。 【準備学習の内容】講義ノートの整理と課題レポートの作成。				A、G
テキスト	プリントを使用します					
参考書	必要に応じて指示します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%	30%	20%			
	補足						

質問への対応	基本的には講義時に対応します。必要に応じてメール対応もします。
資格	[芸]中･高1種(美術)_必修
その他	

科目名	色彩計画	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小屋　亮子				
授業の目的	ねらい	いろいろなジャンルのデザインや芸術作品を制作するにあたり、視覚的な要素の中で最も重要とされ「色彩」に関する基本的な知識を習得すると共に実践的な応用能力の習得を目指します。 各自の感性を正確に捉え、今後の造形センスに役立つ手法を学びます。			
	到達目標	(1)色彩基礎の理解。 (2)各自の感性の確認。 (3)共通尺度、共通言語の修得。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス　色彩基礎1(色の基本的なしくみ) 【計画内容】講義内容と授業展開の説明、カラーカードを使ったカラーシステム演習。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。スティック糊、ハサミを各自用意し、持参すること。	B
第2回	【テーマ】色彩基礎2(色の基本分類) 【計画内容】新聞紙を使った無彩色の段階演習。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。新聞紙、スティック糊、ハサミを持参のこと。	B
第3回	【テーマ】色彩学の分類・色の弁別 【計画内容】カラーグラビアを使った色の弁別(色を見分ける)トレーニング。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。切ってもよいグラビアがたくさんある雑誌、スティック糊、ハサミを持参すること。	B
第4回	【テーマ】基本的な配色方法 【計画内容】カラーカードを使った配色トレーニング。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。カラーカード、スティック糊、ハサミを持参すること。	B
第5回	【テーマ】配色方法の基本・色の調子 【計画内容】絵の具を使った混色演習。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。	H
第6回	【テーマ】基本色と配色技術 【計画内容】基本色と配色技術 : 色鉛筆を使った配色技術演習。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。色鉛筆を持参すること。	B
第7回	【テーマ】配色構成と役割 【計画内容】配色構成と役割 : 色鉛筆を使った配色構成演習。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。色鉛筆を持参すること。	B
第8回	【テーマ】課題講評 【計画内容】前半の課題講評と各自の感性確認。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。	A
第9回	【テーマ】連想イメージ 【計画内容】色から言葉へ、言葉から色への変換演習。 【準備学習の内容】前回の好評内容を踏まえ、各自の色使いの傾向を確認しておくこと。	B
第10回	【テーマ】イメージコラージュの基礎 【計画内容】カラーグラビアを使ったイメージコラージュ演習。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。切ってもよいグラビアがたくさんある雑誌、スティック糊、ハサミを持参すること。	B
第11回	【テーマ】コーディネートの基本 【計画内容】カラーグラビアを使ったイメージコーディネート演習1。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。切ってもよいグラビアがたくさんある雑誌、スティック糊、ハサミを持参すること。	B
第12回	【テーマ】イメージコーディネートの基礎 【計画内容】カラーグラビアを使ったイメージコーディネート演習2。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。切ってもよいグラビアがたくさんある雑誌、スティック糊、ハサミを持参すること。	B
第13回	【テーマ】イメージコーディネートの応用 【計画内容】カラーグラビアを使ったイメージコーディネート演習3。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。切ってもよいグラビアがたくさんある雑誌、スティック糊、ハサミを持参すること。	B
第14回	【テーマ】イメージ表現比較・イメージ分類 【計画内容】イメージコーディネートボードの比較演習。イメージ分類演習。 【準備学習の内容】前回時間内にできなかった課題を完成させ、提出すること。	B
第15回	【テーマ】全体講評 【計画内容】演習課題の総評とまとめ。 【準備学習の内容】15回の内容を振り返り、各自の作品傾向を確認し、今後の作品制作に活用すること。又、授業内容もまとめて整理しておくこと。	A

テキスト	講義時に説明します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_ 選択、インテリアプランナー _ 選必
その他	この科目は、全部の授業を受講して全体がつかめるようにプログラムされていますので、休まず受講してください。 欠席した場合も、課題は提出してください。 テキストは、オリジナルの物を使いますので、テキストと教材は、別途個人負担となります。 進捗状況により授業内容を変更することがあります。

科目名	空間デザイン史	授業形態	講義	単位数	2
教員名	水野　信太郎				

授業の目的		
	ねらい	本講義は、日本建築史と西洋建築史さらに近代建築史について、各時代の主要な様式や技術を学ぶ。日本建築史では、海外からの様式や技術を取り入れながら独自の発展を遂げてきたことを述べる。また西洋建築史においては、各時代の宗教などさまざまな文化との関連性に触れつつ構法と造形の発展過程や表現などについて講義する。そして近代建築史では、著名な建築家と作品、くわえて作家活動の流れに関しても講ずる。まとめとして、世界の現代建築と近未来を展望する。
	到達目標	(1)建築物と建築行為の基本を理解すること。 (2)わが国の歴史的建築物が、世界の中で占める位置づけを感じ取る。 (3)西洋建築を中心として、世界のさまざまな建築物を大きくとらえる。 (4)現代建築へ続く近代建築と代表的な建築家たちのこころざしを知る。 (5)最後に将来、建築関係者として社会活動をする心構えを養うこと。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ヴォイドな空間とスペース・建築の誕生 【計画内容】建築行為と建築物の違い、建築空間の原初的な姿、住居と住宅の相違点など基本的事項を知る。 【準備学習の内容】建築物と呼ばれるために必要な3条件(定義)と建築行為の4種類を調べてくる。	A
	第2回	【テーマ】日本建築の黎明 【計画内容】宗教建築の誕生と神社建築、その代表的な事例などを学習する。 【準備学習の内容】わが国の著名な神社建築に関して2～3例を調べてくる。	A
	第3回	【テーマ】仏教伝来と仏教寺院の成立 【計画内容】仏教建築の和様・天竺様・唐様の違いを明確に理解できるよう講義する。 【準備学習の内容】わが国の著名な仏教寺院について2～3例を調べてくること。	A
	第4回	【テーマ】わが国古代から中世の住宅建築 【計画内容】寝殿造と書院造の違いを理解するため、御所・離宮における敷地配置・座敷・壁そして天井などを論ずる。 【準備学習の内容】寝殿造と書院造の背景と相違点を調べておくこと。	A
	第5回	【テーマ】安土・桃山から江戸時代の建築的変遷 【計画内容】天守閣・茶室・霊廟建築そして町家と町並みの成立を説明していく。 【準備学習の内容】戦国期に誕生した日本建築の特徴・日本的な特色を調べる。	A
	第6回	【テーマ】西洋の古典建築・オリエントとクラシック 【計画内容】エジプト、メソポタミア、古代ギリシア・ローマという西洋建築の源泉を学習する。 【準備学習の内容】エジプト、メソポタミア、ギリシア、ローマの代表的建築物を各1例ずつ調べてくる。	A
	第7回	【テーマ】西洋中世の建築様式 【計画内容】キリスト教建築のビザンチン・ロマネスク・ゴシック、それぞれのスタイルについて講義する。 【準備学習の内容】教会堂のビザンチンとロマネスクとゴシック様式の形態面での相違点を予習しておく。	A
	第8回	【テーマ】西洋の城と住宅・中世建築様式 【計画内容】中世封建社会における世俗建築のチューダー様式とハーフ・ティンバーを学ぶ。 【準備学習の内容】予習として、ヨーロッパのチューダー王朝について各自で文献調査する。	A
	第9回	【テーマ】西洋近代の幕開け 【計画内容】ルネサンス・マニエリスム・バロック・ロココという近代の様式を順に講義する。 【準備学習の内容】かつて社会科で教えられた「文芸復興」を復習しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】日本の近代・幕末から明治維新 【計画内容】江戸時代末期と開国そして明治時代の西洋建築について学習する。 【準備学習の内容】北海道を代表する明治建築・西洋館を1～2例図書館の蔵書で調べてくる。	A
	第11回	【テーマ】アール・ヌーヴォーとアール・デコ 【計画内容】19世紀末のアール・ヌーヴォーと20世紀のアール・デコの具体例を多数あげて講義する。 【準備学習の内容】よく似ているアール・ヌーヴォーとアール・デコの違いを整理してくること。	A
	第12回	【テーマ】モダニズムの芽生えと近代建築家 【計画内容】ヨーロッパの工業化社会と近代技術に支えられて新しい建築家たちが誕生した歴史を説明する。 【準備学習の内容】現代建築につながる鉄筋コンクリート構造の基本的知識を再確認してくる。	A、J
	第13回	【テーマ】大正・昭和の日本人建築家 【計画内容】様式折衷主義時代から分離派建築運動への歩みを著名建築家たちの実作にそって講ずる。 【準備学習の内容】現代の高層建築ほかを支える鉄骨構造の基本的知識を再確認してくる。	A、J
	第14回	【テーマ】世界現代の建築スタイル 【計画内容】インターナショナル建築と呼ばれた「国際建築」様式の誕生について講義する。 【準備学習の内容】20世紀の日本建築界をリードした建築家1名についてリポートをまとめる。	A、J
	第15回	【テーマ】ポスト・モダンと近未来建築 【計画内容】今日のポスト・モダン建築と今後の建築デザインを展望する。 【準備学習の内容】半期分全体の学習内容を学び直すと共に、建築界に対する自らの抱負を再確認する。	A、J

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		40%		20%	
補足						

質問への対応	その都度、学生個人に対して応ずると共に、必要な場合にはすべての受講生が共有することができるかたちで対応します。
資格	[芸] 1・2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	届け出のない欠席がある場合は、単位認定が困難となります。

科目名	テクニカルスケッチ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小室　晴陽、林　亨、勝田　信吾				
授業の目的	ねらい	工芸･アート･グラフィック･ファッション･家具･インテリア･都市や住まいなど､我々の生活を豊かにするモノや製品､家具や空間など立体物の紙面による表現技法を学ぶ。クリエイティブデザインを行うために必須となる手描きスケッチの基礎を習得する。			
	到達目標	(1)フリーハンドで幾何学的な線を描く(線と形､四角い立体を描く､だ円を使った丸い立体)､線の種類と文字､幾何学的な装飾文様を描く。 (2)立体の表現(立体のスケッチとテクスチュア表現)。 (3)描画図法テクニック(投影図法､三面図､アクソメ､アイソメ､パースペクティブ)。 (4)インテリア空間の表現､製図のルール､三面図を読み空間をイメージする。 (5)アイデアをカタチにするまでの各種スケッチ方法を習得する。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義オリエンテーション､本講義の目的､空間や立体表現の方法･種類について 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(小室晴陽･林亨･勝田信吾) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A､B
	第2回	【テーマ】フリーハンドで幾何学的な線を描く(線と形､四角い立体を描く､テクスチュアの表現) 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(林亨) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第3回	【テーマ】フリーハンドで幾何学的な線を描く(だ円を使った丸い立体､陰影の表現) 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(林亨) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第4回	【テーマ】イメージスケッチによる立体･空間の表現1 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(林亨) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第5回	【テーマ】イメージスケッチによる立体･空間の表現2 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(林亨) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第6回	【テーマ】投影図法の説明及び基本形態の描画1 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(勝田信吾) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第7回	【テーマ】基本形態の描画2及びその組み合わせの描画 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(勝田信吾) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第8回	【テーマ】基本形態に近い立体物の描画 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(勝田信吾) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第9回	【テーマ】やや複雑な形態の立体物の描画 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(勝田信吾) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第10回	【テーマ】やや複雑な形態に立体感をつけた立体物(日用品)の描画 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(勝田信吾) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第11回	【テーマ】描画図法テクニック1(1点パース) 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第12回	【テーマ】描画図法テクニック2(1点パース､簡略図法) 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第13回	【テーマ】描画図法テクニック3(2点投影図法) 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第14回	【テーマ】空間や立体物をスケッチ･平立面図･立体図法で表現する1 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B
	第15回	【テーマ】空間や立体物をスケッチ･平立面図･立体図法で表現する2･講評 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A､B

テキスト	自作プリントを配付します
参考書	関連資料･演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

質問への対応	講義時間内及びオフィスアワー時等に個別に対応します。
資格	[芸] 1･2級建築士 _ 選択､インテリアプランナー _ 選必
その他	

科目名	建築計画	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小室　晴陽、東村　有三				
授業の目的	ねらい	人と建物･空間との係わり合いの中から、建物種別ごとの機能並びに計画要件について学ぶ。建築計画の基本的な考え方と方法を理解する。 本講義では建築種別ごとにみた建築計画上の特徴･各部条件について解説を行う。また、集団住宅地の計画、建築物における防災･避難についてもその基本を理解する。			
	到達目標	(1)建築種別の建築計画を理解します (2)建築計画を通して、建築のあり方を学びます (3)細部計画等を通して建築をより深く学びます			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義概要、都市を構成する各種の建築物 【計画内容】授業ガイダンス及び、都市を構成する各種の建築物について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】居住施設① 【計画内容】居住施設(独立住宅、集合住宅の分類、集合住宅の各部計画について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第3回	【テーマ】居住施設② 【計画内容】居住施設(独立住宅の計画、2世帯住宅の計画)について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第4回	【テーマ】居住施設③ 【計画内容】居住施設(集合住宅の設計手法、区分所有と維持修繕)について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第5回	【テーマ】生涯学習施設① 【計画内容】生涯学習施設(図書館、博物館･美術館)について具体的に学ぶ。(小室晴陽･東村有三) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第6回	【テーマ】生涯学習施設② 【計画内容】生涯学習施設(劇場･音楽ホール)について具体的に学ぶ。(小室晴陽･東村有三) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第7回	【テーマ】生涯学習施設③ 【計画内容】生涯学習施設(コミュニティ施設、複合公共施設)について具体的に学ぶ。(小室晴陽･東村有三) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第8回	【テーマ】事務所建築 【計画内容】事務所建築(コアシステム、レンタブル比、各部計画)について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第9回	【テーマ】宿泊施設① 【計画内容】宿泊施設(シティホテル、ビジネスホテル、リゾートホテル、旅館･民宿)について具体的に学ぶ。(東村有三) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第10回	【テーマ】宿泊施設② 【計画内容】宿泊施設②(デザイナーズホテル、モーターホテル、コンドミニアム、レジデンスホテル)について具体的に学ぶ。(東村有三) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第11回	【テーマ】細部計画 【計画内容】細部計画(動作寸法、廊下･階段の計画)について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第12回	【テーマ】集団住宅地の計画 【計画内容】集団住宅地の計画について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第13回	【テーマ】建築生産、建具、木造構造･各部計画 【計画内容】建築生産、建具、木造構造･各部計画について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第14回	【テーマ】防災･避難 【計画内容】防災･避難(防災計画･避難計画、排煙設備、避難階段、内装制限) について具体的に学ぶ。(小室晴陽) 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A、B
	第15回	【テーマ】本授業のまとめ 【計画内容】本授業で学び習得してきた内容について振り返り授業全体をまとめつつ、建築計画を再確認する。(小室晴陽) 【準備学習の内容】これまでの学習内容を再確認しておくこと。	A、B

テキスト	自作プリントを配付します。
参考書	浅野平八ほか、2011年、『わかる建築学「建築計画」』、学芸出版、9784761524999

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

質問への対応	120研究室(小室研究室)でオフィスアワー時などを利用して適宜受け付けます。
資格	[芸] 1･2級建築士 _ 選必
その他	資料を配付して授業を進めます。

科目名	ウェブデザインⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	浅井　貴也				
授業の目的	ねらい	インターネットや web サイト、web ページがどのように構成されているのか学習し、実際にウェブ用のプログラミング言語の一つである、HTML と CSS を使ってウェブページ制作の基礎を学びます。また、テーマ性のあるオリジナルのウェブサイトをコンセプトから考え、完成させることを目標とします。			
	到達目標	(1)インターネット、web サイト、web ページの構成が理解できる。 (2)ウェブデザインにおける専門用語が理解できる。 (3) HTML の基礎文法を理解し、実際に web ページを組み上げることができる。 (4) CSS の基礎文法を理解し、実際に web ページにデザイン要素を追加することができる。 (5)作り手の視点から情報の提供方法や目的に合ったデザインを考えられる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容と15回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】講義内容の復習とネットワーク上の共有フォルダーの使い方を覚えること。			B
	第2回	【テーマ】インターネット・ネットワークについて 【計画内容】インターネットの概要や技術的用語について学びます。 【準備学習の内容】今回学習した内容を授業ノートにまとめ、質問があれば次回までに用意しておくこと。			B
	第3回	【テーマ】HTML の基礎文法について 【計画内容】web ページを構成するために必要な HTML について、記述する際の文法やルールについて学びます。 【準備学習の内容】今回学習した内容を授業ノートにまとめ、質問があれば次回までに用意しておくこと。			B
	第4回	【テーマ】ハイパーリンクについて 【計画内容】web ページ間移動の仕組みについて学び、実際に HTML を使ってページを作成します。 【準備学習の内容】リンクによるページ間移動について復習、今回学習した内容を授業ノートにまとめること。質問があれば次回までに用意しておくこと。			B
	第5回	【テーマ】画像表示について 【計画内容】フォトショップを使用した web 用の画像加工と最適化、web ページでの表示について学びます。 【準備学習の内容】web ページの画像表示について復習、今回学習した内容を授業ノートにまとめること。質問があれば次回までに用意しておくこと。			B
	第6回	【テーマ】テーブル(表)について 【計画内容】テーブル(表)の作成方法をサンプルを作成しながら学びます。 【準備学習の内容】テーブル作成の復習、今回学習した内容を授業ノートにまとめること。質問があれば次回までに用意しておくこと。			B
	第7回	【テーマ】フォームについて 【計画内容】web ページで使われるフォームによるアンケートページを例に実際に作成します。 【準備学習の内容】フォーム作成の復習、今回学習した内容を授業ノートにまとめること。質問があれば次回までに用意しておくこと。			B
	第8回	【テーマ】CSS の基礎 【計画内容】CSS の概要と記述方法、ルールについて学び、web ページにレイアウトデザインの要素を取り込む方法を学びます。 【準備学習の内容】CSS の基礎概念についてしっかりと復習し、授業ノートにまとめること。この授業ノートは参考書として頻繁に活用します。			B
	第9回	【テーマ】CSS と文字デザインについて 【計画内容】CSS の文字に関する属性を使って、文字サイズ、色、行間などを操作し、読みやすいテキストを作成します。 【準備学習の内容】サンプルを使って CSS の練習をしておくこと。新しく学んだ CSS を授業ノートにまとめておくこと。			B
	第10回	【テーマ】CSS と画像について 【計画内容】CSS による画像に関する属性を使って、画像サイズ、配置、背景画像の表示について学びます。 【準備学習の内容】サンプルを使って CSS の練習をしておくこと。新しく学んだ CSS を授業ノートにまとめておくこと。			B
	第11回	【テーマ】web サイト構築のプロセス1 【計画内容】実際に web サイトを構築するための制作工程を学びます。第1回目は、サイトコンセプトについて考えます。 【準備学習の内容】コンセプトについて考え、次回までに完成させること。			B、H、K
	第12回	【テーマ】web サイト構築のプロセス2 【計画内容】サイトコンセプトの決定後、サイトマップとワイヤーフレームの概念について学び、実際に作成します。 【準備学習の内容】サイトマップとワイヤーフレームを次回までに完成させること。			B、H、K
	第13回	【テーマ】web サイト構築のプロセス3 【計画内容】web ページに必要な情報を素材(文章と画像など)の収集の仕方と注意点について学びます。また、インターネット上での著作権についても学習します。 【準備学習の内容】素材集めを完了させ、次回の講義に持参すること。			B
	第14回	【テーマ】web サイト構築のプロセス4 【計画内容】プロセス1から3をもとに、実際に HTML と CSS を使用してページ制作を行います。 【準備学習の内容】HTML と CSS によるページコーディングを完成させること。提出する授業ノートをまとめておくこと。			B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】完成した作品を発表し、全員で講評します。最後に「ウェブデザインⅠ」15回を振り返ります。また「ウェブデザインⅡ」の紹介を通じて、今後の学びについても紹介します。 【準備学習の内容】これまで学習した内容をまとめ、「ウェブデザインⅡ」へ向けた準備をしておくこと。			B、F、L
テキスト	プリントを使用します				
参考書	講義時に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	20%	30%	
	補足			課題制作5つ (各10%)	最終課題		

質問への対応	質問、相談のある方は、まずはメールでお問い合わせ下さい。 芸術学科　E-Mail(浅井):takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「デジタルイメージⅠ・Ⅱ」、「デジタルデザインⅠ・Ⅱ」を履修済みまたは、同等の知識や技術を有していること。 (フォトショップとイラストレーターを多用するため、これらのソフトを使用するための基本的な知識・技術は修得済みであることが求められます。)

科目名	CAD設計	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小室　晴陽				
授業の目的	ねらい	2次元ＣＡＤ技術及び建築モデリングソフトを用いて、集合住宅の設計を行う。本授業では2次元 CAD の複写機能やデータ参照・挿入機能を活用し、プランタイプが数種の集合住宅の住戸・住棟設計を行い、平面図データを活用して代表的住戸のモデリングを行って、デジタルプレゼンテーションによる集合住宅の空間表現を行うまでの一連の過程を修得する。			
	到達目標	(1)2次元 CAD を使用して集合住宅設計の設計を行う。 (2)設計した住戸プランについて、3次元データ化を行う。 (3)作図した図面データやモデリングデータを利用してプレゼンボードを作成する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】授業概要説明、課題内容説明。2次元 CAD を用いた集合住宅の配置計画 【計画内容】2次元 CAD による敷地図の作図、基本住棟平面による配置計画 【準備学習の内容】パソコンの基本操作ができるようにしておくこと。			A、B、K
	第2回	【テーマ】2次元 CAD による集合住宅の配置計画、平面・断面・立面計画 【計画内容】2次元 CAD によるエスキス、基本平面の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B、K
	第3回	【テーマ】2次元 CAD による集合住宅の配置計画、平面・断面・立面計画 【計画内容】2次元 CAD によるエスキス、基本平面の設計 【準備学習の内容】2次元 CAD の基本操作ができるようにしておくこと。			A、B、K
	第4回	【テーマ】2次元 CAD による各階住棟平面図及び住戸平面の設計製図 【計画内容】各階平面図及び各住平面図の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第5回	【テーマ】2次元 CAD による各階住棟平面図及び住戸平面の設計製図 【計画内容】各階平面図及び各住平面図の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第6回	【テーマ】2次元 CAD による各階住棟平面図及び住戸平面の設計製図 【計画内容】階平面図及び各住平面図の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第7回	【テーマ】2次元 CAD による断面計画、断面図の設計製図 【計画内容】各階平面図及び断面図の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第8回	【テーマ】2次元 CAD による断面計画、断面図の設計製図 【計画内容】各階平面図及び断面図の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第9回	【テーマ】2次元 CAD による立面図の設計製図 【計画内容】住棟の各立面図の設計 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第10回	【テーマ】2次元 CAD による立面図の設計製図 【計画内容】住棟の各立面図の設計を行う 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第11回	【テーマ】モデリングソフトによる住戸空間の3次元データ化 【計画内容】平面図を利用した住戸のモデリング 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第12回	【テーマ】モデリングソフトによる住戸空間の3次元データ化 【計画内容】平面図を利用した住戸のモデリング 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第13回	【テーマ】配置図・平面図・立面図・断面図データを活用したプレゼン画像の作成 【計画内容】2次元 CAD による着色、プレゼンボード化 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第14回	【テーマ】配置図・平面図・立面図・断面図データを活用したプレゼン画像の作成 【計画内容】2次元 CAD による着色、プレゼンボード化 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B
	第15回	【テーマ】まとめ・発表 【計画内容】設計した集合住宅について、計画内容をプレゼンボードとしてまとめ発表する。 【準備学習の内容】前回までに終わらすべき内容まで課題を進めておくこと。			A、B、F
テキスト	自作プリントを配付します				
参考書	『Autodesk 公式トレーニングブック AutoCAD スタディガイド』、SBP ストア 『CAD トレース技能審査対策トレーニングテキスト』 『CAD 利用技術者試験公式ガイドブック(基礎試験・2級・1級 [建築])』				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	講義中に適宜質問をしてください。その都度回答します。
資格	[芸] 1・2級建築士 _ 選択、インテリアプランナー _ 選必
その他	当講義で習得した知識と技術を活かし、ぜひ CAD 利用技術者試験1級・2級、CAD トレース技能審査初級・中級にチャレンジしてもらいたい。

科目名	博物館経営論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	柴　勤				
授業の目的	ねらい	博物館の形態面と活動面における適切な管理･運営を理解することにより､学芸員として博物館経営(ミュージアム･マネージメント)を実践する際の基礎的能力を養う。そのために､本講義では､博物館の組織､施設､設備と人材のあり方､経営手法としてのマーケティングと内部･外部評価､市民や地域社会､教育機関､企業との連携など､博物館経営に欠かせない事柄について学ぶ。				
	到達目標	(1)博物館の施設､組織を理解する。 (2)博物館の使命､倫理､評価を理解する。 (3)博物館と利用者との関係を理解する。 (4)博物館のネットワークについて理解する。 (5)博物館と地域社会との関係を理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の進め方と単位取得のための課題などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読し､講義ノートを一冊用意すること。	A			
	第2回	【テーマ】博物館の歴史と使命 【計画内容】日本､海外の博物館の歴史､およびそれらが担ってきた歴史的使命を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第3回	【テーマ】博物館の施設と設備 【計画内容】資料･作品の管理､展示､鑑賞などに特化された博物館施設とその設備のあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第4回	【テーマ】博物館の組織と職員 【計画内容】博物館活動のための組織と学芸員などそれぞれの分野で専門化した職員､および運営にかかわる職員全般について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第5回	【テーマ】博物館の運営 【計画内容】施設管理､職員雇用､展覧会や教育普及事業経費など､博物館の運営について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第6回	【テーマ】博物館のコレクション形成 【計画内容】収集の理念､収集手段など､コレクションを形成する過程で生じる問題について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第7回	【テーマ】博物館における展示･展覧会 【計画内容】博物館の主要な活動である展示あるいは展覧会の仕組み､意図､使命を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A､G			
	第8回	【テーマ】博物館経営のまとめ(1) 【計画内容】第2回から第7回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりも行う。 【準備学習の内容】講義ノートの整理。	A			
	第9回	【テーマ】博物館の内部評価と外部評価 【計画内容】博物館における評価の問題を事例に則して学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第10回	【テーマ】博物館と指定管理者制度 【計画内容】近年､博物館でも導入されつつある指定管理者制度について､その功罪を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第11回	【テーマ】博物館のネットワーク 【計画内容】市内から海外にいたるまで､館活動の重要なファクターをなすネットワークについて学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第12回	【テーマ】博物館教育 【計画内容】展示活動と並んで博物館の重要な役割である教育普及活動および教育機関との連携など教育的側面を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第13回	【テーマ】博物館ボランティア 【計画内容】博物館活動の一部として定着しているボランティア活動について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第14回	【テーマ】博物館と地域社会 【計画内容】地域における諸機関､団体､企業などとの連携､協同のあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			
	第15回	【テーマ】博物館経営のまとめとレポート(2) 【計画内容】第9回から第14回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行い､課題レポートを提出する。 【準備学習の内容】講義ノートの整理と課題レポートの作成。	A､G			
テキスト	プリントを使用します					
参考書	講義時に指示します					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%	30%	20%			
	補足						

質問への対応	基本的には講義時。必要に応じてメール対応します。
資格	[芸]学芸員 _ 必修
その他	

科目名	博物館資料論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	柴　勤				
授業の目的	ねらい	博物館·美術館の資料·美術作品は、それぞれの館活動の根幹をなすものである。コレクションを形成するためには、各館独自の理念に基づいた緻密な調査·研究、広範なネットワークの形成、予算獲得など多領域にわたる活動が必要とされる。また、資料·作品が収集された後には、一点一点に対して保存·管理を含めた周到な調査·研究が継続され精緻なデータベースを構築、最終的には展示という形で一般に公開されることになる。こうした資料·作品にまつわる一連の流れを理解することにより、それらの人類の遺産が内包する豊かな意味合いを認識する手がかりを得ること、これが本講義の目的である。				
	到達目標	(1)博物館資料·美術作品の種類、性格を理解する。 (2)博物館·美術館におけるコレクションの意義を理解する。 (3)博物館·美術館におけるコレクションの形成過程を理解する。 (4)博物館·美術館における資料·美術作品の活用を理解する。 (5)博物館·美術館におけるコレクションのあり方を理解する。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の進め方と単位取得のための課題などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読し、講義ノートを一冊用意すること。	A
	第2回	【テーマ】コレクションとは？ 【計画内容】時代、地域、設置主体、目的などにより様々な形態をとる博物館·美術館のコレクション形成について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第3回	【テーマ】コレクションの種類と特質 【計画内容】博物館の館種、歴史、運営主体、目的などにより異なるコレクションの特質、種類、分類等について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第4回	【テーマ】資料·作品の調査·研究 【計画内容】対象(遺物、美術品、動植物など)や目的(展覧会企画、基礎データ、研究など)により異なる資料·作品の調査方法、研究方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第5回	【テーマ】資料·作品の収集、コレクションの形成 【計画内容】購入、寄贈、寄託などによる資料·作品の具体的な収集方法、正式な所蔵品として登録されるまでのシステム、および各々の問題点などについて学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第6回	【テーマ】資料·作品の管理 【計画内容】収集資料·作品の台帳登録、映像化、情報のデータベース化、ネットワーク化、貸し出しなど、具体的な管理方法について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第7回	【テーマ】資料·作品の保存 【計画内容】収蔵庫における温湿度等の環境整備、黴·虫害等に対する対策、傷んだ作品の修復など、収集後の保存はいかに行われるか、博物館·美術館の根幹的な活動について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第8回	【テーマ】資料·作品収集のまとめ 【計画内容】第2回から第7回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行う。 【準備学習の内容】講義ノートの整理。	A、G
	第9回	【テーマ】コレクションの活用(展示) 【計画内容】コレクションが常設展や企画展、他館の企画展への貸し出しなど、展示を通してどのように活用されるか、また公開に当たり、どのような管理体制がとられるかを学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第10回	【テーマ】コレクションの活用(教育普及事業) 【計画内容】企画展や常設展に関わる解説活動、あるいは学芸員の出張授業など、教育普及活動の中で、コレクションがどのように活用されるかを学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第11回	【テーマ】コレクションの活用(道内) 【計画内容】近代美術館をはじめとする道立美術館6館、さらに市町村立など多数の道内美術館にあるコレクションの特質、およびその活用について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第12回	【テーマ】コレクションの活用(国内) 【計画内容】東京国立博物館や日本全国の特色ある美術館を事例に、日本の美術館におけるコレクションのあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第13回	【テーマ】コレクションの活用(国外) 【計画内容】印象派のコレクションで知られるパリのオルセー美術館をはじめ、美術館行政では先駆的な存在であるフランスにおける美術館とコレクションとの関係を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第14回	【テーマ】コレクションの活用(国外) 【計画内容】アムステルダム国立美術館で行われた改築工事を事例に、何故それが長期にわたる国家的な一大騒動にまで発展したのか、ドキュメント映像を通して、美術館とコレクションと地域住民との関係を学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
	第15回	【テーマ】コレクションの活用のまとめ 【計画内容】第9回から第14回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行い、課題レポートを作成する。 【準備学習の内容】講義ノートの整理と課題レポートの作成。	A、G

テキスト	自作のプリントを使用します
参考書	講義時に指示します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%	30%	20%			
	補足						

質問への対応	基本的には講義時。場合によりメール対応します。
資格	[芸]学芸員 _ 必修
その他	

科目名	デザイン概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	勝田　信吾				
授業の目的	ねらい	皆さんはデザインとは具体的にどういう意味·行為を指すか、考えたことがありますか？ この講義では現代社会でのデザインの意味をさまざまなジャンルの参考事例をもとに把握し、その概況を知り、また世界のデザイン史·工芸史を通して幅広くデザインに対する理解を深めることを目的としています。 さらに現在のデザインをとりまく社会環境を考察し、デザインの役割とその可能性について学びます。				
	到達目標	(1)社会におけるデザインの意味と意義について理解する。 (2)各ジャンルの概要がわかり説明できる。 (3)世界のデザインと工芸の歴史と概況を理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション　講義の概要とその展開方法の説明及びデザインの基礎知識の解説 【計画内容】講義の概要とその展開方法の説明を行う。またデザインの分類·基礎的用語の解説を行います。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。				A
	第2回	【テーマ】「デザイン」の意味·概念 【計画内容】社会·産業·教育などの現場でさまざまな使われ方をする「デザイン」という言葉の意味について学びます。(小レポート1) 【準備学習の内容】『現代デザイン事典』の BASICS の項を読んでおくことが望ましい。				A、G
	第3回	【テーマ】デザイン史1(アジアの工芸史) 【計画内容】アジアの工芸を時代·地域·ジャンルごとに幅広く紹介し、その特徴について学びます。 【準備学習の内容】事前に配付する参考資料を読んでおくこと。				A
	第4回	【テーマ】デザイン史2(日本の工芸とその歴史) 【計画内容】織物や陶磁器などの日本の工芸の歴史と現状を学びます。 【準備学習の内容】事前に配付する参考資料を読んでおくこと。				A
	第5回	【テーマ】デザイン史3(欧米のデザイン史1) 【計画内容】産業革命以前から第一次世界大戦までのデザインの歴史を学びます。 【準備学習の内容】『世界デザイン史』の第1章·第2章·第3章を読んでおくことが望ましい。				A
	第6回	【テーマ】デザイン史4(欧米のデザイン史2) 【計画内容】第一次世界大戦以後から現代までのデザインの歴史を学びます。 【準備学習の内容】『世界デザイン史』の第4章·第5章を読んでおくことが望ましい。				A
	第7回	【テーマ】デザイン史5(日本のデザイン史) 【計画内容】明治時代から現代までの日本のデザインの歴史と政策について学びます。(工芸史とデザイン史のまとめ) 【準備学習の内容】『日本デザイン史』を通読しておくことが望ましい。				A
	第8回	【テーマ】デザインのジャンル1(ランドスケープ·建築·インテリア) 【計画内容】建築を中心とした環境系のデザイン事例を紹介し、その特徴について学びます。(小レポート2) 【準備学習の内容】『現代デザイン事典』の SPACE の項を読んでおくことが望ましい。				A、G
	第9回	【テーマ】デザインのジャンル2(グラフィックなど) 【計画内容】グラフィックを中心とした情報系のデザイン事例を紹介し、その特徴について学びます。(小レポート3) 【準備学習の内容】『現代デザイン事典』の COMMUNICATION の項を読んでおくことが望ましい。				A、G
	第10回	【テーマ】デザインのジャンル3(プロダクト) 【計画内容】クラフトを含んだ工業デザインの事例を紹介しその特徴について学びます。(小レポート4) 【準備学習の内容】『現代デザイン事典』の INDUSTRY の項を読んでおくことが望ましい。				A、G
	第11回	【テーマ】デザインのジャンル4(造形·ディスプレィその他) 【計画内容】環境·情報·工業デザイン以外のデザイン事例を紹介し、全体のまとめをします。(小レポート5) 【準備学習の内容】『現代デザイン事典』のコラムの項を読んでおくことが望ましい。				A、G
	第12回	【テーマ】デザインと社会 【計画内容】デザインと社会との関わり、その役割について学びます。(小レポート6) 【準備学習の内容】事前に配付する参考資料を読んでおくこと。				A、G
	第13回	【テーマ】デザインと行政 【計画内容】省庁や自治体が行っているデザイン政策と現状について学びます。(小レポート7) 【準備学習の内容】事前に配付する参考資料を読んでおくこと。				A、G
	第14回	【テーマ】デザインコミュニティ 【計画内容】デザイン関連団体が行っている事業やその現状について学びます。(小レポート8) 【準備学習の内容】事前に配付する参考資料を読んでおくこと。				A、G
	第15回	【テーマ】これからのデザイン·まとめ 【計画内容】成熟型工業社会から情報化社会·これからのデザインに期待されることについて考察し、まとめをします。(最終レポート) 【準備学習の内容】配付資料及び各自がまとめたノートを整理しておくこと。『日本デザイン史』の第4章·第5章を読んでおくことが望ましい。				A、G
テキスト	講義時に参考資料配付します					
参考書	勝井三雄ほか、2013年、『現代デザイン事典』、平凡社 阿部公正、2007年、『世界デザイン史』、美術出版社 竹原あき子·森山明子、2005年、『日本デザイン史』、美術出版社					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	25%		60%		15%	
	補足			小レポート及び最終レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。他講義時に対応します。
資格	
その他	座席の指定はしないが、必ず教室の前方に着席すること。 毎回 A4サイズの資料を配付するので専用のクリアファイルを用意することが望ましい。

科目名	美術表現演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	永野　光一、林　亨、森井　綾				

授業の目的		
	ねらい	これまで学んできた美術分野の絵画、グラフィックデザイン、彫刻についてのさらなる知識と技術の向上を目指す。絵画では表現方法を工夫して構想画に取り組み、自分の表現世界を本格的な大作として制作するための基盤を作る。グラフィックデザインにおいては、『私が見たい映画』や『北海道の自然や文化、特産品』をテーマとした訴求力のあるイラストやデザインを制作する。彫刻では制作の上での大切な要素のひとつの自然に対する理解力を高める。自然物である人体をモチーフとして塑造を行い立体表現の力と感性の深化を図る。
	到達目標	⑴「絵画Ⅰ」「絵画Ⅱ」「絵画Ⅲ」で学んだ知識や技術を応用して密度の高い表現をし、自分の表現世界の方向性を決める。 ⑵「グラフィックデザイン」の講義で学んだ基本的な造形力をさらに発展させるため、様々な演習を行いながら芸術性の高いデザインを目指す。 ⑶人体塑造制作において、芯棒制作の方法、粘土、道具の使用方法、立体のものの見方、人体の構築等の知識を修得する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】演習の内容や展開方法、留意事項等を説明する。これまでの絵画演習を踏まえた制作計画を立てる。(林亨) 【準備学習の内容】シラバスをよく読み講義の内容を把握しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】様々な絵画技法1 【計画内容】現在の多様な油彩画技術と、フレスコ画、テンペラ画、混合技法などの古典技法について学ぶ。(林亨) 【準備学習の内容】指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。	B
	第3回	【テーマ】様々な絵画技法2 【計画内容】過去の作家研究および様々な造形思考に基づいた制作法について学ぶ。(林亨) 【準備学習の内容】指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。	B
	第4回	【テーマ】支持体の研究と制作 【計画内容】キャンバスの木枠と下地作り。キャンバスについて学び、各自で制作する。大きさはF20号を基準とする。(林亨) 【準備学習の内容】指定したテキストを読み、内容を把握しておくこと。	B
	第5回	【テーマ】色彩によって表現する画面構成 【計画内容】与えられたテーマに基づいて色面分割によるデザインを行いながら、色彩の組み合わせによる効果を学ぶ。(森井綾) 【準備学習の内容】前時までに学んだ色彩の基礎について復習しておく。	B
	第6回	【テーマ】色彩によって表現する構成の図学 【計画内容】平面における図学について学ぶ。(森井綾) 【準備学習の内容】前時までに学んだ色彩の基礎について復習しておく。	B
	第7回	【テーマ】色彩によって表現する構成における図学の、よりデザイン的な考え方。 【計画内容】デザイン的な図学について理解を深め、構成についての基礎や思考を学習する。(森井綾) 【準備学習の内容】前時までに学んだ色彩の基礎・図学について復習しておく。	B
	第8回	【テーマ】色彩のもつ意味について理解を深める 【計画内容】これまでに制作してきた作品を通じ、色彩の構成の中から色彩のもつ意味について理解を深める。(森井綾) 【準備学習の内容】前時までに学んだ色彩の基礎・図学について復習しておく。	B
	第9回	【テーマ】彫刻作品：塑造 / 人体(1) 【計画内容】塑造(人体)のドローイングと芯棒制作：芯棒の重要性について学ぶ。(永野光一) 【準備学習の内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めておく。	B
	第10回	【テーマ】彫刻作品：塑造 / 人体(2) 【計画内容】塑造(人体)の粗付け：人体の構築について学ぶ。(永野光一) 【準備学習の内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めておく。	B
	第11回	【テーマ】彫刻作品：塑造 / 人体(3) 【計画内容】塑造(人体)の粗付け：立像について学ぶ。(永野光一) 【準備学習の内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めておく。	B
	第12回	【テーマ】彫刻作品：塑造 / 人体(4) 【計画内容】塑造(人体)の肉付け：モデリングについて学ぶ。(永野光一) 【準備学習の内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めておく。	B
	第13回	【テーマ】彫刻作品：塑造 / 人体(5) 【計画内容】塑造(人体)の肉付け：プロポーションについて学ぶ。(永野光一) 【準備学習の内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めておく。	B
	第14回	【テーマ】彫刻作品：塑造 / 人体(6) 【計画内容】塑造(人体)の仕上げ：着色方法、着色用具について学ぶ。(永野光一) 【準備学習の内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めておく。	B
	第15回	【テーマ】まとめ・講評 【計画内容】授業のまとめ及び提出課題・提出作品について講評する。(永野光一・林亨・森井綾) 【準備学習の内容】授業で学習した知識・技術を再確認する。	A

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	40%	20%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	「絵画Ⅰ」「絵画Ⅱ」「絵画Ⅲ」「グラフィックデザインⅠ」「グラフィックデザインⅡ」「グラフィックデザインⅢ」「彫刻Ⅰ」「彫刻Ⅱ」「彫刻Ⅲ」を受講していることが望ましい。

科目名	映像論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松澤　衛				
授業の目的	ねらい	最近、インターネットを中心に動画を見る機会が多くなってきている。しかし、ちゃんと映像を学んだことがない人が多く、ちゃんと見ることが出来る人が少ない。 この講義では、映像について、映画を通して分析し、映像を読む力を身につけることを目的する。自らが映像を作成するときに何を見せるのかを考えるきっかけになるものである。			
	到達目標	(1)写真の基礎技術が理解できる。 (2)文字の映像化が理解できる。 (3)映像を読むことができる。 (4)映像のデジタル化が理解できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス:そもそも映像ってなんだろう？見たものを記録するということは？ 【計画内容】講義について他の履修者と情報級をします。映像から違いを見つける方法を学びます。 【準備学習の内容】シラバスを読んで、映像について考えてきてください。			A、L
	第2回	【テーマ】身近な映像「写真」について　その1:写真を撮る道具について 【計画内容】写真の意味について学びます。 【準備学習の内容】第1回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、J、L
	第3回	【テーマ】身近な映像「写真」について　その2:写真の技術について 【計画内容】簡単な写真の仕組みについて学びます。 【準備学習の内容】第2回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、J、L
	第4回	【テーマ】身近な映像「写真」について　その3:写真を読む技術 【計画内容】写真から意味を見つける方法を学びます。 【準備学習の内容】第3回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、J、L
	第5回	【テーマ】「戦艦ポチョムキン」「市民ケーン」:この二つの映画に込められた映像の文法について 【計画内容】二つの映画から映画の文法について学びます。 【準備学習の内容】第4回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第6回	【テーマ】1つの脚本から生まれた2つの映画・新旧「椿三十郎」:文字を映像化するとは何かについて 【計画内容】文字の映像化について学びます。 【準備学習の内容】第5回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第7回	【テーマ】黒澤明と小津安二郎:日本を代表する監督の違い　その1:脚本・演技 【計画内容】日本の2代巨匠の脚本、演技の違いを学びます。 【準備学習の内容】第6回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第8回	【テーマ】黒澤明と小津安二郎:日本を代表する監督の違い　その2:撮影・編集 【計画内容】日本の2代巨匠の撮影、編集の違いを学びます。 【準備学習の内容】第7回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第9回	【テーマ】スタンリー・キューブリックの映画について　その1:「2001年宇宙の旅」の宇宙を探る 【計画内容】「2001年宇宙の旅」の映像表現と技術について学びます。 【準備学習の内容】第8回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第10回	【テーマ】スタンリー・キューブリックの映画について　その2:「フル・メタル・ジャケット」の撮影・演出 【計画内容】「フル・メタル・ジャケット」に込めた思いについて学びます。 【準備学習の内容】第9回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第11回	【テーマ】山中貞雄とガイ・リッチーの映画の共通点:「丹下左膳餘話　百萬両の壺」と「ロック、ストック＆トゥー・スモーキング・バレルズ」を通して。 【計画内容】時代と国を超えて、つながる映画について学びます。 【準備学習の内容】第10回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第12回	【テーマ】コンピュータ技術を使った映画作り　その1:モーションコントロールカメラ等・初期の頃 【計画内容】コンピュータを使った映像表現について学びます。 【準備学習の内容】第11回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第13回	【テーマ】コンピュータ技術を使った映画作り　その2:コンピュータ・グラフィックスの時代 【計画内容】コンピュータ・グラフィックスの表現の変化について学びます。 【準備学習の内容】第12回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第14回	【テーマ】ジョージ・ルーカス、スティーブン・スピルバーグ、ジェームズ・キャメロン達の映画作りについて 【計画内容】ヒットメーカーの映画作りについて学びます。 【準備学習の内容】第13回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
	第15回	【テーマ】これからの映画について:3次元表現の追求 【計画内容】振り返りとこれからについて学びます。 【準備学習の内容】第14回で配付したプリントを読んでおくこと。			A、H、J、L
テキスト	プリントを配付します				
参考書	講義内で紹介します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			55%		30%	15%
	補足						

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp マイクロソフト　チームを利用した授業を行います。
資格	
その他	映画をよく見ること。

科目名	ファッションコーディネート	授業形態	演習	単位数	2
教員名	冨田　玲子				

授業の目的		
	ねらい	たえず変化するファッションは、その変化に対応しながら、それぞれの個性を尊重した着こなしが求められます。そのためには、すべての人々にとって、数あるアイテムをいかに組合せ、どのように演出するかが重要です。色、形、素材、アクセサリーの組合せや、体型や年齢に合わせたコーディネーションの知識、技術の基本を学び、さらにイメージ・ライフステージという視点から着こなし全体の総合美を追究することを目的とします。
	到達目標	(1)ユニバーサルファッション(子供からお年寄りまで)を主題にした嗜好調査に基づくトータルファッションを提案する。 (2)その一連の過程での経験により、人とのコミュニケーションに重要なバランス感覚を養う。 (3)ブライダル関連企業見学を通して、素材、色彩、手芸的技法など直接触れて理解を深める。

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】色によるコーディネート 【計画内容】色のしくみをベースに配色の効果について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストを熟読しておくこと。	A
第3回	【テーマ】素材によるコーディネート 【計画内容】素材の特性(素材の風合いや材質感の違いなど)について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストを熟読しておくこと。	A
第4回	【テーマ】イメージ・ライフステージによるコーディネート 【計画内容】商品そのもののイメージ、ライフステージの視点から学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストを熟読しておくこと。	A
第5回	【テーマ】ブライダル関連企業見学(学外実習) 【計画内容】ブライダル関連企業見学を通して、素材、色彩、手芸的技法など直接触れて理解を深めます。 【準備学習の内容】ブライダルについての質問項目を準備しておくこと。	D
第6回	【テーマ】コーディネート実践企画書作成 【計画内容】ユニバーサルファッション(子供からお年寄りまで)における企画書を作成します。 【準備学習の内容】プリントを熟読しておくこと。	H
第7回	【テーマ】アンケート調査における質問項目の作成 【計画内容】ターゲットを決め、アンケート調査の質問項目を検討します。 【準備学習の内容】各自質問項目を作成しておくこと。	H
第8回	【テーマ】第1回目学外実践授業:嗜好調査の実施 【計画内容】第1回目学外実践授業として嗜好調査を実施します。さらに写真撮影、所持している衣服などコミュニケーションをとおして調査します。 【準備学習の内容】アンケート用紙を人数分コピーすること。	H
第9回	【テーマ】第1回目学外実践授業:嗜好調査の実施 【計画内容】第1回目学外実践授業として嗜好調査を実施します。さらに写真撮影、所持している衣服などコミュニケーションをとおして調査します。 【準備学習の内容】カラーチャートの準備。	H
第10回	【テーマ】調査結果の整理・まとめ 【計画内容】調査結果をもとに、グループごとにコーディネートを検討します。 【準備学習の内容】各自調査結果を整理しておくこと。	H
第11回	【テーマ】他者におけるトータルコーディネートの検討 【計画内容】アクセサリー(スカーフ、ネックレス、ブローチ、帽子など)や化粧など、トータルコーディネートを検討します。 【準備学習の内容】各自調査結果を整理しておくこと。	H
第12回	【テーマ】第2回目学外実践授業 【計画内容】第2回目学外における実践授業として、他者におけるコーディネート演習を行います。 【準備学習の内容】各自アクセサリー等を準備しておくこと。	H
第13回	【テーマ】第2回目学外実践授業 【計画内容】第2回目学外における実践授業として、他者におけるコーディネート演習を行います。 【準備学習の内容】各自アクセサリー等を準備しておくこと。	H
第14回	【テーマ】実践授業におけるレポートの作成 【計画内容】実践授業について各自考察しまとめ、レポートを提出します。 【準備学習の内容】他者におけるコーディネート演習として整理しておくこと。	G
第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】グループごとにプレゼンテーションを行い、同時に相互理解を深めます。 【準備学習の内容】プレゼンテーションをするための素材をセレクトし、まとめておく。見やすくわかりやすくまとめること。	F

テキスト	林泉、2011年、『スタイリスト＆コーディネーターの条件』、文化出版局
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		40%		20%	
	補足	最終		2回		外部実践	

質問への対応	640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	一つの目標に向かって、グループごとにプレゼンテーションを行うことから「個々の意欲、行動力、忍耐力」を必要とします。課題提出 :2回。

科目名	戯曲研究	授業形態	講義	単位数	2
教員名	イナダ　ヒロシ				
授業の目的	ねらい	日本や外国の「戯曲」を「沢山読みこなす」ことを通して作品作り・舞台創造の糧とする。戦後の日本の劇作家(および劇団)の系譜を概観する。小説、童話などを手掛かりにして「戯曲」「プロット」などを実作する。			
	到達目標	(1)寺山修司、鴻上尚二、つかこうへい、野田秀樹などの日本の劇作を読む。 (2)戦後の日本の劇作家(劇団)の系譜の概観を理解する。 (3)戯曲を書いたり、またはプロットを構想したりできる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】オリエンテーション。 【準備学習の内容】15回の講義について説明する。			A
	第2回	【テーマ】戯曲とは何か 【計画内容】戯曲とは何かを考える。 【準備学習の内容】戯曲を読む。			A
	第3回	【テーマ】1960年代の戯曲1 【計画内容】1960年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第4回	【テーマ】1960年代の戯曲2 【計画内容】1960年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第5回	【テーマ】1970年代の戯曲1 【計画内容】1970年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第6回	【テーマ】1970年代の戯曲2 【計画内容】1970年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第7回	【テーマ】1980年代の戯曲1 【計画内容】1980年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第8回	【テーマ】1980年代の戯曲2 【計画内容】1980年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第9回	【テーマ】1990年代の戯曲1 【計画内容】1990年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第10回	【テーマ】1990年代の戯曲2 【計画内容】1990年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第11回	【テーマ】2000年代の戯曲1 【計画内容】2000年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第12回	【テーマ】2000年代の戯曲2 【計画内容】2000年代の日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第13回	【テーマ】現代の戯曲1 【計画内容】現代日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第14回	【テーマ】現代の戯曲2 【計画内容】現代日本の劇作家の系譜を概観する。 【準備学習の内容】指定した戯曲を読んでくる。			A
	第15回	【テーマ】まとめレポート 【計画内容】全15回行った講義のまとめ。レポート提出。 【準備学習の内容】レポートを書いてくる。			A
テキスト	プリントを利用します				
参考書	プリントを利用します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	最初のオリエンテーションを必ず受講すること。

科目名	生活材料学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新貝　孝之				
授業の目的	ねらい	建築材料の性質を知り、その材料規格と仕様規定を学ぶ。建築の基本材料としての金属材料、無機質材料及び有機質材料の性質と用途について学ぶ。特に建築物の骨組の主要材料であるコンクリートについては、製造実習を通して学ぶ。また性能別材料としての防水材料、断熱材料、吸音・遮音材料及び防火材料、部位別材料としての屋根材料、壁材料、天井材料、床材料及び開口部材料について基本的事項を学ぶ。適宜、参考資料の解説を行い建材標本や関連メーカー資料を提示して授業を進める。				
	到達目標	(1)建築材料の規格制度(JIS・JAS など)が理解できる。 (2)建築材料の仕様規定(標準仕様書)が理解できる。 (3)コンクリートの強度(水セメント比)に関する知識が理解できる。 (4)建築材料の名称と適材適所の要点が理解できる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】全15回の講義展開と評価方法の説明。規格制度と仕様規定の説明。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A			
	第2回	【テーマ】コンクリートそのⅠ 【計画内容】コンクリートを構成する原材料について。コンクリート規格と管理との使い方について。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第3回	【テーマ】コンクリートそのⅡ 【計画内容】実験室でコンクリートの製造実習をする。水とセメントの比により強度がどう変化するか、28日後の圧縮試験につなげ解説する。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A、J			
	第4回	【テーマ】鉄鋼材料そのⅠ 【計画内容】建築物の骨組みとしての種類と材料規格解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第5回	【テーマ】鉄鋼材料そのⅡ 【計画内容】材料の種類と特性の関連。主に装飾材料としての使われ方の説明。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A、J			
	第6回	【テーマ】非鉄金属材料 【計画内容】材料の種類と特性の関連。主に装飾材料としての使われ方の説明。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第7回	【テーマ】木材及び木質材料そのⅠ 【計画内容】農林規格について樹種の違いと用途の関連。骨組みとしての製材と集成材の特性の違いを解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第8回	【テーマ】木材及び木質材料そのⅡ 【計画内容】各種合板・集成材と特性と使い方について解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A、J			
	第9回	【テーマ】石材及び左官材料 【計画内容】石材の種別と内外装材の使い方について。左官材料(施工)の欠陥克服の工法的工夫について。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第10回	【テーマ】タイル、ガラス及びプラスティック製品。 【計画内容】各々の製造種別と用途の解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第11回	【テーマ】塗装・吹き付け材料 【計画内容】材料の名称及び下地材料と仕上げ塗装の用途関連の解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第12回	【テーマ】シーリング・防水材料、断熱・保温材料、吸音・遮音材料、防火材料。 【計画内容】多岐に亘る材料名称を集約して、特性と用途の解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第13回	【テーマ】屋根、壁、天井、床材料、開口部材料。 【計画内容】建物空間を構成する材料の性質と特徴について解説。 【準備学習の内容】配付するプリントを熟読しておくこと。	A			
	第14回	【テーマ】まとめ 【計画内容】全13回の要点のおさらい。学生からの質問・授業の感想など意見交換を行う。 【準備学習の内容】今までの講義内容を整理して理解し、次回のまとめに向けて今まで学んだ事を予習をしておくこと。	A、G			
	第15回	【テーマ】材料学の総合的なまとめ 【計画内容】建築材料に関する知識を総合的に理解する。 【準備学習の内容】今後の建築関連講義や単位取得のために配付プリント及び各自ノートを整理保管をしておくことが大切です。	A、G			
テキスト	プリントを配付します				
参考書	松本進、2007年、『やさしい建築材料』、学芸出版社、9784761524173 国土交通省監修、2007年、『公共建築工事標準仕様書』、公共建築協会、9784938421083				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

質問への対応	随時対応します。
資格	[芸] 1級建築士 _ 必修、2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	

科目名	絵画Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	井桁　雅臣				

授業の目的		
	ねらい	この演習では「絵画Ⅰ・Ⅱ」で学んだ知識や技術を駆使し、自ら表現方法を工夫して人物画及び構想画に取り組み、自分の表現世界の制作での基盤を作る。絵画制作実習のまとめとして行い、専門的な制作研究をする3年次の専門演習（ゼミ）への足がかりを作るための制作演習を実施する。そのために基本的な事項を学び、それを試しながらじっくりとしたペースで密度の濃い作品を制作する - モデルを使った人物制作を通じて、構成法・パース・基本的な造形要素とそれらをいかに油絵の具の特性と結び付けて表現するかを学ぶ。 構想画制作を通じて、テーマ設定法やその構成法、質感表現や細部と全体のバランスを考慮した表現などを学ぶ。
	到達目標	(1)正確なパース・量をはかること、動きにあった形を表現することができる。 (2)色・形の美しさを感じ取り、絵の具の特性を生かし、自分の方向性にあった表現をすることができる。 (3)構想画の表現のなかで、構図の基本を研究し表現する。また支持体やマチエルについての知識を学び、質感の表現を追求する。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介と14回の授業展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読み、内容を確認しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】裸婦習作①構図 【計画内容】おおまかに、エスキース帳等にいくつかの構図を思案し決定する。その後キャンバスにパースを図りながら構図構成をたてる。 【準備学習の内容】F15キャンバス使用。制作途中の作品を良く眺め、次回の進め方を授業中に与えられた問題点を含め、自分なりに考えておくこと。	E
	第3回	【テーマ】裸婦習作②構成と筆使い 【計画内容】構図構成の決定。さらに、段階に応じた筆触と筆使いを学ぶ。最初おおよそ3トーンの色調で画面をきめる。 【準備学習の内容】制作途中の作品を良く眺め、次回の進め方を授業中に与えられた問題点を含め、自分なりに考えておくこと。	E
	第4回	【テーマ】裸婦習作③造形要素 【計画内容】構図構成をふまえ、パースをさらに図りながら、次に色・形・塊を意識し制作する。 【準備学習の内容】制作途中の作品を良く眺め、次回の進め方を授業中に与えられた問題点を含め、自分なりに考えておくこと。	E
	第5回	【テーマ】裸婦習作④オイルと絵の具の性質 【計画内容】常に、パースを図りながら、色・形・塊を常に意識して制作する。さらに、オイルと絵の具の関係性を理解し表現に役立てる。 【準備学習の内容】制作途中の作品を良く眺め、次回の進め方を授業中に与えられた問題点を含め、自分なりに考えておくこと。	E
	第6回	【テーマ】裸婦習作⑤筆のタッチ 【計画内容】常に、パースを図りながら、色・形・塊を常に意識して制作する。さらに、形にあった筆のタッチを意識する。 【準備学習の内容】制作途中の作品を良く眺め、次回の進め方を授業中に与えられた問題点を含め、自分なりに考えておくこと。	E
	第7回	【テーマ】裸婦習作⑥仕上げの方法 【計画内容】全体の構成をみながら、色・タッチ・形の調整を行い仕上げる（全体の構成をバランスを見ながら、最後に必要に応じて細部を描きこむ）。 【準備学習の内容】制作途中の作品を良く眺め、次回の進め方を授業中に与えられた問題点を含め、自分なりに考えておくこと。	E
	第8回	【テーマ】講評 【計画内容】習作の講評をする。一人ひとりの作品をふまえ、問題点を一緒に考え、これからの自分の表現に必要なものを、一緒に考える。また客観的な立ち位置から自己の持つよさも考える。 【準備学習の内容】裸婦習作の作品を必ず持参すること。出来上がった作品を良く眺め、自己評価してよく表現できたところと問題点をみつけておくこと。	L
	第9回	【テーマ】構想画制作①構想と構図 【計画内容】エスキースの制作と構図の構想を進める。エスキースを繰り返し行い構図を詰めていく作業の有用性を学ぶ。映像メディア表現としての写真についても学ぶ。 【準備学習の内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品をできるだけ描き進めておくこと。	A
	第10回	【テーマ】構想画制作②色彩計画 【計画内容】構図の決定とテーマや構図を活かした彩色計画の立て方を学ぶ。使用技法を決定する。 【準備学習の内容】着彩道具の手入れ。	E
	第11回	【テーマ】構想画制作③描画材の特性 【計画内容】彩色描きこみ。描画材（絵の具の種類など）の特性を活かす制作法を学ぶ。 【準備学習の内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品をできるだけ描き進めておくこと。	E
	第12回	【テーマ】構想画制作④質感表現 【計画内容】彩色描きこみ。質感の表現の工夫を学ぶ。（マチエル表現、タッチ、描画用具の工夫等） 【準備学習の内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品をできるだけ描き進めておくこと。	E
	第13回	【テーマ】構想画制作⑤書き込み方法 【計画内容】彩色描きこみ。細部と全体のバランスの確認をしながら、画面全体を調整する作業を学ぶ。 【準備学習の内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品をできるだけ描き進めておくこと。	E
	第14回	【テーマ】構想画制作 【計画内容】彩色描きこみ。テーマに合致した内容になっているか確認する。また、全体を見極め仕上げる。（全体の構成をバランスを見ながら、最後に必要に応じて細部を入れる。） 【準備学習の内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品をできるだけ描き進めておくこと。	E
	第15回	【テーマ】講評 【計画内容】作品合評会を実施。作品を介したコミュニケーション力を高めるため、ディスカッション形式で進める。 【準備学習の内容】油彩技法について理解を深め、確実に習得しておく。	L

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種（美術）_ 必修
その他	実習実技ですから、キャンバスなどの材料・道具類を忘れると授業になりません。 毎回道具の手入れと、絵の具・オイルなどの補充を忘れずに。

科目名	グラフィックデザインⅢ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	田　恩蘋				
授業の目的	ねらい	グラフィックデザインに必要なコンセプト思考や事前リサーチ、アイデアを形にする事の大切さについて学習する。また、グラフィックデザインの様々な要素(形、色、模様、フォントなど)の効果的な使用について、小型グラフィック(名刺、パッケージデザインなど)や製本などを通して実践する。			
	到達目標	(1)作品制作における創造的思考を習得する。 (2)様々な作品制作を通して、新しい表現に挑戦することができる。 (3)製本工程を理解し、実際に本を制作できる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の授業展開やその他の注意事項について説明する。 【準備学習の内容】次週から始まるプロジェクト(ブランドデザイン)に向けて、事前リサーチによる資料収集を行うこと。	A
	第2回	【テーマ】ブランドデザイン製作Ⅰ:ロゴ制作 【計画内容】新しいブランドに相応しいロゴを考える。 【準備学習の内容】授業で学習したロゴデザインの基本にもとづき、ロゴマーク原案のラフスケッチを描き、イラストレーターでトレースすること。完成したデザインは印刷し、次週発表する。	B
	第3回	【テーマ】ブランドデザイン制作Ⅱ:名刺制作 【計画内容】前週からの課題であるロゴデザイン案を発表・講評する。名刺のデザインを考え、スケッチ作業を始める。 【準備学習の内容】ロゴデザインをイラストレーターで完成させ印刷し持参する。また名刺デザインも同様に作成すること。次週、授業内で発表する。	B
	第4回	【テーマ】ブランドデザイン制作Ⅲ:パッケージ制作1 【計画内容】名刺デザインと完成したロゴを発表・講評する。箱の作成方法を学ぶ。 【準備学習の内容】授業内で配付される箱の展開図ファイルをもとに、イラストレーターでパッケージをデザインする。	B、F、L
	第5回	【テーマ】ブランドデザイン制作Ⅳ:パッケージ制作2 【計画内容】先週、作成した箱デザインを発表する。もう一つ異なる箱を作成する。 【準備学習の内容】第4回、第5回で作成しているパッケージを完成させ、次週発表すること。	B、F、L
	第6回	【テーマ】ブランドデザイン制作Ⅴ:ショッピングバック制作 【計画内容】完成したパッケージを発表する。梱包用の紙袋の作り方を練習する。 【準備学習の内容】紙袋の展開図を使ってイラストレーターでデザインする。	B、F、L
	第7回	【テーマ】ブランドデザイン制作Ⅵ:ワークショップ 【計画内容】完成したショッピングバックを発表する。残りの時間はワークショップとし、これまで取り組んできた作品を完成させるために使う。担当教員は個別対応する。 【準備学習の内容】全作品を完成さておくこと。次週授業時間内で作品一式を発表する。	B、F、L
	第8回	【テーマ】ブランドデザイン制作Ⅶ:作品発表会と講評 【計画内容】これまでに制作した作品の発表会・講評を行う。 【準備学習の内容】クラスメートと担当教員からの意見やアドバイスを整理し、今後の制作活動の参考にすること。	B、F、L
	第9回	【テーマ】製本の基礎知識 【計画内容】本の構造、名称、製本基礎道具や綴じの種類について説明する。 【準備学習の内容】授業で学習した中綴じ製本を制作すること。最終課題として制作する本のカバーデザインを考え、次週、授業内で発表する。	B、F、L
	第10回	【テーマ】豆本製本Ⅰ 【計画内容】授業前半で豆本製本の制作、後半は最終課題のアイデアを検討する。 【準備学習の内容】授業で学習した豆本製本を続けて制作すること。	B、F、L
	第11回	【テーマ】豆本製本Ⅱ 【計画内容】豆本を作る。後半は最終課題のアイデアを検討する。 【準備学習の内容】次週までに豆本を完成させること。	B、F、L
	第12回	【テーマ】ハードカバー製本Ⅰ 【計画内容】ハードカバー製本の材料と工程について解説する。 【準備学習の内容】授業で学習したハードカバーを継続して作成すること。	B、F、L
	第13回	【テーマ】ハードカバー製本Ⅱ 【計画内容】継続して製本作業を行う。 【準備学習の内容】製本作成を完成させること。	B、F、L
	第14回	【テーマ】最終課題ワークショップ 【計画内容】最終課題を授業内で作る。担当教員は個別対応する。 【準備学習の内容】継続して制作作業を行う。	B、F、L
	第15回	【テーマ】最終課題の発表会と講評 【計画内容】完成した作品の発表と講評会。 【準備学習の内容】クラスメートと担当教員からの意見やアドバイスを整理し、今後の制作活動の参考にすること。	B、F、L

テキスト	必要に応じて授業でプリントを配付します
参考書	講義内で紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	50%	20%	
	補足			平時	中間・最終	平時	

質問への対応	質問・お問合せは授業時間前後、または芸術学科 浅井先生(takaya@hokusho-u.ac.jp)までお問い合わせください。
資格	
その他	「デジタルイメージⅠ・Ⅱ」「デジタルデザインⅠ・Ⅱ」「グラフィックデザインⅠ・Ⅱ」を履修済み、または、履修中であること。(本科目はフォトショップとイラストレーターの基礎操作について既に習得済み、または、習得中であることを前提としています。) ＊本科目履修には、別途指示する製本道具や材料等を購入する必要があります。 ＊毎週の作業の積み重ねで作品を完成させるため、3回以上の無断欠席で単位修得を不可とします。

科目名	デジタルイメージⅢ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	浅井　貴也	
授業の目的	ねらい	これまで「デジタルイメージⅠ」「デジタルイメージⅡ」で学習した内容をさらに深く掘り下げて、フォトショップを用いた発展的な作品を制作していきます。デジタル画像処理の応用技法をベースに、伝えるコンセプト、メッセージを考え、作品を通して表現することを目的とします。
	到達目標	(1)アート、デザインにおけるデジタルイメージとは何か理解できる。 (2)具体、抽象表現による自分なりの表現方法を発見することができる。 (3)フォトショップの応用的使用法について自分なりに研究し、実践できる。 (4)制作した作品を必要に応じて様々な方法で出力することができる。 (5)制作した作品を通じて他者の立場で物事を考え、メッセージを伝えることができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義内容について説明し、「デジタルイメージⅠ」「デジタルイメージⅡ」のおさらいをします。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。講義で必要なものを準備して次回から毎週持参すること。	B
	第2回	【テーマ】デジタルイメージによる感情表現1 【計画内容】言葉(文字)を使わず写真やイラスト、色彩を使ってある特定の感情を作品を通じて表現します。具体、抽象表現とは何かについて事例をもとに美術に学び、自分の作品テーマを考えます。 【準備学習の内容】講義で学んだことを参考に自分のコンセプトを組み立て、素材となる写真を撮影すること。	B
	第3回	【テーマ】デジタルイメージによる感情表現2 【計画内容】選んだテーマをもとにアイデアを膨らませてコンセプトを練って作品を制作します。 【準備学習の内容】作品制作を続けて完成させること。発表の準備をすること。	B、K
	第4回	【テーマ】デジタルイメージによる感情表現3 【計画内容】完成した作品をみんなで講評します。作者の意図が見ている人に伝わるか確認し、作品に対して意見交換をします。 【準備学習の内容】講義中に指摘された箇所を振り返り、作品の完成度を高めるポートフォリオに含めること。	B、F、K、L
	第5回	【テーマ】企業ブランドイメージの表現1 【計画内容】今日の企業は自社の利益のみならず、社会全体の利益となる様々な貢献活動を行っています。このプロジェクトでは、選んだ企業をリサーチし、どのような取り組みをしているか、そしてそれが個性ある企業のブランドイメージをどのように構成しているのかを考え視覚的に表現します。 【準備学習の内容】授業で学んだことを参考に自分のコンセプトを組み立て、素材となる写真を撮影すること。	B、J
	第6回	【テーマ】企業ブランドイメージの表現2 【計画内容】選んだテーマをもとにアイデアを膨らませてコンセプトを練って作品を制作します。 【準備学習の内容】作品制作を続けて完成させること。発表の準備をすること。	B、J
	第7回	【テーマ】企業ブランドイメージの表現3 【計画内容】完成した作品をみんなで講評します。作者の意図が見ている人に伝わるか確認し、作品に対して意見交換をします。 【準備学習の内容】講義中に指摘された箇所を振り返り、作品の完成度を高めるポートフォリオに含めること。	B、F、H、L
	第8回	【テーマ】デジタルイメージによる啓蒙活動1 【計画内容】過去2つのプロジェクトよりも更に大きく地球規模で考え、現代社会が抱える問題を作品を通じて考えます。地域、社会、経済、医療、環境、国際などの分野から選んだ問題についてリサーチし、その問題の構造を把握し、啓蒙すべきことについて考えます。 【準備学習の内容】講義で学んだことを参考に自分のコンセプトを組み立て、素材となる写真を撮影すること。	B、J、K
	第9回	【テーマ】デジタルイメージによる啓蒙活動2 【計画内容】選んだテーマをもとにアイデアを膨らませてコンセプトを練って作品を制作します。 【準備学習の内容】作品制作を続けて完成させること。発表の準備をすること。	B
	第10回	【テーマ】デジタルイメージによる啓蒙活動3 【計画内容】完成した作品をみんなで講評します。作者の意図が見ている人に伝わるか確認し、作品に対して意見交換をします。 【準備学習の内容】講義中に指摘された箇所を振り返り、作品の完成度を高めるポートフォリオに含めること。	B、F、H、L
	第11回	【テーマ】最終プロジェクト：フリートピック1 【計画内容】グループにわかれテーマを考えます。これまで取り組んできたテーマ、または新しいテーマを選びます。今回は単作ではなく連作に挑戦し、キャンペーンを企画します。(作品数＝グループメンバーの数) 【準備学習の内容】テーマの決定とそれに関する知識を高めるためのリサーチを行い、アイデアを膨らませ次回持参すること。	B、H
	第12回	【テーマ】最終プロジェクト：フリートピック2 【計画内容】グループディスカッションを行い、コンセプトとシリーズの構成を決定させます。決定後、素材写真の撮影を行います。 【準備学習の内容】コンセプトシートに企画内容をまとめ、次週提出すること。グループごとに作業をすすめること。	B、H
	第13回	【テーマ】最終プロジェクト：フリートピック3(中間発表) 【計画内容】グループごとにテーマ、コンセプト、リサーチ結果、作品形態などについて発表します。 【準備学習の内容】講義中に指摘された箇所を振り返り、今後の制作活動に活かすこと。	B、F、H、L
	第14回	【テーマ】最終プロジェクト：フリートピック4 【計画内容】作品制作を継続します。教員は講義内外で出力のサポートします。 【準備学習の内容】次週、最終発表会に向けて、各チームで作品を完成させること。	B
	第15回	【テーマ】最終プロジェクト：フリートピック5(最終発表)と「デジタルイメージⅢ」まとめ 【計画内容】最終プレゼンテーションによる発表会を行い、これまでの制作過程を振り返ります。15回全体を振り返って今後の専門演習、卒業研究、自主制作活動について提案します。 【準備学習の内容】本科目で制作した作品をすべてポートフォリオにまとめること。これまでの講義内容について振り返り、今後の制作について計画を立てること。	B、F、H、L

テキスト	プリントを配付します
参考書	講義内で紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%	20%	30%	
補足			課題制作5つ(各10%)	最終プロジェクト	グループディスカッションや講評会での参加などの貢献度	

質問への対応	芸術学科　E-Mail(浅井)：takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「デジタルイメージⅠ」「デジタルイメージⅡ」を履修済みであること、または同等の知識と技術を有していること。フォトショップの基本的な操作方法等は既に修得済みであることを前提として講義が進みますので、フォトショップの使用経験が必須です。個人、グループでの共同制作を通じて作品制作のアイデア出し、コンセプトの組み立てによる表現を重視します。多くを見て、考え、実際の制作作業を行いますので、講義外で精力的に物作りに向き合う時間を自主的に作ることが求められます。

科目名	デジタルデザインⅢ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	川部　大輔				
授業の目的	ねらい	この講義は、「デジタルデザインⅠ・Ⅱ」で学んだことを基に、より実践的なグラフィックデザインに必要とされるスキルや知識を身につけていくことを目的とする。			
	到達目標	(1)グラフィックデザイン作品を、印刷入稿が可能な様式でデータとして完成できるようになる。 (2)グラフィックデザインに必要なセオリー・ノウハウを、作品に反映させることができるようになる。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】講義「デザインってなに？」 【計画内容】そもそも「デザイン」とは何をすることなのか、その定義についてのレクチャー。 【準備学習の内容】街中にあふれる様々なグラフィックデザイン作品(印刷物など)を観察・分析しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】講義「トンボ・版面について」 実技「トンボ付台紙データ制作」 【計画内容】印刷物の制作過程を知り、デザインのベースとなる台紙データを作ってみる。 【準備学習の内容】街中にあふれる様々なグラフィックデザイン作品(印刷物など)を観察・分析しておくこと。	A、E
	第3回	【テーマ】講義「視線の誘導について」 実技「名刺のデザイン(1)アイデア検討」 【計画内容】レイアウトの基礎的知識「視線の誘導」について知り、名刺のデザインアイデアを可能な限り多く紙上に書き起こす。 【準備学習の内容】街中にあふれる様々なグラフィックデザイン作品(印刷物など)を観察・分析しておくこと。	A、E
	第4回	【テーマ】講義「印刷について」 実技「名刺のデザイン(2)ラフ作成」 【計画内容】プロセスカラー印刷の原理を知り、そのうえで名刺のデザインラフを作成する。 【準備学習の内容】先週からの宿題となるラフ(サムネイル)作業を終わらせておくこと。	A、E
	第5回	【テーマ】講義「ジャンプ率について」 実技「名刺のデザイン(3)データ作成」 【計画内容】レイアウトの基礎的知識「ジャンプ率」について知り、名刺のデータを完成させる。 【準備学習の内容】与えられた時間内に名刺デザインデータが完成するよう、作業を進めておくこと。	A、E
	第6回	【テーマ】講義「名刺作品の講評・雑誌広告の課題について」 実技「雑誌広告デザイン(1)アイデア検討」 【計画内容】提出された全ての名刺作品を順番に公開し、講評を行う。その後、次の課題である雑誌広告について解説し、各自がアイデア考案作業を行う。 【準備学習の内容】名刺の課題を完成させて授業開始までに提出し、講評を受けられる状態にすること。	A、E
	第7回	【テーマ】講義「タイポグラフィについて」 実技「雑誌広告デザイン(2)ラフ作成」 【計画内容】タイポグラフィの基礎知識を学び、雑誌広告課題のデザインラフを起こす。 【準備学習の内容】先週からの宿題となるラフ(サムネイル)作業を終わらせておくこと。	A、E
	第8回	【テーマ】講義「目の錯覚について」 実技「雑誌広告デザイン(3)データ作成」 【計画内容】目の錯覚とグラフィックデザインの関わりについて学び、雑誌広告課題のデータを完成させる。 【準備学習の内容】与えられた時間内に雑誌広告データが完成するよう、作業を進めておくこと。	A、E
	第9回	【テーマ】講義「雑誌広告の講評・エディトリアル課題の説明」 実技「段組台紙データ制作」 【計画内容】提出された全ての雑誌広告作品を順番に公開し、講評を行う。その後、次の課題であるインタビュー記事の課題について説明。実技として、文章が段組された台紙データを制作する。 【準備学習の内容】雑誌広告の課題を完成させて授業開始までに提出し、講評を受けられる状態にすること。	A、E
	第10回	【テーマ】講義「エディトリアルの作法(1)」 実技「インタビュー記事(1)アイデア検討」 【計画内容】エディトリアルデザインの基礎知識を学び、インタビュー記事のアイデア考案作業を行う。 【準備学習の内容】次週から必要になる段組台紙データを完成させておくこと。	A、E
	第11回	【テーマ】講義「エディトリアルの作法(2)」 実技「インタビュー記事(2)ラフ作成」 【計画内容】エディトリアルデザインの基礎知識を学び、インタビュー記事のラフを作成する。 【準備学習の内容】先週からの宿題となるラフ(サムネイル)作業を終わらせておくこと。	A、E
	第12回	【テーマ】講義「著作権について」 実技「インタビュー記事(3)データ作成」 【計画内容】著作権について学び、インタビュー記事課題のデータを完成させる。 【準備学習の内容】与えられた時間内に記事デザインデータが完成するよう、作業を進めておくこと。	A、E
	第13回	【テーマ】講義「インタビュー記事の講評・最終課題の説明」 実技演習「最終課題(1)アイデア検討」 【計画内容】提出された全てのインタビュー記事作品を順番に公開し、講評を行う。その後、最終課題について説明する。実技として、最終課題のアイデア考案作業を行う。 【準備学習の内容】インタビュー記事の課題を完成させて授業開始までに提出し、講評を受けられる状態にすること。	A、E
	第14回	【テーマ】実技演習「最終課題(2)ラフ作成」 【計画内容】最終課題のデザインラフ制作　それに伴う個別指導。 【準備学習の内容】最終課題のラフが出来ており、デザインデータ作成に必要な素材を揃えておくこと。	E
	第15回	【テーマ】実技演習「最終課題(3)データ作成」 【計画内容】最終課題データの制作　それに伴う個別指導。 【準備学習の内容】与えられた時間内に最終課題が完成するよう、作業を進めておくこと。	E

テキスト	適宜プリントを配付する
参考書	初回講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	25%	25%	
	補足			最終課題以外	最終課題		

質問への対応	随時対応します。
資格	
その他	「デジタルデザインⅠ」「デジタルデザインⅡ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	デジタルビデオ編集	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森井　綾、伊藤　隆介				
授業の目的	ねらい	素材の撮影方法からデジタル･ノンリニア編集の作業手順の基礎を理解し、実際の政策の中から映像制作とはどういうものなのかを学ぶのがねらい。またビデオ作品は必ず誰かに見てもらうために作られるのだということを認識し、「興味の対象となりうる構成」「訴求力のある演出」「鑑賞に堪えうる内容」にしなければならないことを認識する。			
	到達目標	(1)ジャンルを問わず、創作活動を行う際には必ず、どのような作品を作りたいのか自発的に考えなければならないことを学ぶ。 (2)ほとんどの映像作品は共同制作で作られるため、計画的に作業を行わなければならないことを学ぶ。 (3)よって、個人的に身につける技術の習得はもちろん、創造力･計画性･協調性等の必要性を再認識する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】映像メディアとは何かについて知る。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】身近にはどんな映像作品があるのか？を振り返っておく。	B		
	第2回	【テーマ】映像の原理 【計画内容】映画の発明と発展について知る。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】身近にある映像作品のうち、印象的だった作品を振り返っておく。	B		
	第3回	【テーマ】印象的な映像作品について 【計画内容】CM というテーマで映像を鑑賞し、印象に残る映像の構成を考える。(森井綾) 【準備学習の内容】これまでに自分が見たことのある映像作品のうち、印象的だった作品を振り返っておく。	B		
	第4回	【テーマ】作品の構成と発想 【計画内容】主に CM などの映像を鑑賞し、映像作品を制作して行くプロセスについて作り手の側からの考え方を学ぶ。(森井綾) 【準備学習の内容】これまでに自分が見たことのある映像作品のうち、印象的だった作品を振り返っておく。	B		
	第5回	【テーマ】映像とデザイン①　フライングロゴ 【計画内容】テレビ CM の前後などに使用されるフライングロゴ映像は、映像のタイトルに使うだけでなく、イベントのアイキャチなどに使用する等、用途は広く使われている。本時は、そのフライングロゴ映像について学ぶ。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】これまでに自分が見たことのある映像作品のうち、印象的だったタイトルやロゴを使った映画や映像作品を振り返っておく。	B		
	第6回	【テーマ】映像とデザイン②　広告と映像 【計画内容】広告と CM や PV などの映像作品との関わりや、我々が普段最も目にする事が多いこれらの映像について学ぶ。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】これまでに自分が見たことのある CM や広報映像のうち、印象的だったものを振り返っておく。	B		
	第7回	【テーマ】映像とデザイン③　面白い内容の映像作品 【計画内容】映像を鑑賞しながら、作り手の側から、映像作品視聴者を惹きつける演出について考えてみる。(森井綾) 【準備学習の内容】これまでに自分が見たことのある映像作品のうち、印象的だった作品を振り返っておく。	B		
	第8回	【テーマ】映像とデザイン④　短編映像 【計画内容】短い尺の映像を作るためには、シナリオや演出をどう構成して行けば良いのかを考察する。(森井綾) 【準備学習の内容】これまでに自分が見たことのある映像作品のうち、印象的だった作品を振り返っておく。	B		
	第9回	【テーマ】映像とデザイン⑤　プロパガンダ映像 【計画内容】プロパガンダに使われた映画等を通じて映像の読み方について学ぶ。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】前時までに例示された映像作品を見ておいたり、歴史的背景を調べておく。	B		
	第10回	【テーマ】芸術表現としての映像①　映像の前衛表現 【計画内容】商業作品ではなく、芸術作品として作られた映像について学ぶ。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】前時までに例示された時代と、社会的背景を調べておく。	B		
	第11回	【テーマ】芸術表現としての映像②　現代の映像アート 【計画内容】前時に続いて、芸術作品として作られた映像をテーマに、現代アートの中での映像作品の位置づけや、実際に制作されている作品について学ぶ。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】前時までに例示された時代と、社会的背景を調べておく。	B		
	第12回	【テーマ】芸術表現としての映像③　現代のアニメーション 【計画内容】日本で制作されている映像作品の中でも、特に世界的に支持されているのがアニメーション作品である。本時はそのアニメーション映像について学ぶ。(伊藤隆介) 【準備学習の内容】これまでに見たものの中から印象に残っているアニメーション作品を振り返っておく。	B		
	第13回	【テーマ】CM 映像 【計画内容】学科をテーマにした CM 作品を考える。撮影に使う機材について学ぶ。(森井綾) 【準備学習の内容】普段目にする CM について思い出しておく。	B		
	第14回	【テーマ】オーサリングから完成へ 【計画内容】映像素材を撮影し、それをオーサリングする方法や、チャプターのによる制御の方法を学ぶ。作品を DVD にオーサリングしてまとめる。(森井綾) 【準備学習の内容】編集作業を終えておくこと。	B		
	第15回	【テーマ】鑑賞 【計画内容】それぞれが作成した映像作品を鑑賞し合う。(森井綾) 【準備学習の内容】制作中の作品を完成させておく。	B		
テキスト	適宜指示します				
参考書	適宜指示します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				62%	38%	
	補足					平時	

質問への対応	講義時に質問を受けます。
資格	
その他	ビデオ制作には時間がかかることや、撮影する対象が必要である事などから、授業時間以外にも制作を行わなければならない。

科目名	ウェブデザインⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	浅井　貴也				
授業の目的	ねらい	「ウェブデザインⅠ」において修得したHTMLとCSSの基礎を元に、主にスマートフォン向けのwebページを開発中心にデザイン(UI)とユーザー体験(UX)に焦点をあてた制作を実践的に学習します。			
	到達目標	(1)ドリームウェーバーの基礎操作に必要な知識と技術を習得する。 (2)webにおけるデザイン(UI)とユーザー体験(UX)とは何かが理解し、それを考慮したウェブサイトを構築できる。 (3)ユーザー中心のウェブデザインとは何かが理解できる。 (4)ユーザービリティー(視認性や使いやすさ、わかりやすさ)を考慮したウェブ制作が実践できる。 (5)テーマを定めて実際にウェブサイト完成までのステップが実践できる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義内容と講義計画の説明します。 【準備学習の内容】講義に必要なものを準備しておくこと。「ウェブデザインⅠ」で作成した授業ノートを持参すること。	B
	第2回	【テーマ】「ウェブデザインⅠ」のおさらい 【計画内容】HTMLとCSSについて復習します。 【準備学習の内容】講義内で復習した内容のうち、理解度が低い部分を再度学習すること。	B
	第3回	【テーマ】ドリームウェーバー基礎操作1 【計画内容】基本パネルの紹介、HTMLページ作成、サイト構築について学びます。 【準備学習の内容】ドリームウェーバーの基礎操作について復習しておくこと。	B
	第4回	【テーマ】ドリームウェーバー基礎操作2 【計画内容】画像貼付け、ウェブカラーの説明、CSSを使ったページレイアウトについて学びます。 【準備学習の内容】ドリームウェーバーの基礎操作について復習しておくこと。	B
	第5回	【テーマ】ドリームウェーバー基礎操作3 【計画内容】JavaScriptを使ったビヘイビアの作成、Flash、QuickTime、Youtubeなどの動画貼付けについて学びます。 【準備学習の内容】講義内で作成したページを完成させ、自分でもう一度同じものを最初から制作すること。	B
	第6回	【テーマ】ドリームウェーバー基礎操作4 【計画内容】ドリームウェーバー基礎操作のまとめ、その他便利な機能について学びます。 【準備学習の内容】これまで学習した内容を授業ノートにまとめ、復習しておくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】フォトショップによる画像最適化について 【計画内容】フォトショップを使った画像のウェブ用に最適化する方法について学びます。 【準備学習の内容】デジタルカメラで撮影した写真をウェブ用に最適化する練習をしておくこと。	B
	第8回	【テーマ】イラストレーターを使ったウェブ用素材の作成 【計画内容】ボタン、アイコン、その他のイラスト要素の作成をイラストレーターを使用して作成します。 【準備学習の内容】従来の著作権フリー素材を使用せずに、オリジナルのイラスト要素の作成を復習すること。	B
	第9回	【テーマ】ドメイン取得とサーバーの仕組みについて 【計画内容】ネットワークの概要とページアップロード、閲覧までのプロセスについて学びます。 【準備学習の内容】実際にウェブサイトをインターネット上で公開する方法について復習しておくこと。	B、K
	第10回	【テーマ】最終課題制作1 【計画内容】最終課題についての説明とコンセプトを考える：コンセプトシートとムードボードの作成について学びます。 【準備学習の内容】コンセプトについて引き続き考え、決定すること。ムードボードの作成に着手すること。	B、H、K
	第11回	【テーマ】最終課題制作2 【計画内容】最終課題のコンセプトをグループで共有し意見交換し、得た気づきをワークシートにまとめます。 【準備学習の内容】実際にウェブサイトをインターネット上で公開する方法について復習しておくこと。	B、H、K
	第12回	【テーマ】最終課題制作3 【計画内容】ウェブデザインとユーザビリティーの在り方について：直感的に理解できるページナビゲーション、わかりやすいwebページについて学びます。 【準備学習の内容】コンセプト決定、ムードボードを完成させること。	B
	第13回	【テーマ】最終課題制作4 【計画内容】サイトマップとワイヤーフレームの作成について学びます。 【準備学習の内容】これまで準備したコンセプトシートをもとに、ウェブページ制作に取りかかること。	B
	第14回	【テーマ】最終課題制作5 【計画内容】最終課題制作を講義時間を使って行います。教員は個別指導を行います。質問があれば随時受け付けます。 【準備学習の内容】ウェブサイトを完成させること。	B、L
	第15回	【テーマ】最終課題制作の発表とまとめ 【計画内容】完成した作品の発表と講評会を行います。最後に「ウェブデザインⅡ」15回を振り返ります。 【準備学習の内容】これまで学習したウェブデザインの知識と技術を実際に応用する機会を考え、実際に制作してみること。	B、F、L

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	30%	20%	
	補足			課題5つ(各10%)	最終課題		

質問への対応	質問、相談のある方は、まずはメールでお問い合わせ下さい。 芸術学科　E-Mail(浅井)：takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「デジタルイメージⅠ・Ⅱ」「デジタルデザインⅠ・Ⅱ」「ウェブデザインⅠ」を履修済みまたは同等の知識と技術を有していること。講義内容は、「ウェブデザインⅠ」(前学期開講)を発展させたものです。

科目名	インテリア設計Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千里　政文				
授業の目的	ねらい	インテリアデザイン、設計製図の基本的な知識と設計プロセス、設計図面・作成手法について、住宅の設計課題を通し学ぶ。			
	到達目標	(1)本授業は、住宅の設計を通し、インテリアデザイン・設計製図の基礎を修得することを目標とする。 (2)本授業を通じて、インテリアデザイン及び建築設計製図のための必要な知識と技術を身に付ける。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション①(課題説明：設計計画・設計製図・断面図・パース) 【計画内容】「設計課題：住宅の設計」(プレゼンボードの製作)により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】オリエンテーション②(課題説明：設計計画・設計製図・断面図・パース) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
第3回	【テーマ】基本計画①(プランニング) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第4回	【テーマ】基本計画②(プランニングと建築基準法のチェック) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第5回	【テーマ】製図のための室内装飾、家具、建築設備等の選択 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第6回	【テーマ】平面図の設計製図①(製図) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第7回	【テーマ】平面図の設計製図②(製図・着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第8回	【テーマ】平面図の設計製図③(着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第9回	【テーマ】断面図の設計製図①(製図) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第10回	【テーマ】断面図の設計製図②(着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第11回	【テーマ】パースの制作①(製図) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第12回	【テーマ】パースの制作②(製図・着色) 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	B、J
第13回	【テーマ】プレゼンボードの製作① 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	F
第14回	【テーマ】プレゼンボードの製作② 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	F
第15回	【テーマ】課題の提出・プレゼンテーション 【計画内容】演習課題により建築設計製図を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】予習復習し課題に取り組むこと。	F

テキスト	『建築関係法令集』、霞ヶ関出版
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸] 1・2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	

科目名	彫刻Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	藤本　和彦				
授業の目的	ねらい	立体表現として日本では古くから信仰などと結びつきつつ行われてきた方法として木彫があげられるが、近･現代の美術表現の中で、少しずつ意味や役割を変えながらも、根強く盛んに続けられている表現でもある。ここでは、靴などの身近な物をモチーフに木彫の制作を行い、三次元表現の現在を体験し、そこから今後の様々な表現に応用できる造形感覚を養い高める事をねらいとする。また立体造形に対する視点においても様々な画集や資料で鑑賞し、素材や制作意図、方法など彫刻の多様な表現に対する認識を深める。				
	到達目標	(1)立体制作を通じて身の回りの空間を意識の中へとらえることができる。 (2)表現としての立体造形制作を通して「物事」を多方向から見つめることができる。 (3)素材としての「木材」に対する基本的な扱いを修得することができる。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業計画発表：空間における「もの」の存在を意識するために「立体視」という事柄に触れる。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読し理解しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】過去の参考作品の鑑賞と解説 【計画内容】優れた作例や展覧会の図録、ビデオ鑑賞等で木彫制作の現在とその背景を読み解く。 【準備学習の内容】個別に、国内外を問わず「木彫作品」や「彫刻家」を探っておくこと。	G、J
	第3回	【テーマ】エスキース･モチーフスケッチ 【計画内容】身近なモチーフ(ここでは、靴)の多方向からのスケッチと頭の中での立体構築、立体把握。 【準備学習の内容】スケッチの為の鉛筆等による濃淡練習をしておくこと。	E
	第4回	【テーマ】エスキース継続 【計画内容】モチーフに関わる情報収集と制作意図(どうイメージし、どう表現したいのか、その為にどういった方法を選択するのか)を設定。 【準備学習の内容】事前にモチーフに関わる情報を収集しておくこと。	E
	第5回	【テーマ】制作準備Ⅰ･作図と道具について 【計画内容】木材に作図し木取りをしたうえで、粗制作開始。同時に「ノミ」や「ノコギリ」の扱いに慣れる。 【準備学習の内容】道具の扱いを確認しておくこと。	E
	第6回	【テーマ】制作準備Ⅱ･素材について 【計画内容】素材(朴の木)の特徴、性質とモチーフの形態との「摺り合わせ」をして、制作の手順、方法をシミュレーションする。 【準備学習の内容】木ならではの性質を探っておくこと。	A、E
	第7回	【テーマ】実制作開始 【計画内容】ノコギリによる粗制作、モチーフの全体構造の正確な把握と切断の手順、金尺の使用法等について。 【準備学習の内容】怪我をしない為にあらためて、道具の扱いを復習しておくこと。	A、E
	第8回	【テーマ】木彫制作継続 【計画内容】ノコギリによる粗制作、細部と全体のスケールの差を考慮しながら、各部分の繋がり、構造を理解する。 【準備学習の内容】制作ノートを作り、作業の内容や方法を記録･復習しておくこと。	E
	第9回	【テーマ】木彫制作継続･制作時の留意点解説 【計画内容】使用する道具の基本的な扱いや効率的な使用法、使用する際のルール、手入れの方法などを各場面で解説する。 【準備学習の内容】道具の安全な扱い方や服装、体調管理など各自、工夫しておくこと。	A、E
	第10回	【テーマ】木彫制作継続･細部形成･修正等 【計画内容】ノミによる全体形成から細部形成に至る過程の考察とモチーフの積極的な観察をする。 【準備学習の内容】進み具合を振り返り今後の効率的な進め方を探っておくこと。	E
	第11回	【テーマ】木彫制作継続･仕上げ成形 【計画内容】ノミによる細部形成(木目により削りの方向に注意)、部分の接ぎや接着の準備(クランプなどの準備･手入れ)、修正や補修の準備をする。 【準備学習の内容】ノミによる細部形成の方法を探り、制作に応用できるようにしておくこと。	A、E
	第12回	【テーマ】木彫制作継続･マチエール形成Ⅰ･粗研磨 【計画内容】ノミや彫刻刀、鬼目ヤスリ等による細部彫刻、マチエール形成、部分接着や修正をする。 【準備学習の内容】随時、これまでの制作を復習し制作ノート等で整理しておくこと。	E
	第13回	【テーマ】木彫制作継続･マチエール形成Ⅱ･仕上げ研磨 【計画内容】彫刻刀や切り出しナイフ等での細部彫刻、仕上げ。めりはりを考慮した鬼目ヤスリや紙ヤスリでの部分研磨。 【準備学習の内容】ヤスリによる研磨、仕上げ方法のシミュレーションをしておくこと。	E
	第14回	【テーマ】木彫作品完成･着色等 【計画内容】細部仕上げ、紙ヤスリや布等による、研磨など。効果的な着色の方法を探る。(樹脂塗料、オイル系塗料など) 【準備学習の内容】モチーフ(靴)に結びつく着色のイメージをしておくこと。	E
	第15回	【テーマ】作品提出･制作ノート確認･提出作品講評 【計画内容】素材、道具の正しい扱い、彫りの具合や形態の再現状態、また着色の風合いや個々の表現ポイントなどを全体のディスカッションのなかで講評。あわせて、制作中にまとめた制作ノートを確認する。 【準備学習の内容】これまでの制作をふり返り、作品と共に制作ノートを完成させておくこと。	F、L

テキスト	各場面に応じて彫刻作品集や展覧会図録、美術雑誌等を使用します。
参考書	過去の参考作品や木彫制作のビデオの鑑賞 文部科学省、『中学校学習指導要領解説美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	40%	10%
	補足				仕上がってない物は不可	怪我などを防ぎ制作に集中しているか	適切なモチーフの選択ができてるか

質問への対応	メール対応を基本とします。詳しくは初回講義時に説明します。
資格	[芸]中･高1種(美術)_必修
その他	･安全かつ計画的に進められたかどうかを重視します。 ･思い描いている以上に時間のかかる作業が続きます。早め早めの計画で、それぞれ積極的な時間の配分を意識して下さい。 ･危険を伴う作業が多いので、怪我には最大限の注意をはらって下さい。特に刃物を使う場面では制作作業に、しっかり集中すること。 ･作業に適した服装で臨むこと。(服装･靴･アクセサリーの有無など、不適切だと怪我の原因になります。) ･各授業始めにその日の説明をするので、遅刻しないこと。

科目名	陶芸Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	對馬　賢二				
授業の目的	ねらい	陶芸制作の基礎的な知識と技術を修得する。土練り(菊練り)を行い、初歩の工程として手回しロクロを使用し、手びねりで形を整え、水びきなどを繰り返して行う。中鉢や筒花びんを制作しながら手びねり、板作り、化粧掛け、掘り出し法、高台の作り方、陶芸用絵具を用い素焼きに絵付けをする時と布や紙に描く時の違いなど、陶芸の基本的な制作方法を修得する。また制作する為の道具の名称、使い方、選び方等を学ぶ。				
	到達目標	(1)基本として土練り(菊練り)を行い、初歩的な工程として手回しロクロを使用し、手びねりで形を整え、水びきなどを繰り返して行う。 (2)制作する為の道具の名称、使い方、選び方等を学ぶ。 (3)手ロクロ技法で今後電動ロクロに進むためにも、特に水引きを充分に体得させたい。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】陶芸を学ぶ為の注意事項、窯などの設備、授業展開などを説明する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。				B
	第2回	【テーマ】粘土の練り方 【計画内容】陶芸は粘土練りが基本なので、しっかりと学んでもらう。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第3回	【テーマ】手びねり(小物) 【計画内容】粘土に慣れる為、指先で粘土の厚さを覚える。小さな作品を制作する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第4回	【テーマ】ひも作り(中鉢) 【計画内容】手作りでは、一番多く使用される技法で、粘土をひも状にする。ひも作りで丈の低く、口元の広い作品を制作する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第5回	【テーマ】ひも作り(筒花瓶) 【計画内容】前回と同じ技法で高さを出す作品を制作する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第6回	【テーマ】釉掛け･絵付け 【計画内容】初めての釉掛けの注意点、陶芸用絵具の使用方法を学ぶ。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第7回	【テーマ】作品の完成･講評 【計画内容】出来上がった作品の成功･失敗の反省点を説明する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第8回	【テーマ】板作り(皿) 【計画内容】粘土を板状に伸ばし、周りをよく締めて皿を制作する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第9回	【テーマ】土鈴 【計画内容】粘土のかたまりから作品を作り出す掘り出し技法を学ぶ。形は自由に作る。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第10回	【テーマ】ひも作り(湯のみ) 【計画内容】ひも作り技法で、ロクロを回転させ、水びきの仕方を学ぶ。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第11回	【テーマ】前回の仕上げ 【計画内容】作品をロクロの中心に置き、カキベラを使用して高台の削り方を学ぶ。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第12回	【テーマ】ひも作り(自由制作) 【計画内容】今まで学んできたひも作り技法で、水びきをして作品を制作する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第13回	【テーマ】前回の仕上げ 【計画内容】カキベラを使用して、高台を削り出す方法を学ぶ。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第14回	【テーマ】釉掛け･絵付け 【計画内容】前回の釉掛けの反省点を特に注意しながら、絵付け･釉掛けを行う。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
	第15回	【テーマ】作品完成･講評 【計画内容】出来上がった作品の成功･失敗の反省点を説明する。 【準備学習の内容】陶芸作品集などを観ておく。				B
テキスト	講義時に説明します					
参考書	江口滉、『陶芸入門』、文研出版					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	粘土に慣れるために数多くの作品を作ること。

科目名	服飾造形実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	冨田　玲子				

授業の目的		
	ねらい	服飾造形基礎実習で学んだ基礎的な理論と縫製技術を生かし、服飾造形実習では、応用作品として、フォーマルドレスを制作します。個々に似合うデザインを追求するとともに、薄物の素材や合成皮革など各種の素材の扱い方、縫製技術などを学びます。個人の体型に合わせた服を製作するために数度にわたり試着補正を行いますが、その過程の中で、トータルコーディネートしたフォーマルドレスを完成させます。
	到達目標	(1)各自の体型を把握する。 (2)素材の扱い方や縫製技術をマスターする。 (3) CAD との連動により、デザイン性を追求する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業を紹介し、30回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A	第16回	【テーマ】本縫い 【計画内容】各自に合わせた縫製手順をもとに縫製します。 【準備学習の内容】接着芯を貼ってくること。	D
	第2回	【テーマ】素材の扱い方 【計画内容】フォーマルドレスに使われる素材(絹、レースなど)について説明します。 【準備学習の内容】各自、フォーマルドレスのデザインを考えてくること。	D	第17回	【テーマ】本縫い 【計画内容】ビスチェの見返しのつけ方およびコンシールファスナーのつけ方を学びます。 【準備学習の内容】本布の裁断および接着芯を貼ってくること。	D
	第3回	【テーマ】ビスチェ、ベチコート 【計画内容】製図方法および縫製方法を学びます。 【準備学習の内容】プリントを熟読してくること。	D	第18回	【テーマ】本縫い 【計画内容】各自に合わせた縫製手順をもとに縫製します。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第4回	【テーマ】デザイン、生地の選定 【計画内容】各自デザインにあった生地(予算にあわせた)を決めます。 【準備学習の内容】デザイン画5点を作成し、サンプルを5点以上選んでくること。	D	第19回	【テーマ】本縫い 【計画内容】各自に合わせた縫製手順をもとに縫製します。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第5回	【テーマ】ビスチェ、ベチコートの作図方法 【計画内容】参考資料をもとに裁断、縫製方法を学びます。 【準備学習の内容】プリントを熟読してくること。	D	第20回	【テーマ】本縫い 【計画内容】各自に合わせた縫製手順をもとに縫製します。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第6回	【テーマ】ビスチェ、ベチコート 【計画内容】参考資料をもとに裁断、縫製方法を学びます。 【準備学習の内容】プリントを熟読してくること。	D	第21回	【テーマ】本縫い 【計画内容】各自に合わせた縫製手順をもとに縫製します。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第7回	【テーマ】各自のパターン作成 【計画内容】平面裁断、立体裁断についての方法を学びます。衿、袖の展開方法を学びます。 【準備学習の内容】デザイン画をもとにパターンを作成してくること。	D	第22回	【テーマ】試着補正③ 【計画内容】各自の体型に合わせて床上がりを決めます。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第8回	【テーマ】トワル作成 【計画内容】製図が出来上がり、天竺で裁断し仮に縫い合わせます。 【準備学習の内容】デザイン画をもとにパターンを作成してくること。	D	第23回	【テーマ】試着補正④ 【計画内容】帽子、手袋などイメージに合わせたトータルコーディネートを考えます。 【準備学習の内容】各自の作品におけるトータルコーディネートを検討する。	D
	第9回	【テーマ】試着補正① 【計画内容】各自トワルで仮縫いをします。試着して体型に合わせて補正をします。 【準備学習の内容】トワル組みをしてくること。	D	第24回	【テーマ】本縫い 【計画内容】裾の始末として裾芯の入れ方を学びます。 【準備学習の内容】見返し、ファスナーを付けておくこと。	D
	第10回	【テーマ】製図の訂正 【計画内容】各自の補正箇所を製図上および CAD で訂正します。 【準備学習の内容】補正箇所の確認および訂正をしてくること。	D	第25回	【テーマ】試着補正⑤ 【計画内容】各自の作品に合わせ、フリルやプリーツ、花、刺繍、ビーズ、スパンコールなどのサンプル作りを学びます。 【準備学習の内容】各自の作品にあったディティールを考えてくること。	D
	第11回	【テーマ】試着補正② 【計画内容】再度各自トワルで仮縫いをします。試着して体型に合わせて補正をします。 【準備学習の内容】再度トワル組みをしてくること。	D	第26回	【テーマ】本縫い 【計画内容】各自の作品に合わせ、フリルやプリーツ、花、刺繍、ビーズ、スパンコールなどのサンプル作りを学びます。 【準備学習の内容】各自の作品にあったディティールを考えてくること。	D
	第12回	【テーマ】パターンの最終チェック 【計画内容】製図の訂正およびパーツの確認(見返し、接着芯等)、ノッチの入れ方、寸法の確認など行います。 【準備学習の内容】製図の確認を進めること。	D	第27回	【テーマ】本縫い 【計画内容】帽子、手袋など小物作りを学びます。 【準備学習の内容】各自の作品にあったディティールを考えてくること。	D
	第13回	【テーマ】縫製仕様書作成 【計画内容】各自デザイン、素材に合わせた縫製手順を作り提出します。 【準備学習の内容】各自のデザインに合った縫製手順をまとめてくること。	D	第28回	【テーマ】本縫い 【計画内容】帽子、手袋など小物作りを学びます。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第14回	【テーマ】本縫い 【計画内容】本布、接着芯の裁断を行います。 【準備学習の内容】再度、製図の確認をしてくること。	D	第29回	【テーマ】本縫い、仕上げ 【計画内容】まつり、アイロンがけなどを行い、最終チェックをします。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第15回	【テーマ】本縫い 【計画内容】接着芯のはり方を学びます。職業用ミシンやロックミシン(普通ロック、巻きロック)の扱い方を学びます。 【準備学習の内容】接着芯の裁断はしてくること。	D	第30回	【テーマ】作品批評会、まとめ 【計画内容】各自の作品についてプレゼンテーションを行い、他者の作品の理解も深めます。 【準備学習の内容】各自の進度に合わせ進めること。	F

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
	補足				作品に対するこだわり	平時	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	物作りは、思った以上に時間がかかるものです。こだわりを持って作品を作り上げるには毎日の努力が重要になります。毎日1時間でも作品と向き合いましょう。

科目名	建築空間のしくみ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的		
	ねらい	人々が生活していく上で生涯にわたって室内空間は、安全かつ快適なシェルターでなければならない。本講義は、建築の様々な構造システムについて、その基本的特徴と骨組を構成する主要な建築材料についての特質を学ぶ。また、大型構造物である折板構造やトラス構造の特徴や概要を学ぶ。その中から「折り紙模型制作」を通じて精度と力学の関係を実験・体験する。そして構法の体験としては、生活空間の最も身近な住宅建築の木質系構法として普及している「在来軸組構法」と「ツー・バイ・フォー（枠組壁）構法」の特徴を学ぶ。更に「在来軸組構法」を構成する部材の名称と役割等を模型制作を通じて理解を深める。座学中心でなく、各自が工夫・体験・参加型授業を目指す。建築一般構造の初歩的な講座である。建築について大いに興味を持ってもらいたい。
	到達目標	(1)建築構造用材料と各種建築構造の組み合わせ関連が理解出来る。 (2)建築材料の加工組み立て方法による変化が理解出来る。 (3)在来軸組構法とツー・バイ・フォー（枠組壁）構法の特徴の違いが理解出来る。 (4)木質系在来軸組模型制作により、施工順序・部材名称と役割が理解出来る。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス・建築材料と各種構造種別 【計画内容】講義の展開と評価方法の説明。「木造、鉄筋（鉄骨）コンクリート造、鉄骨造、組積造」の種別と材料の使われ方について講義。 【準備学習の内容】資料を配付します。シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】各種構造システムについて講義 【計画内容】「ラーメン構造、壁式構造、トラス構造、折板構造、シェル構造、テンション構造、膜構造」標本・資料等により講義。 【準備学習の内容】事前配付の補助教材に目を通しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】折り紙模型制作その Ⅰ 【計画内容】「円筒柱型製作」通じて製作精度良否と荷重実験耐力の違いを学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付の補助教材に目を通しておくこと。	B、J
	第4回	【テーマ】折り紙模型制作その Ⅱ 【計画内容】「折板ドーム製作」を通して製作精度良否と荷重実験耐力の違いを学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付の補助教材に目を通しておくこと。	B、J
	第5回	【テーマ】ツー・バイ・フォー（枠組壁）構法の概要解説講義 【計画内容】米国における施工現場の解説映像鑑賞と補足解説。 【準備学習の内容】事前配付の補助教材に目を通しておくこと。	A、J
	第6回	【テーマ】木質系在来軸組構法の概要解説講義「ツー・バイ・フォー（枠組壁）構法」との特徴の違いを確認講義 【計画内容】日本における施工現場の解説映像鑑賞。補足解説。製作チームの編成と資料配付。 【準備学習の内容】事前配付資料を良く読んでおくこと。	A、J
	第7回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その1・・・基礎・束石組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	A、J
	第8回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その2・・・土台・大引き・1階床根太（部分）組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	B、J
	第9回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その3・・・1階柱・2階床梁・2階床根太（部分）組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	B、J
	第10回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その4・・・2階柱・梁組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	B、J
	第11回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その5・・・小屋・棟木・母屋組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	B、J
	第12回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その6・・・小屋筋交・屋根垂木（部分）組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	B、J
	第13回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その7・・・1・2階間柱・窓枠（全て部分）組み立てまで。 【準備学習の内容】模型制作マニュアルを熟読しておくこと。各テーマ課題の末了組は次回までの自習製作として遅れないこと。	B、J
	第14回	【テーマ】木質系在来軸組構法の模型制作の指導・講義 【計画内容】模型制作その8・・・1・2階壁筋交い（全て部分）組み立てまで。 【準備学習の内容】最終出来映えをチェックし修正する。提出期限に遅れている組は自習製作をして期限厳守のこと。	B、J
	第15回	【テーマ】模型制作提出期限・製作評価・まとめと振り返り 【計画内容】全員で製作評価と反省点などディスカッションする。全体のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】授業の意義が見い出せたか、各自が振り返ってみて意見発表が出来ること。もう一度部材名称と役割をチェックしておくこと。	G

テキスト	プリントを配付します 模型教材とマニュアルを配付します
参考書	稲葉武司、1998年、『ちからとかたち』、日本建築学会編 松本進、2007年、『やさしい建築材料』、学芸出版社 鈴木秀三、2005年、『建築の構造と構法』、井上書院

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸] 1級建築士 _ 必修、2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	

科目名	空間模型演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小室　晴陽				

授業の目的	ねらい	インテリア･建築模型は、その視覚的な分かりやすさから設計過程のさまざまな段階で活用され、それぞれの目的に合わせた模型表現の方法や製作手法がある。空間造形や発想を手助けするためのエスキス模型、大きさを比較検討するためのボリューム模型、設計の考え方を伝えるコンセプト模型、縮尺の大きなインテリア模型、完成イメージを伝えるフィニッシュ模型、納まりや質感を捉えるためのモックアップ(実物大模型)など種々ある。本授業を通じてそれらの特質を理解し製作技術を身につけるとともに、具体的な設計課題を通じて空間模型を活用した設計技術について習得する。
	到達目標	(1)建築模型の目的と種類、表現手法、模型製作技術を習得する。 (2)3次元思考による空間設計手法を習得する。 (3)空間模型による住宅及び商業施設のデザイン技術を習得する

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義オリエンテーション　建築模型の目的　インテリア･建築模型の種類 【計画内容】事例紹介、3DCGとの比較、模型製作のための道具･材料、加工テクニック(切る･折る) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】模型製作の基本技術1 【計画内容】スチレンボード･プラ板の加工 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第3回	【テーマ】模型製作の基本技術2 【計画内容】スチレンボード･プラ板の加工 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第4回	【テーマ】空間模型を活用した2階建住宅の設計 【計画内容】課題：「6m×6m×6m、2階建て小規模住宅の模型製作」 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第5回	【テーマ】空間模型を活用した2階建住宅の設計 【計画内容】課題：「6m×6m×6m、2階建て小規模住宅の模型製作」 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第6回	【テーマ】空間模型を活用した2階建住宅の設計 【計画内容】課題：「6m×6m×6m、2階建て小規模住宅の模型製作」 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第7回	【テーマ】空間模型を活用した2階建住宅の設計 【計画内容】課題：「6m×6m×6m、2階建て小規模住宅の模型製作」 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第8回	【テーマ】空間模型を活用した2階建住宅の設計 【計画内容】課題：「6m×6m×6m、2階建て小規模住宅の模型製作」 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第9回	【テーマ】商品展示･店舗空間の設計とその空間模型製作 【計画内容】エスキス模型を制作しての空間設計 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第10回	【テーマ】商品展示･店舗空間の設計とその空間模型製作 【計画内容】エスキス模型を制作しての空間設計 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第11回	【テーマ】商品展示･店舗空間の設計とその空間模型製作 【計画内容】エスキス模型を制作しての空間設計 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第12回	【テーマ】商品展示･店舗空間の設計とその空間模型製作 【計画内容】空間模型による表現 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第13回	【テーマ】商品展示･店舗空間の設計とその空間模型製作 【計画内容】空間模型による表現 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第14回	【テーマ】商品展示･店舗空間の設計とその空間模型製作 【計画内容】空間模型のによる表現 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B
	第15回	【テーマ】まとめ、発表 【計画内容】「6m ×6m ×6m、2階建て小規模住宅」と「商品展示･店舗空間」課題の模型によるプレゼン 【準備学習の内容】課題の進捗状況に遅れがある場合は、各自模型製作を進めておくこと。	B、F

テキスト	自作プリントを配付します
参考書	『インテリア模型製作』、グラフィック社 『建築模型の作り方と設計への活用』、彰国社 『模型究極ガイド建築知識2007.12号』、エクスナレッジ

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	毎回の講義の中で適宜対応します。その他、オフィスアワーを利用して気軽に来訪し質問をしてください。
資格	[芸] 1･2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	日々の生活の中で、机やイス、食品棚や流し台など、住宅空間のさまざまなモノの寸法を意識するようにしましょう。また、各部の素材や色、カーテンや扉のデザインなどに興味を持ち、この講義で行うインテリア建築模型製作を通じて、空間デザインの楽しさを感じ取ってください。なお、インテリアデザインや住宅設計に関する資格には、インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、1･2級建築士などがあります。さらに学習を継続して次のステップを目指しましょう。

科目名	３Ｄモーショングラフィックス	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				

授業の目的	ねらい	動画の基本的な原理と手法、コンピュータを利用して動画を生成する仕組みやいくつかの基本的なアルゴリズムの原理を学ぶ。 さまざまな具体的事例によって、多様な生成手法を理解し、実習を通しモーショングラフィックの活用を習得する。
	到達目標	⑴クロマキー合成について理解できる。 ⑵動画のレイヤーについて理解できる。 ⑶音楽にリンクした映像制作を理解できる。 ⑷動画の撮影、投影方法が理解できる。 ⑸映像編集の仕組みが理解できる。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ガイダンス :3D モーショングラフィックスとは？ 【計画内容】何が学べるかを深く知るためにグループワークをし、自分が何を学びたいか？何を学べるかを深く考えます。簡単なアフターエフェクトの操作を行います。 【準備学習の内容】シラバスを読んでこの授業で何が学びたいかを考えてきてください。	A、H、L
	第2回	【テーマ】簡単な物体を使ったアニメーション作成 【計画内容】丸や四角、文字を使ったキーフレームアニメーションの方法を学びます。 【準備学習の内容】第1回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第3回	【テーマ】写真を使ったアニメーション作成 【計画内容】複数の写真を使ったキーフレームアニメーションの方法を学びます。 【準備学習の内容】第2回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第4回	【テーマ】レイヤーを使った動画編集その1: 複数のレイヤーの処理方法について 【計画内容】複数のレイヤーを使った動画合成について学びます。 【準備学習の内容】第3回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第5回	【テーマ】レイヤーを使った動画編集その2: レイヤーの種類について 【計画内容】レイヤーの種類について学びます。 【準備学習の内容】第4回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第6回	【テーマ】3次元レイヤーを使った動画編集その1:3次元レイヤーについて 【計画内容】3次元レイヤーの利用について学びます。 【準備学習の内容】第5回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】3次元レイヤーを使った動画編集その2: ライトについて 【計画内容】アフターエフェクトのライティングについて学びます。 【準備学習の内容】第6回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】3次元レイヤーを使った動画編集その3:Photoshop データの利用方法について 【計画内容】Photoshop の3次元レイヤーのアフターエフェクトでの編集方法について学びます。 【準備学習の内容】第7回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第9回	【テーマ】3次元レイヤーを使った動画編集その4: 静止データによる奥行き感のある動画作成 【計画内容】静止画像を使った3次元動画の作成方法について学びます。 【準備学習の内容】第8回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第10回	【テーマ】簡単なプロジェクションマッピングの作成 【計画内容】立方体などの簡単物体を使ったプロジェクションマッピングの方法を学びます。 【準備学習の内容】第9回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第11回	【テーマ】音楽に合わせた映像作成 【計画内容】音楽にリンクした映像制作を学びます。 【準備学習の内容】第10回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第12回	【テーマ】ミュージックビデオ制作その1: イメージにあった素材を作成 【計画内容】素材を検索、作成する方法を学びます。 【準備学習の内容】第11回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第13回	【テーマ】ミュージックビデオ制作その2: 素材を取り込み動画作成 【計画内容】集めたり、作成したデータの取り込み方法について学びます。 【準備学習の内容】第12回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第14回	【テーマ】ミュージックビデオ制作その3: 曲にあわせて編集作業 【計画内容】曲にシンクロした動画の編集方法について学びます。 【準備学習の内容】第13回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第15回	【テーマ】ミュージックビデオ制作その4: すべての要素を調整し完成させる 【計画内容】すべての要素を統合して完成させる方法を学びます。 【準備学習の内容】第14回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、F、L

テキスト	プリントを配付します
参考書	講義内で紹介します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%	40%	25%	15%
補足						

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp マイクロソフト　チームを利用した授業を行います。
資格	
その他	映画や音楽をよく聞くこと。

科目名	３Dグラフィックス Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				
授業の目的	ねらい	この授業では、3D グラフィックスの基礎から一連の作業を通して、3D グラフィックスを理解することを目的とします。一見、難しく見える3D グラフィックスですが、一歩一歩進んでいけば習得できます。			
	到達目標	⑴3D グラフィックスの作業の流れが理解できる。 ⑵立体に自由に質感を与えられる。 ⑶自分の作りたい物体を自由に作成できる。 ⑷モデリング、ライティング、レンダリングが理解できる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】ガイダンス :3次元の様々なソフト・作業の流れについて 【計画内容】3ds max の簡単な操作について学びます。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A、B、H、L
	第2回	【テーマ】モデリング その1: プリミティブで作成する家具 【計画内容】ボックスや円柱を使用した家具を作成します。 【準備学習の内容】第1回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第3回	【テーマ】モデリング その2: スプラインを使ったコップの作成 【計画内容】回転体を使ったコップを作成します。 【準備学習の内容】第2回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第4回	【テーマ】モデリング その3: ポリゴンを使った顔の作成1 【計画内容】顔写真の下絵を使ったポリゴンモデリングで顔を作成します。 【準備学習の内容】第3回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第5回	【テーマ】モデリング その4: ポリゴンを使った顔の作成2 【計画内容】顔写真の下絵を使ったポリゴンモデリングで顔を作成します。 【準備学習の内容】第4回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第6回	【テーマ】テクスチャー・質感 その1: 物体の質感について 【計画内容】質感の設定方法について学びます。 【準備学習の内容】第5回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】テクスチャー・質感 その2: マッピングについて 【計画内容】質感の設定方法について学びます。 【準備学習の内容】第6回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】カメラ・ライティング その1: ライトの種類について 【計画内容】ライティングについて学びます。 【準備学習の内容】第7回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第9回	【テーマ】カメラ・ライティング その2: カメラワークについて 【計画内容】カメラワークについて学びます。 【準備学習の内容】第8回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第10回	【テーマ】レンダリング その1: 実際に私たちが目にしている CG 画像について 【計画内容】レンダリングについて学びます。 【準備学習の内容】第9回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第11回	【テーマ】レンダリング その2: 出来上がった画像から様々な要素を理解する 【計画内容】よりリアルな画像を仕上げる方法について学びます。 【準備学習の内容】第10回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第12回	【テーマ】課題作成 : 自分の所有している柔らかい物体と硬い物体の作成1 【計画内容】課題に取り組み、作成方法を復習し作品を作成します。 【準備学習の内容】第11回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第13回	【テーマ】課題作成 : 自分の所有している柔らかい物体と硬い物体の作成2 【計画内容】課題に取り組み、作成方法を復習し作品を作成します。 【準備学習の内容】第12回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第14回	【テーマ】課題作成 : 自分の所有している柔らかい物体と硬い物体の作成3 【計画内容】課題に取り組み、作成方法を復習し作品を作成します。 【準備学習の内容】第13回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、L
	第15回	【テーマ】課題作成 : 自分の所有している柔らかい物体と硬い物体の作成4 【計画内容】課題に取り組み、作成方法を復習し作品を作成します。 【準備学習の内容】第14回で配付したプリントを読んでおくこと。	B、F、L

テキスト	プリントを配付します
参考書	初回講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%	40%	25%	15%
補足						

質問への対応	E-Mail:mmamoru@hokusho-u.ac.jp マイクロソフト　チームを利用した授業を行います。
資格	
その他	雑誌『CG WORLD』を読んでおくこと。

科目名	住宅設計演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小室　晴陽				

授業の目的		
	ねらい	建築専門科目を総合化し、建築構想・計画・設計のプロセスを踏まえて、人間生活で最も基本となる住宅空間の設計を行う。主として動線計画・内部空間構成に焦点をあてながら、気候風土条件に対応した、戸建住宅の計画・設計を行うための技術を習得する。
	到達目標	(1)建築設計の流れを知り、設計図面の読図と作図に関する基礎技術を習得する。 (2)短期課題・長期課題等の演習を通じて、空間デザインのおもしろさ・楽しさを体感し、建築設計が技術的要素と美的・芸術的要素の統合であることを学ぶ。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション　講義の概要　トレース課題対象住宅作品の解説 【計画内容】オリエンテーション(演習の目的・進め方・評価方法)、設計とは・製図とは、図面を読む(空間を読む・構造を読む)、図面の大きさ・様式、図の配置・尺度・寸法、表示記号のいろいろ、製図に用いる文字。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、B
	第2回	【テーマ】住宅作品図面のトレース① 【計画内容】建築の設計製図・設計の流れ・図面の種類、課題「住宅図面のトレース : 平面図の作成」。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	A、B
	第3回	【テーマ】住宅作品図面のトレース② 【計画内容】課題「住宅図面のトレース : 配置図・平面図の作成」。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第4回	【テーマ】住宅作品図面のトレース③ 【計画内容】課題「住宅図面のトレース : 立面図・断面図の作成」。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第5回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計①」 【計画内容】課題説明、与条件の把握、設計条件の整理、アプローチ計画、規模・動線計画。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	A、B
	第6回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計②」 【計画内容】配置計画、平面計画・エスキス。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第7回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計③」 【計画内容】平面計画、立面計画、断面計画、外観検討。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	A、B
	第8回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計④」 【計画内容】外観スケッチ、配置図・平面図・立面図・断面図の下図作成。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第9回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑤」 【計画内容】外観スケッチ、配置図・平面図・立面図・断面図の下図作成。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第10回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑥」 【計画内容】配置図・平面図・立面図・断面図の下図完成。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第11回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑦」 【計画内容】配置図・平面図の清書。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第12回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑧」 【計画内容】配置図・平面図の清書。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第13回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑨」 【計画内容】立面図・断面図の清書。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第14回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑩」 【計画内容】立面図・断面図の清書、設計主旨・規模等の記入。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
	第15回	【テーマ】課題「積雪地に建つ独立住宅の設計⑪」 【計画内容】課題図面完成、発表。 【準備学習の内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B、F

テキスト	初回講義時に具体的に説明します
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

質問への対応	毎回の講義の中で適宜対応します。オフィスアワー(質問を受けるために研究室(120研)に待機する時間)の時間を利用して気軽に来訪し質問をしてください。
資格	[芸]1・2級建築士 _ 選必、インテリアプランナー _ 選必
その他	

科目名	プレゼンテーションデザイン	授業形態	演習	単位数	2
教員名	浅井　貴也				

授業の目的	ねらい	自分のアイデアやストーリーを他者へ伝えるコミュニケーション手段として、プレゼンテーション技法について学びます。価値あるアイデアを世界で広める活動をおこなっている TED によるプレゼンテーションの作り方を参考に、プレゼンテーションのデザインから効果的な話し方、聴衆とのコミュニケーションの取り方、資料の使い方等について、実際に数々のプレゼンテーションを個人、グループで実践することで修得します。
	到達目標	(1)プレゼンテーションとは何か？その心得が理解できる。 (2)プレゼンテーション内容の論理的な組み立てができる。 (3)プレーゼンテーションの目的を達成するための効果的な発表手法が実践できる。 (4)自分の考えを効果的に伝えるための効果的な補助資料を作成できる。 (5)自分が伝えたいことを整理し、相手に的確に伝えられるようになる。

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目的、概要、15回の展開方法について説明します。自己紹介プレゼンテーションの内容組み立てと発表。 【準備学習の内容】授業内容の復習し、自己紹介プレゼンテーションの改良と発表準備をすること。	B、F、K
第2回	【テーマ】プレゼンテーションとは？:メッセージの大切さ 【計画内容】コミュニケーションとしてのプレゼンテーションの有効性と心得について学びます。自己紹介プレゼンテーション2回目の発表と講評。 【準備学習の内容】自己紹介プレゼンテーションの準備をしておくこと。	B、F、K、L
第3回	【テーマ】プレゼンテーションの核となるストーリーの作り方:TED トーク鑑賞と分析 【計画内容】TED トークを参考事例として鑑賞し、プレゼンテーションの核となるアイデア、ストーリーとは何かを学びます。 【準備学習の内容】自己紹介プレゼンテーションで説明した内容の補足となる写真、イラスト、グラフ等を用意しておくこと。	B、F、J、K
第4回	【テーマ】グループによる解説プレゼンテーション(1) 【計画内容】複雑で難解な時事ニュース、問題、関心事をテーマに、グループで協力してわかりやすく解説するプレゼンテーションの組み立て方を考えます。 【準備学習の内容】グループで時間をとって発表会に向けての準備・練習をすること。	B、F、H、J、K
第5回	【テーマ】グループによる解説プレゼンテーション(2) 【計画内容】前回の続き。聴衆を意識した言葉の使い方、資料の使い方など、どのようにすれば理解してもらえるのかを考えてリハーサルを行います。 【準備学習の内容】次回の発表会に向けて準備を完了させること。リハーサル、資料の確認など	B、F、H、K
第6回	【テーマ】中間プレゼンテーション発表 【計画内容】授業時間を使って各グループがプレゼンテーションを行い、全員で講評します。 【準備学習の内容】自分のプレゼンテーションの振り返りと他者から学んだ気づきを授業ノートにまとめておくこと。	F、H、L
第7回	【テーマ】効果的なプレゼンテーションとは1 【計画内容】プレゼンテーションを成功させるためのテクニックについて事例をもとに学びます。 【準備学習の内容】授業内で紹介した企業による株主説明会、新製品発表会などの動画を鑑賞し、効果的なプレゼンテーションの工夫を調べること。	B、H、J、K
第8回	【テーマ】効果的なプレゼンテーションとは2 【計画内容】前回の事例と自分で調べたプレゼンテーションの工夫やテクニックについて話し合います。 【準備学習の内容】授業内で与えられたテーマに沿って、プレゼンテーションのコンセプトを考えること。	B、H、J、K
第9回	【テーマ】プレゼンテーションの実践1 【計画内容】これまで学習した様々な知識・スキルを活かして、オリジナルなプレゼンテーションの内容 / 構成を制作します。 【準備学習の内容】プレゼンテーションのコンセプトの見直しとストーリー展開を考えること。	B、K
第10回	【テーマ】プレゼンテーションの実践2 【計画内容】前回までに考えたコンセプトと構成に沿ったスライドや配付資料を作成、リハーサルをおこないます。 【準備学習の内容】スライド、資料を次回までに完成させること。時間を測ってリハーサルをしておくこと。	B、K
第11回	【テーマ】プレゼンテーションの実践3 【計画内容】プレゼンテーション発表会 : 各自、与えられた持ち時間でプレゼンテーションに挑戦し、全員で講評します。 【準備学習の内容】自分のプレゼンテーションの反省と他者から学んだ内容を授業ノートにまとめておくこと。	F、L
第12回	【テーマ】最終課題 : グループ・プレゼンテーション1 【計画内容】授業内でグループに分かれ、個人プレーからチームワークを重視したプレゼンテーションに挑戦します。 【準備学習の内容】グループごとに与えられたテーマについてプレゼンテーション・コンセプトについてブレーンストーミングすること。	B、H、K
第13回	【テーマ】最終課題 : グループ・プレゼンテーション2 【計画内容】グループでプレゼンテーション・コンセプト完成、ストーリーの組み立てを考えます。 【準備学習の内容】引き続きグループごとにコンセプト、展開方法について協議しておくこと。	B、H、K
第14回	【テーマ】最終課題 : グループ・プレゼンテーション3 【計画内容】プレゼンテーション用のスライド、資料等を準備します。次週発表会に向けたリハーサルも行います。 【準備学習の内容】スライド、資料の完成とチーム全体でリハーサルを入念に行っておくこと。	B、F、H、K
第15回	【テーマ】最終課題 : グループ・プレゼンテーション4 【計画内容】グループごとにプレゼンテーション発表会を行い、全員で講評します。デジタルプレゼンテーションの総括もします。 【準備学習の内容】これまで学習してきたプレゼンテーションの作り方について授業ノートにまとめ、今後も活用できるようにしておくこと。	B、F、H、K、L

テキスト	プリントを使用します
参考書	ガー・レイノルズ、2014年、『プレゼンテーション ZEN 第2版』、丸善出版、462106603X クリス・アンダーソン、2016年、『TED TALKS スーパープレゼンを学ぶ TED 公式ガイド』、日経 BP 社、4822251659 スティーブン・ルーカス、2016年、『アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書』、SB クリエイティブ、4797383429

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		20%		40%	40%	
補足		最終プレゼンテーション1回		プレゼンテーション4回	積極的な授業参加	

質問への対応	授業に関する質問やお問い合わせはメールで受付しています。 芸術学科　E-Mail(浅井) : takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	自分のアイデアををどうしたら他者へ効果的に伝えられるのか？という事を実践を通じて考える授業です。実際にプレゼンテーションの練習を数多くこなすことで、経験と自信をつけていきます。この授業は履修生の皆さんが主役です。皆さんがお互いに協力すること、積極的な授業参加が鍵となります。

科目名	舞台制作論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	イナダ　ヒロシ				
授業の目的	ねらい	(1)演劇舞台の制作の仕方を学ぶ。お客さんのマーケティング、そのマーケティングに合わせた台本の選定、会場の手配、チケットの発券、宣伝の仕方など演劇舞台の公演までのより具体的な制作の仕方を学び考える。 (2)演劇舞台の舞台装置、照明などの打ち合わせおよび作り方を学ぶ。台本に合わせた舞台装置のデザイン、見積もり金額設定の仕方、照明家との打ち合わせの仕方、照明色見本の考え方や作り方などを学び考える。 (3)東京など大都市での舞台の作り方、北海道(札幌)地方都市での舞台の作り方の違いを考え学ぶ。				
	到達目標	(1)演劇舞台の装置、照明、衣装の総合的な考え方をできるようになる。 (2)演劇舞台の制作から公演までできるようになる。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義展開の説明 : これから行う講義の紹介と説明。 【準備学習の内容】シラバスを読んでくる。	A
第2回	【テーマ】お客のニーズ及びマーケティングを考える 【計画内容】お客さんのニーズに合わせた、芝居作りとはどんなものかを考え学習する。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第3回	【テーマ】台本の選び方1 【計画内容】演劇舞台の戯曲を考え、それによる動員効果を学習する。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第4回	【テーマ】台本の選び方2 【計画内容】演劇舞台の戯曲を考え、それによる動員効果を学習する。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第5回	【テーマ】宣伝の仕方1 【計画内容】演劇舞台における宣伝の仕方、宣伝方法を考え学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第6回	【テーマ】宣伝の仕方2 【計画内容】演劇舞台における宣伝の仕方、宣伝方法を考え学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第7回	【テーマ】演劇におけるチラシデザインを考える 【計画内容】ニーズに対してチラシの役割を考え学習する。チラシ効果について考え学習する。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第8回	【テーマ】劇場を考える1 【計画内容】劇場のあり方、劇場の選び方、良い劇場とはどんな物か考え学習する。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第9回	【テーマ】劇場を考える2 【計画内容】地域劇場の現状について考える。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第10回	【テーマ】予算のとり方考え方1 【計画内容】舞台における予算の仕方、考え方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第11回	【テーマ】予算のとり方考え方2 【計画内容】舞台における予算の仕方、考え方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第12回	【テーマ】予算のとり方考え方3 【計画内容】舞台における予算の仕方、考え方を学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第13回	【テーマ】東京の演劇 【計画内容】東京での演劇はどのような形で行われているか学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第14回	【テーマ】北海道(札幌)の演劇 【計画内容】東京に対し北海道(札幌)の演劇の状況を考え学ぶ。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでくる。	A
第15回	【テーマ】まとめレポート 【計画内容】全15回行った講義のまとめ。レポート提出について行う。 【準備学習の内容】レポートを書いてくる。	A

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足			レポート			

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	

教職に関する科目

科目名	教育経営学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				
授業の目的	ねらい	今、児童生徒が様々な課題を抱えていることが社会的にも着目されている。その関連で教育の意義もまた問われているのである。 本講義では、以上を踏まえて、学校教育などの公教育の意義や可能性を考える機会とし、児童生徒の学ぶ環境を保持するために学校経営がきわめて大きな意味を有することを学習する。			
	到達目標	(1)児童生徒を取り巻く環境を広い視野に立って理解できる。 (2)社会における様々な教育について基本的な理解ができる。 (3)児童生徒の安全を守ることが学校の大きな役割であることを理解する。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】講義の進め方 【計画内容】講義の進め方や受講上の留意点に触れる。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
第2回	【テーマ】我が国における学校教育制度の始まり 【計画内容】明治期に始まった学校教育制度を概観し、社会の変化とどのような関わりをもつか理解する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第3回	【テーマ】我が国における学校教育制度の発展 【計画内容】明治、大正、昭和戦前までの教育制度を確認する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第4回	【テーマ】我が国における現代の教育制度、教育基本法、学校教育法を含む 【計画内容】昭和戦後、我が国で相次いで制定された教育基本法・学校教育法の理念について、基本的な理解をし教育が大きく変化した社会的背景を見る。その後の高度経済成長期における高学歴化の進行について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第5回	【テーマ】新しい学校制度 【計画内容】中等教育学校、義務教育学校について、概要とこれらの学校制度ができた社会的背景を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第6回	【テーマ】信頼される教員、学校 【計画内容】信頼を得るために必要な説明責任と開かれた学校づくり、教員責務について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第7回	【テーマ】教職員の服務 【計画内容】学校教育に携わる教職員が守らなければならない点、それが児童生徒の安全な生活につながることを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第8回	【テーマ】学校の組織・運営 【計画内容】学校の組織、分掌と教職員の経営参画意識や評価について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第9回	【テーマ】学校のリスク・マネジメント(1) 【計画内容】学校が児童生徒の生命と安全を守るために行っているにもかかわらず、時としてそれらが危ぶまれる事故や事件が起きる。それらを教訓にするために事例について学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第10回	【テーマ】学校のリスク・マネジメント(2) 【計画内容】学校が児童生徒の生命と安全を守るために行っている取り組みを学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	J
第11回	【テーマ】市町村の教育委員会制度 【計画内容】市町村の教育委員会制度が学校教育とどのようにかかわっているか学ぶ。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第12回	【テーマ】僻地教育について 【計画内容】北海道は全国で僻地指定校が最も多い地域であるため、その僻地校での教育の特徴点を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読むこと。	A
第13回	【テーマ】コミュニティスクールの現状と課題 【計画内容】コミュニティ・スクールと学校運営協議会の連携が学校を活性化することで児童生徒の教育に及ぼす影響、課題も含めて学習する。コミュニティスクールについて、調べたことを学生が発表をする。 【準備学習の内容】各自でよく調べ、レジュメを作成する。	F
第14回	【テーマ】夜間中学校の現代的課題 【計画内容】現代の夜間中学校に通う若者の多くが、中学校までの学習を十分にできていない実情がある。夜間中学校の現状と、そこに通う若者が就学年齢であった時の学習課題への対応について学習する。事前に学生に調べ、レジュメ作成を指示し、ここで発表をする。 【準備学習の内容】各自でよく調べ、レジュメを作成する。	A、F
第15回	【テーマ】学校と家庭・地域社会との連携の重要性 【計画内容】児童生徒が安心して生活をするためには学校だけでは困難がある。家庭や地域社会とどのように関わるのか、具体的な事例や方法を学ぶ。 【準備学習の内容】講義内容全般についての確認をすること。	A、H、J

テキスト	プリントを使用します
参考書	『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』 講義で説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		15%		15%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_ 必修 [教]養教1種 _ 必修、中・高1種(音楽)_ 必修
その他	教職に就くことを希望しているかどうかにかかわらず、免許を取得するために重要な科目です。そのことを強く意識してしっかりと取り組んでください。

科目名	美術科教育法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	花輪　大輔	
授業の目的	ねらい	今日的な教育的課題を踏まえ、様々な美術教育理論を比較、検討することにより、個人の研究課題の明確化を図るとともに、不易と流行を踏まえた授業開発、授業改善を行う。また、美術教育における主体的な学び・深い学び・協同的な学びについて考える契機とする。
	到達目標	(1)美術教育の目標や内容を理解することができる。 (2)学習指導案の作成を通して、教材研究の方法および指導方法について理解することができる。 (3)理想とする美術教師像を持つことができる。
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、美術教育の内容把握と今日的課題について 【計画内容】美術で目指す生徒の姿とは、中学校美術科の今日的課題について(生徒、教師、社会) 【準備学習の内容】中学校美術で学んだことを400字程度にまとめておく。
	第2回	【テーマ】美術の意味と学校教育における必要性について 【計画内容】なぜ学校教育において「美術」が必修教科として存在するのか 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第3回	【テーマ】感性教育と情操教育、学習指導要領の教科の目標について 【計画内容】「情操＝価値感情」、学習指導要領の目標の変遷 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第4回	【テーマ】日本の美術教育の歴史について(自由画教育運動の発生まで) 【計画内容】明治時代の美術教育とその課題、自由画教育が我が国の美術教育に果たした役割 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第5回	【テーマ】日本の美術教育の歴史について(自由画教育運動以降) 【計画内容】新定画帖の出現とそれ以降の我が国の美術教育の変遷など、昭和30年代の民間美術教育運動 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第6回	【テーマ】美術の授業における教師の役割と授業設計について 【計画内容】中学校美術科の授業の構成要素とその本質 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第7回	【テーマ】造形要素と造形原理、美術の評価について 【計画内容】美術教育の特性及び指導と評価の一体化 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第8回	【テーマ】絵画の教科内容学と絵画指導・描画の発達について 【計画内容】教科の指導内容に絵画が位置づけられている意味、子どもの描画の発達について 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第9回	【テーマ】中学校美術科における学習指導案について 【計画内容】学習指導案の構成要素、求められる学習指導案の在り方 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。
	第10回	【テーマ】絵画指導に関する教材試作及び学習展開案の作成 【計画内容】絵画指導における目標設定、評価基準と評価規準、題材指導計画、本時の流れ 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。指示された学習指導案を作成しておく。
	第11回	【テーマ】絵画指導に関するマイクロティーチング、講評①(導入を中心に) 【計画内容】絵画指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評①(導入における意欲の喚起) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。
	第12回	【テーマ】絵画指導に関するマイクロティーチング、講評②(展開を中心に) 【計画内容】絵画指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評②(展開における思考の深まり) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。
	第13回	【テーマ】美術鑑賞指導に関する教材試作及び学習展開案の作成 【計画内容】美術鑑賞指導における目標設定、評価基準と評価規準、題材指導計画、本時の流れ 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。指示された学習指導案を作成しておく。
	第14回	【テーマ】美術鑑賞指導に関するマイクロティーチング、講評①(導入を中心に) 【計画内容】美術鑑賞指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評①(導入における意欲の喚起) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。
	第15回	【テーマ】美術鑑賞指導に関するマイクロティーチング、講評②(展開を中心に) 【計画内容】美術鑑賞指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評②(展開における思考の深まり) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。

授業の計画	第1回	A、B、H、L	第2回	A、B、F、H、L	第3回	A、B、F、H、L	第4回	A、F、H
	第5回	A、F、H	第6回	A、B、F、H	第7回	A、B、F、H	第8回	A、B、F、H
	第9回	A、B、F、H	第10回	A、B、F、H	第11回	B、F、H、L	第12回	B、F、H、L
	第13回	A、B、F、H	第14回	B、F、H、L	第15回	B、F、H、L		

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説美術編』、日本文教出版 福田眞隆他、2010年、『美術科教育の基礎知識』、建帛社 春日明夫他、2018年、『平成30年度版文部科学省検定済教科書＜美術1、2・3上、2・3下＞』、日本文教出版
参考書	講義時にプリントを配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足	期末レポート		レポート・指導案		課題状況	

質問への対応	E-Mail:hanawa.daisuke@s.hokkyodai.ac.jp 或いは TEL:011-778-0968(研究室直通)
資格	[芸]中・高1種(美術)_ 必修
その他	テキストを使用します。 模擬授業の学習指導案を作成していない場合は、教室への入室を認めないことがあります。 学校現場を訪問する際の身なり等がふさわしくない場合は、受講を認めないことがあります。

科目名	美術科教育法Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	花輪　大輔				
授業の目的	ねらい	今日的な教育的課題を踏まえ、美術表現とそれを媒介とした教育の可能性の考察を通して、美術教育に関わる教師としての資質･能力の向上を目指す。また、美術教育における主体的な学び･深い学び･協同的な学びについて考える契機とする。			
	到達目標	(1)美術教育の目標や内容の理解を深めることができる。 (2)教材研究の方法を理解するとともに学習指導案の作成ができる。 (3)模擬授業を通して各領域の実践的指導力を高めることができる。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション、美術で大切にしたい生徒理解について 【計画内容】美術で大切にしたい生徒理解、授業で大切にしたい生徒指導機能 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	A、B、H、L
	第2回	【テーマ】健康な人間と特性と美術教育について 【計画内容】美術教育で目指す自己実現理論(至高経験) 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	A、F、H
	第3回	【テーマ】学習指導要領における学年に応じた目標の理解について 【計画内容】学習指導要領における学年に応じた目標及び、発達に応じたカリキュラム設計、指導事項 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	A、F、H
	第4回	【テーマ】目標と評価の一体化と評価規準の考え方について 【計画内容】目標体系と指導計画、指導と評価の一体化と評価情報の扱い、評価規準作成の留意事項 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	A、F、H、J
	第5回	【テーマ】子ども中心の授業設計と安全指導について 【計画内容】子ども中心の授業設計の考え方及び安全指導の留意 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	A、F、H、J
	第6回	【テーマ】教科指導における効果的な ICT 機器の使用と望ましい板書計画について 【計画内容】手立てが目的化しない ICT 機器の活用とは、授業の構造化と板書計画 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	A、F、H、J
	第7回	【テーマ】デザイン指導に関する教材試作及び学習展開案の作成 【計画内容】デザイン指導における目標設定、評価基準と評価規準、題材指導計画、本時の流れ 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。指示された学習指導案を作成しておく。	A、B、F、H
	第8回	【テーマ】デザイン指導に関するマイクロティーチング、講評①(導入を中心に) 【計画内容】デザイン指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評①(導入における意欲の喚起) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。	B、F、H、L
	第9回	【テーマ】デザイン指導に関するマイクロティーチング、講評②(展開を中心に) 【計画内容】デザイン指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評②(展開における思考の深まり) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。	B、F、H、L
	第10回	【テーマ】美術鑑賞指導に関する教材試作及び学習展開案の作成 【計画内容】美術鑑賞指導における目標設定、評価基準と評価規準、題材指導計画、本時の流れ 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。指示された学習指導案を作成しておく。	A、B、F、H
	第11回	【テーマ】美術鑑賞指導に関するマイクロティーチング、講評①(導入を中心に) 【計画内容】美術鑑賞指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評①(導入における意欲の喚起) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。	B、F、H、L
	第12回	【テーマ】美術鑑賞指導に関するマイクロティーチング、講評②(展開を中心に) 【計画内容】美術鑑賞指導のマイクロティーチング(模擬授業)の実践及び講評②(展開における思考の深まり) 【準備学習の内容】マイクロティーチング(模擬授業)の教材を用意し、練習をしておく。	B、F、H、L
	第13回	【テーマ】中学校美術科教育の実際について 【計画内容】中学校美術科教育の実際についての VTR 視聴、課題検討 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	B、F、G、H、J
	第14回	【テーマ】美術教育理論と教育現場での実践の往還のために①「理想の美術の授業の在り方」 【計画内容】美術教育理論と教育現場での実践の往還のための検討事項①「理想とする美術教育の姿とは」 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	B、F、G、H、J
	第15回	【テーマ】美術教育理論と教育現場での実践の往還のために②「美術教師に必要な資質･能力とは」 【計画内容】美術教育理論と教育現場での実践の往還のための検討事項「理想の授業の実現のための、美術教師に必要な資質･能力とは」 【準備学習の内容】指示されたテキストの該当ページを読んでおく。	B、F、G、H、J

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説美術編』、日本文教出版 福田眞隆他、2010年、『美術科教育の基礎知識』、建帛社 春日明夫他、2018年、『平成30年度版文部科学省検定済教科書＜美術1、2･3上、2･3下＞』、日本文教出版
参考書	講義時にプリントを配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足	期末レポート		レポート･指導案		課題状況	

質問への対応	E-Mail:hanawa.daisuke@s.hokkyodai.ac.jp 或いは TEL:011-778-0968(研究室直通)
資格	[芸]中･高1種(美術)_ 必修
その他	テキストを使用します。 模擬授業の学習指導案を作成していない場合は、教室への入室を認めないことがあります。 学校現場を訪問する際の身なり等がふさわしくない場合は、受講を認めないことがあります。

科目名	道徳教育論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉浦　勉				
授業の目的	ねらい	学校教育の中で道徳教育がどのように位置づけられているのかを学びます。中学校教育に「道徳の時間（道徳科）」が置かれている意義を理解します。高等学校での道徳教育の中心となるのは、特別活動のホームルーム活動、公民科における「現代社会」と「倫理」ですが、道徳教育は、学校教育活動全体を通じて行うことが基本であることを理解します。事例をもとに指導案を書きます。			
	到達目標	(1)学校教育全体で行う道徳教育と「道徳の時間」（道徳科）に行う道徳教育の意義を理解することができる。 (2)学習指導要領に示された道徳の目標や内容を理解することができる。 (3)「道徳の時間（道徳科）」の指導案を作成することができる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A、L		
	第2回	【テーマ】道徳とは何か(1) 【計画内容】モラル、マナー、倫理、法律と道徳の異同について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、K、L		
	第3回	【テーマ】道徳とは何か(2) 【計画内容】近代ヨーロッパの倫理、思想、東洋の道徳思想、日本の道徳思想について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、L		
	第4回	【テーマ】道徳教育の歴史(1) 【計画内容】「修身科」と道徳教育、教育勅語と戦後教育について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、L		
	第5回	【テーマ】道徳教育の歴史(2) 【計画内容】学習指導要領の変遷と教育基本法の改正について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、L		
	第6回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育(1) 【計画内容】学校教育全体で行う道徳教育の目標及び内容について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、L		
	第7回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育(2) 【計画内容】「道徳の時間（道徳科）」に行う道徳教育の目標について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、L		
	第8回	【テーマ】学習指導要領にみる道徳教育(3) 【計画内容】指導計画の作成と内容の取扱いについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、K、L		
	第9回	【テーマ】道徳教育の授業方法 【計画内容】「私たちの道徳」や「教科書」の扱い方と指導事例を学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、K、L		
	第10回	【テーマ】学習指導案の作成(1) 【計画内容】事例研究とモラルジレンマなどの指導方法について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、J、L		
	第11回	【テーマ】学習指導案の作成(2) 【計画内容】指導案の形式と資料の選択、授業の展開について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、K、L		
	第12回	【テーマ】学習指導案の作成(3) 【計画内容】指導案を作成します。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、K、L		
	第13回	【テーマ】学習指導案の交流と検討 【計画内容】模擬授業を行い、検討します。 【準備学習の内容】自分の指導案を完成させておくこと。	B、L		
	第14回	【テーマ】世界の道徳教育 【計画内容】仏･露･中･米･豪･東京都の「市民科」について学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A、L		
	第15回	【テーマ】学習の振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返ります。道徳教育の「教科化」など、道徳教育をめぐる現代の課題について考えます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説道徳編』を読んでおくこと。	A、K、L		
テキスト	柴原弘志、2016年、『中学校新学習指導要領の展開　特別の教科　道徳編』、明治図書、9784182731143				
参考書	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領解説道徳編』、日本文教出版、4536590048				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[芸]中1種（美術）_ 必修、高1種（美術）_ 選択 [教]養教1種 _ 必修、中1種（音楽）_ 必修、高1種（音楽）_ 選択
その他	

科目名	特別活動論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	諏江　康夫				
授業の目的	ねらい	今日、各学校には、特色ある教育活動や開かれた学校づくりが求められています。「特別活動」は創意工夫の余地の広い活動領域であることから、特色ある学級や学校づくりに大きな役割を果たしています。この講義では、特別活動の目標、内容、教育的意義と、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、及び学校行事の指導計画、実践・評価の一連の流れを学び、望ましい集団活動を通して展開される特別活動とはどのような教育活動かを探究していきます。				
	到達目標	(1)特別活動の意義、目標及び内容を理解できる。 (2)特別活動の指導の在り方を理解できる。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の到達目標、展開、評価方法、参考文献などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】学習指導要領と特別活動 【計画内容】学習指導要領改訂の経緯や趣旨、特別活動の位置付けや各教科等との関連などについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第1章）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】特別活動の目標と主な内容 【計画内容】特別活動の目標や、各活動・学校行事の目標や内容などについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第2章第1節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第4回	【テーマ】特別活動の全体計画と各教科等との関連 【計画内容】特別活動の意義や各教科等との関連を図った全体計画、各活動・学校行事の指導計画作成の重要性について学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第2章第2節、第4章　第1、2節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント① 【計画内容】学級（ホームルーム）活動の特質、目標・内容などについて学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第3章第1節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント② 【計画内容】主体的・対話的な学習形態の中で、「学級や学校における生活づくりへの参画」に関する指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】「学級や学校における生活づくりへの参画」に関する指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第7回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント③ 【計画内容】主体的・対話的な学習形態の中で、「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」または「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意のテーマについて指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第8回	【テーマ】学級（ホームルーム）活動の進め方と指導のポイント④ 【計画内容】指導計画の中から、合意形成に向けた話合い活動や、意思決定につながる指導の点で優れているものについて評価し合います。 【準備学習の内容】自分の指導計画のポイントを整理し、話合いに備える。	A、H、K
	第9回	【テーマ】生徒会活動の進め方と指導のポイント① 【計画内容】生徒会活動の特質、目標及び主な内容について学びます。実践事例などから生徒会活動の実態を考察します。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第3章第2節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】生徒会活動の進め方と指導のポイント② 【計画内容】生徒会活動と部活動との関係を考えます。生徒会活動の教育的意義や生徒会活動の諸問題について考察します。 【準備学習の内容】部活動の教育的意義について考えておくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント① 【計画内容】学校行事の特質、目標及び主な内容について学ぶとともに、儀式的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説特別活動編』（第3章第3節）、『高等学校学習指導要領』（特別活動）を読んでおくこと。	A、H、K
	第12回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント② 【計画内容】文化的行事、健康安全・体育的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意の行事について指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第13回	【テーマ】学校行事の進め方と指導のポイント③ 【計画内容】旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事の指導計画を作成・例示し、相互に検討します。 【準備学習の内容】任意の行事について指導計画の下書きを作成する。	A、H、K
	第14回	【テーマ】特別活動の指導と評価 【計画内容】特別活動に係る指導体制や、評価の在り方の重要性について学びます。 【準備学習の内容】指定したテキスト（中学校・高校）の第4章第4節、第5節を読んでおくこと。	A、K
	第15回	【テーマ】特別活動と家庭、地域などとの連携 【計画内容】特別活動における、家庭、地域、関係機関との連携の重要性について学ぶとともに、授業全体を振り返り、学んだことがらを整理します。 【準備学習の内容】これまでの講義の内容を整理しておくこと。	A、G、L

テキスト	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領解説特別活動編』、東山書房 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領』、プリントを使用する
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、2014年、教育実習の手引き

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%			50%
補足			内容・丁寧さ			論述形式のレポート等

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種（美術）_必修　[教]養教1種 _必修、中・高1種（音楽）_必修　[ス]中・高1種（保健体育）_必修
その他	『高等学校学習指導要領』は刊行されていないので、プリントを配付します。 課題は毎回提出してもらいます。丁寧に一生懸命に書くことが評価のポイントになります。

科目名	生徒指導論(進路指導を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				

授業の目的		
	ねらい	生徒指導は、児童・生徒の人格の健全な育成を図るため、全教育活動において行われるものであり、学校教育においては、教科指導と車の両輪としての意義を持っている。本講義では、非行や問題行動への対応ばかりではなく、積極的に教科、学級(HR)、学年、学校全体の教育活動に携わる望ましい生徒指導、進路指導の在り方を学習する。 生徒指導は、中学校・高校においては教員として欠かすことのできない重要な教育技法であるため、中等教育における開発的、発達援助的な生徒指導のあり方や進路指導のあり方についての基本を理解することが肝要である。
	到達目標	(1)生徒指導の教育的意義や目的、基本原理や機能を理解する。 (2)中等教育における生徒理解のあり方、個に応じた望ましい指導の実践力を身につける。 (3)個と併せて集団指導のあり方を理解する。 (4)今日的な課題の多様な解決策、問題行動に対応できる資質能力を身につける。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の目的と進め方を説明する。生徒指導の導入として、文部科学省から出された『生徒指導提要』に基づき生徒指導の教育的意義を学習する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】生徒指導の範囲・生徒指導の基本原理 【計画内容】学校教育における生徒指導の範囲、基本原理について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】個別指導について 【計画内容】児童生徒個々の心情や生育環境など理解することが、生徒指導にとってきわめて重要なことであることを確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】集団指導について 【計画内容】集団指導の方法や課題を理解する。個別指導と集団指導をバランスよく取り入れていくことが肝要であるが、突き詰めれば集団指導は個別指導に他ならないことを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】生徒指導と道徳や特別活動との関わり 【計画内容】生徒指導と各教科とのつながりを学習する。中でも道徳や特別活動との関わりが深いことを理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】学級担任と生徒指導 【計画内容】学校組織内で生徒指導に果たす学級担任のあり方、教師間の連携について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】中・高等学校における生徒指導体制のあり方 【計画内容】学校組織内で生徒指導をいかに潤滑に行うか、校務分掌間の関連を学習する。 【準備学習の内容】これまでの学習内容をよく復習し理解をしておくこと。	A
	第8回	【テーマ】これまでの学習のまとめとして　グループ・ワーク 【計画内容】これまでの学習を踏まえて、論点を出し合い、グループワークを行う。11回からの学生によるプレゼンテーションの説明。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第9回	【テーマ】生徒指導の現代的課題と問題行動 【計画内容】児童生徒の問題行動が社会の影響を強く受けるものであることを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A
	第10回	【テーマ】生徒指導に関するケース・スタディ(中学校・高等学校) 【計画内容】いじめ、不登校、万引きなど、中・高等学校における具体的な問題の事例により学習を深める。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	J
	第11回	【テーマ】中・高等学校におけるいじめについて　プレゼンテーション 【計画内容】主にいじめを取り上げ、現在の学校現場でのいじめの状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第12回	【テーマ】中・高等学校における不登校について　プレゼンテーション 【計画内容】主に不登校を取り上げ、学校現場での不登校の状況、児童生徒の心情、法制度の確立などを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F
	第13回	【テーマ】いじめ、不登校のまとめ、振り返り 【計画内容】いじめや不登校の対策として地域、家庭、関係専門機関との連携の重要性について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H
	第14回	【テーマ】中・高等学校におけるキャリア教育① 【計画内容】キャリア教育推進の方針について学習する。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A
	第15回	【テーマ】中・高等学校におけるキャリア教育②　総合的な振り返り 【計画内容】各発達段階で必要な経験を確認し、児童生徒に有効な支援を実施できるようにする。 【準備学習の内容】これまでの学習について復習し、使用したプリントを持参する。	H

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、『生徒指導提要』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	70%		20%		10%	
補足						

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修　　[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	他の科目と同時に重要な内容を含んでおります。理論と事例を取り交ぜますので、しっかり取り組んで学習をしてください。

科目名	学校ボランティア活動Ⅰ	授業形態	実習	単位数	1

教員名	二宮　孝行

授業の目的		
	ねらい	学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。 本講義では、授業参観やボランティア活動などを通して教育現場の実際を体験し、学校教育への理解を深めます。さらには、教員を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。
	到達目標	(1)授業参観などを通して、学校教育における学習指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解する。

授業の計画		
	【計画内容】 1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。	A
	2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内等の小・中学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。	M
	3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかかわり方について理解を深める。	H、J
	4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間 :8回実施　24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。自己課題に基づき、活動記録を記載し、振り返る。	D
	5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ、交流することにより、新たな目標を設定する。	L
	【準備学習の内容】 資料や記録の下調べや活動の成果と課題をまとめておく。	

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					80%	20%
	補足					活動記録などによる	活動記録などによる

質問への対応	随時、対応します。
資格	
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。

科目名	介護等体験	授業形態	実習	単位数	1
教員名	木下　教子、杉浦　勉				
授業の目的	ねらい	社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間の計7日間の体験を行いますが、開始前に2回、終了後に1回、講義を行います。介護等体験を通して、個人の尊厳及び社会連帯に関する認識を深めます。			
	到達目標	(1)介護等体験の主旨と意義について理解する。 (2)体験実習の施設についての認識を深める。 (3)体験で関わる人たちの状況、心理、行動を理解し、関わり方についての認識を深める。 (4)体験にあたっての心構え、社会的常識など留意すべき点についての認識を深める。			

授業の計画		
	1. 介護等体験とは･事前指導1(90分) 【計画内容】介護等体験を行うにあたり、本科目の目的を理解し施設体験に向けた心構えをする。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために)』を熟読すること。	A
	2. 介護等体験とは･事前指導2(90分) 【計画内容】介護等体験をさせていただく社会福祉施設の担当者と特別支援学校の担当教員を講師に招き、介護等体験の実際について講義をしていただく。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために)』を熟読すること。	A
	3. 社会福祉施設での体験(1日6時間:5日間実施 :30時間) 【計画内容】障害者、高齢者に対する介護･介助･交流等の体験。話し相手、散歩、清掃、洗濯等の職員に必要とされる業務補助。 社会では人が支え合って生きていること、いろいろな立場の人がいることを学ぶ。体験を行う施設では、どのような介護が必要なのかを考え、体験を行う。また、毎日、介護等体験記録ノートに体験の内容、学んだこと等を記録すること。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために　3･介護等体験において留意すべきこと)』を熟読すること。また、体験を行う施設について調べておくこと。	A
	4. 特別支援学校での体験(1日6時間:2日間実施 :12時間) 【計画内容】各教科等の授業の参観や障害のある児童生徒の介護、交流等の体験。学校行事(文化祭･運動会)、給食等の支援。 障害のある子どもたちが学ぶ学校での介護等体験は、それぞれの障害に応じて教育の内容も異なるので、介護等体験の内容も異なる。各学校の指示に従い、障害のある子どもの実態について積極的に学び、理解を深める。また、毎日、介護等体験記録ノートに体験の内容･学んだこと等を記録すること。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために　3･介護等体験において留意すべきこと)』を熟読すること。また、体験を行う学校について調べておくこと。	A
	5. 介護等体験を終えて･事後指導(90分) 【計画内容】介護等体験を通して学んだことをまとめ、発表する。 【準備学習の内容】『教育実習の手引き(Ⅲ･介護等体験のために　4･受け入れ施設･学校の考え)』を熟読すること。	A、H

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		20%	20%
	補足			日誌提出		体験への意欲	発表の評価

質問への対応	各教員へ。
資格	
その他	「介護等体験」は小学校教諭免許状･中学校教諭免許状取得には、必ず必要です。 ただし、この科目の単位は教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。

心理カウンセリング学科
学 科 専 門 科 目

科目名	労働法令	授業形態	講義	単位数	2
教員名	迫田　宏治				

授業の目的		
	ねらい	学生の皆さんがこれから社会に出ていくにあたっては、労働法に関する基本的な知識を修得することに加え、その得た知識を現実の場面でどのように生かしていくか、ということが重要となります。現実の雇用の現場で起きている様々な問題についてどのように対処すべきかについては、必ずしも正解が一つとは限らず、関わる者の立場、考え方によっても異なってきます。そこで、具体的なケースを通じて、なぜそのような問題・紛争が生じるのか、その背景事情を理解するとともに、仮に自らが同じ立場に立った場合にどのように立ち回ればいいのかを真剣に考えてもらうことを通じて、現実の社会で生きていくための知恵を身につけることを目指します。
	到達目標	(1)労働法に関する基本的な知識を習得する。 (2)現実の雇用の現場で起きている様々な問題の背景事情を理解する。 (3)得た知識を現実社会で生かしていくための知恵を身につける。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、この授業でこれからどのようなことを学んでいくかについて説明をする。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んだ上で、指定テキストのプロローグ(p.2-p.6)を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】仕事をはじめるときに気をつけること 【計画内容】なぜ労働法が必要なのか、労働法の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの1(p.8-p.13)を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】企業の採用の自由、内定・内々定の意味 【計画内容】企業は採用の自由をもっていること、内定・内々定とはどういうことであるのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの2(p.14-p.19)を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】労働条件は何によって決まるのか 【計画内容】労働契約の意味、就業規則の意味、労働協約の意味について学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの3(p.20-p.25)を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】賃金のルール 【計画内容】賃金支払いのルールがどのようになっているかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの4(p.28-p.33)を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】労働時間規制 【計画内容】労働法上労働時間がどのように規制されているのか、なぜそのような規制がされているのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの5(p.34-p.39)を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】労働時間規制(続き)、ワークライフバランス 【計画内容】第6回に引き続き、実例を通じて労働時間規制がどのようになされているのかについて、理解を深める。 ワークライフバランスとはどういうことなのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの5(p.34-p.39)、6(p.40-p.45)を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】労働条件の変更 【計画内容】労働法上、労働条件がどのような場合に変更されるのか、労働条件の変更についてどのような法規制がなされているかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの7(p.46-p.51)を読んでおくこと。	A
	第9回	【テーマ】労働者が負う労働契約上の義務、使用者がもつ懲戒権 【計画内容】労働者は労働契約上どのような義務を負っているのか、使用者がもつ懲戒権とはどのようなものであるのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの8(p.54-p.59)を読んでおくこと。	A
	第10回	【テーマ】ハラスメント 【計画内容】職場で発生するハラスメントとはどういうものであるのか、職場でハラスメントが起きる背景事情にはどういうものがあるのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの9(p.60-p.65)を読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】業務災害 【計画内容】業務災害とはどのようなものであるのか、業務災害に遭った被災労働者にはどのような保障がなされているのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの10(p.66-p.71)を読んでおくこと。	A
	第12回	【テーマ】業務災害(続き)、仕事と育児の両立 【計画内容】第11回に引き続き、現実の事例をもとに、業務災害が起こらないためにどのようなことが社会的に求められているのか、考察を深める。 仕事と育児の両立ができるためにどのような法制度があるかについて学ぶとともに、女性が社会で活躍するために求められている法制度・社会制度が何であるかについて考察する。 【準備学習の内容】指定テキストの10(p.66-p.71)、11(p.72-p.77)を読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】解雇に関する法規制 【計画内容】会社が従業員をどのようなときに辞めさせることができるとされているのか、その法規制の内容を学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの12(p.80-p.85)を読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】有期雇用契約に対する法規制 【計画内容】有期契約の労働者について、どのような場合に契約を更新しないことが許されるとされているのかについて学ぶとともに、有期契約労働者が増加している社会背景についての理解を深める。 【準備学習の内容】指定テキストの13(p.86-p.91)を読んでおくこと	A
	第15回	【テーマ】失業した時の支え、労働トラブルの解決方法 【計画内容】失業した時に労働者を支えるどのような社会制度があるのか、労働トラブルが発生した場合にどのような解決制度があるのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】指定テキストの14から16(p.92-p.112)を読んでおくこと。	A

テキスト	道幸哲也・加藤智章・國武英生編、2018年、『18歳から考えるワークルール〔第2版〕』、法律文化社、9784589038821
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				40%	
	補足						

質問への対応	授業開始前または授業終了後に受け付けます。
資格	
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を行います。どのような内容の筆記試験にするかについては、あらかじめアナウンスします。 受講生の理解の程度に応じ、授業計画内容に変更が生じ、授業計画の予定が前後することがあります。

科目名	育児支援の心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	風間　雅江				
授業の目的	ねらい	少子高齢化が進む現代日本において、子育てを担う人々の悩みは深刻化している。かつて、子育て支援は保育支援中心の施策に偏っていたが、現在は、地域や企業なども含めて、広く、社会全体で取り組む方向に移行している。こうした背景からすると、子育て支援は誰もにとって身近な課題であるといえる。本講義では、子育て支援に関連する心理学の知識や理論を紹介し、それらが子育て支援の実践にどのように活かされるのかについて考察する。				
	到達目標	(1)子育て支援に関連する、発達心理学、家族心理学、臨床心理学などの心理学領域の知識を習得する。 (2)養育者のメンタルヘルスの維持・向上、および支援にかかわる理論や具体的方法についての理解を深める。 (3)家庭、園、そして地域における多様な子育て支援の実践について多面的に考察する。				

授業の計画		
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】本講義のねらい、到達目標、15回の流れ、成績評価の方法等について説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】現代社会の特徴と子育て支援の必要性 【計画内容】少子化と核家族化が進行した現代の日本社会において、どのような子育て支援が求められるのか、現状をふまえながら考察する。 【準備学習の内容】テキストの序章を読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】家庭での子育てとその支援 【計画内容】愛着(アタッチメント)の理論、および、親の精神衛生にかかわる要因について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第1章を読んでおくこと。	A、K
	第4回	【テーマ】育児不安 【計画内容】母親をはじめとした育児者が抱く不安や子育ての負担感、および育児疲労について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第14章を読んでおくこと。	A、H、K
	第5回	【テーマ】父母子関係とソーシャルサポート 【計画内容】家族全体を支えるソーシャルサポート(社会的支援)について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第2章を読んでおくこと。	A、H、K
	第6回	【テーマ】虐待の防止に向けて 【計画内容】虐待の定義、虐待を引き起こすリスク要因、早期発見、および援助の方法について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んでおくこと。	A、H、K
	第7回	【テーマ】親としての成長 【計画内容】子育てをしながら成長していく親としての発達について、生涯発達心理学の観点から検討する。 【準備学習の内容】テキストの第5章を読んでおくこと。	A、H、K
	第8回	【テーマ】集団での経験と子どもの育ち 【計画内容】幼稚園や保育園などの集団保育施設において、子どもの発達を支える保育者の担う役割について考える。 【準備学習の内容】テキストの第6章を読んでおくこと。	A、H、K
	第9回	【テーマ】園における子育て支援と保育カウンセリング 【計画内容】園における子育て相談や預かり保育、および保育カウンセリングについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第6章と第12章を読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】障害のある子どもの親および保育者への支援 【計画内容】発達障害等障害のある子どもの親、および園の保育者に対する支援について具体例を通して考える。 【準備学習の内容】テキストの第12章と第13章を読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】地域での子育て相談 【計画内容】保健所・保健センター等での子育て支援の取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第13章を読んでおくこと。	A、H、K
	第12回	【テーマ】地域における子育て支援活動 【計画内容】児童会館等での子育て支援について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第15章を読んでおくこと。	A、M
	第13回	【テーマ】学齢期の子育て支援 【計画内容】小学生、中学生の親への子育て支援について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの第15章を読んでおくこと。	A、H、K
	第14回	【テーマ】逆境を乗り越える子育て 【計画内容】さまざまな危機的状況のなかで生きる親と子の精神的回復力(リジリエンス)を最大限ひきだすための支援について考える。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んでおくこと。	A、H、K
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの講義を振り返り、全体を通して学んだことや考えたことを確認する。 【準備学習の内容】本講義全体を通して学んだことについて、各自の理解と独自の考察をまとめておくこと。	A、G、L

テキスト	無藤隆・安藤智子編、2008年、『子育て支援の心理学ー家庭・園・地域で育てる』、有斐閣アルマ、9784641173507
参考書	橋本和明、2014年、『子育て支援ガイドブックー逆境を乗り越える子育て技術ー』、金剛出版、9784772413848 岩堂美智子(監)・松島恭子(編)、2008年、『臨床心理士の子育て支援ーその理論と実践事例ー』、創元社、9784422114149 藤崎眞知代・本郷一夫・金田利子・無藤隆(編著)、2002年、『育児・保育現場での発達とその支援』、ミネルヴァ書房、4623036871

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
	補足						

質問への対応	講義中、講義後に直接、あるいは、メールでの質問を受けます。E-Mail:mkazama@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	

科目名	高齢者心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田辺　毅彦				
授業の目的	ねらい	高齢者介護施設等において、多様で複雑な背景を持つ高齢者と関わる際に必要な加齢・老化についての基礎知識と心理的特性を学び、高齢者の身体と心の理解を深めることを目的としています。加齢によって身体的・精神的・社会的にはどのような変化があり、それらが心理的にどのような影響を与えているのか、対応はどうしたらよいのかを学び、これからの高齢化社会を生きていく上で何が必要なのか検討します。			
	到達目標	(1)加齢・老化の与える変化と心理的影響について理解できる。 (2)老年期のパーソナリティの変化と適応、社会との関係について理解できる。 (3)老年期の心理的変化と精神障害に関する知識を身につける。 (4)認知症の特徴とそのケアについて学び、認知症の人への対応について理解する。 (5)高齢者の死と心理的援助について理解し、看取りについて考察する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス－高齢者心理学概論 【計画内容】現代における高齢者の心理的問題とその概要。 【準備学習の内容】新聞やTVなどに取り上げられている高齢者問題に注目する。			A
	第2回	【テーマ】身体と精神機能の変化－高齢者の身体の仕組みの理解 【計画内容】加齢によって影響を受ける身体部位や機能。 【準備学習の内容】身近な高齢者の日常生活における心身の特徴に注目する。			A
	第3回	【テーマ】加齢と記憶機能 【計画内容】記憶システムの特徴と記憶の形態。 【準備学習の内容】身近な中高年者の日常生活における記憶の特徴に注目し、一般的な記憶システムについても確認する。			A
	第4回	【テーマ】知的機能と老年期の知能の特徴 【計画内容】加齢による知的機能の衰退と温存される能力。 【準備学習の内容】身近な中高年者の日常生活における知能の特徴に注目する。			A
	第5回	【テーマ】知能の検査 【計画内容】知能検査の特徴、高齢者の機器取り扱いや車の運転の特徴。 【準備学習の内容】身近な中高年者の日常におけるさまざまな機器に対する扱いの特徴に注目する。スマホ操作の特徴と問題点について考える。			A、L
	第6回	【テーマ】老年期のパーソナリティ特徴－高齢者の心の仕組みの理解 【計画内容】一般的なパーソナリティ理論と高齢者の感情表出特徴。 【準備学習の内容】身近な中高年者の日常におけるパーソナリティ特徴や問題点に注目する。			A、K
	第7回	【テーマ】老年期の適応 【計画内容】老年期の環境移行や環境適応。 【準備学習の内容】身近な中高年者の日常における住居移動等やそれに伴う認知能力低下の問題に注目する。			A、G
	第8回	【テーマ】老年期の対人関係と社会生活－ボランティア活動と超高齢者の生き方 【計画内容】中高年期のボランティア活動実態、超高齢者の特徴。 【準備学習の内容】超高齢者に関するさまざまな話題に注目する。			A、G
	第9回	【テーマ】老年期の精神的健康－心理的ストレスとうつ病 【計画内容】老年期の精神病、ストレスとうつ病の現状と治療。 【準備学習の内容】高齢者のうつ病事例やその特徴について注目する。			A
	第10回	【テーマ】認知症とケア(1)認知症の特徴 【計画内容】さまざまな認知症、認知症治療。 【準備学習の内容】認知症に関するさまざまな話題に注目する。			A
	第11回	【テーマ】認知症とケア(2)認知症の人の生活と家族 【計画内容】認知症の人に対する対応、家族会の活動。 【準備学習の内容】認知症に関するさまざまな話題に注目し、地域社会における問題について検討する。			A、G
	第12回	【テーマ】認知症とケア(3)認知症ケアと介護予防 【計画内容】薬物治療、アクティビティ、介護予防活動。 【準備学習の内容】認知症ケアに関するさまざまな話題に注目する。介護保険とその利用の問題の現状について注目する。			A、G
	第13回	【テーマ】高齢者の死と心理的援助(1)臨死体験と死生観 【計画内容】さまざまな臨死体験、臨死教育。 【準備学習の内容】臨死に関するさまざまな話題に注目する。			A、K
	第14回	【テーマ】高齢者の死と心理的援助(2)看取りとホスピスケア 【計画内容】ホスピスケアに関わる心理的援助の実際と問題。 【準備学習の内容】看取りに関するさまざまな話題に注目する。施設や在宅看取りの可能性などに関する問題について注目する。			A、G
	第15回	【テーマ】まとめ－高齢者の心理学的問題と死に関する問題 【計画内容】高齢者心理の特徴、臨死問題。 【準備学習の内容】これまでの講義内容の整理を行う。			A、G
テキスト	プリントを使用します				
参考書	田辺毅彦、2010年、『人を助ける心理学入門』、培風館				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	10%		30%			60%
	補足						

質問への対応	E-Mail:tanabe@hokusei.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必 [健]介護福祉士 _ 必修
その他	私語厳禁

科目名	児童心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川　貴紀				
授業の目的	ねらい	児童期は大きな変化の時です。小学校入学前は幼かった子どもたちが、低学年から中学年、高学年へと年を経るごとに、身長も伸び、運動能力や手先の器用さも増していきます。心理面においても、複雑な思考ができるようになり、他者の気持ちや自分自身についての理解も深まっていきます。本講義ではこのような児童期の心理について具体的なエピソードなどを通して学びます。				
	到達目標	(1)児童期の子どもの心理を理解することができる。 (2)児童期の子どもの支援について具体的に考えることができる。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、G
第2回	【テーマ】人生の時期の中での児童期 【計画内容】発達段階理論を元に児童期の特徴について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第3回	【テーマ】子どもの健康と安全 【計画内容】子どもの健康とそれに影響する要因について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第4回	【テーマ】知的能力·認知機能の発達 【計画内容】記憶の発達や情報処理理論について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第5回	【テーマ】学業達成と動機づけ 【計画内容】児童の学業達成に関わる要因について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第6回	【テーマ】学校·家庭での学習 【計画内容】発達と教育の関係について学習します。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第7回	【テーマ】子どもと環境 【計画内容】子どもにとっての生活空間の意味について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第8回	【テーマ】中間のまとめ 【計画内容】これまでの学習内容について振り返り、理解を深めます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第9回	【テーマ】家庭生活と家族関係 【計画内容】家族関係について理解するための方法について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第10回	【テーマ】学校と仲間関係 【計画内容】子どもの仲間関係の特徴について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第11回	【テーマ】社会性の発達 【計画内容】児童期の社会性の発達や支援方法について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第12回	【テーマ】パーソナリティと自己の発達 【計画内容】パーソナリティや自己概念の発達と適応について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第13回	【テーマ】子どもたちへの支援 【計画内容】不登校や発達障害を持つ子どもへの支援について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第14回	【テーマ】児童期から青年期へ 【計画内容】児童期から青年期までの発達の特徴について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、G、L
第15回	【テーマ】児童心理学からの提言 【計画内容】これまでの学習内容を振り返り、児童期の発達についての理解を深めます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解を深めておくこと。	A、G、L

テキスト	プリントを使用します
参考書	青木多寿子·戸田まり編、2009年、『児童心理学』、学文社、9784762018855 伊藤亜矢子編、2011年、『エピソードでつかむ児童心理学』、ミネルヴァ書房、9784623058259

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足			レポート		感想等	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	

科目名	青年心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤　聡一				
授業の目的	ねらい	心と身体が大きな変化と成長を遂げる青年期について、これまでさまざまな視点から研究や実践が行われてきました。その一方で、青年期は社会の影響を非常に受けやすく、「時代を映す鏡」とも言われています。この講義では、過去から現在に至る青年期の理解と支援の視点を学ぶと共に、事例や小説・映画・漫画等の素材と皆さんの率直な声を聞きながら、「今日の青年期」についての理解を深める内容にしていきたいと思います。				
	到達目標	(1)青年期という時期の特徴を把握し、受講者自身の自己理解を深める。 (2)青年期の心理的問題への理解を含め、福祉や対人支援活動の基礎とする。 (3)受講者自身からの意見も共有し、現代の青年の実像を共同で研究する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】青年心理学とは 【計画内容】講義の全体的な内容と青年心理学的アプローチの特徴について紹介します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A、K			
	第2回	【テーマ】歴史と青年 【計画内容】社会において青年がそれぞれの時代をどのように生きてきたかを学び、青年心理学の特徴について考えます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K			
	第3回	【テーマ】青年期の入り口 【計画内容】青年期に至る発達の流れと、この時期に始まる身体の変化とその影響について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第4回	【テーマ】青年の自己形成 【計画内容】自我同一性やモラトリアム、時間的展望など青年心理学のキーワードを学びつつ、青年期の「いま」と「これから」について理解を深めます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第5回	【テーマ】青年と家族 【計画内容】「反抗期」「親離れ」「子離れ」など、青年と家族の背景にある自立と依存の葛藤を学び、議論を行います。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K			
	第6回	【テーマ】青年の友人関係 【計画内容】目まぐるしく変化する青年期の友人関係の背景について学び、これからの人生を共に生きる友人関係について議論します。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K			
	第7回	【テーマ】異性との関係 【計画内容】欠くべからざる成長のプロセスとしての青年期における恋愛について、その特徴や意義、抱える問題などを考えます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第8回	【テーマ】青年期における「学校」の意味と役割 【計画内容】多くの青年が大半の時間を過ごす「学校」について、スクールカウンセリング等の事例を用いながら、その役割と変容のプロセスを学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第9回	【テーマ】さまざまな環境における青年 【計画内容】学校や一般家庭以外にも、さまざまな環境・風土で生活する青年に焦点を当て、自立と自律の道すじを多角的に考えます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第10回	【テーマ】青年の心の危機 【計画内容】青年期は色々な精神的問題や疾患が起こりやすい時期でもあります。青年が抱えやすい心の問題や病理について理解を深めます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第11回	【テーマ】ひきこもる青年 【計画内容】さまざまな事情により社会活動から撤退してしまうひきこもりについて、その背景や心性、対応の取り組みについて学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第12回	【テーマ】青年の居場所 【計画内容】さまざまな変化の中を生きる青年にとって、居場所の存在はとても大きな意味を持ちます。居場所とは何かを考え、居場所づくりの実践を学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K			
	第13回	【テーマ】職業と進路選択の青年心理学 【計画内容】青年にとっての重要な発達課題である進路選択や就職活動を、青年自身がどのように受けとめ、選択し、取り組んでいくのかを考えます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第14回	【テーマ】移行の危機とその支援 【計画内容】高校から大学へ・学生から社会人へなど、移行の際に生じる危機を成長の機会に変えていくために、何が大切かを学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K			
	第15回	【テーマ】青年期とは 【計画内容】全体のふりかえりを行い、最終課題への取り組み準備を通して理解を深めます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K			
テキスト	プリント等を適宜配付します					
参考書	白井利明・都筑学・森陽子、2012年、『やさしい青年心理学[新版]』、有斐閣アルマ、9784641124813 髙坂康雅・池田幸恭・三好昭子、2017年、『レクチャー 青年心理学』、風間書房、9784759921830					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
	補足			レポート			毎回の感想・考察シート

質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	今まさに青年期を生きている皆さん自身のための心理学であり、皆さん自身からも学びながら、青年期に関する理解を深めていきたいと考えています。思い浮かんだこと、もっと考えたいと思ったことなどを話題にする積極的な受講態度を期待します。

科目名	臨床心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	飯田　昭人				
授業の目的	ねらい	臨床心理学は、発達・生理・障害等に関する基礎心理学を基盤に、「人」により直接的、実際的にアプローチするための応用心理学である。臨床心理的援助に対しては、従来の「治療・治す」という医療的な要請だけではなく、近年では「より良い精神衛生・予防」という視点からの社会的要請が高い。臨床心理学の専門家にとっては、広く、日常生活においても、その知識、理解力が求められていると言える。 本講義は臨床心理学分野の最初の科目であり、臨床心理学の基本的知識を確実に習得することを目的とする。まず研究の歴史的な流れや、現在の主要な療法の根拠となっている諸理論を学ぶ。その上で、心理学的人間理解のための実際的な方法論および援助技法について、その概要を習得する。				
	到達目標	(1)臨床心理学の基礎的な知識や理論、用語を確実に習得する。 (2)臨床心理学を通し、諸現象を理解することができる。 (3)学問としてだけでなく、心理臨床家(広くは対人援助者)には、どのような資質が必要とされるのか、または自分がどのような心理臨床家になっていきたいのかを考える機会とする。				

授業の計画			
	第1回	【テーマ】臨床心理学とは何か1 【計画内容】臨床心理学の全体構造、世界および日本の臨床心理学の歴史や諸活動について学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第2回	【テーマ】臨床心理学と何か2 【計画内容】臨床心理学の背景にある基本理論について学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第3回	【テーマ】臨床心理アセスメントについて考える1 【計画内容】アセスメントの目的、データの収集技法や分析方法などについて学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第4回	【テーマ】臨床心理アセスメントについて考える2 【計画内容】異常心理学の領域から、臨床心理アセスメントについて学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第5回	【テーマ】臨床心理アセスメントについて考える3 【計画内容】ライフサイクルにおける心理的問題について学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第6回	【テーマ】臨床心理アセスメントについて考える4 【計画内容】発達過程で生じた障害や問題を学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第7回	【テーマ】問題への介入および関与について1 【計画内容】さまざま問題に介入するための理論モデルを中心に学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第8回	【テーマ】問題への介入および関与について2 【計画内容】個人に対する各種介入技法を中心に学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第9回	【テーマ】問題への介入および関与について3 【計画内容】集団や社会と言ったコミュニティ全体に対する各種介入技法を中心に学んでいく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第10回	【テーマ】臨床心理学研究について1 【計画内容】量的研究や質的研究、その他臨床心理学研究の課題について考える。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第11回	【テーマ】臨床心理学研究について2 【計画内容】フィールドワーク、アナログ研究、効果研究について概説する。また、認知心理学研究、神経心理学研究、社会心理学研究などと臨床心理学の接点についても考えていく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第12回	【テーマ】臨床心理学と社会 【計画内容】社会の中で求められる臨床心理学および臨床心理活動について考えていく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第13回	【テーマ】臨床心理学と職域 【計画内容】臨床心理学的知見の求められる職域の現状と課題について考えていく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第14回	【テーマ】臨床心理学が生かされる現場の実践 【計画内容】臨床心理士有資格者の方にゲストスピーカーとして来ていただき、現場の実践を語っていただく。来られない場合は、教員による現場経験の実践を語る。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L
	第15回	【テーマ】まとめ～臨床心理学という学問の果たすべき役割 【計画内容】これまでの講義を振り返り、臨床心理学の果たすべき役割について考えていく。 【準備学習の内容】教科書の内容を読んでおくこと。	A、K、L

テキスト	下山晴彦編、2009年、『よくわかる臨床心理学　改訂新版』、ミネルヴァ書房、9784623054350
参考書	必要に応じてプリントを配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足						小レポート

質問への対応	メールもしくは直接747研究室に来室すること。E-Mail(飯田):iida@hokuho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	できるだけ心理学を含む関連分野の授業を履修していることが望ましい。 また、「臨床心理学」は心理カウンセリング学科の基底科目の一つであるので、真剣に受講すること。

科目名	障害者心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	風間　雅江				
授業の目的	ねらい	さまざまな障害の特性を把握したうえで、その心理的影響ならびに心理的援助について基本的な理解を深めることを目的とします。心身に障害をかかえる幼児、児童ならびに成人の心理を中心に、その基礎的知識（用語、定義、分類、原因、発達と心理的影響）を概説し、各障害にかかわる心理学的諸要因についてこれまでに明らかにされてきた研究知見を紹介します。講義の内容をふまえ、受講生の皆さん一人ひとりが自ら、それぞれの障害に対してどのような心理的援助が可能なのかについて考察するよう求めます。			
	到達目標	(1)障害によって異なる個別の特性と、人間として普遍的な心のはたらきの両方をよく理解する。 (2)講義で得た知識を現実に適用し、自らの感性と柔軟な思考によって障害をもつ人々の生活上の問題や心理について洞察する力を身につける。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】障害の概念 【計画内容】国内外における障害のとらえ方についての動向を説明し、障害とは何か、何が問題なのか等について考察します。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、K
	第2回	【テーマ】発達と障害 【計画内容】人間の発達の特殊性、発達診断、胎生期以降さまざまな発達段階で生じる可能性のある障害について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第3回	【テーマ】自閉症スペクトラム障害(1) 【計画内容】自閉症の診断基準、過去から現在に至るまでの研究動向の推移、心理的特性について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第4回	【テーマ】自閉症スペクトラム障害(2) 【計画内容】TEACCH プログラムをはじめ、自閉症の治療教育の方法や支援のあり方について視聴覚教材を供覧しながら学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、G、H
	第5回	【テーマ】注意欠陥 / 多動性障害(ADHD) 【計画内容】医学的な診断基準、タイプ、症状、心理的特性などについて視聴覚教材を供覧しながら学び、家庭や学校等での対応や援助について事例を通して考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、G、H
	第6回	【テーマ】コミュニケーション障害(1) 【計画内容】言語発達の遅れ、音韻障害、吃音（きつおん）など、子どものことばの障害と、その対応について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第7回	【テーマ】コミュニケーション障害(2) 【計画内容】失語症、構音障害など、成人の言語とコミュニケーションの障害と、その対応について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第8回	【テーマ】視覚障害 【計画内容】視覚障害の種類や、情報入手や行動の制約をはじめ障害特性の理解を深め、心理的支援について考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第9回	【テーマ】聴覚障害 【計画内容】聴覚障害の種類や、言語への影響など、障害特性の理解を深め、心理的支援について考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第10回	【テーマ】知的障害 【計画内容】用語および定義の変遷、支援のレベルによる分類、心理的特性、指導法・援助のあり方について学びます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第11回	【テーマ】肢体不自由・運動障害 【計画内容】脳性まひ等による四肢・体幹の障害などについて学び、心理的特性や指導法・援助のあり方について考えます。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第12回	【テーマ】高齢期の障害(1) 【計画内容】加齢に伴う生理的、心理的、社会的変化について学び、日常生活上にもたらされる支障などについて考えます。 【準備学習の内容】配付資料をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第13回	【テーマ】高齢期の障害(2) 【計画内容】認知症について、病型による分類、基本症状と周辺症状、心理的理解と支援を学びます。 【準備学習の内容】配付資料をあらかじめ読んでおくこと。	A、H、K
	第14回	【テーマ】障害と心理的支援 【計画内容】一人ひとりの生活をみすえた心理的支援について、先天性と後天性、障害の受容、家族支援、バリアフリーなど、多面的な観点から考察します。 【準備学習の内容】テキストの該当する章をあらかじめ読んでおくこと。	A、G、K
	第15回	【テーマ】まとめと補足 【計画内容】講義全体の総括を行います。提出課題についての講評を伝え、理解不十分とみなされた内容について補足説明を行います。 【準備学習の内容】講義全体を通して不明な点がないかどうか確認をしておくこと。	A、H、L

テキスト	梅永雄二、2012年、『障害者心理学ー障害児者の特性理解と具体的支援方法ー』、福村出版、9784571121180
参考書	昇地勝人・蘭香代子・長野恵子・吉川昌子（編）、2006年、『障害特性の理解と発達支援 第2版 – 教育・心理・福祉のためのエッセンス –』、ナカニシヤ出版、9784779500510

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		50%		20%	
	補足						

質問への対応	講義終了時等に直接か、あるいは、メールで質問を受けます。E-Mail:mkazama@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	

科目名	心身医学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大宮司　信				
授業の目的	ねらい	心身相関のメカニズムなどの心身医学の基礎理論、代表的な心身症（呼吸器系・循環器系・消化器系など）の症状、診断、治療についての知識を習得し、臨床心理師として必要な心身医学・心身症医療の基礎を習得することをねらいとする。			
	到達目標	(1)心身医学の位置づけ、心身症の概念、心身相関を理解する。 (2)主な心身症の様態・症状について理解・習得する。 (3)心身症の治療法、特に心理療法に関する知識を習得し、一部は自らも体験する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義全体のオリエンテーション（講義の目標・進め方などについて）、心身医学・心身症の概念 【計画内容】講義の進め方の説明。心身医学の定義、心身医学における基本的な考え方について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスをあらかじめよく読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】心身相関 【計画内容】情動と自律神経ならびにホルモンによる身体調節機能との関係について学ぶ。加えて感情や感覚の気付きが低下するアレキシサイミア（失感情症）と性格傾向との関係について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A
	第3回	【テーマ】消化器系の心身症 【計画内容】過敏性腸症候群、胃・十二指腸潰瘍を中心に消化器系の心身症を学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書読んでおくこと。			A、F
	第4回	【テーマ】パニック障害 【計画内容】パニック障害の臨床像、心身症的側面について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第5回	【テーマ】呼吸器領域の心身症 【計画内容】呼吸器系の疾患のうち、心理社会的要因が関与する気管支喘息について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第6回	【テーマ】その他の心身症 【計画内容】その他の心理社会的要因が関与する症心身症（高血圧、冠動脈疾患、筋緊張性頭痛など）の特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第7回	【テーマ】ターミナルケア 【計画内容】臨死における心身症的側面について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第8回	【テーマ】一般精神療法 【計画内容】ロジャースの非指示的療法を中心に、心身症における精神療法の基礎を学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第9回	【テーマ】精神分析療法 【計画内容】心身症に対する精神分析的な治療法について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第10回	【テーマ】森田療法 【計画内容】森田正馬の神経質・精神交互作用などの概念を学び、「あるがまま」という目標の意味を学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第11回	【テーマ】行動療法・認知行動療法 【計画内容】不安階層表について知り、系統的脱感作法を学ぶ。それを基礎に現代盛んな認知行動療法の基礎につき学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、F
	第12回	【テーマ】自律訓練法 【計画内容】不安・恐怖を対象とする自律訓練法の基礎を学び、実際に実践して、その初歩を習得する。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A、E、F
	第13回	【テーマ】心理臨床と心身医学 【計画内容】心身症概念・症状理解・治療法に関する総括と、心身症に対する心理臨床のあり方について学び、特に臨床心理学領域からの研究論文について学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A
	第14回	【テーマ】心身症領域の諸研究について 【計画内容】内科学から派生し、精神身体医学から心身医学への変遷をふまえながら心身症の捉え方について学び、現時点での心身症研究の動向を学ぶ。 【準備学習の内容】指定された教科書の当該箇所を読んでおくこと。			A
	第15回	【テーマ】小論文の発表・検討 【計画内容】それまでの講義を中心に心身症とその治療についての互いの意見を小論文の発表という形で行う。 【準備学習の内容】あらかじめ配付する小論文集を読んでおく。			A、I
テキスト	井出雅弘・等、『臨床に役立つ心療内科入門』、NC コミュニケーションズ（日中出版）、9784817590046				
参考書	初回講義時に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			毎回の小レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士 _ 選必
その他	第3回以降は学生諸君に発表してもらいます。

科目名	心理統計法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　至英				
授業の目的	ねらい	基礎統計学の知識をもとにして、心理学領域で必要なデータ処理の基本的な考え方と方法を学ぶ。事例をもとに、データ処理をフローチャート化し、どのようなデータに対してどのような処理を行うのかについて解説する。データの表示、平均の差の分析、実験計画と分散分析、相関・予測の分析、度数の分析、因子分析、回帰分析を扱う。			
	到達目標	(1)データの種類によって、適切な統計処理の方法を選択できる。 (2)基本的な統計処理を行うことができる。 (3)多変量解析の結果を理解できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】データとデータ解析 【計画内容】心理学で扱うデータにはどのようなものがあるのか、データによってどのような統計処理が可能なのかについて理解する。 【準備学習の内容】電卓を用意する。シラバスを読んでおくこと。			A、L
	第2回	【テーマ】度数の分析(1) 【計画内容】直接確率計算法について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第3回	【テーマ】度数の分析(2) 【計画内容】直接確率計算法について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第4回	【テーマ】度数の分析(3) 【計画内容】χ2検定と残差分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第5回	【テーマ】度数の分析(4) 【計画内容】χ2検定と残差分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第6回	【テーマ】1要因の分散分析(1) 【計画内容】1要因の分散分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第7回	【テーマ】1要因の分散分析(2) 【計画内容】1要因の分散分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第8回	【テーマ】2要因の分散分析(1) 【計画内容】2要因の分散分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第9回	【テーマ】2要因の分散分析(2) 【計画内容】2要因の分散分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第10回	【テーマ】相関・予測の分析(1) 【計画内容】相関・予測の分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第11回	【テーマ】相関・予測の分析(2) 【計画内容】相関・予測の分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第12回	【テーマ】相関・予測の分析(3) 【計画内容】相関・予測の分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第13回	【テーマ】回帰分析(1) 【計画内容】回帰分析について、どのような事例で適用するのかについて、研究事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第14回	【テーマ】回帰分析(2) 【計画内容】回帰分析について、実際のデータを処理することを通して、計算の方法や結果の解釈について理解する。 【準備学習の内容】配付資料の課題に取り組んでおく。			A、L
	第15回	【テーマ】総合演習 【計画内容】心理データの統計処理について、基本的理解を確認する。 【準備学習の内容】不明な点、疑問点について、考えておく。			A、L
テキスト	プリントを配付します				
参考書	田中敏・山際勇一郎、2012年、『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』、教育出版、9784316329017				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			平時・最終		平時	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必 [ス]JATI 認定トレーニング指導者 _ 必修
その他	この科目の履修には基礎統計学の知識が必要となる。毎回、配付資料の事前課題を予習すること。すべての演習課題の提出が成績評価の前提条件となる。

科目名	心理アセスメント法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小坂　守孝				

授業の目的	ねらい	心理アセスメントとは、病理の診断や個人のもつ異常性の判定にとどまらず、人間がもつ積極的価値をも含めて多面的に分析し、また状態像を発達的、流動的に把握して情報を総合的に記述することにより、クライエント自身の利益のため、適切に情報を活用させていく過程を表す包括的な概念である。本講義では、人間を認知、行動、生理面から客観的・多面的に理解するための心理アセスメントを理解することを目的とし、基本的な諸技法や代表的な心理検査のいくつかについて体験的に学習する。
	到達目標	(1)心理アセスメントの目的及び倫理的側面について説明できる。 (2)心理アセスメントの観点および展開について説明できる。 (3)主な心理テストの特徴について説明できる。 (4)心理アセスメントの所見記載についてポイントを説明できる。

授業の計画	第1回	【テーマ】心理アセスメント総論(1) 【計画内容】心理アセスメントの基本的考え方について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】心理アセスメント総論(2) 【計画内容】心理アセスメントの歴史、主な種類について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】心理アセスメントの観点と実際的展開 【計画内容】各実践領域における心理アセスメント実施上の観点と展開方法について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】面接・観察によるアセスメント 【計画内容】インテーク面接、行動観察法、各種検査時の観察を中心に理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】発達検査・知能検査によるアセスメント 【計画内容】発達の諸要素、知能の概念について取り上げながら、代表的な発達検査・知能検査の内容と実施後の解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】人格検査によるアセスメント 【計画内容】人格の定義、主な検査法(質問紙法、投影法、作業検査法)について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】質問紙法(1) 【計画内容】主に STAI(状態－特性不安検査)、SDS 自記式抑うつ性尺度の理論的背景、内容、実施後の解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A、G
	第8回	【テーマ】質問紙法(2) 【計画内容】主に TEG- Ⅱ(東大式エゴグラム検査)の理論的背景、内容、実施後の解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A、G
	第9回	【テーマ】質問紙法(3) 【計画内容】主に CMI 健康調査票の理論的背景、内容、実施後の解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A、G
	第10回	【テーマ】投影法(1) 【計画内容】ロールシャッハ・テストの基本的な考え方、施行法について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第11回	【テーマ】投影法(2) 【計画内容】ロールシャッハ・テストにおける結果の整理、解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第12回	【テーマ】投影法(3) 【計画内容】文章完成法(SCT)、描画による人格検査の理論的背景、内容、実施後の解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第13回	【テーマ】作業検査法 【計画内容】内田クレペリン精神作業検査の理論的背景、内容、実施後の解釈について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A、G
	第14回	【テーマ】心理アセスメントのフィードバック 【計画内容】心理アセスメントの結果から得られた情報を統合し、クライエント本人に伝達する方法について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A
	第15回	【テーマ】心理アセスメント報告書の作成 【計画内容】心理アセスメントの結果から得られた情報を統合し、目的に応じて第三者にわかりやすい形で報告する方法について理解を深めてゆく。 【準備学習の内容】配付資料を熟読しておくこと。	A

テキスト	プリントを使用します
参考書	橋本忠行・佐々木玲仁・島田修、2015年、『アセスメントの心理学―こころの理解と支援をつなぐ（心理学の世界 専門編）』、培風館、4563058920 松原達哉編、2013年、『臨床心理アセスメント』、丸善出版、4621086480

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

質問への対応	メールにて受け付けます。 E-Mail:kosaka@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。 本講義においてはいくつかの心理検査についてレポートを課し、評価に加味するので注意すること。レポートの提出状況によっては成績が不可となることがあります。

科目名	心理学基礎演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	飯田　昭人、入江　智也、風間　雅江、澤　聡一				
授業の目的	ねらい	みなさんは、どのようなテーマに興味関心を持っているでしょう？みなさん自身が疑問を持ったこと、興味関心を抱いていることを、学術的に追究して明らかにし、まとめ、発表することがこの授業のねらいです。 そのためには、研究を進めていく上で必要とされる「調べる・整理する・まとめる・表現する」というスタディ・スキルズの習得が不可欠です。学年全体での学習を、研究のための初歩的な知識とスキルにかかわるものを中心に行います。その一方で、担任ゼミでは、グループ研究を実施します。前学期の「演習Ⅰ」は①テーマ設定、②調査、③データ解析、④考察を行います。				
	到達目標	(1)研究方法や手法、研究動向について理解する。 (2)スタディ・スキルズのうち、特に「調べる・整理する・まとめる・表現する」ことができる。 (3)主体的に研究を進めることができる。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】年間スケジュールについて解説し、論文やレポートの作成について視聴覚教材を用いて学びます。(担当教員) 【準備学習の内容】演習を通じてどのような能力を向上させるか考え、授業に臨みます。	B
第2回	【テーマ】ゼミ運営について 【計画内容】ゼミ長を選出し、前学期の目標を設定します。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】ゼミでどのような役割を果たすか、ゼミでの目標を考えて臨みます。	B
第3回	【テーマ】論文ワークブック学習 【計画内容】論文の書き方についてテキストに基づき学びます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】テキストを読み深めて臨みます。	B
第4回	【テーマ】科学的研究の方法 【計画内容】科学的方法とは何か、研究をするということは何かについて理解を深めます。(担当教員) 【準備学習の内容】研究とは何か、どのような研究テーマがあるか調べて臨みます。	B
第5回	【テーマ】共同研究 【計画内容】文献講読を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】自分の関心のあるテーマの本を読んでおきます。	B
第6回	【テーマ】文献研究の方法 【計画内容】文献の読み方やまとめ方について学びます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】自分の読んだ文献について、A4版にまとめたものを持って臨みます。	B
第7回	【テーマ】共同研究 【計画内容】研究のアウトラインを作成します。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】研究の構成について調べ考えておきます。	B
第8回	【テーマ】面接・観察研究の方法 【計画内容】基本的な考え方や実施の際の主な留意点などについて学びます。(担当教員) 【準備学習の内容】研究方法について調べておきます。	B
第9回	【テーマ】質問紙作成の方法 【計画内容】基本的な考え方や実施の際の主な留意点などについて学びます。(担当教員) 【準備学習の内容】自分の読んだ文献の研究方法について調べて整理しておきます。	B
第10回	【テーマ】共同研究 【計画内容】データの収集を行います。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】簡単な質問紙やインタビュー調査について予習しておきます。	B
第11回	【テーマ】実験レポートの書き方 【計画内容】詳細な書式やレポートにおける文章表現などについて学びます。(担当教員) 【準備学習の内容】実験レポートの書き方について、調べておきます。	B
第12回	【テーマ】論文ワークブック学習 【計画内容】論文の書き方についてテキストに基づき学びます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】論文で用いてはいけない表現について調べておきます。	B
第13回	【テーマ】就職活動の実際 【計画内容】特に就職活動における面接を中心に学んでゆきます。(担当教員) 【準備学習の内容】面接で何を見られるかを考えておきます。	B
第14回	【テーマ】ゼミ内交流 【計画内容】お互いの考えていることをより深く理解し、共同研究の完成に向けてチームワークを高めていきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】ゼミ交流を企画運営します。	B
第15回	【テーマ】ゼミ学習の総括 【計画内容】前学期までの研究の成果を確認し、後学期の研究発表につなげていきます。(担当教員) 【準備学習の内容】前学期の反省をまとめておきます。	B

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足						

質問への対応	各担当教員から説明があります。オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	

科目名	心理学基礎演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	飯田　昭人、入江　智也、風間　雅江、澤　聡一				
授業の目的	ねらい	みなさんは、どのようなテーマに興味関心を持っているでしょう？みなさん自身が疑問を持ったこと、興味関心を抱いていることを、学術的に追究して明らかにし、まとめ、発表することがこの授業のねらいです。 そのためには、研究を進めていく上で必要とされる「調べる・整理する・まとめる・表現する」というスタディ・スキルズの習得が不可欠です。学年全体での学習を、研究のための初歩的な知識とスキルにかかわるものを中心に行います。その一方で、担任ゼミでは、グループ研究を実施し、「演習Ⅰ」の①テーマ設定、②調査、③データ解析、④考察に引き続き、「演習Ⅱ」では⑤発表、⑥論文作成を体験します。				
	到達目標	(1)研究方法や手法、研究動向について理解する。 (2)スタディ・スキルズのうち、特に「調べる・整理する・まとめる・表現する」ことができる。 (3)主体的に研究を進めることができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】ゼミ内交流 【計画内容】「基礎演習Ⅱ」における目標を設定します。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】「基礎演習Ⅰ」の反省を踏まえ、「基礎演習Ⅱ」の目標を設定して臨みます。				B
	第2回	【テーマ】発表準備・論文ワークブック学習 【計画内容】研究発表の準備のため、研究発表の構成についてテキストに基づき確認します。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおきます。				B
	第3回	【テーマ】プレゼンテーションの方法 【計画内容】発表内容の構成・資料提示の方法などについて学んでいきます。(担当教員) 【準備学習の内容】どのような発表をすればよいか考えて臨みます。				B
	第4回	【テーマ】発表準備・論文ワークブック学習 【計画内容】研究発表の構成についてテキストに基づき確認しつつ、発表準備を進めてゆきます。 (ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】自分の意見をまとめ、臨みます。				B
	第5回	【テーマ】発表準備 【計画内容】研究発表に向けて準備を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】役割を果たし、まとめたものを用意して臨みます。				B
	第6回	【テーマ】発表準備 【計画内容】研究発表に向けて準備を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】役割を果たし、まとめたものを用意して臨みます。				B
	第7回	【テーマ】発表準備 【計画内容】研究発表に向けて準備を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】役割を果たし、まとめたものを用意して臨みます。				B
	第8回	【テーマ】発表準備 【計画内容】研究発表に向けて準備を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】役割を果たし、まとめたものを用意して臨みます。				B
	第9回	【テーマ】発表準備 【計画内容】研究発表に向けて準備を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】役割を果たし、まとめたものを用意して臨みます。				B
	第10回	【テーマ】発表準備 【計画内容】研究発表に向けて準備を進めてゆきます。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】役割を果たし、まとめたものを用意して臨みます。				B
	第11回	【テーマ】研究発表 【計画内容】研究の成果を全員の前で発表し、質疑応答を行います。(担当教員) 【準備学習の内容】自分たちの研究を整理し、質疑応答について考え、臨みます。				B
	第12回	【テーマ】研究発表 【計画内容】研究の成果を全員の前で発表し、質疑応答を行います。(担当教員) 【準備学習の内容】自分たちの研究を整理し、質疑応答について考え、臨みます。				B
	第13回	【テーマ】研究発表ふりかえり 【計画内容】研究発表についてフィードバックを行います。(ゼミ担当教員) 【準備学習の内容】研究発表について各自でふりかえりを行い、臨みます。				B
	第14回	【テーマ】3年ゼミのオリエンテーション 【計画内容】3年次からのゼミについて内容を紹介します。(担当教員) 【準備学習の内容】どのようなゼミがあるかを考え、質問等を整理したうえで臨みます。				B
	第15回	【テーマ】ゼミ学習の総括 【計画内容】1年間での学びを振り返り、自己評価を行います。(担当教員) 【準備学習の内容】1年間の学習で身に付いた力や、ゼミとしてどのように活動したか、考えをまとめて臨みます。また、卒業研究発表会に参加します。				B
テキスト	講義時に説明します					
参考書	講義時に説明します					

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

質問への対応	各担当教員から説明があります。オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	

科目名	心理学基礎実験	授業形態	実験	単位数	4
教員名	風間　雅江、新川　貴紀、伊藤　博晃				

授業の目的

ねらい

心理学研究の主要な方法の一つとして実験研究がある。実験研究は、調査研究とは異なり、因果関係について明確な結論を得ることが可能な研究法である。本科目では、さまざまなテーマの基礎的な心理学実験を体験し、さらに、データ収集、データ処理、実験レポートの作成を通して、心理学を学ぶうえで重要な仮説検証の論理や、心理学研究と統計的分析手法の関係などについて学習する。

到達目標

(1)心理学の基本的研究法としての実験法について、数種類の実験の体験学習を通して理解する。
(2)実験で得たデータに対して、妥当な分析および整理を行い、合理的に考察する態度を学ぶ。
(3)目的、方法、結果、考察などから構成される、適切な実験レポートの作成方法を習得する。

授業の計画

【計画内容】

第1回	オリエンテーション(1):講義展開、実習参加のルールを確認した後、心理学実験とは何か、などについて概説します。(風間雅江)	A、K
第2回	オリエンテーション(2):実験法の考え方、実験計画法などについて概説します。(風間雅江)	A、K
第3回	オリエンテーション(3):心理学実験の具体例、レポートの形式などについて概説します。(風間雅江)	A、K
第4回	オリエンテーション(4):心理学実験レポートの書き方などについて概説します。(風間雅江)	A、K
第5～8回	コンフリクト(1)～(4):日常生活で経験する葛藤状況を想定したうえでの内省を試み、さらに認知的次元における葛藤に関する実験的検討を概説します。(風間雅江)	A、C、G
第9～12回	コンフリクト(5)～(8):ストループ課題による認知的葛藤の測定実験を行い、結果の分析手法やレポート作成について説明します。(風間雅江)	A、C、G
第13～16回	錯視(1)～(4):錯覚の代表的心理事象である錯視について概説し、具体的な実験方法の説明を行います。(伊藤博晃)	A、C、G
第17～20回	錯視(5)～(8):ミュラー・リヤーの錯視図を用いて実験を行い、データ収集後の整理や分析手法について説明します。(伊藤博晃)	A、C、G
第21～24回	両側性転移(1)～(4):鏡映描写装置を用いて両側性転移が生じるかどうか等について実験的に検討します。(伊藤博晃)	A、C、G
第25～28回	両側性転移(5)～(8):学習の転移について概説し、その一例として両側性転移の現象をとりあげ、練習の効果や身体の半体側への影響について考えます。(伊藤博晃)	A、C、G
第29～32回	記憶(1)～(4):記憶実験の代表的な実験のうち、自由再生法の課題を用いた実験を行い、記憶研究の方法、理論について概説します。(伊藤博晃)	A、C、G
第33～36回	語彙判断(1)～(4):語彙判断課題を用いて、意味記憶に関する実験を行います。(伊藤博晃)	A、C、G
第37～40回	語彙判断(5)～(8):長期記憶、特に意味記憶について様々な研究、理論について概説します。(伊藤博晃)	A、C、G
第41～44回	表情認知(1)～(4):基本6表情の認識の正確性について実験的に検討します。(伊藤博晃)	A、C、G
第45～48回	表情認知(5)～(8):顔の認識、顔表情の認識について様々な研究、理論について概説します。(伊藤博晃)	A、C、G
第49～52回	行動観察(1)～(4):観察法についての講義と動画資料を用いた行動観察を行います。(新川貴紀)	A、C、G
第53～56回	行動観察(5)～(8):タイムサンプリング法に焦点をあて、動画資料を用いた行動観察を行います。(新川貴紀)	A、C、G
第57～60回	まとめ:本授業全体についての総括、および、実験毎のレポートについての講評を行います。(風間雅江・新川貴紀)	A、B、K、L

【準備学習の内容】
テキストの該当箇所を熟読しておくこと。

テキスト	心理学実験指導研究会、1985年、『実験とテスト－心理学の基礎(実習編)－』、培風館、9784563055455 他にプリント資料も配付します
参考書	日本心理学会認定心理士資格認定委員会、2015年、『認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎』、金子書房、9784760830312 心理学実験指導研究会、1985年、『実験とテスト－心理学の基礎(解説編)－』、培風館、9784563055462

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			実験レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必
その他	実験実習科目であり、遅刻および欠席は厳禁。やむをえない事情によって欠席した場合は、速やかに担当教員に連絡をし指示を受けること。各実験テーマごとに全てのレポートを提出すること。レポートは実験で得たデータを共有する場合であっても必ず各自のオリジナルのレポートを作成すること。一つでもレポートが提出されていない場合、成績は不可。

科目名	心理学研究法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤　聡一				

授業の目的	ねらい	心の働きを科学的に研究する上での、具体的な方法について学びます。心理学研究で用いられる量的研究と質的研究にはそれぞれ得意とするテーマや限界があり、その方法論を学び、自らの問題意識に合わせて活用していくことが重要となります。本講義では、心理学の研究法に関する基礎的な知識や理論について、講義やワーク、グループディスカッション等を用いて、具体的・実践的に学ぶことを目的とします。
	到達目標	(1)科学的な視点から心の働きを知るということについて、理解を深める。 (2)課題への取り組みやディスカッションを通して、自律的に研究へ取り組む姿勢を醸成する。 (3)質問紙法や実験法などについて学び、量的研究の方法を習得する。 (4)面接法や実践的調査などについて学び、質的研究の方法を習得する。 (5)(1)～(4)の学びを統合して、心理学研究の実施に必要な知識、スキル、姿勢を習得する。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】心理学の研究とは何か 【計画内容】心理学の研究の基本的な考え方や科学的な視座について、研究文献をもとに考えます。 【準備学習の内容】心理学概論・心理学基礎実験等の基礎科目について事前に復習すること。	A、H、K
	第2回	【テーマ】心理学研究の構成を知る 【計画内容】信頼性や妥当性など、心理学研究を構成する基本的な概念や、研究の種類について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第3回	【テーマ】量的研究(1) 【計画内容】量的調査を読み解き用いるために必要な、代表値や散布度などについて学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第4回	【テーマ】量的研究(2) 【計画内容】心理学研究のための質問紙の作成と実施の方法、サンプリングについて議論します。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
	第5回	【テーマ】量的研究(3) 【計画内容】質問紙データの結果の整理の仕方や、分析処理の方法、考察の視点について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第6回	【テーマ】量的研究(4) 【計画内容】統制や操作など、実験法の基本概念について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
	第7回	【テーマ】量的研究(5) 【計画内容】実験デザインの組み方について、要因計画法を中心に学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第8回	【テーマ】量的研究(6) 【計画内容】実験法の結果の整理の仕方や、分析処理の方法、考察の視点について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第9回	【テーマ】質的研究(1) 【計画内容】心理学における質的研究の必要性とその科学性について、議論します。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
	第10回	【テーマ】質的研究(2) 【計画内容】グラウンデッドセオリー法を例に、質的研究の基本的な流れを学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第11回	【テーマ】質的研究(3) 【計画内容】面接法や観察法、アクションリサーチ等の質的研究法について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K
	第12回	【テーマ】質的研究(4) 【計画内容】当事者研究など、対人援助の方法としても用いられている研究法について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
	第13回	【テーマ】質的研究(5) 【計画内容】事例研究など、臨床現場における実践研究の活用と課題について学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
	第14回	【テーマ】研究倫理や報告書の作成 【計画内容】心理学研究を実施するうえで欠かせない研究倫理について議論を通して理解を深め、報告書作成やプレゼンテーションの方法を学びます。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、H、K
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学びを振り返り、心理学研究を実施するために必要な知識と姿勢について整理します。 【準備学習の内容】配付資料や講義中に紹介した文献等を用いて、復習や予習に努めること。	A、K

テキスト	プリントを使用します
参考書	南風原朝和・市川伸一・下山晴彦、2001年、『心理学研究法入門 調査・実験から実践まで』、東京大学出版会、9784130120357 岩壁茂、2010年、『はじめて学ぶ 臨床心理学の質的研究』、岩崎学術出版社、9784753310098

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				30%	30%
	補足						毎回の感想・考察シート

質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 4年次に取り組む「卒業研究」にも直結する重要な講義の一つであり、積極的な講義参加を期待します。特に、「心理統計法」の学習をしっかり復習してから臨んでください。

科目名	認知心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	伊藤　博晃、阿部　純一				
授業の目的	ねらい	我々個々人には、様々な心的機能が備わっています。たとえば、見たり聞いたりする機能、また、記憶したり考えたり言葉を使ったりする機能です。そうした心的諸機能、特に「知(認知)」に関わる諸機能は、他の動物のそれと較べてみたときに、あるいは、人工的に実現させてみようと思ったときに、はじめて、いかに精妙で不可思議なしくみの上に実現されているものであるかが分かります。現代の科学をもってしても、それら心的諸機能の詳細についてはまだほとんど解明されていず、「心(あるいは脳)のしくみ」は人類にとって最後の秘境となっています。この授業では、人間の「知(認知)」の働きとしくみについて学習を進めます。				
	到達目標	(1)日常あたりまえのこととして気づかれることのない自分自身の心(脳)の働きに注意を向け、その働きの背後にあるしくみの精妙さ、不思議さを認識できるようにする。 (2)認知心理学がどのような学問であり、人類が心理現象についてどのような知見を蓄積して来ているのかを説明できるようにする。				

授業の計画		
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】認知心理学とはどのような学問であるのかを説明します。また、その心理学の中での位置づけについても説明します。(阿部純一) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】知の力、考える力 【計画内容】知力の知識依存性について、特に問題解決における経験や学習の重要性について説明します。(阿部純一) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】トップダウン処理とボトムアップ処理 【計画内容】個々人が心(脳)の中でいつも行っている2つの方向の処理について説明します。(阿部純一) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】nature or nurture 【計画内容】人類にとっての長い間の論争の的となっている問題「遺伝か環境か？」について説明します。(阿部純一) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】nature and nurture 【計画内容】「人間」になるために遺伝も環境もともに重要であることを、認知能力獲得の臨界期の例をとって説明します。(阿部純一) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】モジュール性 【計画内容】脳における機能の特殊化、すなわち、様々な心的機能の独立性や分業化について説明します。(阿部純一) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】知能と言語とメタ認知 【計画内容】人間がもつ言語能力とメタ認知能力や知能との関係について考えてみます。(阿部純一) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】知覚(1) 【計画内容】高次の視覚認知機能について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第9回	【テーマ】知覚(2) 【計画内容】引き続き、高次の視覚認知機能について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第10回	【テーマ】記憶(1) 【計画内容】記憶実験を紹介しながら、記憶のしくみに関する諸理論について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】記憶(2) 【計画内容】記憶障害の事例などを紹介し、記憶のしくみに関する諸理論について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第12回	【テーマ】記憶(3) 【計画内容】日常的記憶、記憶の変容や偽りの記憶について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】感情と認知(1) 【計画内容】感情と認知は密接に関連しながら、人間の生活を支えています。この回では、感情観の変遷や脳損傷による感情障害の事例などを通して、感情のしくみや役割、認知との関係性について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】感情と認知(2) 【計画内容】前回に引き続き、この回では、感情観の変遷や脳損傷による感情障害の事例などを通して、感情のしくみや役割、認知との関係性について説明します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】配付された資料をよく読んでおくこと。	A
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体を振り返り、認知心理学について学んだことを確認します。(伊藤博晃) 【準備学習の内容】授業全体についてよく復習しておくこと。	A

テキスト	授業時に資料を配付します
参考書	西川泰夫・阿部純一・仲真紀子・他、2008年、『認知科学の展開』、放送大学教育振興会、9784595308062 P.H.リンゼイ＆D.A.ノーマン、1983年、『情報処理心理学入門Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』、サイエンス社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	授業時に配付される資料を基本にして学習してください。

科目名	脳と心の科学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	宇野　英樹				
授業の目的	ねらい	現代では心が脳の働きによって実現されているという考え方が一般的であり、脳科学者や心理学者を中心に、脳と心の関係を明らかにするべく様々な研究が行われている。本講義では知覚や注意、記憶、言語、感情などの心理機能が、どのような脳の働きによって実現されているのかを学ぶことを目的とする。			
	到達目標	(1)脳神経系の構造について理解する。 (2)脳神経系の働きと心理機能との対応について理解する。 (3)脳と心の関係を調べる上での方法論について理解する。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】本講義の概要と授業展開についてのガイダンス 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んでおく。	A
第2回	【テーマ】脳と心の探求史 【計画内容】現代の脳科学に至るまでの研究の流れについての概略 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第3回	【テーマ】脳の構造と機能(1) 【計画内容】脳神経系の外観や区分、解剖学的用語の説明、動物との比較など 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第4回	【テーマ】脳の構造と機能(2) 【計画内容】大脳の区分と機能、神経細胞の構造と働き 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第5回	【テーマ】感覚と脳(1) 【計画内容】視覚に関連する脳機能 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第6回	【テーマ】感覚と脳(2) 【計画内容】視覚以外の感覚に関連する脳機能 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第7回	【テーマ】対象認知と脳 【計画内容】物体の認知に関連する脳機能、および失認と脳機能との関係 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第8回	【テーマ】注意と脳(1) 【計画内容】注意機能に関連する脳機能 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第9回	【テーマ】注意と脳(2) 【計画内容】注意機能の障害と脳機能との関係 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第10回	【テーマ】言語と脳 【計画内容】言語の理解や操作に関連する脳機能、および言語障害と脳機能との関係 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第11回	【テーマ】実行機能と脳 【計画内容】意思や行動の計画など、目的の達成に必要な心的機能に関連する脳機能 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第12回	【テーマ】記憶と脳 【計画内容】記憶に関連する脳機能、および記憶障害と脳機能との関係 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第13回	【テーマ】情動と脳 【計画内容】情動に関連する脳機能、および気分・感情の障害と脳機能との関係 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第14回	【テーマ】発達・老化と脳 【計画内容】脳の発達や老化、およびそれらにともなう障害と脳機能との関係 【準備学習の内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第15回	【テーマ】脳と心 【計画内容】これまでの講義を振り返るとともに、脳と心の関係について考える 【準備学習の内容】これまでの講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A、L

テキスト	初回講義時に説明します
参考書	初回講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

質問への対応	原則講義中に対応します。
資格	[心]認定心理士 _ 選必
その他	

科目名	犯罪心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	飯田　昭人				
授業の目的	ねらい	犯罪や非行を通して、人間理解、人間のあり方を考えてもらうことを目的とする。 また、過去や現在の犯罪や非行の情勢、その特徴、対策や対応などについて、心理学的視点をもとに考えていくこととする。			
	到達目標	(1)犯罪や非行の特徴や特性について理解できる。 (2)犯罪や非行に関する諸理論を理解することができる。 (3)犯罪や非行という行為から、人間理解について考えることができる。			

授業の計画		
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要や到達目標などを説明し、その後、犯罪とは何かということについて考えていく。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	A、K、L
第2回	【テーマ】犯罪の原因論①～生物学的および社会学的原因論に着目して 【計画内容】犯罪や非行の原因や発生に至る背景に関して、生物学的及び社会学的要因から考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第3回	【テーマ】犯罪の原因論②～心理学的原因論に着目して 【計画内容】犯罪や非行の原因や発生に至る背景に関して、心理学的要因から考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第4回	【テーマ】犯罪の性質①～暴力犯罪について 【計画内容】主に暴力(粗暴)を用いられた犯罪を中心とした粗暴犯についての種類や概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第5回	【テーマ】犯罪の性質②～性犯罪について 【計画内容】主に強姦罪や強制わいせつ罪を中心とした性犯についての種類や概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第6回	【テーマ】犯罪の性質③～ DV･ストーキング･虐待 【計画内容】主にドメスティックバイオレンス(DV)、ストーカー行為、虐待についての概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第7回	【テーマ】犯罪の性質④～窃盗･強盗･放火 【計画内容】主に窃盗、強盗、放火についての概要、その行為規制や心理的背景などについて考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第8回	【テーマ】犯罪捜査の心理学①～プロファイリングを中心に 【計画内容】捜査の現場で用いられている犯罪心理学的知見のうち、プロファイリングに焦点を当て、事件の理解や解明にプロファイリングがどう役立つのかを考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第9回	【テーマ】犯罪捜査の心理学②～ポリグラフ検査や筆跡鑑定を中心に 【計画内容】捜査の現場で用いられている犯罪心理学的知見のうち、ポリグラフ検査(嘘発見器)や筆跡鑑定に焦点を当て、事件の理解や解明にポリグラフや筆跡鑑定がどう役立つのかを考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第10回	【テーマ】防犯心理学の視点 【計画内容】犯罪を未然に防ぐための方策を心理学的視点から考察していく。 【準備学習の内容】テキストをよく読んでおく。	A、K、L
第11回	【テーマ】非行について考える①～日本の非行の現状 【計画内容】非行少年の捉えられ方についてのさまざまな変遷について理解していき、現代の非行少年の特徴や対応について考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L
第12回	【テーマ】非行について考える②～非行と家族関係 【計画内容】非行少年をとりまく家族に焦点を当て、非行と家族関係の関連について考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L
第13回	【テーマ】犯罪心理学トピックス①～発達障害について 【計画内容】発達障害が犯罪や非行に関連が強いということでは決してないが、発達障害という特性が犯罪や非行にどう影響しているのか、そして影響していないのかを考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L
第14回	【テーマ】犯罪心理学トピックス②～犯罪被害について 【計画内容】犯罪被害についての現状、犯罪被害に遭われた方への支援方策などについて考察していく。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読んでおく。	A、K、L
第15回	【テーマ】犯罪･非行心理学の課題と展望 【計画内容】これまでの総括を行い、犯罪や非行という行為から、人間のあり方について考えていく。 【準備学習の内容】これまでの講義を振り返り、犯罪や非行からの人間理解について事前に考えておく。	A、K、L

テキスト	越智啓太、2012年、『犯罪心理学』、サイエンス社、9784781912998
参考書	配付資料を用います。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足						小レポート

質問への対応	747研究室に直接来訪するか、メールにて確認すること。 E-Mail:iida@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士 _ 選必、福祉心理士 _ 選必
その他	皆で考えるような講義にしたいと思います。 犯罪や非行という行為から人間のありようについて考えていただければと思います。 例年、受講者が多いですが、本当に受講したい、意欲の高い学生の受講を希望します。

科目名	公的扶助論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	林　恭裕				
授業の目的	ねらい	生活保護制度は日本国憲法第25条に基づくものであり、最後のセーフティネットとして位置づけられる。しかし、生活保護制度に対する社会的な理解は十分ではなく、生活保護受給世帯に対するスティグマや偏見が強く、そのために制度運用においても様々な課題を抱えている。 本講義では、日本国憲法第25条の生存権の保障をもとに生活保護制度の理念、歴史、制度運用等について学習し、生活保護制度が現在急増している生活困窮者支援においてどのような役割を果たしているかを理解する。さらにわが国の貧困問題についても考える。				
	到達目標	(1)わが国の貧困問題、低所得者問題について現状とその要因について説明できる。 (2)生活保護制度や関連法制度について理解し説明できる。 (3)自立支援プログラムの意味と実際について理解し説明できる。 (4)生活困窮者自立支援にかかわる相談援助活動についてソーシャルワーカーの役割を理解する				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の内容、展開方法および最近の貧困問題の動向等について説明する。 【準備学習の内容】シラバスを確認しておくこと。	A			
	第2回	【テーマ】公的扶助の概念 【計画内容】公的扶助の概念、範囲、意義、役割について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第3回	【テーマ】貧困･低所得者問題と社会的排除 【計画内容】貧困･低所得の概念、社会的排除、貧困問題の現代的課題について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第4回	【テーマ】公的扶助制度の歴史① 【計画内容】海外の歴史について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第5回	【テーマ】公的扶助制度の歴史② 【計画内容】日本の歴史と近年の動向について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第6回	【テーマ】生活保護制度の仕組み① 【計画内容】生活保護法の構成、法の目的･原理･原則について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第7回	【テーマ】生活保護制度の仕組み② 【計画内容】保護の種類と内容、保護施設、被保護者の権利と義務について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第8回	【テーマ】生活保護制度の仕組み③ 【計画内容】罰則、不服申し立て、財源･予算について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第9回	【テーマ】最低生活保障水準と生活保護基準 【計画内容】最低生活保障水準と生活保護基準の考え方と実際について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第10回	【テーマ】生活保護の動向 【計画内容】保護人員と保護世帯数、保護の開始と廃止、医療扶助･介護扶助の動向について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第11回	【テーマ】低所得者対策の概要 【計画内容】生活困窮者自立支援制度、生活福祉資金貸付制度、社会手当制度、ホームレス対策、その他の施策について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第12回	【テーマ】生活保護の運営実施体制と関係機関 【計画内容】国、都道府県、市町村の役割、福祉事務所の役割と専門職について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第13回	【テーマ】貧困･低所得者に対する相談援助活動 【計画内容】生活保護制度および低所得者に対する相談援助活動、他機関･他職種との連携について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第14回	【テーマ】生活保護における自立支援 【計画内容】自立の概念、自立支援プログラムについて学ぶ。 【準備学習の内容】教科書等の該当箇所に目を通しておくこと。	A			
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】生活保護制度及び低所得者支援に関する今後の課題･展望についてまとめる。 【準備学習の内容】教科書･ノート等で講義内容を振り返っておくこと。	A			
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2017年、『低所得者に対する支援と生活保護制度』、中央法規、9784808553030				
参考書	湯浅　誠、『反貧困―「すべり台社会」からの脱出』、岩波書店 阿部　彩、『弱者の居場所がない社会―貧困･格差と社会的包摂』、講談社				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
	補足						

質問への対応	E-Mail:snd29262@nifty.com
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必 [健]社会福祉士 _ 必修、社会福祉主事 _ 選必
その他	子どもの貧困など新聞等に多くの貧困問題が取り上げられているので社会問題に関心を持つこと。基本は教科書をもとに授業を展開するので必ず予習をしておくこと。成績評価については、再試験等は実施しないので留意すること。

科目名	障害者福祉論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	梶　晴美				
授業の目的	ねらい	本講義では、障害のある人の権利を基礎に、障害児者福祉の基本的理念や考えを学ぶ。また、障害児者福祉制度が社会情勢の中でどのように発展してきたかを理解する。さらに、多様な障害の特徴と障害児者の自立生活を支える障害者総合支援法等の法制度、関連する組織、団体、専門職の役割について学ぶ。			
	到達目標	(1)障害のある人の支援に関する基本的理念や考え方が説明(記述)できる。 (2)障害のある人の権利と合理的配慮について理解できる。 (3)多様な障害の特徴と生活ニーズがわかる。 (4)障害のある人の生活支援に関係する法制度等を、国内外における障害児者福祉の発展過程と関連づけて説明(記述)できる。 (5)障害者総合支援法のサービスと各機関・専門職の役割が説明(記述)できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、障害のある人の人権 【計画内容】講義のねらい、目標、受講時の注意、評価方法等を説明する。最近の事件から障害のある人の生きる権利について考える。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。			A
	第2回	【テーマ】障害をどのように捉えるか 【計画内容】障害の医学モデルと社会モデル、WHO の ICF における障害のとらえ方を学び、障害とは何かを考える。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、復習課題に取り組むこと。			A、K
	第3回	【テーマ】障害福祉の基本的理念と考え 【計画内容】ノーマライゼーション、自立生活運動、エンパワメントなど、障害者福祉の基本的理念や考えについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所・配付プリントを読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第4回	【テーマ】障害者の権利 【計画内容】障害者の機会平等と権利保障について、障害者権利条約採択までの歩みと我が国の障害者差別解消法の概要を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所・配付プリントを読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第5回	【テーマ】障害児・者福祉制度の発展 【計画内容】戦後～現在までの障害児・者に関する福祉制度の発展過程を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所・配付プリントを読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第6回	【テーマ】障害者基本法と障害基本計画 【計画内容】障害者基本法の成立から現在までの改正のポイントを押さえ、あわせて障害基本計画の概要を学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第7回	【テーマ】障害種別の理解1－身体障害 【計画内容】身体障害の分類と各障害の特徴および障害のある人の生活ニーズを知り、身体障害者福祉法および手帳制度について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第8回	【テーマ】障害種別の理解2－知的障害・精神障害 【計画内容】知的障害の理解と知的障害のある人の生活ニーズを知り、知的障害者福祉法および手帳制度について学ぶ。 精神障害の理解と精神障害のある人の生活ニーズを知り、精神保健福祉法および手帳制度について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第9回	【テーマ】障害種別の理解3－発達障害 【計画内容】発達障害の理解と発達障害のある人のニーズを知り、発達障害者の支援について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第10回	【テーマ】障害者総合支援法1－概要、自立支援給付1 【計画内容】障害者総合支援法の概要、サービス体系、介護給付と訓練等給付、支給決定のプロセスについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第11回	【テーマ】障害者総合支援法2- 自立支援給付2・地域生活支援事業 【計画内容】補装具・日常生活用具の種類と支給の仕組み、自立支援医療の対象と仕組み、地域生活支援事業について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第12回	【テーマ】障害者総合支援法3－相談支援 【計画内容】相談支援について地域相談支援、計画相談支援、就労定着支援について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第13回	【テーマ】障害児の支援 【計画内容】障害児の施策(児童福祉法等)と相談支援(児童福祉法および障害者総合支援法)について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第14回	【テーマ】障害者総合支援法4－障害福祉計画、審査請求、専門職の役割 【計画内容】障害福祉計画、苦情解決制度と審査請求について学ぶ。関係機関や各専門職の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと。			A、K
	第15回	【テーマ】特別支援教育、就労支援 【計画内容】障害のある児童に対する教育および障害のある人の就労支援と関係機関の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所を読み、予習(復習)課題に取り組むこと			A、K
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、『最新、新・社会福祉士養成講座14　障害者に対する支援と障害者自立支援制度(第5版)』、中央法規、9784805851074				
参考書	横田弘著・解説：立岩真也、2015年、『[増補新装版]障害者殺しの思想』、現代書館、9784768435427 七木田敦・安田友康編著、2013年、『事例で学び、実践に活かす障害者福祉』、保育出版社、9784938795689 倉本智明・長瀬修編著、2000年、『障害学を語る』、エンパワメント研究所、4887203047				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		30%			
	補足			復習課題			

質問への対応	授業終了時またはオフィスアワーで対応します(765研究室)
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必 [健]介護福祉士 _ 必修、社会福祉士 _ 必修
その他	初回のオリエンテーションに必ず出席すること。欠席時のフォローは各自で確実に行うこと。 授業環境を保つため緩やかな座席指定を行う。 内容が多いので、テキストをしっかり読み、予習復習を必ず行うこと。第16回に筆記試験を行う。

科目名	精神医学Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	武藤　福保				

授業の目的		
	ねらい	精神保健福祉士の業務遂行のためには、精神医学全般に関する知識と精神障害に関する医学的に正確な知識を身につけることが必要不可欠である。そこで、この講義では精神保健福祉士の業務遂行に必要な精神医学の知識を幅広く講義する。また、精神障害の概略、分類、各精神障害(疾患)について年代別(小児期、成人期、老年期)に講義を行う。
	到達目標	(1)精神医学に関して医学的に正確な知識を身につけること。 (2)精神障害全般に関して医学的に正確な知識を身につけること。 (3)精神障害者(児)に対する偏見をなくすること。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】講義概論：講義のガイダンス 【計画内容】講義内容の紹介と講義展開などを説明する。また、病跡学を通して精神医学への興味を惹起する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、G
	第2回	【テーマ】精神科医療の歴史 【計画内容】精神科医療の歴史的な背景を解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第1章第1節を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】精神現象の生物学的基礎知識 【計画内容】精神現象を生む基盤である神経系についての基礎的医学的知識を解説する。中枢神経系と末梢神経系について学習する。脳および神経の生理・解剖について精神症状との関連から概説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第1章第2節を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】こころの理解 【計画内容】「こころ」を理解するための様々な医学的方法論について学習する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第1章第3節を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】精神医学の概念と精神障害の成因・分類 【計画内容】精神障害とは何か？という問いから精神医学を考え、その概略を解説する。また、精神障害の成因と分類について概説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第2章第1-2節を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】精神症状と状態像(1) 【計画内容】診断の基本となる精神症状と状態像について概説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第3章第1節を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】精神症状と状態像(2) 【計画内容】精神障害の時に呈する精神症状とはどのようなものかを具体的に解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第3章第1節を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】精神症状と状態像(3) 【計画内容】精神障害の時に呈する状態像について具体的に解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第3章第1節を読んでおくこと。	A
	第9回	【テーマ】精神医学の診断法と検査 【計画内容】精神医学の診断法と精神科における検査を解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第3章第2-3節を読んでおくこと。	A、G
	第10回	【テーマ】薬物依存 【計画内容】薬物依存の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第2節を読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】器質性精神障害 【計画内容】器質性精神障害の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第1節2を読んでおくこと。	A
	第12回	【テーマ】認知症 【計画内容】認知症の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第1節1を読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】統合失調症 【計画内容】統合失調症の疾患概念、疫学、診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第3節を読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】気分障害(感情障害)(1) 【計画内容】うつ病とうつ状態の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第4節を読んでおくこと。	A
	第15回	【テーマ】気分障害(感情障害)(2) 【計画内容】躁状態の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第4節を読んでおくこと。	A、G

テキスト	日本精神保健福祉士養成校協会編集、2016年、『新・精神保健福祉士養成講座1「精神疾患とその治療」第2版』、中央法規出版、9784805853122
参考書	山下格、2010年、『精神医学ハンドブック　第7版　医学・保健・福祉の基礎知識』、日本評論社、9784535983335

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		10%		20%	30%
	補足			レポート提出・数回		発言・質問	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします。次のメール・アドレスでも受け付けます。 E-Mail:drmutoh406cp@yahoo.co.jp(メールのタイトルに「北翔大学」＋「学生番号と氏名」を記載すること)
資格	[心]精神保健福祉士＿必修、福祉心理士＿選必、社会福祉主事＿選必
その他	

科目名	精神医学Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	武藤　福保				

授業の目的		
	ねらい	精神保健福祉士の業務遂行のためには、精神医学全般に関する知識と精神障害に関する医学的に正確な知識を身につけることが必要不可欠である。そこで、この講義では精神保健福祉士の業務遂行に必要なより高度な精神医学の知識を講義する。また、「精神医学Ⅰ」に引き続いて精神障害の概略、分類、各精神障害（疾患）について年代別（小児期、成人期、老年期）に講義を行う。
	到達目標	(1)精神医学に関して医学的に正確でより高度な知識を身につけること。 (2)精神障害全般に関して医学的に正確でより高度な知識を身につけること。 (3)精神障害者（児）に対する偏見を持たず、ノーマライゼーションの実践を学ぶ。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】心因性精神障害 【計画内容】心身症、神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、解離性障害、心因反応などの診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第5節を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】摂食障害・睡眠障害 【計画内容】摂食障害や睡眠障害の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第6節を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】人格障害 【計画内容】人格障害の病型、特に境界性人格障害と反社会性人格障害について解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第7節を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】知的障害（精神遅滞） 【計画内容】知的障害の診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第8節を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】思春期・青年期の精神障害 【計画内容】思春期・青年期の精神障害について概説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第5、6、7、9、10節を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】小児期の精神障害1（分類） 【計画内容】小児期の精神障害概要と分類について解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第9-10節を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】小児期の精神障害2 【計画内容】小児期・青年期の情緒と行動の障害について解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第10節を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】小児期の精神障害3 【計画内容】発達障害（LD、自閉症、広汎性発達障害、 ADHD）について解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第9節を読んでおくこと。	A
	第9回	【テーマ】神経の疾患 【計画内容】主に精神症状を呈する神経疾患についての診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第1節1-2を読んでおくこと。	A
	第10回	【テーマ】てんかん 【計画内容】てんかんの診断、検査、症状、治療、予後などを解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第4章第1節3を読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】精神科治療学（1） 【計画内容】精神科治療の概略を解説する。精神療法の基礎知識、薬物療法、非薬物療法の概略など。 【準備学習の内容】指定した教科書の第5章を読んでおくこと。	A
	第12回	【テーマ】精神科治療学（2） 【計画内容】精神科薬物療法について、その詳細を解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第5章第1節を読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】病院精神医学 【計画内容】精神科入院治療の概略を解説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第6章（特に第1、4節）と第7章第1節を読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】精神科救急と地域精神医療 【計画内容】精神障害者の治療に重きをなしつつある精神科救急の必要性について、および、地域で精神障害者が生活することの大切さとそのサポートについて概説する。 【準備学習の内容】指定した教科書の第7章第4節を読んでおくこと。	A
	第15回	【テーマ】司法精神医学 【計画内容】精神鑑定における責任能力の判定、医療観察法、成年後見制度に関して概説する。 【準備学習の内容】教科書には該当する項目がないので、医療観察法、成年後見制度に関しては他の講義のテキストなどを参照して復習しておくこと。	A、G

テキスト	日本精神保健福祉士養成校協会編集、2016年、『新・精神保健福祉士養成講座1「精神疾患とその治療」第2版』、中央法規出版、9784805853122
参考書	山下格、2010年、『精神医学ハンドブック　第7版　医学・保健・福祉の基礎知識』、日本評論社、9784535983335

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		10%		20%	30%
	補足			レポート提出・数回		発言・質問	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします。次のメール・アドレスでも受け付けます。 E-Mail:drmutoh406cp@yahoo.co.jp（メールのタイトルに「北翔大学」＋「学生番号と氏名」を記載すること）
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必
その他	

科目名	ソーシャルワーク概説Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	岩本　希	
授業の目的	ねらい	本講義は社会福祉士やソーシャルワーカーに求められる人間の多面的理解と尊厳の保持、自立･自律した生活を支える必要性について理解することを目的とします。さらに、ソーシャルワークの形成過程を踏まえつつ、相談援助に必要な理念について学ぶことによって社会福祉およびソーシャルワークの基礎的概念を理解します。
	到達目標	(1)社会福祉専門職である社会福祉士の役割や意義について説明することができる。 (2)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な資格制度の歴史、法制度、ソーシャルワークの定義など相談援助の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 (3)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な人権尊重や社会正義など相談援助の理念を理解する。 (4)総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション　ソーシャルワークとは何か 【計画内容】ソーシャルワークの概念を踏まえ、ソーシャルワークの視点に沿ったクライエントを理解する考え方について学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(1)～社会福祉士とは～ 【計画内容】社会福祉士及び精神保健福祉士の仕事内容や活躍している施設･機関について学びます。さらに社会福祉士が社会に対して果たすべき役割や意義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章第1節を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(2)～社会福祉士の専門性～ 【計画内容】社会福祉士としてクライエントを支援する場合、どのような専門的な知識、技術、価値･倫理を用いているのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章第1節を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(3)～社会的背景～ 【計画内容】ソーシャルワークを必要とする背景として、現代社会の特徴や地域生活における諸問題を学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章第2節を読んでおくこと。	A、K
	第5回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(1)～ソーシャルワークの定義～ 【計画内容】ソーシャルワークの概念や定義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第2章第1節を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(2)～相談援助の構成要素～ 【計画内容】ソーシャルワークの構成要素の内容と相互の影響について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第2章第2節を読んでおくこと。	A、K
	第7回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(1)～ソーシャルワークの源流、基礎確立期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(2)～ソーシャルワークの発展期･展開期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章第1、2節を読んでおくこと。	A
	第9回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(3)～ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト･ソーシャルワーク～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章第3節を読んでおくこと。	A、K
	第10回	【テーマ】相談援助の理念(1)～ソーシャルワーク実践と価値～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章第1、2節を読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】相談援助の理念(2)～ソーシャルワーク実践と権利擁護～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章第3節を読んでおくこと。	A
	第12回	【テーマ】相談援助の理念(3)～クライエントの尊厳と自己決定～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第6章第1節を読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】相談援助の理念(4)～ソーシャルワークと自立支援～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第6章第1節を読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】相談援助の理念(5)～ノーマライゼーション、社会的包摂～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第6章第2節を読んでおくこと。	A
	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】今日的なソーシャルワーク(相談援助)と専門職のありかたについての整理と理解度の確認。 【準備学習の内容】第14回までの復習をしておくこと。	A、K、L

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『社会福祉士養成講座　第6巻　相談援助に基盤と専門職　第3版』、中央法規出版
参考書	講義で適宜紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
	補足			ワークシート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必 [健]介護福祉士 _ 必修、社会福祉士 _ 必修、社会福祉主事 _ 選必
その他	

科目名	ソーシャルワーク概説Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	岩本　希

授業の目的		
	ねらい	本講義は、ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念や専門職倫理について我が国の資格制度と関連させながら理解することを目的としています。また、地域におけるソーシャルワーク(相談援助)の考え方やその理論的背景について学びます。
	到達目標	(1)ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲について理解する。 (2)ソーシャルワーク(相談援助)における専門的倫理について理解する。 (3)総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)、多職種連携について理解を深める。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション(社会福祉とソーシャルワークの関係) 【計画内容】講義の展開方法の説明及び本講義で扱うソーシャルワーク(相談援助)の社会福祉相対システムにおける位置づけを確認する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲1- 専門職と専門職団体 【計画内容】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の成立要件や専門職団体の意義や目的を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第10章第1節を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲2- 社会福祉専門職とその範囲 【計画内容】わが国の社会福祉従事者と社会福祉専門職の理解と分野別社会福祉専門職の業務や役割を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第10章第2節を読んでおくこと。	A、K
	第4回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ1- 専門職倫理の概念 【計画内容】価値と倫理に関する基本的な理解及び専門職倫理の必要性について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第7章第1節を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ2- 倫理綱領 【計画内容】倫理綱領の意義と内容について理解する。 【準備学習の内容】テキスト第7章第2節を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ3- 倫理的ジレンマへの対応 【計画内容】倫理的ジレンマへの対応方法について、事例に基づいて理解する。 【準備学習の内容】テキスト第7章第3節を読んでおくこと。	A、J、K
	第7回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)1- 動向と背景 【計画内容】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)をめぐる動向とその理解する。 【準備学習の内容】テキスト第8章第1節を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)2- 基本的視座 【計画内容】地域を基盤としたソーシャルワーク(相談援助)の基本的視座について理解する。 【準備学習の内容】テキスト第8章第2節を読んでおくこと。	A、K
	第9回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論1 【計画内容】総合的なソーシャルワーク(相談援助)の考え方と政策動向を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第1節を読んでおくこと。	A
	第10回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論2 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークに関する理論を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第2節を読んでおくこと。	A
	第11回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論3 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第2節を読んでおくこと。	A、K
	第12回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能1- 総合相談の全体像 【計画内容】総合相談システムの今日的課題を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章の解説を読んでおくこと。	A
	第13回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能2- 機能の解説1 【計画内容】個と地域の一体的機能、予防機能、新しいニーズへの対応機能を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章第1節から第3節を読んでおくこと。	A
	第14回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能3- 機能の解説2 【計画内容】総合的支援機能、多問題家族支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章第4節から第7節を読んでおくこと。	A
	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】ソーシャルワークの専門職倫理及び総合的かつ包括的な相談援助についての整理と理解度の確認をする。 【準備学習の内容】第14回までの復習をしておくこと。	A、K、L

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新・社会福祉士養成講座6相談援助の基盤と専門職　第3版』、中央法規出版、4805832533
参考書	講義で適宜紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
	補足			ワークシート			

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必 [健]社会福祉士 _ 必修、社会福祉主事 _ 選必
その他	本講義は、「相談援助の基盤と専門職」で教育されるべき内容の一部に該当しています。

科目名	精神保健福祉援助技術総論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	寺田　香				
授業の目的	ねらい	精神保健福祉士の行う相談援助の対象･価値･意義について理解し、権利擁護のための支援活動や連携する多職種との協働、チームアプローチの方法などについて学び、精神保健福祉士が実際の援助を行う際の基盤となる考え方と知識を習得する。			
	到達目標	(1)精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する。 (2)精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する。 (3)精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 (4)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と他職種との連携の意義および内容について理解する。			
授業の計画	第1回	【テーマ】精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの歴史(1) 【計画内容】欧米における精神保健福祉分野のソーシャルワークの歴史と発展について学びます。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでください。			A
	第2回	【テーマ】精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの歴史(2) 【計画内容】日本におけるソーシャルワークの歴史と精神保健福祉分野の歴史について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A
	第3回	【テーマ】精神保健福祉士の役割と意義 【計画内容】我が国の精神保健福祉施策と精神保健福祉士の国家資格化の歴史について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第4回	【テーマ】現代社会と精神保健福祉士(1) 【計画内容】ソーシャルワーカーとしての精神保健福祉士の業務について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第5回	【テーマ】現代社会と精神保健福祉士(2) 【計画内容】現代社会における精神保健福祉の課題と精神保健福祉士の領域の拡大について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第6回	【テーマ】ソーシャルワークの定義と構成要素 【計画内容】精神保健福祉士の基盤としてのソーシャルワークの価値･理念･原則について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第7回	【テーマ】精神障害者の権利擁護(1) 【計画内容】社団法人日本精神保健福祉士協会倫理綱領の内容について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第8回	【テーマ】精神障害者の権利擁護(2) 【計画内容】精神保健福祉士の権利擁護の実践モデルについて学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第9回	【テーマ】ソーシャルワーク理論と展開過程(1) 【計画内容】ソーシャルワーク理論とソーシャルワークの展開過程について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第10回	【テーマ】ソーシャルワーク理論と展開過程(2) 【計画内容】社会福祉調査及び研究について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第11回	【テーマ】多職種との連携による精神障害者の支援 【計画内容】多職種連携の必要性と現況および他職種の理解(医療機関、福祉行政、民間ほか)について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第12回	【テーマ】多職種連携と精神保健福祉士の役割と専門性(1) 【計画内容】チームアプローチの展開と実際について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第13回	【テーマ】多職種連携と精神保健福祉士の役割と専門性(2) 【計画内容】チームアプローチの特徴と課題について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第14回	【テーマ】多職種連携と精神保健福祉士の役割と専門性(3) 【計画内容】ネットワークの展開と実際および課題について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題に取り組んでください。			A、H
	第15回	【テーマ】メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割 【計画内容】各年代における精神保健福祉課題の理解と精神保健福祉士の役割についてまとめを行います。 【準備学習の内容】前回までの授業内容について復習をしてください。			L
テキスト	プリントを配付します				
参考書	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会　編集、2017年、『精神保健福祉相談援助の基盤[基礎][専門]精神保健福祉士養成セミナー3(第6版)』、へるす出版、9784892699061				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足			レポート			

質問への対応	毎回、リアクションペーパーを配付します。意見や感想等を積極的に書いてください。また不明な点などがあった際にも遠慮なく記入してください。次回の講義時に回答します。
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必
その他	授業時に配付したプリントは、各自ファイリングするなどして毎回持参してください。 第16回に最終評価のためのテストを行います。

科目名	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	寺田　香	
授業の目的	ねらい	精神保健福祉士には専門職として精神障害者の疾病・障害に配慮した援助が求められる。本科目では、精神保健福祉の価値・知識を基盤に置いた実際的な支援方法について、「精神保健福祉援助技術総論」で学習した内容を踏まえ、精神保健福祉士に求められる援助技術について理解を深める。
	到達目標	(1)講義や事例検討を通じて、疾病・障害に配慮した支援について理解する。 (2)精神保健福祉実践(領域)で用いられる、援助技術について具体的に理解する。 (3)演習を交えて、精神保健福祉士に求められる視点に基づいた社会福祉援助活動の「目的・価値・原則」を確認する。 (4)クライエント・家族・グループ・コミュニティを包括的に捉え、必要に応じた援助技術を用いる判断力を涵養する。 (5)記録法、スーパービジョン、コンサルテーション等の関連技術への理解を深める。

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーションと復習 【計画内容】社会福祉援助活動(社会福祉相談援助)の目的・価値・原則を振り返る。社会福祉サービスと援助活動、今日の人を取り巻く社会環境について理解する。 【準備学習の内容】シラバスを読んで、講義展開の概要を把握してください。	A
	第2回	【テーマ】個別相談援助技術1 【計画内容】援助過程の基本的な内容と機能について確認し、精神障害者の疾病・障害に配慮したソーシャルワークとはどのようなことかを考える。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第3回	【テーマ】個別相談援助技術2 【計画内容】援助過程の展開過程を確認し、精神障害・疾病、ならびにメンタルヘルス上の課題を背負った人びとに配慮したインテーク、情報収集、アセスメント、プランニングの過程を追う。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第4回	【テーマ】個別相談援助技術3 【計画内容】精神障害・精神疾患、メンタルヘルス上の課題を背負った人びとに配慮したインターベンション、エバリュエーション、モニタリング、ターミネーションについて学ぶ。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第5回	【テーマ】個別相談援助技術4 【計画内容】精神保健福祉士が行う面接における構成要素について理解する。対象者理解を基本的態度に置く、情報収集及びアセスメントについて必要な技能を解説する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第6回	【テーマ】個別相談援助技術5 【計画内容】精神保健福祉士に求められる面接技法について、演習事例を通して理解を深める。インテーク面接場面における援助関係の形成ならびに専門職としての態度についてロールプレイを交えた講義を実施する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第7回	【テーマ】集団援助技術1 【計画内容】グループワークの基本的な内容と機能について確認し、精神保健福祉領域でのグループワークについて概観するとともに、その歴史的発展経緯と、コノプカ・トレッカー・シュワルツらによって開発されたモデルについて解説する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第8回	【テーマ】集団援助技術2 【計画内容】グループワークの展開過程(準備期、開始期、作業機、終結期)について理解し精神保健福祉領域におけるグループワークについて概観する。また、集団力動・集団規範・集団圧力など、グループのもつ特性に関する解説を行う。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第9回	【テーマ】集団援助技術3 【計画内容】精神科医療機関・デイケア・地域事業所等でのグループワークの展開の実際について紹介する。またそこで用いられているモデル、規範とされる理論について解説を加え、精神保健福祉士が意図的にグループを展開するための基本的知識を解説する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第10回	【テーマ】集団援助技術4 【計画内容】アルコール・薬物依存症等のグループワークの実際について学び、そこに求められる具体的な精神保健福祉士のスキルについて理解する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第11回	【テーマ】セルフヘルプグループ1 【計画内容】セルフヘルプグループの代表的存在である A.A の誕生、IL 運動と自助グループ活動を俯瞰し、精神保健福祉領域におけるセルフヘルプグループの基本的な内容と機能について理解する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第12回	【テーマ】セルフヘルプグループ2 【計画内容】セルフヘルプグループの一形態である「回復者クラブ」について学ぶとともに、専門職が行うグループワークとの峻別、ならびに回復者クラブから求められる支援へのあり方、ピアサポートの実際について理解する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A、H
	第13回	【テーマ】地域援助技術1 【計画内容】コミュニティーワークの基本的な内容と機能について復習する。とりわけセツルメント運動からコミュニティワークへの発展経緯、ロス・ロスマン・シュルマンらの理論を紹介しつつ、精神保健福祉の発展とコミュニティーワークの密接な関連について概観する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第14回	【テーマ】地域援助技術2 【計画内容】コミュニティーワークの展開過程としての準備期、アセスメント、プランニング、実施とモニタリング、評価、ならびにコミュニティワークの主体と精神保健福祉士の役割について解説する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第15回	【テーマ】地域援助技術3 【計画内容】退院支援の事例を紹介しつつ、地域生活支援とコミュニティワークの違いを理解する。また双方は、生活・つながり・生涯という観点から密接に関連しあうことの理解を深める。さらに社会資源開発、啓発活動、その継続及び発展させていく必要性について、関連事例から具体的に用いられるスキルをピックアップしながら理解を深める。 【準備学習の内容】前回までのプリントをよく読み、学びを深めてください。	A

テキスト	毎時プリントを配付します
参考書	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会　編集、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー4(第6版)精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ』、へるす出版、9784892699078

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足			レポート			

質問への対応	講義時にリアクションペーパーを配付します。意見や感想等を積極的に記入してください。また、不明な点などがあった場合にも遠慮なく書いてください。次回の講義時に回答します。
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必
その他	配付資料は随時使用しますので、ファイル等に整理して授業時に持参してください。 第16回に最終評価のためのテストを行います。

科目名	精神保健福祉学Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	今井　博康	
授業の目的	ねらい	精神保健福祉士の基盤となる科目である。また今日の社会問題が広く人びとのメンタルヘルスに深刻な影響を与えている事実を考慮すると、他領域の社会福祉専門職にとっても必要とされる科目である。 「精神保健福祉学Ⅰ」では、精神保健福祉士実践に不可欠な視点、技術、知識を包括的に取り扱う。とりわけ人権ならびに権利擁護について重点を置きつつ、精神保健福祉領域に必要な基礎知識を学習することを目的とする。
	到達目標	(1)障害者の福祉の理念と意義、及び障害者基本法等全ての障害者に共通の福祉施策の概要について理解する。 (2)精神障害者の人権について理解する。 (3)精神保健福祉士の理念、意義、対象について理解する。 (4)精神障害者に対する相談援助活動等を理解する。

授業の計画		
第1回	【テーマ】障害者福祉の理念と意義(1) 【計画内容】オリエンテーション·障害者福祉の歴史障害者福祉の理念 【準備学習の内容】「障害者福祉論」を復習しておくこと。この後の事前学習内容は講義内で伝達する。	A
第2回	【テーマ】障害者福祉の理念と意義(2) 【計画内容】障害及び精神障害の概念 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】障害の概念(ICIDH を参考に) 【計画内容】精神障害の概念及びその重層性の理解 - 精神科疾患と障害概念 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】障害の概念(ICF の理解) 【計画内容】体験としての障害·社会生活上の諸困難に関する包括的な理解 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】精神障害者福祉の歴史と理念(1) 【計画内容】精神保健福祉の歴史と課題(1) 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第6回	【テーマ】精神障害者福祉の歴史と理念(2) 【計画内容】精神保健福祉の歴史と課題(2) 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第7回	【テーマ】精神障害者福祉の歴史と理念(3) 【計画内容】精神保健福祉の歴史と課題(3) 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第8回	【テーマ】精神障害者処遇のまとめと今日の課題 【計画内容】現代社会と精神障害者·社会的入院·地域移行 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第9回	【テーマ】精神保健福祉法 【計画内容】精神保健福祉法の意義と内容関連施策と精神保健福祉法 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A
第10回	【テーマ】精神障害者の人権(1) 【計画内容】障害者と権利擁護 - わが国における権利擁護の取り組み 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第11回	【テーマ】精神障害者の人権(2) 【計画内容】インフォームドコンセント - 地域社会における人権擁護 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第12回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(1) 【計画内容】精神保健福祉士の誕生と歴史及び理念 - 精神保健福祉士の意義 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A
第13回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(2) 【計画内容】精神保健福祉士の対象 - 精神保健福祉士の専門性と倫理 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A
第14回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(3) 【計画内容】今日の社会と精神保健福祉士に求められる役割 - 精神保健福祉士法改正について 【準備学習の内容】講義内で指示された課題に取り組んでおくこと。	A、H
第15回	【テーマ】本講義のまとめ·「精神保健福祉学Ⅱ」の概要説明 【計画内容】「精神保健福祉学Ⅱ」の概説 【準備学習の内容】配付資料·紹介文献の復習。	A

テキスト	講師作成資料をその都度配付します
参考書	荒田寛·今井博康ほか編、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー第6巻 精神障害者の生活支援 - 制度·システムとサービス』、へるす出版、9784892697555

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		20%		40%	
	補足						

質問への対応	講義内、講義後に質問を直接受けます。
資格	[心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必
その他	「精神保健福祉学Ⅱ·Ⅲ」の履修を視野に入れること。 その時々のトピックスにより、講義の内容および順序が変更することもあります。

科目名	精神保健福祉学Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2

教員名	橋本　菊次郎

授業の目的		
	ねらい	精神保健福祉士の基盤となる科目であり、「精神保健福祉学Ⅰ」での学習内容を踏まえ、精神保健福祉士に必要な視点・技術・知識（法制度）を習得することを目的とする。特に精神保健福祉に関する制度・サービスが、精神保健福祉士の実践および精神障害者の生活にどのように影響しているのかを理解し、これらの法制度の諸課題についても検討できる力を涵養する。
	到達目標	(1)障害者基本法等全ての障害者に共通の福祉施策の概要について理解する。 (2)精神障害者に対する相談援助の視点および活動等を理解する。 (3)精神保健福祉施策の概要について理解する。 (4)精神保健福祉の関連施策について理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・精神障害の理解 【計画内容】講義内容の説明、展開方法について説明し、精神保健福祉の基礎的知識（「精神保健福祉学Ⅰ」の講義内容）の確認をする。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。「精神保健福祉学Ⅰ」での講義内容を復習しておくこと。	A、H
	第2回	【テーマ】障害者福祉の基本施策(1) 【計画内容】障害者基本法、障害者プラン、新障害者プランの背景について確認し、精神保健福祉に関連する内容について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、K
	第3回	【テーマ】障害者福祉の基本施策(2) 【計画内容】障害者自立支援法（現　障害者総合支援法）成立の背景について、精神保健福祉領域の動きから理解する。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第4回	【テーマ】障害者総合支援法と障害者サービス(1) 【計画内容】障害者総合支援の概要について確認する。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第5回	【テーマ】障害者総合支援法と障害者サービス(2) 【計画内容】精神保健福祉に関わる障害者サービスの実際と今後の展望について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第6回	【テーマ】現代社会と精神障害者(1) 【計画内容】精神障害者及び家族の状況について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第7回	【テーマ】現代社会と精神障害者(2) 【計画内容】国際比較を通して精神障害者のノーマライゼーションについて考える。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第8回	【テーマ】精神障害者に対する相談援助活動(1) 【計画内容】精神障害者を取り巻く社会的障壁について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第9回	【テーマ】精神障害者に対する相談援助活動(2) 【計画内容】精神障害者の主体性の尊重について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第10回	【テーマ】精神障害者に対する相談援助活動(3) 【計画内容】相談援助活動の方法について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第11回	【テーマ】精神障害者に対する相談援助活動(4) 【計画内容】事例を通して、相談援助活動について理解する。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、J、L
	第12回	【テーマ】精神保健福祉施策の概要(1) 【計画内容】精神保健福祉に関する行政組織について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第13回	【テーマ】精神保健福祉施策の概要(2) 【計画内容】精神保健福祉施策の現状と課題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第14回	【テーマ】精神保健福祉の関連施策 【計画内容】医療保険制度、所得保障、雇用・就労への取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】前回配付資料を元に復習し、テキストの該当部分を読んでおくこと。	A、L
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまでの講義内容の振り返りを行い、総まとめを行う。 【準備学習の内容】講義内容を復習しておくこと。	A、K、L

テキスト	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー⑥精神保健福祉の制度・サービスと生活支援システム（第6版）』、へるす出版、9784892699092 そのほかレジュメを配付します
参考書	精神保健医療福祉白書編集委員会、2018年、『精神保健医療福祉白書2018』、中央法規出版、9784805854242 授業内で都度紹介します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		35%		15%	
	補足			2回課題を出す予定		教員の質問等へのレスポンス	

質問への対応	講義においてその時間を確保するほかリアクションシートおよびE-Mail:kikujiro@hokusho-u.ac.jpでも受け付けます。
資格	[心]精神保健福祉士＿必修、福祉心理士＿選必
その他	2年前学期開講の「精神保健福祉学Ⅰ」も履修することにより、精神保健福祉士受験資格指定科目「精神保健福祉に関する制度とサービス」を履修したとみなされます。 「精神保健福祉学Ⅰ」を履修済みのものとして講義を展開します。 レジュメは、過去配付したものも使用することがあるので、各自ファイリングするなどして、毎回持参すること。

講義要綱

SYLLABUS

教育文化学部　2 年次

平成30年 4 月　発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511　江別市文京台23番地
TEL（011）386－8011
FAX（011）387－1542